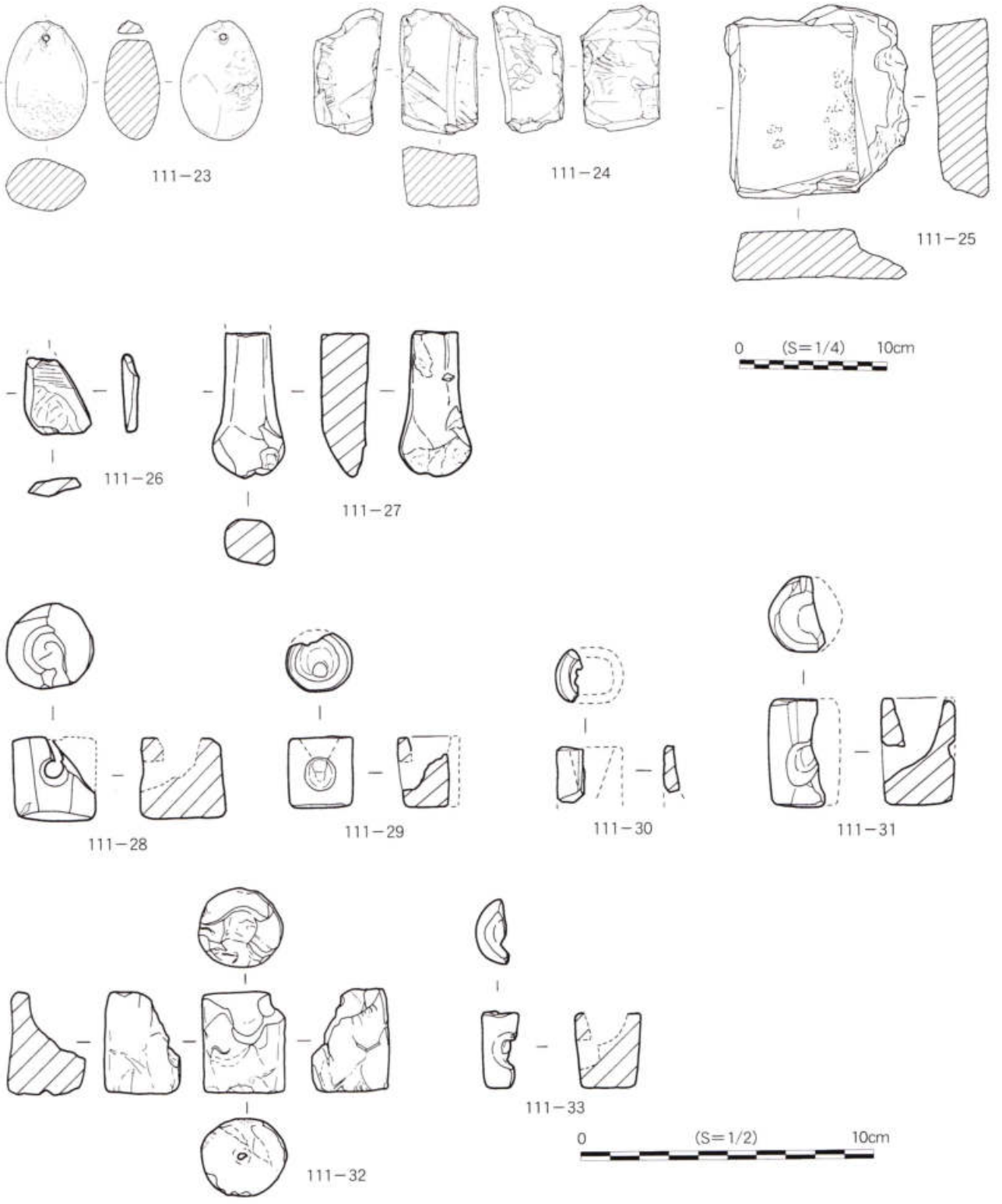


第111図　Ⅷ区出土遺物（30）石器・煙管

[遺物総括]

Ⅷ区調査の出土遺物は、土器、青磁、白磁、青花、褐釉陶器、タイ陶磁、ベトナム陶磁、日本（備前・肥前）などの輸入陶磁器をはじめ、玉、金属製品、石製品などがあり、これまでの調査と同様にほとんどの遺物が中国産で占められる。これら出土遺物の年代は13世紀後半～17世紀前半の年代幅で収まり、古手のものでは青磁龍泉窯系Ⅰ・Ⅱ類、白磁A・F・C2群が得られているが、大半はⅠ・Ⅱ層で出土した15世紀後半～17世紀前半の出土遺物で占められる（主郭Ⅳ期）。既報告26集のⅢ・Ⅳ区では主郭Ⅰ～Ⅲ期（13世紀後半～15世紀中頃）、Ⅶ区では15世紀頃の遺物を包含しているが、一段階新しい16世紀代（主郭Ⅳ期）の遺物が相対的に多く含まれる状況であるとから、Ⅶ区（後者）と同年代に使用されていた可能性があることが出土遺物からうかがうことができる。以下、外郭Ⅷ区で出土した特徴的な遺物を概略し、Ⅷ区の主体的な年代の検討を試みたい。

まず、Ⅷ区ではⅢ～Ⅳ層において比較的古い出土遺物、代表的なものではグスク土器がⅧ区のⅣ層（最下層）より確認されている。トレンチ調査等の小規模範囲で得られる程度であるために出土数は少ないが、P-33グリッドで確認されたⅢ層面検出の柱穴遺構等、外郭が城壁によって囲まれない時期から、城造りのために入ったであろう人たちの生活の痕跡が確認されている。

青磁では龍泉窯系Ⅴ～Ⅶ類、特にⅦ区で数点だけ出土していた龍泉窯系Ⅶ類、福建系粗製碗（漳洲窯）の資料が増大する。その多くは雷文が退化したと考えられる波状文碗、細蓮弁文の弁間が開いて器高の低い碗、福建系では畳付が広い高台で、口縁部が逆ハの字に直線的に開く直口碗の資料なども多い。

白磁はE群で代表される景徳鎮窯の資料が多い。同窯の青花とともに持ち込まれたものと思われる。青花は主郭では少ない漳洲窯系の資料が増加する。

肥前陶磁では染付雲龍見込荒磯文碗や山水文碗等が確認されている。肥前陶磁編年では1650～1690年頃の年代観（肥前陶磁の時期区分Ⅲ期）が付与されており、野上建紀氏による同定によっておおよそ17世紀第３四半期までには収まる資料群との所見をいただいている。

沖縄産陶器では湧田窯・喜名窯跡に近似する資料が検出された。胎土には交胎状にスジが入り、サンゴ目が残る焼成方法、碗や壺、瓶などの器種組成などの特徴がみられた。湧田窯跡・喜名窯跡の製品にも同様の特徴が認められており、同窯で生産された初期の沖縄産陶器と推測される。湧田窯の生産は萬暦44（1616）年の朝鮮人陶工招聘によって開始されたとされている（沖縄県教育委員会1993）。しかし、今帰仁グスクでは1609年の薩摩軍による焼き討ちによって、監守が現在の今泊集落内へ邸宅を引っ越したとされており、これら初期沖縄産陶器の出土は、焼き討ち後においても今帰仁グスクが使用され、監守が首里に引き揚げる1665年頃まで今帰仁グスクが使用されていた可能性がある、という新たな知見が当該遺物より考えられる。

金属製品中で検出された遺物では銅製の印章が挙げられる。背面には小さなつまみが付され、やや潰れた印面は、判読できないがパスパ文字に類似する。渡辺美季氏に実見していただいたところ、中国の印章の可能性があること、花押印＝実用印として使用されていた可能性が高いことなどから、少なくとも城内において中国風の押印文化が普及していたとのご指摘をいただいている（渡辺2009）。

以上、特徴的な遺物を概観してみたが、Ⅷ区の使用年代はⅢ～Ⅳ層で主郭Ⅰ～Ⅲ期（13世紀後半～15世紀中頃）の出土遺物が確認できるものの、相対的な出土量から主体的な年代は龍泉窯系Ⅵ類～Ⅶ類、明青花で代表されるような15世紀後半～16世紀代（主郭Ⅳ期）、終末期は初期沖縄産陶器や肥前陶器が出現する17世紀中頃、監守引き揚げの1665年に限りなく近いことが指摘することができよう。

第6表　外郭Ⅷ区出土遺物集計表　(1)

種別	器種	分類	文様等	部位	Ⅷ区出土遺物																										破片数小計	推定個体数
					Ⅰ層	Ⅱ層	Ⅱa	Ⅱa'	Ⅱb	Ⅱa+Ⅱb	Ⅱc	SB07	Ⅱa+SB07	Ⅱb+SB07	SR1	SR1+SB07	SR2	東側城壁	東側裏込	Ⅱa+Ⅱa'	Ⅱb1	Ⅱb2	Ⅳ	Ⅲa	SR1c	Ⅱa+SR1c	Ⅱa+Ⅱc	Aトレ⑪	S1059		
青磁	碗	同安窯系Ⅰ類	櫛描文	胴部	1																									1	1
		龍泉窯系Ⅰ類	劃花文	口縁	15		9		1		2						1													28	33
				底部	4		3				1																			8	
		龍泉窯系Ⅱ類	鎬蓮弁	口縁	6		7		1		1	2					1	1												19	13
				底部	28		12				2	3						4			1									50	49
		龍泉窯系Ⅲ類	貼手	口縁	1																									1	1
				底部	1																									1	1
		龍泉窯系Ⅳ類	弦文帯蔵	口縁	10		6				1	1																		18	14
			直口	口縁	1																									1	1
				底部	16		6				1	3			2		2	1			1									32	-
		Ⅳ類？	外反(内面有文)	口縁	5		7								1															13	7
		龍泉窯系Ⅳ-Ⅴ類	種不明	底部													2													2	2
		龍泉窯系Ⅴ類	蓮弁文	口縁	63		24		1		2	4	1		1		1	1												98	88
				底部	6		2		1			1					2													12	
			雷文帯	完形	1									1																2	
				口縁	116		56		3	1	3	14	1	1	4		6	1			2	2			1					211	129
				底部	4										2		1													7	
			無文外反	口縁	4																			1						5	4
			有文外反	口縁	1																									1	1
			無文直口	完形																	1									1	12
				口縁	10		8				1	2																		21	
			種不明	底部	30		22		2		5	6			6		3	1	1			1					1			78	77
		龍泉窯系Ⅵ類	細蓮弁文	完形	2		2			1	1	1	1						1											9	327
				口縁	326	1	204		14		19	52			15		3	2	1		3				2	1	1			644	
				底部	2		7		1		1	1			1		2	3												18	
				口縁	35		19		2		1	2						1						1			3			61	74
				底部	37		19	3	1		1	11			10		3	2	1		1									77	
		龍泉窯系Ⅶ類	直口口縁	完形			1																							1	4
				口縁			3						1		1															5	
			波濤文	口縁	18		2					1	1		2		1													25	6
		Ⅳor Ⅴ	無文外反	口縁	604		217		22		27	24	3		7		2	2			15	3					3			929	747
			蓮弁文	口縁	134		55		1		4	8	1	1	1			3			3			1						212	177
				底部	1		4		1						1		1													8	
			種不明	底部											2															2	2
		Ⅴor Ⅵ	種不明	底部	125		25	1			1	3			4		3	3	1									1		167	162
		Ⅳor Ⅶ	種不明	口縁	1																									1	1
		泉州窯系	湿反碗	口縁	10		5																				1			16	6
				底部	2		2			1							1													6	6
		粗製品	粗製碗	完形			3			1	1																			5	138
				口縁	127		51	1	4	1	5	24			7			3												223	
				底部	12		3					5					3		1											24	
		分類不明	有文外反	口縁	13		2								1						1									17	10
			有文直口	口縁	23		13				2	1																		39	33
			直口口縁	口縁	493		180	1	7		15	30	1	1	8		4	3	1		7	1					1			753	535
			種不明	口縁	29		14				1						2				1									47	44
			種不明	底部	26		11		1		2	3						1												44	-
			同安？龍泉？	底部	8										2		1	1												12	12
		小碗	外反蓮弁文	完形			1																							1	1
			直口蓮弁文	完形			1																							1	3
			皿類	底部			1																							1	1
			VI類	口縁						1																				1	2
				底部	1		1																							2	
			細蓮弁文	口縁	1							1																			2	2
				胴部	3		1																							4	
	碗合計				2356	1	1009	6	63	6	100	203	10	4	78	0	45	33	7	0	36	7	0	3	3	1	7	1	0	3967	2726
	皿	同安窯系Ⅰ類	櫛描文	完形			1																							1	13
				口縁	2		3				1																			6	
				底部	8																									8	
		龍泉窯系Ⅲ類	口折皿	口縁	6				1																					7	5
				底部	1		2																							3	
		龍泉窯系Ⅳ類	口折皿	底部			2										1													3	3
			口折蓮弁	底部	1				1																					2	2
			不明	底部	1																									1	1
		龍泉窯系Ⅴ類	口折	完形			3				1	1			1															6	51
				口縁	26		16		6		5	3			5		1				1									63	
				底部	1		1					1																		3	
			口折蓮弁文	底部	8		2					1																		11	11
			鰭折外反	完形			1														1									2	37
				口縁	22		15				1	4			2		3				1						1			49	39
				底部			1		1		1																			3	
			鰭折有文外反	完形	2		2								1															5	23
				口縁	15		5				1	3									1									25	
				底部	1							1							1											3	
			鰭折れ	底部	7		1										1													9	4
			外反	口縁	26		16		1			1																		44	41
			直口口縁(蓮弁文)	完形			2					1	1		1															5	9
				口縁	9		6					2																			17	
			直口無文	完形	1							1					1													3	37
				口縁	16		14				1	3					1				5	1								41	
				底部							1																			1	
			蓮弁文	口縁	1																									1	1
				底部			1																							1	
			口折稜花	口縁								1			1															2	1
			鰭折稜花	口縁	3		2					1																		6	1
				底部			1																							1	
			不明	口縁	5		2																	1						8	47
				底部	16		14		1		1	3			2		3													40	
		龍泉窯系Ⅵ類	鰭折稜花	口縁	31		10			1		2						1												45	25
			鰭折無文外反	口縁	1																									1	1
				底部													1													1	
			腰折皿	底部	2										1															3	3
			口折皿	口縁	21		1		2			1			1															26	15
			口折蓮弁文	底部			1																							1	
			直口無文	完形	1						1				1															3	4
				口縁	1																									1	
			不明	口縁			1																							1	21
				底部	14		4								1		1	1	1											22	
		龍泉窯系Ⅶ類	鰭折外反稜花	完形								1																		1	13
				口縁	11		9			1								1												22	
				口縁	2																									2	6
				底部	3		2																							5	
	皿小計				265	0	141	0	13	2	14	31	1	0	17	0	13	3	2	0	9	1	0	1	0	0	1	0	0	514	414

第6表　外郭II区出土遺物集計表　(2)

種別	器種	分類	文様等	部位	II区出土遺物																														推定個体数
					I層	II層	IIa	IIa'	IIb	IIa+IIb	IIc	SB07	IIa+SB07	IIb+SB07	SR1	SR1+SB07	SR2	東側城壁	東側裏込	IIa+IIa'	IIb1	IIb2	IV	IIIa	SR1c	IIa+SR1c	IIa+IIc	Aトレiii	S1059	破片数小計	
青磁	皿	景徳鎮窯系		口縁	3		2																							5	1
				底部			1																							1	
		分類不明	無文直口	口縁	21		3				1																			25	16
			直口	口縁	1																									1	1
				口縁	13		9		1		1	1																		25	36
				底部	3		4					2			1												1		11	
	皿小計				41	0	19	0	1	0	2	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	68	54
	皿合計				306	0	160	0	14	2	16	34	1	0	18	0	13	3	2	0	9	1	0	1	0	0	2	0	0	582	468
	碗		鍔縁（ヘラ）	口縁	21		11				6	1			1			1				1								42	22
				底部	1		1																							2	
				完形														1												1	
			平坦鍔縁	口縁	2		3																							5	1
				底部	1										1															2	
			鍔縁稜花	口縁	6		6		1						1															14	9
				完形			1					1																		2	
			鍔縁（櫛）	口縁	10		2				2	1			1						1									17	10
			直口口縁	口縁	2																									2	11
				底部	5		3										1													9	
			不明	口縁	32		11				1				1			2			4									51	54
				底部	8		2								1															11	
	瓶			口縁	6		3						1																	10	26
				底部	5		1					2																			8	
				胴部	56		11		1		1	5	3																	77	
	杯		無文	完形							1																			1	3
				底部	1		1		1																					3	
			蓮弁文	完形			1																							1	14
				口縁	6		2				2	1																		11	
				底部	9		1												1											11	
	小杯			完形			1																							1	6
				口縁	7		1																							8	
				底部	1																									1	
				口縁	3							1																		4	2
				胴部	1																									1	
			碁笥底	口縁	5		3											1												9	8
				底部	2																									2	
	馬上杯		高足杯	口縁	1																									1	1
	擂鉢			口縁	4		2																							6	3
				胴部	8																									8	
	鉢			底部	1		2		1																					4	4
	酒会壺		蓋	口縁	1		5											1			1									8	6
				胴部	1		1										1													3	
			身	口縁	2																									2	4
				底部	1		1																							2	
				胴部	1										1															2	
			小型	口縁	1																									1	1
	香炉			口縁	2																									2	2
				底部	1																									1	
				胴部	1																									1	
	皮袋蓋			口縁	1																									1	1
	不明の蓋			完形	1																									1	1
	器種不明		装飾部分	胴部	1		1																							2	-
	青磁合計				288	1	1246	6	81	8	130	248	15	4	103	0	60	42	10	0	51	9	0	4	3	1	9	1	0	4901	3384
白磁	碗	景徳鎮窯系	A群（口禿）	底部	3		1					1																		5	3
		皿or碗		口縁	34		18		3			1			1		2	1			1									61	54
		福建浦口窯	F（今帰仁）	口縁	1																									1	18
				底部	11		3				1																			15	
		福建閩清窯	C2(ﾋﾟｰｽ72)	完形			1																							1	54
				口縁	41		15				1				1		1	1			2									62	
				底部	3		1																							4	
			C3(無文外反)	口縁	55		24				1	3			1		1				1						1			87	93
				底部	3		3																							6	
		景徳鎮窯系	E群（直口）	口縁	17		7					1		1				1												27	-
		福建系	D'	口縁	81	1	28		2		2	12			5		1	3												135	84
				底部	15		2				2	3																		22	
			その他	完形							1																			1	56
				口縁	48		7				2	2																		59	
	小碗	景徳鎮窯系	E群	完形							1																			1	1
				口縁	1																									1	
	皿	景徳鎮窯系	A（口禿）	口縁	12		5		1			1					1													20	18
				底部			2																							2	
		福建閩清窯	C群	口縁	1																									1	1
		漳武窯	D群直口	口縁	11		6											1			1									19	19
			D群	底部			1				1																			2	2
		福建系	D'（櫛明皿）	完形			1								1															2	3
				口縁	4																									4	
		景徳鎮窯系	E群（外反皿）	完形	8		3					2	3		1				1											18	173
				口縁	378		102		3		1	35	1		11		2	2												535	
				底部	116		39				2	7	1		3		4	1	1											174	
			E群（小皿）	完形			1																							1	2
				口縁	2																									2	
				底部	1																									1	
		分類不明	その他	完形	1																									1	5
				口縁	3		2	1																						6	
				底部	5		3		1																					9	
	杯	漳武窯	D群八角	口縁	1		3																							4	4
			D群鰹折	口縁	1		2																							3	3
		景徳鎮窯系	E群	口縁	1							1																		2	1
		不明	その他	口縁	2																									2	2
	杯or皿	漳武窯	D群抉り高台	底部	6		4					1					1													12	6
	分類不明		D群	口縁	8		3								1		2													14	15
			E群その他	口縁	1																									1	1
	小杯	景徳鎮窯系	E群	完形			1																							1	6
				口縁	8		4		1																					13	
				底部	3		1								1															5	
	瓶			口縁	2		1																							3	4
				胴部	4																									4	
				底部								1																		1	

第6表　外郭Ⅷ区出土遺物集計表　(3)

種別	器種	分類	文様等	部位	Ⅷ区出土遺物																														推定個体数
					Ⅰ層	Ⅱ層	Ⅱa	Ⅱa'	Ⅱb	Ⅱa+Ⅱb	Ⅱc	SB07	Ⅱa+SB07	Ⅱb+SB07	SR1	SR1+SB07	SR2	東側城壁	東側裏込	Ⅱa+Ⅱa'	Ⅱb1	Ⅱb2	Ⅳ	Ⅲa	SR1ic	Ⅱa+SR1ic	Ⅱa+Ⅱc	Aトレ3	SI059	破片数小計	
白磁	壺			口縁	5							1																		6	5
				胴部	6		1					2			1															10	
				底部	1																									1	
	合子			口縁	3		1																							4	3
				底部	1																									1	
	香炉			足	1																									1	1
	不明	庄辺窯		底部								1																		1	1
	器種不明			口縁	27		7					1																		35	38
				底部	2		1																							3	
白磁合計					938	1	304	1	11	0	15	76	5	1	27	0	15	10	2	0	5	0	0	0	0	0	1	0	0	1412	676
青花	皿	盤		口縁				1																						1	1
		蓋		蓋			2				1																			3	2
				口縁	1																									1	
		皿		口縁	1																									1	1
	明（碗）	Ⅱ類	外反	口縁	48		15	2		1		5	1		3		1	1												77	27
				底部	1		4																							5	
		Ⅲ類	蕨子	完形								1	1		1															3	85
				口縁	62		17	1				4	1		3															88	
				底部	19		12				1	1	2		3															38	
			器種不明	底部	1		1																							2	2
		Ⅳ類	口折	口縁	12		1				1				2															16	11
		Ⅴ類	腰折れ	口縁	71		18	3	2			12	1		2															109	125
				底部	18		9		1			3	3																	34	
				完形			1					1	1																	3	
		Ⅵ類	饅頭	口縁	64		17	3			1	9	2		3		1													100	47
				底部	6		3				1	1	1																	12	
		Ⅶ類	外反	口縁	24	1	7					1			2															35	28
				底部	11		4	1				1																		17	
				完形			1					1	1																	3	
		分類不明		口縁	59		23	3	2		1	4			4					2										98	61
				底部	9		1																							10	
		漳洲窯		口縁	22		3					4			1															30	20
				底部	5		1																							6	
		粗製碗		口縁								2																		2	6
				底部	3		1																							4	
		青磁染付	有文外反	口縁	3		1									1														5	1
	Ⅲ	Ⅰ類	外反	完形	8		5				1	3	8																	25	68
				口縁	57	1	22	1	2			6			2															91	
				底部	31	2	8	1				4	2	1	1															50	
			大皿	口縁			1						1																	2	1
		Ⅱ類	碁笥底	完形	3		7						2																	12	251
				口縁	183	6	41	5	2			25			9			1	1											273	
				底部	33	1	11					3																		48	
			小皿	完形	1		1			1																				3	4
				口縁	1		2		1																					4	
				底部			2																							2	
			不明	口縁	2																									2	2
		Ⅲ類	外反	口縁	16		8					5			1															30	16
				底部	6		1																							7	
				完形										1																1	
	小杯	Ⅰ類		口縁	20		3					4																		27	30
				胴部	2		1																							3	
				底部	2																									2	
		Ⅱ類		完形	1																									1	1
				口縁			3																							3	
		Ⅲ類	外反	完形	1							1																		2	28
				口縁	18		5				1	4			1															29	
				胴部	12		1																							13	
				底部	7							3																		10	
		Ⅳ類		口縁			1																							1	2
				底部	1																									1	
		漳洲窯		完形			2						1																	3	16
				口縁	5		3														1									9	
				胴部	7		1					1																			9	
				底部	1		2																							3	
		分類不明		胴部	15		2				1																			18	－
	杯	Ⅰ類	筒型	完形																									1	1	26
				口縁	11		5		1			1	1																	19	
				胴部	11		1					1																		13	
				底部	4		1					1																		6	
		Ⅲ類	外反	口縁	1										1															2	1
		漳洲窯		完形			1																							1	9
				口縁	6		3					3																			12	
		分類不明		胴部	16		1																							17	16
	瓶			口縁	13		4																							17	19
				胴部	30	1	4		2		1	3					2													43	
				底部	2								1																	3	
	蓋			蓋	6										1															7	7
	小壺			口縁											1															1	1
	鉢			口縁								1																		1	3
				胴部	1																									1	
				底部	2		1																							3	
	酒会壺			蓋	1										1															2	3
				胴部	7		4																							11	
				底部	1																									1	
青花合計					985	12	300	21	13	2	10	119	30	2	42	1	4	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1548	921

第6表　外郭Ⅶ区出土遺物集計表　(4)

種別	器種	分類	文様等	部位	Ⅶ区出土遺物																										推定個体数
					Ⅰ層	Ⅱ層	Ⅱa	Ⅱa'	Ⅱb	Ⅱa+Ⅱb	Ⅱc	SB07	Ⅱa+SB07	Ⅱb+SB07	SR1	SR1+SB07	SB2	東側城壁	東側裏込	Ⅱa+Ⅱa'	Ⅱb1	Ⅱb2	Ⅳ	Ⅲa	SR1ic	Ⅱa+SR1ic	Ⅱa+Ⅱc	Aトレiii	S1039	破片数小計	
天目	碗	黒釉陶器		口縁	16		7		1		1	1	1								1									28	41
				底部	11		2				1							1	1											16	
掲釉陶器		茶入れ		口縁	2		1																							3	5
				底部	3													1												4	
	壺	大型	方形	口縁	3		1				1	1																		6	5
			Ⅰ類	口縁	34		12				2	2	1		2	1	2				4									60	43
		Ⅰ類		底部	16		10				1	3			5		5	2			2									44	41
		Ⅱ類		口縁	2							1	1		1															5	6
				底部	3		1																							4	
		Ⅲ類		口縁	22		10		1		1	1			1		1	1												38	34
		Ⅳ類		口縁	4		4					2																		10	10
		Ⅴ類		口縁	3																									3	3
		Ⅵ類		口縁	7																1									8	5
		Ⅶ類		口縁	7		3					1	1		1							1									14	10
		Ⅷ類		口縁	6		2														1									9	8
		Ⅸ類		口縁			1																							1	1
		Ⅹ類		口縁									1																	1	1
		小壺		口縁			1																							1	2
				底部	1																									1	
		分類不明		底部	46		16		1		3	3	1		4		4				1									79	65
	擂り鉢			口縁	2		1																							3	1
	鉢		Ⅰ類	口縁	10										2															12	5
			Ⅱ類	口縁	1																									1	1
			不明	口縁	1		1																							2	2
	壜			口縁													1													1	1
焼締陶器		甕		口縁	4							2																		6	5
				底部	2		1					1																		4	
		杯	胴部	底部			1																							1	1
		壺		口縁	4																									4	3
		鉢		口縁	1							1																		2	2
		不明		口縁			1																							1	5
				底部	5							1																		6	
赤絵				口縁				2																						2	2
青白磁	壺			胴部			1																							1	1
翡翠釉		皿		口縁	14		1					1					1													17	7
				底部	3		1					2			1															7	
		壺		口縁			1																							1	2
				胴部	4		1																							5	
		瓶		胴部								1																		1	1
		器種不明		口縁	1																									1	2
				胴部			1																							1	
緑釉		瓶		胴部	12		2					2																		16	1
		皿		完形			1																							1	1
				口縁	2							1																		3	
		不明		底部			1																							1	1
瑠璃釉		碗		口縁	1		1																							2	8
				底部	4		1													1										6	
		小杯		口縁	1																									1	2
				底部			1																							1	
		瓶		口縁	2																									2	3
				底部								1																		1	
		皿		口縁			1																							1	1
彩釉陶器	赤？不明			胴部			1																							1	1
色絵（五彩）	碗			口縁	8		4																							12	2
				底部	1		1																							2	
		皿		完形	1																									1	5
				口縁	4	1	1																							6	
				底部	2		1					1																		4	
色絵	碗			口縁	2		1																							3	1
				底部								1																		1	
三彩鳥形	水注			胴部	4		1																							5	1
	水滴			胴部	1																									1	1
				底部								1																		1	
	壺			胴部	1																									1	1
	不明			胴部			2																							2	2
象嵌青磁	碗			口縁			6					2																		8	10
				胴部	10		5		1			1					1													18	
	瓶			胴部											1															1	1
擂鉢	擂鉢			口縁	2		2				1	1			1				1											8	4
				胴部	6						2																			8	
				底部			1								1															2	
肥前		碗		完形			2									1														3	14
				口縁	12	1	3																							16	
				胴部	18		1					3																			20	
				底部			1								1		1													3	
		青花分類不明		口縁	1		2					1																		4	4
				胴部	1		2																							3	
		角皿		完形			1																							1	1
				口縁	2		2																							4	
				胴部	1																									1	
				底部	2																									2	
		皿		口縁	7		2					2																			11	3
				胴部	1																									1	
				底部								1																		1	
		瓶		胴部	10										2			2												14	5
		擂鉢		口縁	8							1			5		1													15	6
				胴部	16		4	1				2			6		2		2											33	
				底部											1															1	
		色絵	小碗	底部								1																		1	1
		色絵分類不明		口縁	1																									1	3
				胴部	2																									2	
		白磁瓶？（袋物）		口縁	1										1															2	2
				底部	1		1																							2	
不明染付		皿		口縁	3		2																							5	3
本土産		皿		口縁	2							1																		3	1
近現代磁器		小杯（色絵）		完形	7																									7	22
				底部	1																									1	1

第6表　外郭畑区出土遺物集計表　(5)

種別	器種	分類	文様等	部位	畑区出土遺物																														推定個体数
					Ⅰ層	Ⅱ層	Ⅱa	Ⅱa'	Ⅱb	Ⅱa+Ⅱb	Ⅱc	SB07	Ⅱa+SB07	Ⅱb+SB07	SR1	SR1+SB07	SR2	東側城壁	東側裏込	Ⅱa+Ⅱa'	Ⅱb1	Ⅱb2	Ⅳ	Ⅲa	SR1ic	Ⅱa+SR1ic	Ⅱa+Ⅱc	Aトレ3	S1059	破片数小計	
近代磁器	小杯			口縁	13				1			1																		15	
				胴部	5																									5	22
				底部	5																									5	
	茶碗	湯のみ		完形	1																									1	
				口縁	18																									18	13
				胴部	24																									24	
	小碗			完形	2																									2	
				口縁	24										1															25	26
				胴部	32																									32	
				底部	3																									3	
	小碗	美濃産		口縁	1																									1	2
				底部	1																									1	
	碗	印判手・型紙摺		口縁	7												1													8	9
				胴部	1																									1	
	皿			完形	1												1													2	7
				口縁	1																									1	
				底部	2												1	1												4	
	皿	印判手・型紙摺		胴部	5																									5	5
	皿	印判手		完形	1																									1	4
				口縁	1																									1	
				胴部	1																									1	
				底部	1																									1	
	皿	稜花形		口縁	1																									1	1
	蓋			完形	1																									1	4
				口縁	3																									3	
	急須	蓋		口縁	3																									3	3
				胴部	1																									1	1
	不明			口縁	31		1																							32	12
				胴部	12															1										13	
タイ陶磁	土器	半練	蓋	口縁	23		13				1	7						1	1											46	26
				胴部	1							1																		2	
		鉢		胴部			1								1															2	2
		壺		口縁			1														2									3	3
				胴部	10		7				2	2			1															22	
	褐釉陶器	シーサッチャナライ窯系	大型壺	口縁	29		4		4			1					1				2									41	33
				底部	12		7		2		1						1	1			1									25	
		メナムノイ窯系	大型壺	口縁	8		4				1	3	1																	17	8
				胴部			3																							3	
				底部	3		1				1	1		1	4			2			2									15	
			小型壺	口縁	9		3				1				2					1										16	12
			袋物or瓶？	底部	1																									1	1
		不明	瓶	口縁	1												1													2	2
			壺	底部			1																							1	1
	鉄絵	合子	蓋	完形	1							1			1															3	21
				口縁	12		11						1		2															26	
				胴部	9		1										1													11	
			身	口縁	3		4						1						1											9	
				胴部	4		5						1					1												11	
				底部	3							1																		4	
			不明	胴部	1		2										1													4	2
		不明		口縁			1																							1	3
				胴部			1																							1	
				底部								1																		1	
黒褐釉陶器		瓶		胴部			1								1															2	3
				底部	2										1															3	
ベトナム	白磁	碗		口縁	4		2				1				1															8	7
				底部	4										1															5	
		瓶		胴部	3		3				1																			7	1
	色絵	皿		底部	1																									1	1
	焼締陶器	壺		胴部			1																							1	1
	染付	瓶		口縁	1																									1	7
				胴部	4		6					2			1			1													14	
備前		擂鉢		口縁	2		2				1	1			1				1											8	4
				胴部	6							2																		8	
				底部			1								1															2	
南西諸島	徳之島産	カムィヤキ	壺	口縁	7						1	1			1		1				2									13	25
				底部	6		3		1		1				1															12	
			鉢	口縁			1																							1	1
	グスク土器	壺		口縁	7		5		1		1	3								1										18	17
		鍋		口縁	7		1		1		2	1									2	1								15	14
		甕		口縁	6		3					1									2									12	12
		甕	くびれ平底	底部													1													1	1
		壺・鍋甕		底部	5		10	1	3		1	2					1		1		1	1	1							27	27
	宮古系土器	壺		口縁	5		6					1																		12	10
				底部			1																							1	
		甕		口縁	1		2				1																			4	3
		鉢?		口縁			1					1																		2	2
	瓦質土器	擂鉢		完形											1															1	3
				口縁	2		1				1																			4	
				胴部	2		4				1				1															8	
		鉢		口縁	2							1					1													4	7
				底部	3		1													1										5	
		壺		口縁			1																							1	1
		蓋		口縁	9		3	1	1		1				3			1			2	2								23	15
				胴部	19		5		1			3									2									30	
		不明		底部											1															1	1
	沖縄産	焼締陶器		完形					1			1			1															3	2
			碗	口縁	11		2					4			3				1											21	16
				胴部	1							3			1															5	
				底部	4							1			1															6	
			瓶	口縁											1															1	3
				胴部	1										1															2	
				底部													2													2	
			壺	口縁								1			1															2	2
				胴部															1											1	
			擂鉢	胴部	5																									5	3

第6表　外郭Ⅷ区出土遺物集計表　(6)

種別	器種	分類	文様等	部位	Ⅷ区出土遺物																												推定個体数
					Ⅰ層	Ⅱ層	Ⅱa	Ⅱa'	Ⅱb	Ⅱa+Ⅱb	Ⅱc	SB07	Ⅱa+SB07	Ⅱb+SB07	SR1	SR15B07	SR2	東側坂壁	東側裏込	Ⅱa+Ⅱa'	Ⅱb1	Ⅱb2	Ⅳ	Ⅲa	SR1ic	Ⅱa SR1ic	Ⅱa+Ⅱc	Aトレ出	S1059	破片数小計	
南西諸島	喜納焼・浦田焼	焼締陶器	甕	口縁	29		4		1			2					1													37	33
				胴部	2																									2	
				底部	14																									14	
			壺	口縁	1																									1	4
				胴部			1																							1	
				底部	2																									2	
			鉢	完形											1															1	3
				口縁	3																									3	
			風炉	口縁	1																									1	1
			瓶	口縁	4							1																		5	3
			壺or瓶	底部	7		1											1												9	6
	壺屋焼		壺	口縁	1																									1	5
				底部	3												1													4	
			鉢	口縁			1																							1	1
	中縄産	施釉陶器	碗（掛釉）	完形													2													2	11
				口縁	14		3										1													18	
				胴部	2																									2	
				底部	2																									2	
			碗（白化粧）	口縁	23		1								1															25	20
				胴部	1																									1	
				底部	4										1															5	
			碗（呉須絵）	口縁	3										1															4	2
				胴部	4																									4	
			小碗	底部	1										1															2	2
			碗	口縁	2						1																			3	3
				胴部	2																									2	
				底部	1																									1	
			皿	口縁	3																									3	1
			小壺	口縁	2																									2	2
				胴部	3																									3	
			キセル	口縁	1																									1	1
			水注・急須	胴部	8													1	1											10	9
				底部	3												1													4	
			香炉	口縁	5												1													6	4
				胴部	2																									2	
				底部	3																									3	
			不明	蓋	1																									1	1
				口縁	2																									2	2
				胴部	39		3								1						1									44	
				底部	2																									2	2
		不明	蓋・つまみ	口縁	7																									7	6
				胴部	1																									1	
		壺屋焼（上焼）	瓶	口縁	1																									1	1
			碗	口縁	1		1																							2	1
			袋物	底部	1							1																		2	2
産地不明		土器		口縁			1				3																			4	2
		陶質土器		口縁	2												1													3	2
				胴部	1																									1	
石器		砥石			44		21		3		2	7			14		6		5											102	–
		磨石			3										2															5	–
		敲石			4		3										5	1												13	–
		石斧			2						1				1		1		1											6	–
		石錘			1							1																		2	–
		研磨痕のある石製品			12		8					1			1		1		1											24	–
		砚			1																									1	–
		石うす			6		2				1																			9	–
		模造石製品			4																									4	–
		不明石製品			2																									2	–
		不明石器			3																									3	–
遊具		円盤状製品			9		2				1							1												13	–
玉類		勾玉			1		1	1			1				1															5	–
		丸玉			29		30	5	1		2	7					1													75	–
		小玉			10		31	25	1		1	5																		73	–
		円盤状製品			1			2			1																			4	–
		棗					1																							1	–
		管玉							1			1																		2	–
		不明			3																									3	–
銭		無文銭			3		10	2			1	7																		23	–
		有文銭			24		14	6	3			6	1		1		2													57	–
金属製品		青銅製品	印鑑				1																							1	–
			鏡		4		4	1			1																			10	–
			座金具		3		2					1																			6	–
			笠鋲						1																					1	–
			飾り金具		5		3	1																						9	–
			切羽・刀飾具		1																									1	–
			煙管雁首		1																									1	–
			鐸		1																									1	–
			鐸		5		2								2															9	–
			鈴状		2		1					1																			4	–
			不明銅製品		17		20	2	4		2	5			1		1													52	–
			現代		2										1															3	–
		鉄製品	刀子		12		15	2	1		1	5																		36	–
			鎌						1																					1	–
			釘		168	1	101	35	7		12	60			9		12	6												411	–
			釣針				2					1	1																		4	–
			鏃		11		6	2	4		2	6					1													32	–
			その他鉄製品		10		4				1				2															17	–
			板状鉄製品		20		17	5	3		4	15			2		4													70	–
			鉄塊		15		10	1	2		1	1					1													31	–
			現代		52		3	2	1						3		2													63	–
			不明		7	1	2	1									1	1												13	–
煙管					1		1		1			3			2			1													9	–

第7表　外郭Ⅷ区遺構内出土遺物集計表　(1)

| 種別 | 器種 | 分類 | 文様等 | 部位 | Ⅷ区遺構内出土遺物 | | |

第7表　外郭VIII区遺構内出土遺物集計表　(7)

| 種別 | 器種 | 分類 | 文様等 | 部位 | VIII区遺構内出土遺物 | | |

第7表　外郭環区遺構内出土遺物集計表　(3)

| 種別 | 器種 | 分類 | 文様等 | 部位 | 環区遺構内出土遺物 | | |

第7表　外郭周辺遺構内出土遺物集計表　(4)

| 種別 | 器種 | 分類 | 文様等 | 部位 | 調査区遺構内出土遺物 | | |

第８表　石器集計表

種別	器種			分類			表採	Ⅰ層	Ⅱa層	Ⅱb1	Ⅱc	SR1 Ⅰ層	SB07 i層	SB09 i層	SB09 ii層	SR2 Ⅰ層	SK823 i層	SK823 ii層	SF1 i層	東側城壁裏込	東側城壁Ⅰ層	破片数
石器	砥石	提砥	規格整形系	懸垂棒札型	角棒形	a厚手																
						b薄手		1(1)				1(1)										2
						c無孔			1(1)													1
						d亜角			1(1)													1
						破片		3(1)														3
					札形	a有孔																
						b無孔																
						破片																
					その他				2(1)													2
		置砥		規格定形板柱型	短冊形																	
					表札形																	
					角柱形								1(1)									1
					角柱半欠形	小型		6(1)	4(1)	2	1						1					14
						大型														1(1)		1
					その他			1														1
				破片				7	2		1		1	1								12
			自然礫系	自然礫型	略円・略楕円形	a円形																
						b楕円形			1(1)							1(1)						2
					略方・略長方形	a方形	1(1)											1				2
						b長方形						1	1							2		4
					不定形		1(1)	11(1)	1	1		3	1			1			1	1		21
					小礫形																	
				打割礫型	略方・略長方形	a方形						1										1
						b長方形		3	3			3(1)	1(1)	1	1	3						15
						長方形破片		3				2(1)										5
					不定形		2(1)	1	3(1)			3	1	1	1	1	1			1		15
				破片				3	3				1									7
		未製品						1														1
	磨石							3				2(1)										5
	敲石						1(1)	3(2)	3							5					1	13
	石斧							2(1)			1	1(1)				1				1(1)		6
	石錘							1(1)					1(1)									2
	研磨痕のある石器片							12	8			1	1			1				1		24
	硯							1														1
	石うす							6	2		1											9
	模造石製品							4(2)						1								5
	不明石製品							2				1(1)		1								4
	不明石器							3														3
	合計						5	77	34	3	4	19	9	5	2	13	2	1	1	7	1	183

※集計の（括弧）内は実測図示した遺物の点数。

第9表　出土遺物観察表（1）

図	種別	分類	器種（土師・赤・緑・国名）	部位（銭=初鋳年）	器:口径 他:外径 銭:外径 単位=cm（銭・玉=mm）	器:高さ 厚さ 銭厚 単位=cm（銭・玉=mm）	器:底径 重量（単位=g）	次	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	層	遺構	dot	No.	備考
10-1	金属製品	青銅	香炉	完形	14.2	10.5	685	—	—	—	古宇利殿内の香炉			現物は実測撮影後、復元純に届す
10-2	金属製品	青銅	香炉	完形	17.0	13.3	1,650	—	—	—	古宇利殿内の香炉			現物は実測撮影後、復元純に届す
10-3	金属製品	青銅	香炉	完形	20.8	15.9	2,140	—	—	—	古宇利殿内の香炉			現物は実測撮影後、復元純に届す
10-4	瓦	丸瓦	—	広部欠損	全長:28.5	幅:備考	厚:1.3	—	—	表採	—	—	—	赤広部:14.4cm/狭部:13.0cm
10-5	瓦	平瓦	—	完形	全長:24.7	幅:端部23.0	厚:1.3	—	—	表採	—	—	—	玉縁長さ:3.3cm
16-1	カムィヤキ	B群	壺	底部	—	—	10.3	5次	P-31	i	SR1	952	129	
16-2	瓦質土器	沖縄産	擂鉢	完形	16.6	12.9	16.2	4次	—	i	SR1	—	133	4次SR1 i №112
16-3	瓦質土器	沖縄産	不明	底部	—	—	3.4	4次	—	i	SR1	—	127	
16-4	宮古式土器	沖縄産	壺	口縁	21.0	—	—	5次	P-32	i	SR1	—	845	
16-5	青磁	I	碗	底部	—	—	4.4	4次	—	i	SR1	—	137	
16-6	青磁	IV	碗	底部	—	—	4.7	5次	P-31	i	SR1	—	841	
16-7	青磁	V	碗	口縁	17.0	—	—	5次	P-31	i	SR1	—	730	5次P-31SR1 i №798
16-8	青磁	V	皿	完形	9.2	3.4	4.6	4次	—	i	SR1	—	118	5次P-31 I №478　5次Q-32 I №305
16-9	青磁	V	皿	完形	13.80	3.75	6.2	5次	Q-32	ii c	SR1	1147	449	7次Q-32 I №201
16-10	青磁	V	皿	完形	8.9	2.65	4.7	5次	Q-32	ii c	SR1	—	430	5次Q-32 I №381　5次P-31 I №442
16-11	青磁	—	蓋置	口縁	6.2	—	—	5次	P-31	i	SR1	—	842	
16-12	白磁	D群	碗	口縁	27.4	—	—	5次	P-32	i	SR1	1194	646	
16-13	白磁	D群	碗	底部	—	—	4.9	5次	P-32	i	SR1	1188	640	5次Q-32 I №625　4次Q-32表採№46
16-14	白磁	D群	灯明皿	完形	9.2	2.5	5.2	5次	P-32	i	SR1	1191	—	
16-15	白磁	E群	皿	口縁	22.0	—	—	5次	P-32	i	SR1	1189	641	
16-16	白磁	E群	皿	完形	11.6	2.5	6.1	5次	P-32	i	SR1	1190	642	5次P-32SR1 i №847
16-17	青花	II	碗	口縁	15.0	—	—	5次	P-31	i	SR1	—	342	
16-18	青花	III	碗	口縁	12.9	—	—	5次		i	SR1	—	336	
16-19	青花	III	碗	口縁	14.8	—	—	5次	P-31	i	SR1	—	612	5次Q-30 I №33　7次P-32 II aNo.209
16-20	青花	III	碗	完形	14.8	6.0	5.9	5次	P-32	i	SR1	—	715	
16-21	青花	III	碗	底部	—	—	5.5	5次	P-31	i	SR1	—	611	
16-22	青花	III	碗	底部	—	—	5.0	5次	P-32	i	SR1		846	5次P-33 I №94　5次Q-31 II aNo.622
16-23	青花	III	碗	底部	—	—	5.53	5次	P-31	i	SR1	—	706	
16-24	青花	III	碗	口縁底部	13.9	7.0	4.7	5次	P-32	i	SR1	1187	639	
16-25	青花	IV	碗	口縁	11.6	—	—	5次	P-32	i	SR1	—	801	5次SR1 i №634
16-26	青花	IV	碗	口縁	15.6	—	—	5次	P-31	i	SR1	—	799	
16-27	青花	V	碗	口縁	12.8	—	—	5次	P-31	i	SR1	—	705	5次P-32 I №614　5次Q-30 I №482
16-28	青花	VII	碗	口縁底部	12.6	5.3	5.2	5次	P-32	i	SR1	—	680	7次 I №3/5次 I №469（図上復元）
16-29	青花	I	皿	口縁底部	9.4	2.15	4.4	5次	R-31	i	SR1	—	798	5次SR1№801、II №337（図上復元）
16-30	青花	III	杯	口縁	10.35	—	—	4次	—	i	SR1	—	133	
16-31	青磁	粗製碗	小杯	口縁	7.1	—	—	4次	—	i	SR1	—	109	
16-32	青花	—	小壺	口縁	3.1	—	—	5次	P-32	i	SR1	—	846	
17-33	青花	肥前	碗	完形	14.9	8.15	5.5	4次	—	i	SR1	—	123	
17-34	不明	肥前	碗or皿	底部	—	—	4.0	4次	—	i	SR1	—	118	
17-35	青花	肥前	瓶	底・胴部	—	—	4.6	4次	—	i	SR1	—	123	
17-36	陶器	肥前	擂鉢	底部	—	—	13.0	5次	P-32	i	SR1	1205	657	
17-37	陶器	肥前	擂鉢	口縁	35.5	—	—	5次	P-32	i	SR1	—	847	
17-38	陶器	肥前	擂鉢	底部	—	—	12.0	5次	P-31	i	SR1	—	612	5次No.716 I №306/4次SR1No.113、表採No.132
17-39	褐釉陶器	III	壺	口縁	10.8	—	—	5次	P-31	i	SR1	1197	649	
17-40	褐釉陶器	I	鉢	口縁	28.2	—	—	5次	P-31	i	SR1	—	68	
17-41	褐釉陶器	I	大型壺	底部	—	—	13.6	4次	—	i	SR1	—	123	5次Q-33 II aNo.1069　5次Q-31 I №336
17-42	タイ褐釉	メナムノイ	小壺	底部	—	—	7.3	4次	—	i	SR1	—	120	
17-43	タイ褐釉	メナムノイ	小型壺	口縁	12.2	—	—	5次	Q-32	ii c'	SR1	1145	—	
17-44	タイ褐釉	メナムノイ	大型壺	底部	—	—	27.8	4次	—	i	SR1	—	124	
17-45	鉄絵	タイ	蓋	—	9.1	—	—	5次	Q-32	i	SR1	—	422	5次Q-30 I №331
17-46	黒褐釉陶	タイ	瓶	底部	—	—	4.2	4次	—	i	SR1	—	126	4次P-32 I №135
17-47	白磁	ベトナム	碗	底部	—	—	3.4	4次	—	i	SR1	—	123	
17-48	青花	ベトナム	瓶	胴部	—	—	—	4次	—	i	SR1	—	137	5次P-30 II aNo.164
17-49	焼締陶器	沖縄産	碗	完形	10.8	6.5	4.7	5次	P-31	i	SR1	—	611	5次Q-31 I №6
17-50	焼締陶器	沖縄産	壺or瓶	底部	—	—	8.2	4次	—	i	SR1	—	116	5次Q-31 I №508　7次S-32表土№25
17-51	焼締陶器	沖縄産	壺	口縁	12.2	—	—	7次	—	i	SR1	—	123	
18-52	焼締陶器	沖縄産	瓶	口縁	7.8	—	—	4次	—	i	SR1	—	124	4次SR1 i №125
18-53	焼締陶器	沖縄産	鉢	完形	16.0	9.49	10.7	5次	P-32	i	SR1	—	847	
18-54	金属製品	鉄	鏃	口縁	7.1	9.6	109.3	4次	—	i	SR1	—	122	
18-55	金属製品	青銅	簪	完形	0.5	5.3	1.3	4次	—	i	SR1	—	122	
18-56	玉	勾玉	—	—	33.25	11.54	8.32	5次	Q-32	ii c'	SR1	—	431	
18-57	煙管	—	雁首		28.08	45.77	24.49	5次	P-32	i	SR1	—	839	一部欠損
18-58	煙管	—	雁首	完形	25.46	35.02	22.86	4次	—	i	SR1	—	142	
18-59	石器	—	提砥	—	8.45	0.7	26.03	4次		i	SR1	—	115	下部少々欠ける
18-60	石器	—	石斧	—	10.3	1.75	141.62	5次	P-32	i	SR1	—	813	重複石器含む半分に割れ（欠ける）
18-61	石器	—	砥石or敲石？	—	15.9	6.4	1250.0	4次	—	i	SR1	—	109	
18-62	石器	—	砥石	—	12.15	3.5	459.41	4次	—	i	SR1	—	123	
18-63	石器	—	碗	底部	—	—	9.3	5次	P-31	i	SR1	—	636	
18-64	貝	自然貝	ﾔｺｶﾞｲ	—	—	—	—	4次	—	i	SR1	—	132	殻口に穿孔あり
18-65	貝	自然貝	ﾔｺｶﾞｲ	—	—	—	—	4次	—	i	SR1	—	132	殻口に穿孔あり
22-1	青磁	V	碗	口縁	16.5	—	—	10次	Q-33	i	SB09	—	187	
22-2	青磁	VI	碗	口縁	14.2	—	—	10次	Q-33	i	SB09	—	196	
22-3	青磁	V	碗	底部	—	—	6	10次	Q-33	i	SB09	1338	69	
22-4	青磁	VI	皿	底部	—	—	4.9	10次	Q-33	i	SB09	1337	68	
22-5	青磁	粗製碗	皿	完形	9.9	2.3	4.9	10次	Q-32	i	SB09	1334	65	
22-6	青花	漳州窯	碗	口縁	12.5	—	—	10次	Q-33	i	SB09	—	16	
22-7	青花	漳州窯	小碗？杯？	口縁	7.9	—	—	10次	Q-33	i	SB09	—	19	
22-8	タイ褐釉	シーサッチャ	壺	口縁	—	—	—	10次	Q-33	i	SB09	1339	70	
22-9	銭貨	熙寧元寶	北宋	1068年	24.31	1.31	2.97	10次	Q-33	ii	SB09	8	21	
22-10	銭貨	紹興通寶折二	南宋	1131年	30.08	1.78	5.13	10次	Q-33	ii	SB09	—	22	
22-11	銭貨	紹熙元寶	南宋	1190年	30.67	1.76	5.21	10次	Q-33	ii	SB09	1	20	割れ
22-12	銭貨	□大通□	元	1310年	22.84	2.79	1.93	10次	Q-33	ii	SB09	—	22	至大通寶か？
22-13	銭貨	□元重寶	—	—	25.76	1.37	2.62	10次	Q-33	i	SB09	—	187	乾元重寶

第9表　出土遺物観察表（2）

図	種別	分類	器種(土師-手)(鉄-銭名)	部位 (銭=初鋳年)	器:口径 他:外径 銭:外径 単位=cm (銭・玉=mm)	器:高さ 厚さ 銭厚 単位=cm (銭・玉=mm)	器:底径 重量 (単位=g)	次	ﾏﾄﾘｯｸｽ	層	遺構	dot	No.	備考
22-14	玉	丸玉b2	黄みの白		6.33	9.55	0.76	10次	Q-33	i	SB09	—	9	
22-15	玉	丸玉c	濃い緑みの青		1.5	2.18	0	10次	Q-33	i	SB09	—	7	
22-16	玉	丸玉c	明るい灰		1.63	3.43	0.02	10次	Q-33	ii	SB09	—	21	
22-17	瓦質土器	沖縄産	鉢？	底部	—	—	16.4	10次	R-32	i	SF1	—	218	
22-18	青磁	V	碗	口縁	16.3	—	—	10次	Q-32	i	SF1	—	219	
22-19	青磁	粗製碗	碗	底部	—	—	4.2	10次	R-33	i	SF1	—	224	
22-20	青磁	V	盤	口縁	24.6	—	—	10次	R-33	i	SF1	—	202	
22-21	白磁	D群	皿	底部	—	—	4.6	10次	Q-32	i	SF1	—	219	
22-22	白磁	D゛群	皿	口縁	7.6	—	—	10次	Q-32	i	SF1	—	219	
25-1	土器	グスク土器	—	底部	—	—	9.4	5次	P-32	ii	SK823	—	767	
25-2	青磁	V	碗	口縁	15.7	—	—	5次	P-32	i	SK823	—	691	
25-3	青磁	V	碗	口縁	18.1	—	—	5次	P-32	ii	SK823	—	775	
25-4	青磁	V	碗	底部	—	—	4.4	5次	P-32	ii	SK823	—	819	
25-5	青磁	IV	碗	底部	—	—	4.8	5次	P-32	ii	SK823	—	819	
25-6	青磁	VIII	皿	完形	11.4	2.4	4.3	5次	P-32	i	SK823	—	691	
25-7	白磁	A群	碗	口縁	14.2	—	—	5次	P-32	ii	SK823	—	761	
25-8	白磁	C2群	碗	口縁	15.6	—	—	5次	P-32	i	SK823	1234	757	
25-9	白磁	E群	皿	底部	—	—	6.2	5次	P-32	i	SK823	—	751	
25-10	青花	—	酒会壺	蓋	11.3	—	—	5次	P-32	i	SK823	—	745	
25-11	青花	II	碗	口縁	13.0	—	—	5次	P-32	ii	SK823	—	759	
25-12	青花	II	皿	口縁	9.6	—	—	5次	P-32	ii	SK823	—	681	
25-13	褐釉陶器	—	—	口縁	12.8	—	—	5次	P-32	i	SK823	—	691	
25-14	タイ褐釉	—	—	底部	—	—	16.5	5次	P-31	i	SK823	1233	743	
25-15	玉	丸玉b2	青みの暗い灰		1.10	1.40	2.98	5次	P-32	ii	SK823	—	769	
25-16	玉	丸玉c	緑みの灰		2.12	3.82	0.03	5次	P-32	ii	SK823	—	765	
28-1	青磁	VIII	碗	口縁	13.6	—	—	10次	Q-32	i	SB08	—	111	
28-2	青磁	V	盤	口縁	—	—	—	10次	Q-31	i	SB08	—	153	
28-3	青磁	V	盤	底部	—	—	6.4	10次	Q-32	i	SB08	—	110	
28-4	白磁	C3群	碗	底部	—	—	6.0	10次	Q-31	i	SB08	—	153	
28-5	青花	VIII	碗	口縁	13.7	—	—	10次	Q-32	i	SB08	—	116	
28-6	青花	I	皿	底部	—	—	7.7	10次	Q-32	i	SB08	—	111	
28-7	青花	II	碗	口縁	12.3	6.3	4.8	10次	Q-32	i	SB08	—	111	10次Q-32SB08 i №116
28-8	青花	II	碗	底部	12.3	6.3	4.8	10次	Q-32	i	SB08	—	111	28-7と接合
28-9	白磁	ベトナム	碗	口縁	—	—	—	10次	Q-32	i	SB08	—	116	
28-10	玉	丸玉c	明るい灰みの橙		3.58	4.48	0.11	10次	Q-32	i	SB08	—	133	
28-11	土器	—	壺	口縁	15.2	—	—	10次	R-32	IVa	SB08	—	248	Bトレンチ
28-12	青磁	II	碗	口縁	16.2	—	—	10次	R-32	IIc	SB08	—	246	Bトレンチ
28-13	青磁	IV	碗	口縁	15.4	—	—	10次	Q-32	IIb	SB08	—	214	Bトレンチ
28-14	青磁	V	碗	口縁	13.8	—	—	10次	R-32	IIa゛	SB08	—	251	Bトレンチ
28-15	青磁	VI	碗	口縁	13.0	—	—	10次	R-32	IIa゛	SB08	—	251	Bトレンチ
28-16	青花	VI？	碗	口縁	12.7	—	—	10次	R-32	—	SB08 ii	—	206	Bトレンチ
28-17	青花	漳洲窯	碗	口縁	15.2	—	—	10次	R-32	IIa゛	—	—	251	Bトレンチ
28-18	褐釉陶器	III	壺	口縁	9.4	—	—	10次	R-32	IIc2	—	—	245	Bトレンチ
28-19	褐釉陶器	III	壺	口縁	10.05	—	—	10次	R-31	i	SB08	—	169	Cトレンチ
28-20	青磁	V	碗	口縁	15	—	—	10次	Q-32	i	SB10	1344	130	Pit内
33-1	グスク土器	—	鍋	口縁	20.9	—	—	10次	Q-31	IIb2	SB5	—	113	
33-2	青磁	V	碗	口縁	14.2	—	—	10次	Q-32	IIb2	SB5	—	49	
33-3	青磁	V	碗	口縁	17	—	—	10次	Q-32	IIb2	SB5	—	37	
33-4	青磁	V	碗	口縁	13.5	—	—	10次	Q-32	IIb2	SB5	—	29	
33-5	青磁	VI	碗	底部	—	—	4.2	10次	Q-32	IIb2	SB5	—	37	
33-6	白磁	C2群	碗	口縁	16.2	—	—	10次	Q-31	IIb1	SB5	—	128	
33-7	白磁	D群	碗	口縁	14.2	—	—	10次	Q-32	IIb2	SB5	—	29	
33-8	青花	ベトナム	小壺	口縁	2.2	—	—	10次	Q-32	IIb2	SB5	—	40	
33-9	青花	ベトナム	小壺	口縁	2.4	—	—	10次	Q-32	IIb2	SB5	15	32	
33-10	褐釉陶器	VIII	壺	口縁	10.0	—	—	10次	Q-31	IIb1	SB5	—	128	
33-11	—	—	不明	—	—	—	—	10次	Q-32	IIb2	SB5	—	37	
33-12	銭貨	洪□□寶	明	1368年	—	1.45	1.74	10次	Q-32	IIb1	SB5	—	60	欠損
33-13	銭貨	洪武通寶	明	1368年	21.38	1.51	2.95	10次	Q-32	IIb1	SB5	—	27	
33-14	瓦質土器	沖縄産	蓋	口縁	22.0	—	—	10次	Q-31	IIb1	SB5	—	120	
40-1	銭貨	元□□□	北宋	1068年	—	1.36	1.85	10次	R-32	—	S1061	—	293	元祐通寶か？
40-2	金属製品	銭or座金	—	—	25.07	2.1	4.26	7次	R-32	—	S1061	—	292	
48-1	瓦質土器	沖縄産	擂鉢	底部	—	—	17	5次	—	—	SR2 i	—	536	
48-2	グスク土器	—	壺	口縁	15.5	—	—	2次	U-32	II下	SR2	—	511	
48-3	グスク土器	—	鍋？	口縁	—	—	—	2次	—	—	SR2	—	450	Aトレ
48-4	グスク土器	—	鍋？	口縁	—	—	—	5次	—	—	SR2 i	—	533	
48-5	グスク土器	—	—	底部	—	—	8.45	5次	—	—	SR2 i	—	535	
48-6	くびれ平底土器	—	甕	底部	—	—	5.4	4次	—	AB内	SR2	—	138	
48-7	カムィヤキ	B群	壺	口縁	—	—	—	5次	—	—	SR2 i	—	850	
48-8	カムィヤキ	B群	壺	底部	—	—	19.8	2次	—	表採	SR2	—	417	Aトレ　外ヘキ
48-9	青磁	I	碗	口縁	—	—	—	2次	—	I	SR2	—	630	Bトレ
48-10	青磁	I	碗	底部	—	—	5.3	5次	R-30	I	SR2	—	748	
48-11	青磁	II	碗	口縁部	16.5	—	—	4次	—	AB内 i	SR2	—	91	
48-12	青磁	V	小碗	底部	—	—	3.5	2次	—	表採	SR2	—	357	Aトレ
48-13	青磁	VI	碗	底部	—	—	5.4	4次	—	AB内	SR2	—	102	
48-14	青磁	IV？	碗	底部	—	—	5.40	4次	P-32	—	SR2 i	—	117	
48-15	青磁	粗製碗	碗	底部	—	—	6.7	7次	S-30	—	SR2 i	—	46	
48-16	青磁	同安窯系	皿	底部	—	—	4.7	2次	U-32	II上	SR2	—	497	内ヘキ
48-17	青磁	V	盤	口縁	21.5	—	—	5次	—	—	SR2 i	—	536	西
48-18	青磁	—	瓶	口縁	5.7	—	—	4次	—	I	SR2	—	120	
48-19	青磁	—	酒会壺	胴部	—	—	—	5次	—	—	SR2 i	—	536	
48-20	白磁	F群	碗	底部	—	—	5.7	5次	—	—	SR2 i	—	536	西
48-21	白磁	F群	碗	口縁	17.2	—	—	2次	—	Ib	SR2	—	349	Aトレ
48-22	白磁	C2群	碗	口縁	15.1	—	—	2次	—	II上	SR2	—	442	Aトレ

第９表　出土遺物観察表（３）

図	種別	分類	器種(玉類・石(銭)製品)	部位(銭=初鋳年)	器:口径 他:外径 銭:外径 単位=cm (銭・玉=mm)	器:高さ 厚さ 銭厚 単位=cm (銭・玉=mm)	器:底径 重量 (単位=g)	次	ﾀﾞﾘｯﾄﾞ	層	遺構	dot	No.	備考
48-23	白磁	C2群	碗	底部	—	—	5.6	2次	—	表採	SR2	—	357	Aトレ
48-24	白磁	C3群	碗	口縁	18.3	—	—	5次	—	—	SR2 i	—	535	
48-25	白磁	C3群	碗	底部	—	—	5.2	2次	—	表採	SR2	—	419	Aトレ　外ヘキ
48-26	白磁	E群	皿	口縁	15.4	—	—	5次	—	—	SR2 i	—	535	
48-27	白磁	E群	皿	底部	—	—	6.5	4次	—	AB内	SR2	—	102	
48-28	青花	I	碗	底部	—	—	6.0	7次	S-31	—	SR2 i	—	195	
48-29	青花	Ⅶ	碗	底部	—	—	5.6	4次	—	AB内	SR2	—	103	
48-30	青花	—	碗	底部	—	—	5.2	2次	—	I	SR2	—	421	Bトレ
48-31	青花	I	皿	底部	—	—	4.9	7次	S-30	—	SR2 i	—	20	
49-32	青花	肥前	碗	口縁	13.2	—	—	7次	R-30	—	SR2 ii	—	52	
49-33	青花	肥前	皿	底部	—	—	5.5	4次	—	—	SR2 i	—	120	5次Q-32 I №369
49-34	陶器	肥前	擂鉢	口縁	27.0	—	—	4次	—	—	SR2 i	—	120	4次SR1 i №126
49-35	褐釉陶器	Ⅲ	壺	口縁	8.6	—	—	5次	—	—	SR2 i	—	627	
49-36	褐釉陶器	V	壺	口縁	28.4	—	—	2次	—	I	SR2	—	444	Bトレ
49-37	褐釉陶器	I	壺	口縁	16.2	—	—	5次	—	—	SR2 i	—	627	
49-38	褐釉陶器	I	大型壺	口縁	16.8	—	—	4次	—	—	SR2 i	926	116	5次P-33 II a№104　5次Q-33 II a dot1020
49-39	褐釉陶器	不明	壺	底部	—	—	10	4次	—	AB内	SR2	—	102	
49-40	褐釉陶器	—	甕	口縁	40.7	—	—	4次	—	—	SR2 i	—	116	
49-41	褐釉陶器	—	茶入れ	底部	—	—	3.9	4次	—	AB内	SR2	—	98	
49-42	褐釉陶器	タイ	瓶	口縁	4.2	—	—	4次	—	AB内	SR2	—	169	
49-43	三彩？	—	壺	底部	—	—	5.5	2次	—	I・II	SR2	—	632	Bトレ
49-44	焼締陶器	沖縄産	瓶	胴部底部	—	—	6.0	4次	—	AB内	SR2	—	95	4次AB内 i №95・5次Q-32 I 5a741・№367
49-45	施釉陶器	沖縄産	碗	完形	16.0	6.0	6.2	4次	—	AB内	SR2	—	91	4次AB内 i №93
49-46	銭貨	無文銭	—	—	19.56	1.1	1.59	4次	—	AB内	SR2	—	92	
49-47	石器	—	砥石	—	9.2	2.55	213.17	4次	—	AB内	SR2	—	92	
49-48	石器	—	砥石		17.2	2.2	501.30	4次	—	—	SR2 i	—	116	
49-49	石器	—	砥石	—	11.7	1.85	228.51	4次	—	AB内	SR2	—	90	
73-1	グスク土器	—	不明	底部	—	—	21.4	5次	Q-30	—	—	—	574	ネイントレ3
73-2	青磁	VI	碗	—	13.2	—	—	4次	DE内石撤去		東側城壁		143	5次Q-32 I №23, I №369, II a№383
73-3	青磁	VI	碗	口縁	12.2	—	—	4次	EF内裏込		東側城壁		151	5次Q-33 II adot1048№290
73-4	青磁	—	杯	口縁底部	12.8	3.6	8.0	4次	EF内裏込		東側城壁		149	
73-5	青磁	—	不明	蓋	2.8	—	—	4次	EF内 i		東側城壁		157	5次 I №91, 上成№455・7次 I №18・№137
73-6	白磁	E群	皿	完形	12.4	2.9	6.6	4次	EF内裏込		東側城壁		149	5次P-32 II a№488　5次P-32 II a№739
73-7	褐釉陶器	メナムノイ	大型壺	底部	—	—	19.0	4次	DE内裏込		東側城壁		139	7次P-32客土№23　4次SR2P-32 i №37
73-8	陶器	備前	擂鉢	口縁	—	—	—	4次	EF内裏込		東側城壁		131	
73-9	金属製品	鉄	釘	—	2.0	5.8	18.4	4次	DC内 i		東側城壁		104	
73-10	煙管	—	雁首	—	24.79	35.73	16.24	4次	DE内		東側城壁		143	一部欠損
73-11	石器	—	石斧	—	9.4	3.1	311.17	4次	DE内裏込		東側城壁		138	
73-12	石器	—	砥石	—	9.55	4.7	390.57	4次	DE内裏込		東側城壁		138	
73-13	石器	—	—	—	—	—	—	4次	EF内裏込		東側城壁		151	
80-1	坩場？	—	—	—	—	—	—	10次	R-32	—	SB084	—	90	西トレンチ
80-2	青磁	IV	碗	口縁	17.4	—	—	10次	R-32	II a	—	—	88	西トレンチ
80-3	青磁	IV	碗	口縁	18.4	—	—	10次	R-32	II a	—	—	88	西トレンチ
80-4	青磁	VI	碗	口縁	13.3	—	—	10次	R-32	i	SB07	—	96	西トレンチ
80-5	青磁	VI	碗	口縁	14.2	—	—	10次	Q-32	i	SB07	—	98	西トレンチ
80-6	青磁	IV	碗	底部	—	—	6.4	10次	Q-32	II b	—	—	33	西トレンチ
80-7	青磁	粗製碗	碗	底部	—	—	6.3	10次	R-32	i	SB07	—	96	西トレンチ
80-8	青磁	III'	碗	底部	—	—	4.2	10次	Q-32	II b	—	—	31	西トレンチ
80-9	青磁	V	皿	口縁	10.4	—	—	10次	Q-32	II b	—	—	48	西トレンチ
80-10	青磁	V	盤	口縁	23.6	—	—	10次	Q-32	II b	—	—	147	西トレンチ・10次№60・№27
80-11	青磁	V	盤	口縁	22.0	—	—	10次	Q-32	II b	—	—	60	西トレンチ
80-12	白磁	F群	碗	口縁	16.8	—	—	10次	Q-32	II b	—	—	146	西トレンチ
80-13	白磁	F群	碗	口縁	17.7	—	—	10次	Q-32	II b	—	—	98	西トレンチ
80-14	青花	肥前	碗	口縁	15.1	—	—	10次	R-32	i	SB08	—	90	西トレンチ
80-15	青花	肥前	碗	底部	—	—	4.9	10次	Q-32	II b	—	—	27	西トレンチ
80-16	玉	丸玉b2	明るい灰みの橙		4.76	5.76	0.13	10次	Q-32	i	SB07	—	97	西トレンチ
80-17	玉	丸玉b2	濃い青紫		4.09	5.56	0.22	10次	R-32	II a	SB07	—	93	西トレンチ
80-18	玉	丸玉b2	濃い赤紫		4.15	6.02	0.14	10次	R-32	II a	SB07	—	96	西トレンチ
80-19	玉	丸玉c	明るい灰		3.36	4.89	0.13	10次	Q-32	—	S1082	—	99	西トレンチ
80-20	玉	丸玉c	さえた黄		2.48	3.39	0.06	10次	Q-32	—	S1082	—	99	西トレンチ
80-21	銭貨	元豊通寶	北宋	1078年	24.13	1.17	3.39	10次	R-32	II a	—	—	88	西トレンチ
81-1	グスク土器	—	碗？	口縁	10.4	—	—	5次	P-31	IV	—	—	149	
81-2	グスク土器	—	不明	底部	—	—	7.8	5次	P-31	IV	—	958	152	
81-3	グスク土器	—	甕	口縁	13.1	—	—	5次	P-33	III c	—	—	256	
81-4	青磁	IV	碗	底部	—	—	5.7	5次	P-31	IIIa	—	956	140	
81-5	青磁	III	皿	底部	—	—	5.45	5次	P-33	III c	—	1033	275	
81-6	青磁	V	盤	底部	—	—	8.2	5次	P-33	III c	—	—	256	
81-7	青磁	V	碗	底部	—	—	8	5次	Q-33	IIIb	SB09下	999	215	最先行トレンチ
81-8	青磁	V	皿	完形	12.3	3.6	5.9	5次	Q-33	IIIb	—	1005	220	5P-33a№218・№224・dot1020№228・dot1009№234
81-9	青磁	V	皿	完形	12.1	3.2	6.0	5次	—	IIIb	—	993	209	
81-10	白磁	C2群	碗	口縁	14.2	—	—	5次	P-31	IIIa	—	—	146	
81-11	カムイヤキ	B群	壺	口縁	—	—	—	5次	Q-30	II d	—	—	713	
81-12	白磁	A群	碗	口縁	11.5	—	—	5次	P-33	II e	—	1063	305	
81-13	白磁	C2群	碗	口縁	—	—	—	5次	P-33	II e	—	—	269	
81-14	白磁	その他	碗	完形	14.5	7.50	5.4	10次	Q-32	II c	—	—	164	5次Q-32 II adot1127№392
81-15	玉	丸玉b2	明るい青		4.11	5.63	0.16	10次	Q-32	II c2	—	—	164	
82-1	グスク土器	—	壺	口縁	—	—	—	10次	Q-32	II a'	—	—	179	
82-2	グスク土器	—	壺	口縁	—	—	—	5次	P-31	II c	—	—	124	破片が小さい為、口径の復元はなし
82-3	グスク土器	—	鍋	口縁	14.7	—	—	10次	Q-30	I	—	—	233	
82-4	グスク土器	—	鍋	口縁	—	—	—	5次	Q-33	II c	—	—	195	破片が小さい為、口径の復元はなし
82-5	グスク土器	—	甕	口縁	—	—	—	7次	Q-33	I	—	—	200	破片が小さい為、口径の復元はなし
82-6	グスク土器	—	不明	口縁	9.1	—	—	7次	Q-34	—	SB07	—	221	
82-7	グスク土器	—	不明	底部	—	—	14.2	5次	Q-33	II a	—	1042	284	

第9表　出土遺物観察表（4）

図	種別	分類	器種(土製・赤・緑・国主)	部位 (銭=初鋳年)	器:口径 他:外径 銭:外径 単位=cm (銭・玉=mm)	器:高さ 厚さ 銭厚 単位=cm (銭・玉=mm)	器:底径 重量 (単位=g)	次	ﾌﾞﾘｯﾄﾞ	層	遺構	dot	No.	備考
82-8	グスク土器	—	不明	底部	—	—	15.5	5次	Q-33	Ⅱa	—	—	326	
82-9	グスク土器	—	不明	底部	—	—	23.7	5次	P-31	Ⅱc	—	—	145	
82-10	グスク土器	—	不明	底部	—	—	7.65	5次	P-32	Ⅱa	—	—	817	
82-11	宮古式土器	—	甕	口縁	19.0	—	—	5次	Q-33	Ⅱa	—	—	342	
82-12	宮古式土器	—	甕	口縁	26.0	—	—	7次	Q-32	Ⅱc	—	—	238	
82-13	宮古式土器	—	甕	口縁	31.54	—	—	5次	R-32	Ⅱa	—	1152	—	
82-14	宮古式土器	—	鉢?	口縁	36.7	—	—	5次	Q-32	—	SB07	—	419	5次SB07 I №375・№374
82-15	宮古式土器	—	壺	底部	—	—	16.0	5次	Q-32	Ⅱa	SB07	1146	—	
82-16	カムイヤキ	B群	壺	口縁	—	—	—	5次	Q-30	Ⅰ	—	—	620	
82-17	カムイヤキ	B群	壺	首	14.0	—	—	5次	R-32	Ⅱb	—	—	822	
82-18	カムイヤキ	B群	壺	底部	—	—	—	10次	Q-33	Ⅱa	—	—	4	
83-1	瓦質土器	沖縄産	鉢	口縁	24.9	—	—	7次	R-30	Ⅰ	—	—	13	
83-2	瓦質土器	沖縄産	鉢	口縁	19.8	—	—	5次	—	Ⅰ	—	—	2	
83-3	瓦質土器	沖縄産	鉢	口縁	—	—	—	7次	Q-32	—	SB07	—	131	
83-4	瓦質土器	沖縄産	鉢	口縁	—	—	—	5次	Q-32	Ⅰ	—	—	464	
83-5	瓦質土器	沖縄産	鉢	底部	—	—	15.2	5次	R-32	Ⅰ	—	—	417	
83-6	瓦質土器	沖縄産	不明	胴部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
83-7	瓦質土器	沖縄産	擂鉢	口縁	34.0	—	—	4次	Q-30	表採	—	—	68	
83-8	瓦質土器	沖縄産	擂鉢	口縁	—	—	—	7次	Q-32	Ⅱa	—	—	239	
83-9	瓦質土器	沖縄産	甕	口縁	13.3	—	—	10次	Q-32	—	SB07	714	5	
83-10	瓦質土器	沖縄産	蓋	口縁	27.8	—	—	5次	Q-31	Ⅰ	—	—	582	
83-11	瓦質土器	沖縄産	蓋	口縁	9.9	—	—	10次	Q-32	Ⅱa'	—	—	178	
83-12	焼締陶器	沖縄産	碗	完形	13.4	6.8	5.7	5次	Q-33	Ⅱb	—	919	35	
83-13	焼締陶器	沖縄産	碗	口縁胴部	10.3	6.0	5.5	5次	Q-32		SB07	—	374	SB07-328B07 I №375　7次R-32 I №8
83-14	焼締陶器	沖縄産	碗	完形	13.3	5.9	6.0	5次	Q-31	Ⅱa	—	—	623	SB8・SB40・SB4・SB・SB40・SB4・SB・SB・SB
83-15	焼締陶器	沖縄産	壺	胴部	—	—	—	7次	R-32	Ⅱa	—	1276	—	
83-16	焼締陶器	沖縄産	壺or瓶	底部	—	—	5.2	7次	R-31	Ⅰ	—	—	61	?Q-31 I №630　?Q-31 I №551
83-17	施釉陶器	沖縄産	碗	口縁	10.0	—	—	7次	R-32	Ⅰ	—	—	3	
83-18	施釉陶器	沖縄産	瓶	口縁	4.0	—	—	5次	Q-33	Ⅱa	—	—	161	Q-33№259
84-1	青磁	Ⅰ	碗	口縁	16.4	—	—	5次	R-32	Ⅰ	—	—	424	
84-2	青磁	Ⅰ	碗	口縁	—	—	—	5次	Q-31	Ⅰ	—	—	502	
84-3	青磁	Ⅱ	碗	口縁	14.8	—	—	4次	Q-30	表採	—	—	68	
84-4	青磁	Ⅱ	碗	口縁	—	—	—	5次	Q-32	—	SB07	—	427	
84-5	青磁	Ⅱ	碗	口縁	14.0	—	—	5次	P-33	Ⅰ	—	—	588	
84-6	青磁	Ⅱ	碗	口縁	16.0	—	—	7次	Q-34	—	SB07	—	221	5次R-33 I №13
84-7	青磁	Ⅱ	碗	口縁	16.2	—	—	5次	P-32	Ⅱa	—	—	817	
84-8	青磁	Ⅱ	碗	口縁	15.0	—	—	5次	Q-30	Ⅱa	—	—	507	
84-9	青磁	Ⅱ	碗	口縁	—	—	—	5次	P-30	Ⅱa	—	—	720	
84-10	青磁	Ⅱ	碗	口縁	—	—	—	5次	P-33	Ⅱa	—	—	159	
84-11	青磁	Ⅱ	碗	口縁	14.6	—	—	5次	P-33	Ⅱc	—	961	155	
84-12	青磁	Ⅱ	碗	口縁	16.8	—	—	5次	Q-33	Ⅱa	—	—	342	
84-13	青磁	Ⅱ	碗	口縁	15.5	—	—	5次	Q-32	Ⅰ	—	—	464	
84-14	青磁	Ⅱ	碗	口縁	16.40	—	—	5次	P-33	Ⅰ	—	—	158	
84-15	青磁	Ⅳ	碗	口縁	18.1	—	—	5次	P-33	Ⅱa	—	—	196	
84-16	青磁	Ⅴ	碗	口縁	16.2	—	—	5次	Q-30	Ⅱa	—	1171	520	
84-17	青磁	Ⅴ	碗	口縁	15.2	—	—	5次	Q-33	Ⅰ	—	—	55	
84-18	青磁	Ⅴ	碗	口縁	13.8	—	—	7次	R-32	Ⅱa	—	—	196	
84-19	青磁	Ⅴ	碗	口縁	15.3	—	—	5次	R-32	Ⅰ	—	—	432	
84-20	青磁	Ⅴ	碗	口縁	14.4	—	—	5次	Q-30	Ⅱb	—	—	500	
84-21	青磁	Ⅴ	碗	口縁	14.2	—	—	7次	R-32	Ⅰ	—	—	3	
84-22	青磁	Ⅴ	碗	口縁	—	—	—	5次	Q-31	Ⅰ	—	—	505	
84-23	青磁	Ⅴ	碗	口縁	—	—	—	7次	R-32	—	SB07	—	262	R-31・32
84-24	青磁	Ⅴ	碗	口縁	16.0	—	—	5次	P-33	Ⅱa	—	—	150	5次P-33 Ⅱa№588　5次P-33 Ⅱa№228
84-25	青磁	Ⅴ	碗	口縁	10.2	—	—	5次	Q-32	Ⅰ	—	—	363	
84-26	青磁	Ⅴ	碗	完形	13.7	7.4	5.4	5次	—	—	SB07	1240	791	5次Q-33 Ⅱb№167　5次Q-33 Ⅱb№44
84-27	青磁	Ⅴ	碗	完形	15.8	9.4	6.6	4次	—	表採	—	—	152	5次Q-31 I №502
84-28	青磁	Ⅴ	碗	完形	14.40	7.70	5.8	10次	Q-32	Ⅱb1	—	—	62	5次Q-32 Ⅱadot117№382
84-29	青磁	Ⅴ	碗	口縁	15.0	—	—	7次	R-32	Ⅱa'	—	—	123	
84-30	青磁	Ⅴ	碗	口縁	14.4	—	—	5次	P-33	Ⅰ	—	—	84	
84-31	青磁	Ⅴ	碗	口縁	15.30	—	—	5次	Q-31	Ⅱa	—	—	682	
84-32	青磁	Ⅴ	碗	口縁	18.0	—	—	5次	R-33	Ⅱa	—	960	154	5次Q-33 Ⅱadot936№64
84-33	青磁	Ⅵ	碗	完形	13.8	7.8	4.8	5次	P-33	Ⅱa	—	962	160	5次Q-33 I №47
84-34	青磁	Ⅵ	碗	口縁	12.2	—	—	5次	Q-32	Ⅱa	—	—	358	5次Q-32 I №381　5次Q-32 Ⅱa№485
84-35	青磁	Ⅵ	碗	口縁	14.2	—	—	5次	Q-33	Ⅱb	—	106	303	
84-36	青磁	Ⅵ	碗	口縁	12.0	—	—	5次	Q-33	Ⅱc	—	974	180	5次Ⅱc №195, I №47
85-37	青磁	Ⅵ	碗	口縁	12.2	—	—	5次	Q-32	—	SB07	—	359	7次R-32 I №14　5次Q-32SB07 I №359
85-38	青磁	Ⅵ	小碗	完形	8.0	5.4	3.3	5次	Q-33	Ⅱa	—	1054	296	
85-39	青磁	Ⅵ	碗	完形	11.8	7.65	4.6	5次	P-31	Ⅱb	—	1232	753	5次Q-33 Ⅱadot1039№281
85-40	青磁	Ⅵ	碗	完形	12.7	8.4	5.2	5次	P-32	Ⅱa	—	—	485	5次 I №356・№14・№481・№884
85-41	青磁	Ⅵ	碗	口縁底部	13.0	—	4.7	5次	Q-31	Ⅱb	—	—	673	5次 I №740・Ⅱa№723・7次 I №137・№140
85-42	青磁	Ⅵ	碗	完形	13.8	7.9	5.0	5次	P-33	Ⅰ	—	—	11	5次 I №32・№83, №191・7次R-32 I №38
85-43	青磁	Ⅵ	碗	口縁底部	15.7	—	5.5	5次	Q-32	Ⅱa	—	—	358	5次581 I №412, Ⅱa№676・7次S-31 I №20
85-44	青磁	Ⅵ	碗	完形	13.8	7.4	4.9	5次	Q-33	—	SB07	1241	792	5次Ⅱa№722・№205, I №94　6次581 I №197
85-45	青磁	Ⅵ	碗	完形	13.2	6.8	5.2	5次	Q-33	Ⅱa	—	—	73	5次Q-33Ⅱa№49・№45・5次Q-33Ⅱa№49・№45
85-46	青磁	Ⅵ	碗	口縁	14.0	—	—	7次	Q-33	Ⅰ	—	—	172	
85-47	青磁	Ⅵ	碗	底部	5.3	—	—	7次	R-31	Ⅱa	—	1276	160	
85-48	青磁	Ⅵ	碗	口縁	14.1	—	—	5次	Q-33	Ⅰ	—	—	231	5次Q-33 I №55
85-49	青磁	Ⅵ	碗	口縁	14.0	—	—	5次	Q-33	Ⅱa	—	1059	301	5次P-31SB1 I №981
85-50	青磁	Ⅵ	碗	完形	13.7	6.1	4.8	5次	R-32	Ⅰ	—	—	424	7次 I №5・№3/5次 I №411
85-51	青磁	Ⅶ	碗	口縁	12.0	—	—	7次	Q-32	—	SB07	—	212	SB・SB40・SB7・SB・SB・SB40・SB40
85-52	青磁	Ⅶ	碗	口縁	13.4	—	—	7次	R-32	—	SB07	1283	168	5次Q-32 I №411
85-53	青磁	Ⅶ	碗	完形	13.80	6.0	5.4	5次	Q-32	Ⅱa	—	—	357	5次P-32 I №481　7次R-32 Ⅱa№167
85-54	青磁	稚製碗	碗	完形	16.40	6.00	5.60	5次	P-33	Ⅱa	—	967	173	5次Ⅱa№150・Ⅱa№199, Ⅱb№506

第9表　出土遺物観察表（5）

図	種別	分類	[illegible]	部位（銭=初鋳年）	器：口径 他：外径 銭：外径 単位＝cm（銭・玉=mm）	器：高さ 厚さ 銭厚 単位＝cm（銭・玉=mm）	器：底径 重量（単位=g）	次	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	層	遺構	dot	No.	備考
85-55	青磁	粗製碗	碗	完形	17.6	5.7	5.4	5次	R-33	IIa	—	1069	311	[illegible]
85-56	青磁	粗製碗	碗	口縁底部	16.4	5.3	6.4	5次	Q-32	—	SB07	1153	491	[illegible]
85-57	青磁	粗製碗	碗	口縁	16.2	6.0	6.2	5次	Q-31	IIa	—	—	632	7次Ba' №289・№288・5次Ⅰ№302・№746
85-58	青磁	粗製碗	碗	完形	19.2	5.7	6.9	5次	P-32	IIc	—	—	717	[illegible]
86-59	青磁	I	碗	底部	—	—	5.2	5次	Q-30	IIa	—	—	506	
86-60	青磁	I	碗	底部	—	—	5.9	5次	Q-33	I	—	—	55	
86-61	青磁	I	碗	底部	—	—	5.4	7次	R-31	I	—	—	61	
86-62	青磁	I	碗	底部	—	—	5.4	5次	R-31	I	—	—	746	
86-63	青磁	I	碗	底部	—	—	5.2	7次	R-32	I	—	—	14	
86-64	青磁	I	碗	底部	—	—	5.6	7次	S-32	I	—	—	141	
86-65	青磁	II	碗	底部	—	—	5.3	7次	R-32	I	—	—	14	
86-66	青磁	II	碗	底部	—	—	4.8	7次	R-31	I	—	—	70	
86-67	青磁	II	碗	底部	—	—	5.2	5次	P-32	IIa	—	—	818	
86-68	青磁	III	碗	底部	—	—	3.6	5次	Q-32	I	—	—	369	
86-69	青磁	III	碗	底部	—	—	3.9	5次	P-31	I	—	—	100	
86-70	青磁	IV	碗	底部	—	—	4.8	5次	R-32	I	—	—	432	
86-71	青磁	IV	碗	底部	—	—	4.0	5次	Q-31	I	—	—	544	
86-72	青磁	IV	碗	底部	—	—	5.4	5次	P-33	IIc	—	1029	264	
86-73	青磁	IV	碗	底部	—	—	4.6	5次	Q-31	I	—	—	530	
86-74	青磁	IV	碗	底部	—	—	4.8	5次	Q-33	IIa	—	971	177	5次Q-33Ⅰ№28
86-75	青磁	V	碗	底部	—	—	6.0	5次	P-33	IIa	—	1011	234	
86-76	青磁	V	碗	底部	—	—	6.4	5次	R-30	I	—	—	764	7次Q-31SB07ⅰ№101
86-77	青磁	V	碗	底部	—	—	5.80	5次	P-32	IIa	—	—	818	
86-78	青磁	V	碗	底部	—	—	4.0	5次	Q-32	I	—	—	463	10次R-32Ⅰ№242　高台抉り無し
86-79	青磁	V	碗	底部	—	—	6.2	7次	R-31	I	—	—	67	7次Ⅰ№112・5次Ⅰ№476・№549
86-80	青磁	V	碗	底部	—	—	5.40	5次	P-33	IIa	—	969	175	
86-81	青磁	V	碗	底部	—	—	6.00	5次	Q-33	IIc	—	—	355	5次P-32ⅡaNo.818
86-82	青磁	V	碗	底部	—	—	4.9	5次	Q-32	—	SB07	—	374	5次Q-32Ⅰ№468
86-83	青磁	V	碗	底部	—	—	6.1	5次	P-32	IIa	—	1157	494	[illegible]
87-84	青磁	同安窯系	皿	完形	9.3	2.1	5.1	5次	Q-30	IIa	—	—	509	
87-85	青磁	同安窯系	皿	口縁	12.2	—	—	5次	P-33	IIc	—	1023	246	
87-86	青磁	V	皿	完形	11.8	4.4	5.2	5次	Q-32	IIa	—	1119	384	[illegible]
87-87	青磁	V	皿	完形	11.0	3.2	5.8	5次	Q-33	IIc	—	—	355	[illegible]
87-88	青磁	V	皿	完形	11.8	3.6	6.0	5次	P-33	IIa	—	954	138	5次P-33IIaNo.787
87-89	青磁	V	皿	完形	11.8	3.75	5.4	5次	P-32	IIc	—	—	679	[illegible]
87-90	青磁	V	皿	口縁	12.1	—	—	5次	P-31	IIc	—	—	124	[illegible]
87-91	青磁	V	皿	口縁	12.0	—	—	5次	P-32	IIc	—	—	679	[illegible]
87-92	青磁	V	皿	口縁	12.8	—	—	7次	—	IIc	—	—	238	5次Q-32Ⅰ№412
87-93	青磁	V	皿	完形	10.5	3.1	5.2	10次	Q-32	—	SB07	—	59	[illegible]
87-94	青磁	V	皿	完形	9.9	3.0	4.8	7次	Q-31	IIa	—	—	88	4次P-32SB2ⅰ№117
87-95	青磁	V	皿	完形	7.9	2.5	4.2	7次	R-32	I	—	—	44	
87-96	青磁	V	皿	完形	8.6	3.6	4.0	7次	Q-32	IIc	—	—	225	4次P-33右撤去№147
87-97	青磁	V	皿	完形	8.6	3.1	4.2	5次	Q-32	IIa	—	1138	403	[illegible]
87-98	青磁	V	皿	完形	8.0	2.4	5.3	5次	Q-33	IIb	—	992	38	[illegible]
87-99	青磁	V	皿	完形	8.3	2.3	4.7	10次	R-32	—	SB07	—	93	5次Q-32IIaNo.358
87-100	青磁	V	皿	完形	10.4	3.2	5.2	5次	Q-33	IIa	—	—	265	7次Ⅰ№93・№20/5次Ⅰ№463・№5
87-101	青磁	V	皿	完形	11.8	3.5	5.8	5次	Q-33	IIa	—	1066	308	
87-102	青磁	V	皿	完形	11.6	4.0	6.8	7次	Q-33	IIa	—	—	161	5次Q-31IIadot1222No.695
87-103	青磁	V	皿	口縁	14.4	—	—	7次	R-32	IIa'	—	—	207	
87-104	青磁	V	皿	口縁	11.0	—	—	5次	P-31	IIa	—	1023	246	5次Q-31Ⅰ№630
87-105	青磁	V	皿	完形	14.7	3.9	6.8	7次	S-31	I	—	—	29	5次Q-31Ⅰ№544　5次R-32Ⅰ№3
87-106	青磁	V	皿	完形	12.2	3.50	6.00	5次	Q-33	I	—	—	47	
87-107	青磁	VI	皿	口縁	10.8	—	—	10次	Q-32	IIa	—	—	23	
87-108	青磁	VI	皿	完形	9.9	2.6	5.8	5次	P-33	IIa	—	—	126	[illegible]
87-109	青磁	VI	皿	口縁底部	12.0	—	4.8	5次	Q-30	IIa	—	—	508	[illegible]
87-110	青磁	VII	皿	完形	11.0	2.8	4.4	5次	Q-32	—	SB07	—	427	5次Ⅰ№851　7次Q-33Ⅰ№259
87-111	青磁	VI	皿	完形	11.2	3.3	5.8	5次	Q-32	I	—	—	477	5次Q-32Ⅰ№363
87-112	青磁	III	皿	底部	—	—	6.4	5次	P-30	I	—	—	354	
87-113	青磁	III	皿	底部	—	—	5.8	5次	P-33	IIa	—	959	153	
87-114	青磁	IV	皿	底部	—	—	4.6	7次	R-32	I	—	—	264	
87-115	青磁	V	皿	底部	—	—	6.4	5次	P-33	IIa	—	—	168	5次P-33Ⅰ№84　7次Q-33Ⅰ№259
87-116	青磁	VI	皿	底部	—	—	5.2	7次	Q-31	IIa	—	—	88	5次Q-30IIaNo.507
87-117	青磁	V	皿	底部	—	—	4.8	5次	R-31	I	—	—	741	5次Ⅰ№689　R-31Ⅰ№17or67
87-118	青磁	景徳鎮系	皿	口縁底部	12.4	—	6.40	5次	Q-31	IIa	—	—	629	5次IIaNo.826・№724・7次Ⅰ№191
88-119	青磁	—	盤	底部	—	—	7.0	5次	Q-30	IIa	—	1172	521	
88-120	青磁	—	盤	完形	28.2	4.4	11.0	5次	Q-32	IIc	—	1199	656	[illegible]
88-121	青磁	—	盤	口縁底部	34.80	8.1	17.4	5次	Q-32	IIa	—	1136	401	[illegible]
88-122	青磁	—	盤	口縁	25.80	—	—	5次	Q-32	IIa	—	1128	393	
88-123	青磁	—	盤	口縁	24.0	—	—	5次	Q-32	IIa	—	1129	394	
88-124	青磁	—	盤	底部	—	—	15.2	5次	Q-32	IIa	—	112	380	4次Q-30表採No.50
88-125	青磁	—	無文杯	完形	10.2	3.8	5.7	5次	P-31	IIc	—	—	133	
88-126	青磁	—	杯	完形	13.5	3.5	8.6	5次	P-32	IIa	—	—	816	5次P-33Ⅰ№158
88-127	青磁	—	杯	口縁	18.2	—	—	5次	P-33	IIa	—	979	—	
88-128	青磁	—	杯	完形	8.6	4.7	3.6	5次	P-33	IIa	—	985	191	5次IIaNo.817・№169・№130・№180
88-129	青磁	—	杯	口縁	8.6	—	—	5次	P-33	I	—	—	158	5次P-33Ⅰ№84
88-130	青磁	—	杯	口縁	5.1	—	—	7次	R-32	—	SB07	—	136	5次P-33Ⅰ№84
88-131	青磁	—	杯	口縁	7.3	—	—	5次	R-31	I	—	—	686	5次R-31Ⅰ№689　5次Ⅰ№689
88-132	青磁	—	小杯	完形	6.4	3.5	2.2	7次	R-32	IIa	—	—	118	7次Ⅰ№7・№17・1次表採No.69
88-133	青磁	—	小杯	底部	—	—	2.4	5次	Q-32	I	—	—	362	
88-134	青磁	—	小杯	底部	—	—	3.4	5次	Q-30	IIa	—	—	506	5次Q-30Ⅰ№332
88-135	青磁	—	杯	底部	—	—	7.0	5次	Q-31	I	—	582	—	7次Ⅰ№137・№7・№70
88-136	青磁	—	瓶	口縁胴部	6.40	—	—	7次	Q-32	—	SB07	—	420	[illegible]
88-137	青磁	—	瓶	胴部底部	—	—	7.2	10次	Q-32	—	SB07	—	5	7次R-31表土№104　10次表採№254

第９表　出土遺物観察表（６）

図	種別	分類	器種(土製品-名)(石-器名)	部位 (銭=初鋳年)	器:口径 他:外径 銭:外径 単位=cm (銭・玉=mm)	器:高さ 厚さ 銭厚 単位=cm (銭・玉=mm)	器:底径 重量 (単位=g)	次	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	層	遺構	dot	No.	備考
88-138	青磁	—	瓶	頸部	—	—	—	5次	Q-32	Ⅱa	—	1118	383	7次R-32Ⅰ№137
88-139	青磁	—	三足香炉	完形	4.7	4.6	3.3	10次	Q-33	Ⅱa	—	—	3	5次Ⅰ№4・№566, R-33Ⅱa№109
89-140	青磁	—	擂鉢	口縁・胴部	13.9	—	—	5次	Q-33	Ⅱa	—	933	56	5次Q-32Ⅰ№460　7次S-32第土№59
89-141	青磁	—	蓋	口縁	—	—	—	5次	P-33	Ⅱa	—	972	178	
89-142	青磁	—	壺	口縁	—	—	—	10次	Q-31	Ⅱa	—	—	137	
89-143	青磁	—	壺	口縁	15.00	—	—	4次	Q-30	表採	—	—	68	
89-144	青磁	—	壺	底部	—	—	18.6	5次	P-21	Ⅱa	—	—	722	5次P-31Ⅱadot1218№670
89-145	青磁	—	壺	底部	—	—	10.6	5次	Q-31	Ⅰ	—	—	558	
89-146	青磁	—	壺	底部	—	—	7.9	7次	S-31	Ⅰ	—	—	132	
90-1	白磁	A群	碗	口縁	13.1	—	—	5次	R-31	Ⅰ	—	—	746	
90-2	白磁	A群	碗	口縁	13.8	—	—	5次	R-30	Ⅰ	—	—	779	
90-3	白磁	F群	碗	口縁部	18.00	—	—	5次	Q-33	Ⅱa	—	—	325	5次Q-33Ⅱa№323
90-4	白磁	C2群	碗	口縁	14.6	—	—	5次	P-33	Ⅱa	—	1981	187	
90-5	白磁	C2群	碗	完形	17.9	6.0	4.9	5次	P-33	Ⅱc	—	1034	276	5次Ⅰ№438, Ⅱadot1009№224・dot1009
90-6	白磁	C2群	碗	口縁	15.4	—	—	5次	P-33	Ⅱa	—	991	—	
90-7	白磁	C3群	碗	口縁	19.1	—	—	5次	Q-30	Ⅱa	—	—	507	
90-8	白磁	C3群	碗	口縁	17.8	—	—	7次	R-31・R-32	—	SB07	—	262	
90-9	白磁	C3群	碗	口縁	16.7	—	—	10次	Q-33	Ⅱa	—	—	4	
90-10	白磁	D'群	碗	口縁底部	13.5	4.3	3.9	5次	Q-32	—	SB07	—	75	5次Ⅰ№30, Ⅱadot1190№338・7次Ⅱa№7
90-11	白磁	D'群	碗	口縁	14.7	—	—	5次	P-32	—	ｶｸﾗﾝ	—	444	ｶｸﾗﾝ土坑 i
90-12	白磁	D'群	碗	口縁	17.3	—	—	10次	Q-32	—	SB07	—	—	10次Q-32SB07Ⅰ№5
90-13	白磁	E群	小碗	完形	9.8	4.7	4.1	5次	—	—	SB07	1126	39	5次Q-32Ⅱadot1140№405
90-14	白磁	E群	碗	口縁	14.6	—		5次	Q-32	—	Ⅱc	—	164	
90-15	白磁	その他	碗	口縁	14.5	—	—	10次	Q-33	—	Ⅱa	—	198	
90-16	白磁	D群	碗	口縁	13.5	—	—	5次	Q-33	—	Ⅱa	—	257	7次Q-33Ⅱa№173
90-17	白磁	D群	碗	口縁	12.5	—	—	5次	Q-32	—	Ⅱa	—	357	7次Q-32Ⅰ№201
90-18	白磁	その他	碗	口縁	15.1	—	—	5次	P-33	Ⅱc	—	1020	243	
90-19	白磁	その他	碗	口縁	—	—	—	7次	R-31	Ⅰ	—	—	61	
90-20	白磁	A群	碗	底部	—	—	10.2	5次	P-30	Ⅰ	—	—	350	
90-21	白磁	F群	碗	底部	—	—	4.8	5次	P-31	Ⅱa	—	—	677	5次R-30Ⅰ№？79
90-22	白磁	F群	碗	底部	—	—	6.3	5次	Q-31	Ⅰ	—	—	549	7次R-32Ⅰ№19
90-23	白磁	F群	碗	底部	—	—	6.3	5次	P-33	Ⅱc	—	989	205	
90-24	白磁	F群	碗	底部		—	7.8	5次	P-33	Ⅱc	—	1213	—	
90-25	白磁	C2群	碗	底部	—	—	4.8	5次	R-32	Ⅰ	—	—	424	
90-26	白磁	C2群	碗	底部	—	—	6.8	10次	Q-33	Ⅱa	—	—	13	
90-27	白磁	C2群	碗	底部	—	—	4.2	7次	P-32	Ⅱa	—	—	820	4次Q-30表採№30　5次Q-32Ⅰ№468
90-28	白磁	C2群	碗	底部	—	—	4.7	7次	R-32	Ⅱa'	—	1273	145	
90-29	白磁	C3群	碗	底部	—	—	5.0	5次	Q-31	Ⅰ	—	—	566	5次Q-31Ⅰ№330　5次R-30Ⅰ№579
90-30	白磁	G群	碗	底部	—	—	5.9	10次	Q-32	—	SB07	—	75	
90-31	白磁	D群	碗	底部	—	—	4.3	10次	Q-32	—	SB07	—	75	5次Q-32SB07ﾄﾚﾝﾁ226/ｻﾌﾞNo43
90-32	白磁	D群	碗	底部	—	—	4.3	5次	Q-33	—	Ⅱa	912	23	
90-33	白磁	D群	碗	底部	—	—	4.0	5次	Q-32	Ⅰ	—	—	411	
90-34	白磁	D群	碗	底部	—	—	3.7	5次	Q-31	Ⅰ	—	—	623	
91-35	白磁	A群	Ⅲ	口縁	16.0	—	—	7次	R-33	Ⅱa	—	1289	176	
91-36	白磁	A群	Ⅲ	口縁	11.2	—	—	7次	Q-32	Ⅱa	—	—	219	
91-37	白磁	A群	Ⅲ	口縁	12.2	—	—	5次	Q-33	Ⅰ	—	—	40	5次Q-33Ⅰ№43
91-38	白磁	A群	Ⅲ	口縁	9.5	—	—	5次	Q-33	Ⅱa	—	—	259	
91-39	白磁	C群	Ⅲ	口縁	12.7	—	—	5次	Q-33	Ⅰ	—	—	4	
91-40	白磁	A群	Ⅲ	底部	—	—	5.6	5次	Q-33	Ⅱa	—	—	265	
91-41	白磁	A群	Ⅲ	底部	—	—	10.2	5次	Q-31	Ⅱa	—	1224	—	
91-42	白磁	A群	Ⅲ	底部	—	—	5.3	7次	R-33	Ⅱa	—	1288	175	7次R-32Ⅰ№14
91-43	白磁	D群	Ⅲ	口縁	9.2	—		5次	Q-30	Ⅱa	—	—	507	
91-44	白磁	D群	Ⅲ	底部	—	—	3.9	5次	Q-33	Ⅱa	—	1056	298	
91-45	白磁	D群	Ⅲ	底部	—	—	3.0	7次	R-31・32	—	SB07	—	262	
91-46	白磁	D'群	灯明皿	完形	7.7	2.0	3.7	5次	Q-30	Ⅱa	—	—	508	5次Q-32Ⅰ№468　？Q-33Ⅰ№15
91-47	白磁	E群	Ⅲ	完形	16.5	3.3	9.0	5次	R-32	Ⅰ	—	—	438	5次R-32Ⅰ№457
91-48	白磁	E群	Ⅲ	完形	11.4	2.2	6.3	7次	Q-33	Ⅱa	—	—	173	7次R-32Ⅱa' dot1294№213
91-49	白磁	E群	Ⅲ	完形	14.2	3.5	8.0	5次	Q-33	Ⅱa	—	1067	309	7次Q-33Ⅱa№173
91-52	白磁	E群	Ⅲ	完形	12.5	2.7	6.7	7次	R-32	Ⅰ	—	—	3	5次Q-32Ⅰ№369・№710・№370
91-53	白磁	E群	Ⅲ	完形	11.7	2.8	6.0	5次	Q-31	Ⅱa	—	—	724	5次Q-33Ⅰ№33　5次Q-33Ⅰ№40
91-54	白磁	E群	Ⅲ	完形	11.4	2.8	6.1	5次	Q-32	—	SB07	—	375	4次R-32Ⅰ№417　10次Q-32SB07ﾄﾚﾝﾁ№89
91-55	白磁	E群	Ⅲ	完形	11.6	2.9	7.0	7次	Q-32	—	SB07	—	212	
91-56	白磁	E群	Ⅲ	完形	10.8	2.3	6.0	5次	Q-32	—	SB07	—	418	5次P-32Ⅰ№441, Ⅱadot1405, ｶｸﾗﾝ32Ⅰ№488
91-57	白磁	E群	Ⅲ	完形	11.8	2.4	6.2	5次	Q-32	—	SB07	—	4	7次R-32Ⅱa・dot1176・1次P-31Ⅰ№40, P-32SB07ﾄﾚﾝﾁ1
91-58	白磁	E群	Ⅲ	口縁底部	12.0	2.7	6.0	5次	P-31	Ⅱa	—	—	677	5次Q-32Ⅰ№369, Ⅱa№
91-59	白磁	E群	Ⅲ	完形	12.3	2.5	6.7	7次	Q-31	Ⅱa	—	—	88	SB07ﾄﾚﾝﾁ79・dot1・dot2・dot3・dot4・dot5・dot6・dot7・dot8・dot9・dot10・dot11・dot12・dot13・dot14・dot15・dot16・dot17・dot18・dot19・dot20・dot21・dot22・dot23・dot24・dot25・dot26・dot27・dot28・dot29・dot30・dot31・dot32・dot33・dot34・dot35・dot36・dot37・dot38・dot39・dot40・dot41・dot42・dot43・dot44・dot45・dot46・dot47・dot48・dot49・dot50・dot51・dot52・dot53・dot54・dot55・dot56・dot57・dot58・dot59・dot60・dot61・dot62・dot63・dot64・dot65・dot66・dot67・dot68・dot69・dot70・dot71・dot72・dot73・dot74・dot75・dot76・dot77・dot78・dot79・dot80・dot81・dot82・dot83・dot84・dot85・dot86・dot87・dot88・dot89・dot90・dot91・dot92・dot93・dot94・dot95・dot96・dot97・dot98・dot99・dot100・dot101・dot102・dot103・dot104・dot105・dot106・dot107・dot108・dot109・dot110・dot111・dot112・dot113・dot114・dot115・dot116・dot117・dot118・dot119・dot120・dot121・dot122・dot123・dot124・dot125・dot126・dot127・dot128・dot129・dot130・dot131・dot132・dot133・dot134・dot135・dot136・dot137・dot138・dot139・dot140・dot141・dot142・dot143・dot144・dot145・dot146・dot147・dot148・dot149・dot150・dot151・dot152・dot153・dot154・dot155・dot156・dot157・dot158・dot159・dot160・dot161・dot162・dot163・dot164・dot165・dot166・dot167・dot168・dot169・dot170・dot171・dot172・dot173・dot174・dot175・dot176・dot177・dot178・dot179・dot180・dot181・dot182・dot183・dot184・dot185・dot186・dot187・dot188・dot189・dot190・dot191・dot192・dot193・dot194・dot195・dot196・dot197・dot198・dot199・dot200・dot201・dot202・dot203・dot204・dot205・dot206・dot207・dot208・dot209・dot210・dot211・dot212・dot213・dot214・dot215・dot216・dot217・dot218・dot219・dot220・dot221・dot222・dot223・dot224・dot225・dot226・dot227・dot228・dot229・dot230・dot231・dot232・dot233・dot234・dot235・dot236・dot237・dot238・dot239・dot240・dot241・dot242・dot243・dot244・dot245・dot246・dot247・dot248・dot249・dot250・dot251・dot252・dot253・dot254・dot255・dot256・dot257・dot258・dot259・dot260・dot261・dot262・dot263・dot264・dot265・dot266・dot267・dot268・dot269・dot270・dot271・dot272・dot273・dot274・dot275・dot276・dot277・dot278・dot279・dot280・dot281・dot282・dot283・dot284・dot285・dot286・dot287・dot288・dot289・dot290・dot291・dot292・dot293・dot294・dot295・dot296・dot297・dot298・dot299・dot300・dot301・dot302・dot303・dot304・dot305・dot306・dot307・dot308・dot309・dot310・dot311・dot312・dot313・dot314・dot315・dot316・dot317・dot318・dot319・dot320・dot321・dot322・dot323・dot324・dot325・dot326・dot327・dot328・dot329・dot330・dot331・dot332・dot333・dot334・dot335・dot336・dot337・dot338・dot339・dot340・dot341・dot342・dot343・dot344・dot345・dot346・dot347・dot348・dot349・dot350・dot351・dot352・dot353・dot354・dot355・dot356・dot357・dot358・dot359・dot360・dot361・dot362・dot363・dot364・dot365・dot366・dot367・dot368・dot369・dot370・dot371・dot372・dot373・dot374・dot375・dot376・dot377・dot378・dot379・dot380・dot381・dot382・dot383・dot384・dot385・dot386・dot387・dot388・dot389・dot390・dot391・dot392・dot393・dot394・dot395・dot396・dot397・dot398・dot399・dot400・dot401・dot402・dot403・dot404・dot405・dot406・dot407・dot408・dot409・dot410・dot411・dot412・dot413・dot414・dot415・dot416・dot417・dot418・dot419・dot420・dot421・dot422・dot423・dot424・dot425・dot426・dot427・dot428・dot429・dot430・dot431・dot432・dot433・dot434・dot435・dot436・dot437・dot438・dot439・dot440・dot441・dot442・dot443・dot444・dot445・dot446・dot447・dot448・dot449・dot450・dot451・dot452・dot453・dot454・dot455・dot456・dot457・dot458・dot459・dot460・dot461・dot462・dot463・dot464・dot465・dot466・dot467・dot468・dot469・dot470・dot471・dot472・dot473・dot474・dot475・dot476・dot477・dot478・dot479・dot480・dot481・dot482・dot483・dot484・dot485・dot486・dot487・dot488・dot489・dot490・dot491・dot492・dot493・dot494・dot495・dot496・dot497・dot498・dot499・dot500・dot501・dot502・dot503・dot504・dot505・dot506・dot507・dot508・dot509・dot510・dot511・dot512・dot513・dot514・dot515・dot516・dot517・dot518・dot519・dot520・dot521・dot522・dot523・dot524・dot525・dot526・dot527・dot528・dot529・dot530・dot531・dot532・dot533・dot534・dot535・dot536・dot537・dot538・dot539・dot540・dot541・dot542・dot543・dot544・dot545・dot546・dot547・dot548・dot549・dot550・dot551・dot552・dot553・dot554・dot555・dot556・dot557・dot558・dot559・dot560・dot561・dot562・dot563・dot564・dot565・dot566・dot567・dot568・dot569・dot570・dot571・dot572・dot573・dot574・dot575・dot576・dot577・dot578・dot579・dot580・dot581・dot582・dot583・dot584・dot585・dot586・dot587・dot588・dot589・dot590・dot591・dot592・dot593・dot594・dot595・dot596・dot597・dot598・dot599・dot600・dot601・dot602・dot603・dot604・dot605・dot606・dot607・dot608・dot609・dot610・dot611・dot612・dot613・dot614・dot615・dot616・dot617・dot618・dot619・dot620・dot621・dot622・dot623・dot624・dot625・dot626・dot627・dot628・dot629・dot630・dot631・dot632・dot633・dot634・dot635・dot636・dot637・dot638・dot639・dot640・dot641・dot642・dot643・dot644・dot645・dot646・dot647・dot648・dot649・dot650・dot651・dot652・dot653・dot654・dot655・dot656・dot657・dot658・dot659・dot660・dot661・dot662・dot663・dot664・dot665・dot666・dot667・dot668・dot669・dot670・dot671・dot672・dot673・dot674・dot675・dot676・dot677・dot678・dot679・dot680・dot681・dot682・dot683・dot684・dot685・dot686・dot687・dot688・dot689・dot690・dot691・dot692・dot693・dot694・dot695・dot696・dot697・dot698・dot699・dot700・dot701・dot702・dot703・dot704・dot705・dot706・dot707・dot708・dot709・dot710・dot711・dot712・dot713・dot714・dot715・dot716・dot717・dot718・dot719・dot720・dot721・dot722・dot723・dot724・dot725・dot726・dot727・dot728・dot729・dot730・dot731・dot732・dot733・dot734・dot735・dot736・dot737・dot738・dot739・dot740・dot741・dot742・dot743・dot744・dot745・dot746・dot747・dot748・dot749・dot750・dot751・dot752・dot753・dot754・dot755・dot756・dot757・dot758・dot759・dot760・dot761・dot762・dot763・dot764・dot765・dot766・dot767・dot768・dot769・dot770・dot771・dot772・dot773・dot774・dot775・dot776・dot777・dot778・dot779・dot780・dot781・dot782・dot783・dot784・dot785・dot786・dot787・dot788・dot789・dot790・dot791・dot792・dot793・dot794・dot795・dot796・dot797・dot798・dot799・dot800・dot801・dot802・dot803・dot804・dot805・dot806・dot807・dot808・dot809・dot810・dot811・dot812・dot813・dot814・dot815・dot816・dot817・dot818・dot819・dot820・dot821・dot822・dot823・dot824・dot825・dot826・dot827・dot828・dot829・dot830・dot831・dot832・dot833・dot834・dot835・dot836・dot837・dot838・dot839・dot840・dot841・dot842・dot843・dot844・dot845・dot846・dot847・dot848・dot849・dot850・dot851・dot852・dot853・dot854・dot855・dot856・dot857・dot858・dot859・dot860・dot861・dot862・dot863・dot864・dot865・dot866・dot867・dot868・dot869・dot870・dot871・dot872・dot873・dot874・dot875・dot876・dot877・dot878・dot879・dot880・dot881・dot882・dot883・dot884・dot885・dot886・dot887・dot888・dot889・dot890・dot891・dot892・dot893・dot894・dot895・dot896・dot897・dot898・dot899・dot900・dot901・dot902・dot903・dot904・dot905・dot906・dot907・dot908・dot909・dot910・dot911・dot912・dot913・dot914・dot915・dot916・dot917・dot918・dot919・dot920・dot921・dot922・dot923・dot924・dot925・dot926・dot927・dot928・dot929・dot930・dot931・dot932・dot933・dot934・dot935・dot936・dot937・dot938・dot939・dot940・dot941・dot942・dot943・dot944・dot945・dot946・dot947・dot948・dot949・dot950・dot951・dot952・dot953・dot954・dot955・dot956・dot957・dot958・dot959・dot960・dot961・dot962・dot963・dot964・dot965・dot966・dot967・dot968・dot969・dot970・dot971・dot972・dot973・dot974・dot975・dot976・dot977・dot978・dot979・dot980・dot981・dot982・dot983・dot984・dot985・dot986・dot987・dot988・dot989・dot990・dot991・dot992・dot993・dot994・dot995・dot996・dot997・dot998・dot999・dot1000・dot1001・dot1002・dot1003・dot1004・dot1005・dot1006・dot1007・dot1008・dot1009・dot1010・dot1011・dot1012・dot1013・dot1014・dot1015・dot1016・dot1017・dot1018・dot1019・dot1020・dot1021・dot1022・dot1023・dot1024・dot1025・dot1026・dot1027・dot1028・dot1029・dot1030・dot1031・dot1032・dot1033・dot1034・dot1035・dot1036・dot1037・dot1038・dot1039・dot1040・dot1041・dot1042・dot1043・dot1044・dot1045・dot1046・dot1047・dot1048・dot1049・dot1050・dot1051・dot1052・dot1053・dot1054・dot1055・dot1056・dot1057・dot1058・dot1059・dot1060・dot1061・dot1062・dot1063・dot1064・dot1065・dot1066・dot1067・dot1068・dot1069・dot1070・dot1071・dot1072・dot1073・dot1074・dot1075・dot1076・dot1077・dot1078・dot1079・dot1080・dot1081・dot1082・dot1083・dot1084・dot1085・dot1086・dot1087・dot1088・dot1089・dot1090・dot1091・dot1092・dot1093・dot1094・dot1095・dot1096・dot1097・dot1098・dot1099・dot1100・dot1101・dot1102・dot1103・dot1104・dot1105・dot1106・dot1107・dot1108・dot1109・dot1110・dot1111・dot1112・dot1113・dot1114・dot1115・dot1116・dot1117・dot1118・dot1119・dot1120・dot1121・dot1122・dot1123・dot1124・dot1125・dot1126・dot1127・dot1128・dot1129・dot1130・dot1131・dot1132・dot1133・dot1134・dot1135・dot1136・dot1137・dot1138・dot1139・dot1140・dot1141・dot1142・dot1143・dot1144・dot1145・dot1146・dot1147・dot1148・dot1149・dot1150・dot1151・dot1152・dot1153・dot1154・dot1155・dot1156・dot1157・dot1158・dot1159・dot1160・dot1161・dot1162・dot1163・dot1164・dot1165・dot1166・dot1167・dot1168・dot1169・dot1170・dot1171・dot1172・dot1173・dot1174・dot1175・dot1176・dot1177・dot1178・dot1179・dot1180・dot1181・dot1182・dot1183・dot1184・dot1185・dot1186・dot1187・dot1188・dot1189・dot1190・dot1191・dot1192・dot1193・dot1194・dot1195・dot1196・dot1197・dot1198・dot1199・dot1200・dot1201・dot1202・dot1203・dot1204・dot1205・dot1206・dot1207・dot1208・dot1209・dot1210・dot1211・dot1212・dot1213・dot1214・dot1215・dot1216・dot1217・dot1218・dot1219・dot1220・dot1221・dot1222・dot1223・dot1224・dot1225・dot1226・dot1227・dot1228・dot1229・dot1230・dot1231・dot1232・dot1233・dot1234・dot1235・dot1236・dot1237・dot1238・dot1239・dot1240・dot1241・dot1242・dot1243・dot1244・dot1245・dot1246・dot1247・dot1248・dot1249・dot1250・dot1251・dot1252・dot1253・dot1254・dot1255・dot1256・dot1257・dot1258・dot1259・dot1260・dot1261・dot1262・dot1263・dot1264・dot1265・dot1266・dot1267・dot1268・dot1269・dot1270・dot1271・dot1272・dot1273・dot1274・dot1275・dot1276・dot1277・dot1278・dot1279・dot1280・dot1281・dot1282・dot1283・dot1284・dot1285・dot1286・dot1287・dot1288・dot1289・dot1290・dot1291・dot1292・dot1293・dot1294・dot1295・dot1296・dot1297・dot1298・dot1299・dot1300・dot1301・dot1302・dot1303・dot1304・dot1305・dot1306・dot1307・dot1308・dot1309・dot1310・dot1311・dot1312・dot1313・dot1314・dot1315・dot1316・dot1317・dot1318・dot1319・dot1320・dot1321・dot1322・dot1323・dot1324・dot1325・dot1326・dot1327・dot1328・dot1329・dot1330・dot1331・dot1332・dot1333・dot1334・dot1335・dot1336・dot1337・dot1338・dot1339・dot1340・dot1341・dot1342・dot1343・dot1344・dot1345・dot1346・dot1347・dot1348・dot1349・dot1350・dot1351・dot1352・dot1353・dot1354・dot1355・dot1356・dot1357・dot1358・dot1359・dot1360・dot1361・dot1362・dot1363・dot1364・dot1365・dot1366・dot1367・dot1368・dot1369・dot1370・dot1371・dot1372・dot1373・dot1374・dot1375・dot1376・dot1377・dot1378・dot1379・dot1380・dot1381・dot1382・dot1383・dot1384・dot1385・dot1386・dot1387・dot1388・dot1389・dot1390・dot1391・dot1392・dot1393・dot1394・dot1395・dot1396・dot1397・dot1398・dot1399・dot1400・dot1401・dot1402・dot1403・dot1404・dot1405・dot1406・dot1407・dot1408・dot1409・dot1410・dot1411・dot1412・dot1413・dot1414・dot1415・dot1416・dot1417・dot1418・dot1419・dot1420・dot1421・dot1422・dot1423・dot1424・dot1425・dot1426・dot1427・dot1428・dot1429・dot1430・dot1431・dot1432・dot1433・dot1434・dot1435・dot1436・dot1437・dot1438・dot1439・dot1440・dot1441・dot1442・dot1443・dot1444・dot1445・dot1446・dot1447・dot1448・dot1449・dot1450・dot1451・dot1452・dot1453・dot1454・dot1455・dot1456・dot1457・dot1458・dot1459・dot1460・dot1461・dot1462・dot1463・dot1464・dot1465・dot1466・dot1467・dot1468・dot1469・dot1470・dot1471・dot1472・dot1473・dot1474・dot1475・dot1476・dot1477・dot1478・dot1479・dot1480・dot1481・dot1482・dot1483・dot1484・dot1485・dot1486・dot1487・dot1488・dot1489・dot1490・dot1491・dot1492・dot1493・dot1494・dot1495・dot1496・dot1497・dot1498・dot1499・dot1500・dot1501・dot1502・dot1503・dot1504・dot1505・dot1506・dot1507・dot1508・dot1509・dot1510・dot1511・dot1512・dot1513・dot1514・dot1515・dot1516・dot1517・dot1518・dot1519・dot1520・dot1521・dot1522・dot1523・dot1524・dot1525・dot1526・dot1527・dot1528・dot1529・dot1530・dot1531・dot1532・dot1533・dot1534・dot1535・dot1536・dot1537・dot1538・dot1539・dot1540・dot1541・dot1542・dot1543・dot1544・dot1545・dot1546・dot1547・dot1548・dot1549・dot1550・dot1551・dot1552・dot1553・dot1554・dot1555・dot1556・dot1557・dot1558・dot1559・dot1560・dot1561・dot1562・dot1563・dot1564・dot1565・dot1566・dot1567・dot1568・dot1569・dot1570・dot1571・dot1572・dot1573・dot1574・dot1575・dot1576・dot1577・dot1578・dot1579・dot1580・dot1581・dot1582・dot1583・dot1584・dot1585・dot1586・dot1587・dot1588・dot1589・dot1590・dot1591・dot1592・dot1593・dot1594・dot1595・dot1596・dot1597・dot1598・dot1599・dot1600・dot1601・dot1602・dot1603・dot1604・dot1605・dot1606・dot1607・dot1608・dot1609・dot1610・dot1611・dot1612・dot1613・dot1614・dot1615・dot1616・dot1617・dot1618・dot1619・dot1620・dot1621・dot1622・dot1623・dot1624・dot1625・dot1626・dot1627・dot1628・dot1629・dot1630・dot1631・dot1632・dot1633・dot1634・dot1635・dot1636・dot1637・dot1638・dot1639・dot1640・dot1641・dot1642・dot1643・dot1644・dot1645・dot1646・dot1647・dot1648・dot1649・dot1650・dot1651・dot1652・dot1653・dot1654・dot1655・dot1656・dot1657・dot1658・dot1659・dot1660・dot1661・dot1662・dot1663・dot1664・dot1665・dot1666・dot1667・dot1668・dot1669・dot1670・dot1671・dot1672・dot1673・dot1674・dot1675・dot1676・dot1677・dot1678・dot1679・dot1680・dot1681・dot1682・dot1683・dot1684・dot1685・dot1686・dot1687・dot1688・dot1689・dot1690・dot1691・dot1692・dot1693・dot1694・dot1695・dot1696・dot1697・dot1698・dot1699・dot1700・dot1701・dot1702・dot1703・dot1704・dot1705・dot1706・dot1707・dot1708・dot1709・dot1710・dot1711・dot1712・dot1713・dot1714・dot1715・dot1716・dot1717・dot1718・dot1719・dot1720・dot1721・dot1722・dot1723・dot1724・dot1725・dot1726・dot1727・dot1728・dot1729・dot1730・dot1731・dot1732・dot1733・dot1734・dot1735・dot1736・dot1737・dot1738・dot1739・dot1740・dot1741・dot1742・dot1743・dot1744・dot1745・dot1746・dot1747・dot1748・dot1749・dot1750・dot1751・dot1752・dot1753・dot1754・dot1755・dot1756・dot1757・dot1758・dot1759・dot1760・dot1761・dot1762・dot1763・dot1764・dot1765・dot1766・dot1767・dot1768・dot1769・dot1770・dot1771・dot1772・dot1773・dot1774・dot1775・dot1776・dot1777・dot1778・dot1779・dot1780・dot1781・dot1782・dot1783・dot1784・dot1785・dot1786・dot1787・dot1788・dot1789・dot1790・dot1791・dot1792・dot1793・dot1794・dot1795・dot1796・dot1797・dot1798・dot1799・dot1800・dot1801・dot1802・dot1803・dot1804・dot1805・dot1806・dot1807・dot1808・dot1809・dot1810・dot1811・dot1812・dot1813・dot1814・dot1815・dot1816・dot1817・dot1818・dot1819・dot1820・dot1821・dot1822・dot1823・dot1824・dot1825・dot1826・dot1827・dot1828・dot1829・dot1830・dot1831・dot1832・dot1833・dot1834・dot1835・dot1836・dot1837・dot1838・dot1839・dot1840・dot1841・dot1842・dot1843・dot1844・dot1845・dot1846・dot1847・dot1848・dot1849・dot1850・dot1851・dot1852・dot1853・dot1854・dot1855・dot1856・dot1857・dot1858・dot1859・dot1860・dot1861・dot1862・dot1863・dot1864・dot1865・dot1866・dot1867・dot1868・dot1869・dot1870・dot1871・dot1872・dot1873・dot1874・dot1875・dot1876・dot1877・dot1878・dot1879・dot1880・dot1881・dot1882・dot1883・dot1884・dot1885・dot1886・dot1887・dot1888・dot1889・dot1890・dot1891・dot1892・dot1893・dot1894・dot1895・dot1896・dot1897・dot1898・dot1899・dot1900・dot1901・dot1902・dot1903・dot1904・dot1905・dot1906・dot1907・dot1908・dot1909・dot1910・dot1911・dot1912・dot1913・dot1914・dot1915・dot1916・dot1917・dot1918・dot1919・dot1920・dot1921・dot1922・dot1923・dot1924・dot1925・dot1926・dot1927・dot1928・dot1929・dot1930・dot1931・dot1932・dot1933・dot1934・dot1935・dot1936・dot1937・dot1938・dot1939・dot1940・dot1941・dot1942・dot1943・dot1944・dot1945・dot1946・dot1947・dot1948・dot1949・dot1950・dot1951・dot1952・dot1953・dot1954・dot1955・dot1956・dot1957・dot1958・dot1959・dot1960・dot1961・dot1962・dot1963・dot1964・dot1965・dot1966・dot1967・dot1968・dot1969・dot1970・dot1971・dot1972・dot1973・dot1974・dot1975・dot1976・dot1977・dot1978・dot1979・dot1980・dot1981・dot1982・dot1983・dot1984・dot1985・dot1986・dot1987・dot1988・dot1989・dot1990・dot1991・dot1992・dot1993・dot1994・dot1995・dot1996・dot1997・dot1998・dot1999・dot2000・dot2001・dot2002・dot2003・dot2004・dot2005・dot2006・dot2007・dot2008・dot2009・dot2010・dot2011・dot2012・dot2013・dot2014・dot2015・dot2016・dot2017・dot2018・dot2019・dot2020・dot2021・dot2022・dot2023・dot2024・dot2025・dot2026・dot2027・dot2028・dot2029・dot2030・dot2031・dot2032・dot2033・dot2034・dot2035・dot2036・dot2037・dot2038・dot2039・dot2040・dot2041・dot2042・dot2043・dot2044・dot2045・dot2046・dot2047・dot2048・dot2049・dot2050・dot2051・dot2052・dot2053・dot2054・dot2055・dot2056・dot2057・dot2058・dot2059・dot2060・dot2061・dot2062・dot2063・dot2064・dot2065・dot2066・dot2067・dot2068・dot2069・dot2070・dot2071・dot2072・dot2073・dot2074・dot2075・dot2076・dot2077・dot2078・dot2079・dot2080・dot2081・dot2082・dot2083・dot2084・dot2085・dot2086・dot2087・dot2088・dot2089・dot2090・dot2091・dot2092・dot2093・dot2094・dot2095・dot2096・dot2097・dot2098・dot2099・dot2100・dot2101・dot2102・dot2103・dot2104・dot2105・dot2106・dot2107・dot2108・dot2109・dot2110・dot2111・dot2112・dot2113・dot2114・dot2115・dot2116・dot2117・dot2118・dot2119・dot2120・dot2121・dot2122・dot2123・dot2124・dot2125・dot2126・dot2127・dot2128・dot2129・dot2130・dot2131・dot2132・dot2133・dot2134・dot2135・dot2136・dot2137・dot2138・dot2139・dot2140・dot2141・dot2142・dot2143・dot2144・dot2145・dot2146・dot2147・dot2148・dot2149・dot2150・dot2151・dot2152・dot2153・dot2154・dot2155・dot2156・dot2157・dot2158・dot2159・dot2160・dot2161・dot2162・dot2163・dot2164・dot2165・dot2166・dot2167・dot2168・dot2169・dot2170・dot2171・dot2172・dot2173・dot2174・dot2175・dot2176・dot2177・dot2178・dot2179・dot2180・dot2181・dot2182・dot2183・dot2184・dot2185・dot2186・dot2187・dot2188・dot2189・dot2190・dot2191・dot2192・dot2193・dot2194・dot2195・dot2196・dot2197・dot2198・dot2199・dot2200・dot2201・dot2202・dot2203・dot2204・dot2205・dot2206・dot2207・dot2208・dot2209・dot2210・dot2211・dot2212・dot2213・dot2214・dot2215・dot2216・dot2217・dot2218・dot2219・dot2220・dot2221・dot2222・dot2223・dot2224・dot2225・dot2226・dot2227・dot2228・dot2229・dot2230・dot2231・dot2232・dot2233・dot2234・dot2235・dot2236・dot2237・dot2238・dot2239・dot2240・dot2241・dot2242・dot2243・dot2244・dot2245・dot2246・dot2247・dot2248・dot2249・dot2250・dot2251・dot2252・dot2253・dot2254・dot2255・dot2256・dot2257・dot2258・dot2259・dot2260・dot2261・dot2262・dot2263・dot2264・dot2265・dot2266・dot2267・dot2268・dot2269・dot2270・dot2271・dot2272・dot2273・dot2274・dot2275・dot2276・dot2277・dot2278・dot2279・dot2280・dot2281・dot2282・dot2283・dot2284・dot2285・dot2286・dot2287・dot2288・dot2289・dot2290・dot2291・dot2292・dot2293・dot2294・dot2295・dot2296・dot2297・dot2298・dot2299・dot2300・dot2301・dot2302・dot2303・dot2304・dot2305・

第9表　出土遺物観察表（7）

図	種別	分類	[illegible]	部位（銭=初鋳年）	器:口径 他:外径 銭：外径 単位＝cm（銭・玉=mm）	器：高さ 厚さ 銭厚 単位＝cm（銭・玉=mm）	器:底径 重量（単位=g）	次	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	層	遺構	dot	No.	備考
91-77	白磁	E群	杯	口縁	8.8	—	—	5次	R-32	Ⅰ	—	—	457	
91-78	白磁	E群	杯	口縁	5.5	—	—	5次	Q-31	Ⅰ	—	—	589	
91-79	白磁	E群	杯	完形	6.0	3.0	2.4	5次	Q-31	Ⅱa	—	—	—	5次Q-30Ⅰ№332　8次表採№152
91-80	白磁	E群	杯	口縁	5.4	—	—	5次	Q-31	Ⅱa	—	—	724	
91-81	白磁	E群	杯	底部	—	—	2.3	7次	R-32	Ⅰ	—	—	3	5次Q-30Ⅰ№332　5次R-31Ⅰ№763
91-82	白磁	D群	杯	底部	—	—	3.0	5次	Q-30	Ⅰ	—	—	566	
91-83	白磁	—	合子	口縁	9.5	—	—	5次	Q-33	Ⅰ	—	—	55	
91-84	白磁	—	合子	口縁	8.6	—	—	5次	—	Ⅰ	—	—	320	
91-85	白磁	—	壺	口縁	10.4	—	—	5次	Q-31	Ⅰ	—	—	566	
91-86	白磁	—	壺	口縁	7.0	—	—	5次	Q-30	Ⅰ	—	—	329	
91-87	白磁	—	瓶	底部	—	—	5.2	5次	Q-32	—	SB07	1122	—	
91-88	白磁	—	壺	口縁	—	—	—	5次	Q-32	—	SB07	1144	409	5次P-32腰高土坑Ⅰ№444、SB07Ⅰ№399
92-1	青花	元	—	口縁	11.45	—	—	5次	Q-32	Ⅰ	—	—	10	
92-2	青花	元	蓋	—	—	—	—	10次	Q-32	Ⅱa'	—	—	159	残りが小さい。
92-3	青花	元	不明	—	8.7	—		7次	Q-33	Ⅱa	—	—	161	
92-4	青花	元	蓋	—	—	—	—	5次	Q-33	Ⅰ	—	—	47	残りが小さい為径がとれない。
92-5	青花	元	蓋	—	—	—	—	5次	P-31	Ⅱc	—	955	139	
92-6	青花	—	蓋	口縁	16.5	—	—	7次	R-32	Ⅱa	—	1265	308	
92-7	青花	—	蓋	口縁	14.3	—	—	5次	Q-33	Ⅱa	—	—	258	
92-8	青花	Ⅱ	碗	口縁底部	13.1	5.45	5.10	5次	Q-31	Ⅱa	—	1223	—	5次P-33ⅡaNo.126（図上復元）
92-9	青花	Ⅱ	碗	口縁底部	14.8	6.20	5.60	5次	Q-33	Ⅱa	—	—	325	SB8-32Ⅰ№440　5次Q-31Ⅰ№344
92-10	青花	Ⅱ	碗	口縁	15.0	—	—	5次	Q-33		SB07	—	605	
92-11	青花	Ⅱ	碗	口縁	15.0	—	—	5次	Q-31	Ⅱa	—	—	629	[illegible]
92-12	青花	Ⅱ	碗	口縁	15.4	—	—	5次	Q-32	Ⅰ	—	—	468	7次S-32Ⅰ№140
92-13	青花	Ⅱ	碗	口縁	16.9	—	—	5次	P-33	Ⅱa	—	—	150	5次P-31Ⅰ№530　7次Q-31Ⅰ№86
92-14	青花	Ⅶ	碗	口縁	11.8	—	—	5次	R-32	Ⅰ	—	—	424	5次Q-32Ⅰ№417、R-32Ⅰ№441・№439
92-15	青花	Ⅱ	碗	口縁	12.9	—	—	5次	Q-31	Ⅰ	—	—	361	5次Q-32Ⅰ№445　7次R-32Ⅰ№41
92-16	青花	Ⅱ	碗	口縁	18.2	—	—	7次	R-31	Ⅰ	—	—	70	
92-17	青花	Ⅱ	碗	口縁	14.8	—	—	5次	Q-33	Ⅱb	—	—	44	5次P-33ⅡaNo.586
92-18	青花	Ⅲ	碗	底部	—	—	4.6	5次	Q-31	Ⅰ	—	—	549	[illegible]
92-19	青花	Ⅶ	碗	完形	14.5	6.3	5.2	5次	Q-31	Ⅱa	—	—	724	[illegible]
92-20	青花	Ⅴ	碗	口縁	12.0	—	—	7次	R-31	客土	—	—	104	
92-21	青花	Ⅲ	碗	完形	13.1	6.05	4.85	7次	R-32	—	SB07	—	6	[illegible]
92-22	青花	Ⅲ	碗	口縁	14.3	—	—	7次	Q-31	Ⅱa	—	—	88	
92-23	青花	Ⅲ	碗	口縁	15.0	—	—	5次	Q-32	Ⅱa	—	—	358	5次Q-33Ⅰ№43　5次Q-32Ⅰ№460
92-24	青花	Ⅲ	碗	底部	—	—	6.1	5次	Q-32	Ⅱa	—	1108	340	5次Q-32SB07ⅠNo.428
92-25	青花	Ⅲ	碗	口縁底部	13.1	6.4	4.4	5次	Q-30	Ⅰ	—	—	744	図上復元器高推定
93-26	青花	Ⅲ	碗	底部	—	—	5.8	5次	P-32	Ⅰ	—	—	94	5次P-32ⅠNo.633
93-27	青花	Ⅲ	碗	底部	—	—	5.0	7次	Q-31	—	SB07	—	62	[illegible]
93-28	青花	Ⅲ	碗	完形	14.0	6.2	5.7	5次	Q-32	—	SB07	—	428	[illegible]
93-29	青花	Ⅲ	碗	底部	—	—	5.85	5次	P-33	Ⅱa	—	977	—	
93-30	青花	漳洲窯	碗	底部	—	—	3.8	5次	Q-31	Ⅰ	—	—	623	
93-31	青花	Ⅲ	碗	底部	—	—	5.6	5次	Q-31	Ⅰ	—	—	549	5次Q-31Ⅰ№142　5次Q-30Ⅰ№454
93-32	青花	Ⅲ	碗	底部	—	—	6.1	5次	Q-31	Ⅱa	—	1210	662	
93-33	青花	Ⅴ	碗	完形	13.5	5.8	5.8	5次	Q-33	—	SB07	—	428	[illegible]
93-34	青花	Ⅴ	碗	口縁	14.7	—	—	5次	R-33	Ⅱa	—	948	119	
93-35	青花	Ⅴ	碗	口縁	11.9	—	—	5次	Q-33	Ⅱa	—	936	69	
93-36	青花	Ⅴ	碗	底部	—	—	6.0	5次	Q-31		SB07	—	776	5次Q-31ⅡaNo.628　7次R-31Ⅰ№746
93-37	青花	Ⅴ	碗	底部	—	—	5.7	5次	Q-30	Ⅰ	—	—	332	[illegible]
93-38	青花	Ⅴ	碗	底部	—	—	6.3	5次	Q-33	Ⅱb	—	920	36	
93-39	青花	Ⅴ	碗	口縁	12.3	—	—	5次	P-30	Ⅱa	—	—	484	[illegible]
93-40	青花	Ⅴ	碗	完形	12.6	6.6	5.7	10次	Q-32	—	SB07	—	59	[illegible]
93-41	青花	Ⅴ	碗	口縁	12.4	—	—	5次	R-31	Ⅰ	—	—	777	
93-42	青花	Ⅴ	碗	口縁	16.0	—	—	5次	R-32	Ⅰ	—	—	749	
93-43	青花	Ⅴ	碗	底部	—	—	5.9	5次	Q-34	—	SB07	—	221	[illegible]
93-44	青花	Ⅲ	碗	底部	—	—	4.35	5次	R-33	Ⅱa	—	—	109	
93-45	青花	Ⅴ	碗	底部	—	—	5.4	5次	P-33	Ⅱa	—	—	591	[illegible]
93-46	青花	Ⅴ	碗	底部	—	—	6.0	7次	Q-33	Ⅱa	—	—	173	
93-47	青花	—	碗	底部	—	—	4.9	7次	R-32	Ⅱa'	—	—	255	7次Ⅱa'№268
93-48	青花	Ⅴ	碗	底部		—	4.7	5次	Q-32	Ⅰ	—	—	411	
93-49	青花	—	鉢	底部	5.9	—	—	7次	Q-31	Ⅱa	—	—	88	5次Q-33Ⅱadot1043№285
94-50	青花	Ⅵ	碗	口縁	15.4	—	—	5次	P-31	Ⅰ	—	—	111	
94-51	青花	Ⅵ	碗	口縁	13.8	—	—	5次	Q-33	Ⅱa	—	938	75	
94-52	青花	Ⅵ	碗	口縁	14.4	—	—	5次	Q-32	—	SB07	—	427	
94-53	青花	Ⅵ	碗	口縁	12.5	—	—	5次	Q-33	Ⅱa	—	—	26	5次Q-33ⅡaNo.325
94-54	青花	Ⅵ	碗	口縁	12.0	—	—	5次	Q-32	—	SB07	—	419	
94-55	青花	Ⅲ	碗	口縁	13.8	—	—	7次	Q-32	—	SB07	—	212	[illegible]
94-56	青花	Ⅵ	碗	底部	—	—	4.9	5次	P-32	Ⅰ	—	—	510	5次Q-31№455　3次P-31Ⅰ№371
94-57	青花	Ⅵ	碗	底部	—	—	5.3	5次	Q-32	—	SB07	1123	—	[illegible]
94-58	青花	Ⅵ	碗	底部	—	—	4.6	7次	Q-32	Ⅱc	—	—	238	5次Q-31Ⅰ№549
94-59	青花	Ⅵ	碗	底部	—	—	5.0	5次	Q-31	Ⅱa	—	—	724	7次R-32ⅡaNo.174
94-60	青花	Ⅶ	碗	口縁	12.0	—	—	5次	Q-33	Ⅱa	—	—	61	5次R-31Ⅰ№771　5次P-33ⅡaNo.68
94-61	青花	Ⅶ	碗	口縁	13.8	—	—	5次	Q-33	Ⅱa	—	939	76	
94-62	青花	Ⅶ	碗	口縁底部	12.8	6.1	5.1	10次	R-31	—	SB07	—	93	[illegible]
94-63	青花	Ⅶ	碗	底部	—	—	4.7	5次	Q-32	—	SB07	—	—	[illegible]
94-64	青花	漳洲窯	碗	口縁胴部	19.9	—	—	5次	Q-32	Ⅰ	—	—	464	5次Q-32Ⅰ№465
94-65	青花	漳洲窯	碗	口縁	16.6	—	—	7次	Q-32		SB07	—	212	
94-66	青花	漳洲窯	碗	口縁	—	—	—	7次	R-31	Ⅰ	—	—	—	
94-67	青花	漳洲窯	碗	口縁胴部	15.6	—	—	7次	—	—	SB07	—	374	[illegible]
94-68	青花	漳洲窯	碗	口縁	13.6	—	—	5次	R-31	Ⅰ	—	—	686	
94-69	青花	漳洲窯	碗	底部	—	—	—	7次	R-31	Ⅰ	—	—	73	畳付が欠け測定不可
94-70	青花	漳洲窯	碗	底部	—	—	4.9	5次	Q-33	Ⅱa	—	909	20	
94-71	青花	漳洲窯	碗	底部	—	—	5.2	7次	S-32	Ⅰ	—	—	161	5SB-32Ⅰ№422　5次Q-32Ⅰ№463

第9表　出土遺物観察表（8）

図	種別	分類	器種(土製・石・鉄・銅)	部位(銭=初鋳年)	器:口径 他:外径 銭:外径 単位=cm (銭・玉=mm)	器:高さ 厚さ 銭厚 単位=cm (銭・玉=mm)	器:底径 重量 (単位=g)	次	ﾌﾞﾘｯﾄﾞ	層	遺構	dot	No.	備考
94-72	青花	漳洲窯	碗	底部	—	—	5.8	5次	R-31	Ⅰ	—	—	686	5次Ⅰ№362、Ⅰ№579、Ⅰ№333
94-73	青磁染付	—	碗	口縁	16.0	—	—	5次	R-32	Ⅰ	—	—	441	
95-74	青花	Ⅰ	Ⅲ	完形	14.7	3.1	7.6	5次	Q-32	—	SB07	—	428	
95-75	青花	Ⅰ	Ⅲ	完形	17.4	3.2	10.5	7次	Q-31	Ⅱa	—	—	88	5次P-31Ⅰ№442
95-76	青花	Ⅰ	Ⅲ	完形	17.1	3.0	9.7	5次	Q-32	—	SB07	—	374	
95-77	青花	Ⅰ	Ⅲ	完形	16.4	3.25	9.8	5次	Q-33	Ⅱa	—	—	328	
95-78	青花	Ⅰ	Ⅲ	完形	13.5	2.85	7.4	5次	Q-31	Ⅱa	—	—	629	
95-79	青花	Ⅰ	Ⅲ	口縁底部	10.0	2.0	5.15	7次	R-30	Ⅰ	—	—	13	
95-80	青花	Ⅰ	Ⅲ	口縁底部	10.8	2.4	5.8	7次	Q-33	Ⅱa	—	—	173	
95-81	青花	Ⅰ	Ⅲ	完形	13.4	2.6	7.0	7次	Q-31	Ⅱa	—	—	54	
95-82	青花	Ⅰ	Ⅲ	完形	13.7	2.7	7.5	5次	P-31	Ⅱa	—	—	816	
95-83	青花	Ⅰ	Ⅲ	完形	12.3	2.15	6.6	5次	Q-31	Ⅱa	—	—	629	
95-84	青花	Ⅰ	Ⅲ	口縁底部	12.1	2.7	6.1	7次	P-32	Ⅱa	—	—	209	
95-85	青花	Ⅰ	Ⅲ	完形	14.0	3.1	7.3	5次	R-31	Ⅰ	—	—	686	
95-86	青花	Ⅰ	Ⅲ	口縁底部	14.8	3.1	8.4	7次	Q-32	—	SB07	1308	227	骨付欠け器高推定
95-87	青花	Ⅰ	Ⅲ	完形	10.6	2.75	5.6	10次	R-32	Ⅰ	—	—	236	
95-88	青花	Ⅰ	Ⅲ	完形	10.9	2.8	6.6	10次	R-32	—	SB07	—	93	
95-89	青花	Ⅰ	Ⅲ	完形	12.2	2.5	6.85	5次	Q-32	Ⅰ	—	—	370	
95-90	青花	Ⅰ	Ⅲ	完形	13.1	3.0	7.3	10次	R-32	—	SB07	—	93	
95-91	青花	Ⅰ	Ⅲ	完形	9.6	2.1	5.1	7次	R-32	Ⅰ	—	—	191	
95-92	青花	Ⅰ	Ⅲ	完形	10.0	2.35	5.5	5次	R-31	Ⅰ	—	—	746	5次Q-32Ⅰ№577
95-93	青花	Ⅰ	Ⅲ	完形	9.5	2.2	4.4	7次	Q-33	Ⅰ	—	1305	—	5次R-32Ⅰ№424
95-94	青花	Ⅰ	Ⅲ	完形	9.4	2.25	4.2	5次	R-32	Ⅰ	—	—	432	
95-95	青花	Ⅰ	Ⅲ	完形	9.5	2.0	4.5	5次	P-32	Ⅱc	—	—	679	
95-96	青花	Ⅰ	Ⅲ	完形	9.5	2.0	4.2	7次	Q-34	—	SB07	—	221	
95-97	青花	Ⅱ	Ⅲ	完形	9.7	2.65	3.0	5次	Q-32	Ⅰ	—	—	46	
95-98	青花	Ⅱ	Ⅲ	完形	10.4	2.5	3.7	5次	P-32	Ⅰ	—	—	94	
95-99	青花	Ⅱ	Ⅲ	完形	10.60	2.40	3.2	5次	Q-32	—	SB07	—	420	
95-100	青花	Ⅱ	Ⅲ	完形	10.4	2.2	2.3	5次	P-32	Ⅱa	—	1156	493	5次Ⅱa№150、Ⅰ№502、Ⅰ№468
95-101	青花	Ⅱ	Ⅲ	完形	11.0	2.65	3.3	7次	R-32	—	SB07	—	139	
96-102	青花	Ⅱ	Ⅲ	完形	10.0	2.6	3.2	5次	Q-21	Ⅰ	—	—	566	
96-103	青花	Ⅱ	Ⅲ	完形	11.0	2.1	3.5	5次	Q-32	Ⅰ	—	—	369	
96-104	青花	Ⅱ	Ⅲ	完形	10.4	2.4	3.5	5次	P-32	Ⅱa	—	—	484	7次R-31Ⅱadot126
96-105	青花	Ⅱ	Ⅲ	完形	10.0	2.7	3.7	5次	Q-33	Ⅱa	—	—	325	
96-106	青花	Ⅱ	Ⅲ	完形	9.9	2.95	3.2	5次	Q-33	Ⅱa	—	—	325	
96-107	青花	Ⅱ	Ⅲ	完形	12.2	3.0	2.9	7次	Q-31	Ⅱa	—	—	88	
96-108	青花	Ⅱ	Ⅲ	完形	5.85	1.7	3.2	5次	Q-31	Ⅱa	—	—	629	
96-109	青花	Ⅱ	Ⅲ	完形	6.2	1.9	3.0	5次	Q-32	Ⅱa	—	1141	406	7次R-32Ⅰ№50
96-110	青花	Ⅱ	小Ⅲ	完形	7.2	2.15	2.45	5次	Q-32	Ⅰ	—	—	361	
96-111	青花	Ⅱ	小Ⅲ	完形	7.2	—	—	5次	R-33	Ⅱa	—	—	228	5次dot1016№239
96-112	青花	Ⅱ	小Ⅲ	完形	7.5	2.15	2.7	5次	Q-33	Ⅱb	—	—	41	5次P-33Ⅱa№159
96-113	青花	Ⅱ	小Ⅲ	底部	—	—	4.0	5次	P-33	Ⅱa	—	—	150	5次P-33Ⅱa№168
96-114	青花	Ⅰ	Ⅲ	口縁	22.4			10次	Q-32	—	SB07	—	75	
96-115	青花	Ⅲ	Ⅲ	完形	9.0	2.0	5.0	5次	Q-32	—	SB07	—	345	5次Q-33Ⅱb？
96-116	青花	Ⅲ	Ⅲ	口縁	10.8	—	—	5次	Q-30	Ⅱa	—	—	506	
96-117	青花	Ⅲ	Ⅲ	口縁	12.8	—	—	5次	R-33	Ⅰ	—	—	11	
96-118	青花	Ⅲ	Ⅲ	底部	—	—	5.9	5次	R-31	Ⅰ	—	—	762	5次Q-31Ⅰ№625
96-119	青花	Ⅰ	杯	完形	9.65	5.0	4.4	10次	Q-32	—	SB07	—	98	
96-120	青花	Ⅰ	杯	完形	8.5	5.3	4.4	5次	R-32	Ⅱa	—	1150	488	
96-121	青花	Ⅰ	杯	口縁	8.65	—	—	5次	Q-30	Ⅱa	—	—	508	
96-122	青花	Ⅰ	杯	口縁	9.2	—	—	5次	Q-31	Ⅱa	—	—	724	5次Q-31Ⅱa№682
96-123	青花	漳洲窯	杯	口縁	10.2	—	—	5次	Q-30	Ⅱa	—	—	506	5次Q-31Ⅱa№724
96-124	青花	Ⅰ	杯	底部	—	—	4.8	5次	Q-31	Ⅱa	—	—	626	
96-125	青花	Ⅰ	杯	底部	—	—	4.3	5次	R-33	Ⅰ	—	—	3	
96-126	青花	Ⅰ	杯	底部	—	—	4.2	10次	Q-32	—	SB07	—	75	
96-127	青花	Ⅰ	杯	底部	—	—	4.0	5次	R-32	Ⅰ	—	—	517	5次R-32Ⅰ№438
96-128	青花	不詳	杯	口縁	9.4	—	—	7次	R-32	Ⅱa	—	—	174	5次R-32Ⅰ№424
96-129	青花	Ⅰ	小杯	口縁	5.0	—	—	7次	R-36	—	SB07	—	136	
96-130	青花	Ⅰ	小杯	口縁	5.0	—	—	7次	R-32	—	SB07	—	139	
96-131	青花	Ⅰ	小杯	口縁	4.0	—	—	5次	Q-32	—	SB07	—	375	
96-132	青花	Ⅰ	小杯	口縁	4.5	—	—	7次	R-31	Ⅰ	—	—	70	
96-133	青花	Ⅰ	小杯	底部	—	—	3.2	5次	Q-32	Ⅰ	—	—	465	
96-134	青花	Ⅰ	小杯	底部	—	—	2.9	7次	S-32	客土	—	—	27	
96-135	青花	Ⅱ	小杯	完形	6.3	3.8	2.55	5次	R-32	Ⅰ	—	—	492	
96-136	青花	Ⅲ	小杯	口縁	8.8	—	—	7次	Q-33	Ⅱc	—	—	355	7次R-32Ⅰ№3
96-137	青花	Ⅲ	小杯	完形	5.2	3.1	2.25	5次	Q-32	Ⅰ	—	—	369	5次Q-32Ⅰ№333
96-138	青花	Ⅲ	小杯	完形	6.0	3.35	2.5	7次	—	—	SB07	—	212	
96-139	青花	Ⅲ	小杯	底部	—	—	2.15	5次	Q-32	—	SB07	—	42	
96-140	青花	Ⅲ	杯	底部	—	—	3.8	5次	R-32	Ⅰ	—	—	424	
96-141	青花	Ⅳ	小杯	口縁	7.2	—	—	5次	R-32	Ⅱa	—	—	345	
96-142	青花	Ⅳ	小杯	底部	—	—	2.75	5次	Q-31	Ⅰ	—	—	334	
96-143	青花	漳洲窯	杯	完形	8.3	4.15	2.9	5次	Q-33	Ⅱa	—	—	342	
96-144	青花	漳洲窯	小杯	完形	6.25	3.6	2.55	5次	R-33	Ⅱa	—	1070	312	
96-145	青花	漳洲窯	小杯	完形	6.4	3.85	2.4	10次	—	—	SB07	—	139	
96-146	青花	漳洲窯	小杯	口縁	7.6	—	—	5次	P-32	Ⅱa	—	—	485	
96-147	青花	漳洲窯or Ⅰ	皿	底部	—	—	4.7	7次	R-31	Ⅰ	—	—	73	7次R-31Ⅰ№17
96-148	青花	漳洲窯	小杯	底部	—	—	2.45	5次	Q-31	Ⅱa	—	—	415	5次Q-32Ⅰ№465
96-149	青花	漳洲窯	小杯	底部	—	—	2.55	5次	Q-31	Ⅱa	—	1027	—	
96-150	青花	—	酒会壺	胴部	—	—	—	5次	Q-31	Ⅰ	—	—	347	
96-193	青花	—	酒会壺	底部・蓋	17.4	—	—	5次	Q-31	Ⅰ	—	—	563	
96-151	青花	Ⅱ	大皿	口縁	21.6	—	—	—	Q-32	—	SB07	—	212	
96-152	青花	—	鉢	口縁	22.5	—	—	7次	Q-32	—	SB07	—	224	
97-153	青花	—	蓋	口縁	7.4	—	—	5次	R-30	Ⅰ	—	—	779	

第9表　出土遺物観察表（9）

図	種別	分類	器種（土製・石製・金属製）	部位（銭=初鋳年）	器:口径 他:外径 銭：外径 単位＝cm（銭・玉=mm）	器：高さ 厚さ 銭厚 単位＝cm（銭・玉=mm）	器:底径 重量（単位=g）	次	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	層	遺構	dot	No.	備考
97-154	青花	－	蓋	口縁	8.7	－	－	5次	Q-33	Ⅰ	－	－	47	7次Q-31Ⅰ№60
97-155	青花	－	蓋	完形	8.8	2.45	－	3次	Q-34	－	SR4Ⅰ	－	350	7次R-32Ⅰ№137・№14・№3
97-156	青花	－	瓶	口縁	6.1	－	－	7次	R-32	Ⅰ	－	－	3	
97-157	青花	－	瓶	口縁	7.0	－	－	7次	P-32	Ⅱa	－	－	209	5次R-32Ⅰ№438
97-158	青花	－	瓶	胴部	－	－	－	7次	R-32	Ⅱa	－	－	121	
97-159	青花	－	瓶	底部	－	－	7.0	5次	Q-32	－	SB07	－	359	
97-160	青花	－	瓶	底部	－	－	7.20	5次	P-30	Ⅱa	－	－	739	
97-161	青白磁	－	壺	胴部	－	－	－	5次	Q-32	Ⅰ	－	－	352	5次Q-32Ⅰ№352
97-162	青花	肥前	碗	完形	15	6.9	4.5	7次	Q-32	－	SB07	－	138	5次R-32Ⅰ№459　6次R-32Ⅰ№459
97-163	青花	肥前	碗	完形	15.1	6.9	5.6	7次	R-32	Ⅱa	－	－	121	7次Ⅰ№9・№3, №33, №70
97-164	青花	肥前	碗	口縁	15.2	－	－	7次	R-32	Ⅰ	－	－	14	5次R-31Ⅰ№763
97-165	青花	肥前	皿	口縁	－	－	－	7次	－	Ⅱa	－	－	164	
97-166	青花	肥前	皿	口縁底部	16.0	2.0	4.9	7次	Q-31	Ⅱa	－	－	63	
97-167	青花	肥前	角皿	完形	－	1.7	4.7	7次	Q-31	Ⅱa	－	－	77	5次Ⅰ№582・№582・№330・№566, №746
97-168	黒釉	－	碗	底部	－	－	3.9	5次	Q-33	Ⅰ	－	－	92	
97-169	黒釉	－	碗	底部	－	－	3.3	5次	Q-30	Ⅱa	－	－	507	
97-170	黒釉	－	碗	口縁	10.7	－	－	5次	P-33	Ⅱa	－	－	586	
97-171	黒釉	－	碗	口縁	12.3	－	－	10次	Q-31	Ⅱa	－	－	119	
97-172	黒釉	－	茶入れ	肩部	－	－	－	10次	－	－	－	－	－	
97-173	翡翠釉	－	不明	胴部	－	－	－	5次	Q-33	Ⅱa	－	925	50	
97-174	翡翠釉	－	瓶	頸部	－	－	－	7次	Q-32	－	SB07	－	212	
97-175	翡翠釉	－	皿	口縁底部	16.5	2.75	5.95	5次	Q-32	Ⅰ	－	－	441	
97-176	三彩	－	壺	胴部	－	－	－	7次	R-34	Ⅰ	－	－	70	
97-177	三彩	－	水滴	底部	－	－	－	7次	Q-32	－	SB07	－	129	
97-178	瑠璃釉	－	皿	口縁	7.8	－	－	5次	P-31	Ⅱa	－	－	722	
97-179	瑠璃釉	－	碗	底部	－	－	5.15	7次	Q-31	Ⅰ	－	－	60	
97-180	瑠璃釉	－	小杯	底部	－	－	2.6	5次	Q-32	Ⅱa	－	－	629	5次Q-30Ⅰ№435
97-181	瑠璃釉	－	瓶	口縁	6.3	－	－	5次	－	Ⅰ	－	－	782	
97-182	瑠璃釉	－	瓶	底部	－	－	7.6	7次	Q-32	－	SB07	1299	206	
97-183	色絵	－	碗	完形	14.8	7.0	5.7	5次	Q-32	－	SB07	－	359	5次Q-32Ⅰ№412　7次R-32Ⅱa№174
97-184	赤絵	－	碗	口縁	11.4	－	－	5次	Q-33	Ⅱa	－	－	322	
97-185	色絵	－	碗	口縁	13.5	－	－	7次	S-31	Ⅰ	－	－	29	
97-186	色絵	－	碗	底部	－	－	4.6	5次	Q-30	Ⅱa	－	－	507	
97-187	色絵？	－	小碗	底部	－	－	3.8	7次	R-32	－	SB07	－	189	
97-188	色絵	－	皿	口縁	17.3	－	－	7次	Q-33	Ⅱa	－	－	173	
97-189	色絵	－	皿	底部	－	－	4.0	－	－	表採	－	－	－	
97-190	色絵	－	皿	完形	9.0	1.65	5.1	5次	R-31	Ⅰ	－	－	579	5次R-31Ⅰ№686
97-191	緑釉	－	皿	完形	5.2	1.6	3.7	7次	R-32	Ⅱa	－	－	121	7次S-32Ⅰ№140　5次R-32Ⅰ№746
97-192	緑釉	－	瓶or壺	胴部	－	－	－	5次	Q-30	Ⅱa	－	－	308	
98-1	褐釉陶器	Ⅰ	大型壺	口縁	19.8	－	－	7次	R-32	Ⅱa'	－	1272	144	
98-2	褐釉陶器	Ⅰ	大型壺	口縁	13.5	－	－	5次	P-31	Ⅱa	－	1220	－	
98-3	褐釉陶器	Ⅰ	大型壺	口縁	13.8	－	－	5次	Q-33	Ⅱa	－	910	21	5次Q-32SB07ｉ№374
98-4	褐釉陶器	Ⅰ	大型壺	口縁	16.1	－	－	7次	Q-31	Ⅱa	－	－	330	4次Q-30表採№49
98-5	褐釉陶器	Ⅰ	大型壺	口縁	17.4	－	－	5次	R-33	Ⅱa	－	950	121	5次Ⅰ№434, Ⅰ№807/7次S-31Ⅰ№34
98-6	褐釉陶器	Ⅰ	大型壺	口縁	16.0	－	－	7次	P-31	Ⅰ	－	－	98	
98-7	褐釉陶器	Ⅱ	壺	口縁		－	13.4	5次	Q-33	Ⅱa	－	1064	366	
98-8	褐釉陶器	Ⅲ	壺	口縁	9.3	－	－	5次	Q-30	Ⅱa	－	－	512	5次Q-30Ⅰ№620
98-9	褐釉陶器	Ⅲ	壺	口縁	11.0	－	－	5次	P-33	Ⅱa	－	－	150	5次P-33№86・Ⅰ№100・№588
98-10	褐釉陶器	Ⅳ	壺	口縁	9.6	－	－	10次	Q-32	Ⅱa'	－	－	176	
98-11	褐釉陶器	Ⅴ	壺	口縁	15.8	－	－	4次	Q-36	表採	－	－	174	
98-12	褐釉陶器	Ⅵ	壺	口縁	19.0	－	－	5次	Q-31	Ⅰ	－	－	549	
98-13	褐釉陶器	Ⅶ	壺	口縁	9.4	－	－	10次	Q-32	－	SB07	－	81	7次R-32Ⅰ№191　5次Q-32Ⅰ№381
98-14	褐釉陶器	Ⅷ	壺	口縁	10.3	－	－	5次	Q-33	Ⅱa	－	1036	278	
98-15	褐釉陶器	Ⅸ	壺	口縁	9.8	－	－	5次	P-32	Ⅱa	－	1200	652	
98-16	褐釉陶器	Ⅹ	壺	口縁	8.7	－	－	10次	Q-32	－	SB07	－	59	5次Q-31ⅡaNo626
98-17	褐釉陶器	Ⅱ	鉢	口縁	30.0	－	－	7次	R-31	客土	－	－	194	
98-18	褐釉陶器	－	擂鉢	口縁	23.2	－	－	7次	R-31	Ⅰ	－	－	70	7次P-32Ⅰ№191・№432・№439・№624
99-19	褐釉陶器	Ⅰ	大型壺	底部	－	－	13.7	5次	Q-32	－	SB07	－	359	7次Q-32SB07ｉ№212
99-20	褐釉陶器	－	壺	底部	－	－	10.2	10次	Q-32	－	SB07	－	75	5次Ⅱa№886, SB07ｉ№876, Ⅰ№20
99-21	褐釉陶器	Ⅰ	大型壺	底部	－	－	15.4	5次	P-31	Ⅱa	－	－	125	7次S-32Ⅰ№140
99-22	褐釉陶器	Ⅰ	大型壺	底部	－	－	21.5	7次	Q-32	－	SB07	－	－	5次Q-33Ⅱa№342・dot1038№280
99-23	褐釉陶器	Ⅰ	大型壺	底部	－	－	15.8	7次	Q-32	－	SB07	－	224	
99-24	褐釉陶器	Ⅰ	大型壺	底部	－	－	16.0	5次	Q-32	Ⅱa	－	－	357	
99-25	褐釉陶器	Ⅰ	大型壺	底部	－	－	15.6	7次	Q-32	Ⅱc	－	－	26	5次P-32SR1ｉ№813
99-26	褐釉陶器	－	壺	底部	－	－	10.5	8次	－	Ⅱa	－	－	325	
99-27	褐釉陶器	－	壺	底部	－	－	10.3	5次	Q-33	Ⅱc	－	976	182	
99-28	褐釉陶器	－	壺	底部	10.5	－	－	5次	Q-33	Ⅱb	－	918	34	
99-29	褐釉陶器	－	壺	底部	－	－	9.5	5次	P-33	Ⅰ	－	－	86	
99-30	褐釉陶器	Ⅱ	壺	底部	－	－	10.6	4次	Q-30	表採	－	－	50	
99-31	褐釉陶器	－	壺	底部	－	－	14.6	5次	P-32	Ⅰ	－	－	24	
99-32	褐釉陶器	－	壺	底部	－	－	11.9	5次	Q-30	Ⅱc	－	－	500	
99-33	褐釉陶器	－	壺	底部	－	－	9.8	5次	Q-32	Ⅰ	－	－	361	
99-34	褐釉陶器	－	不明	底部	－	－	6.6	7次	S-32	客土	－	－	23	
99-35	褐釉陶器	－	茶入れ	底部	－	－	3.0	7次	S-32	客土	－	－	27	
99-36	褐釉陶器	－	茶入れ	口縁	8.6	－	－	5次	－	Ⅱa	－	－	257	
99-37	焼締陶器	中国	鉢	口縁	16.9	－	－	10次	Q-32	－	SB07	－	5	
99-38	焼締陶器	中国	甕	底部	－	－	12.2	5次	Q-32	－	SB07	－	420	4次SR1ｉ№120　5次Q-31Ⅰ№562
99-39	焼締陶器	中国	甕	口縁	11.8	－	－	7次	－	－	SB07	1302	211	7次Q-32SB07ｉ№212
99-40	焼締陶器	中国	甕	口縁	7.3	－	－	4次	P-31	表採	－	－	66	
100-1	タイ褐釉	シーサッチャ	大型壺	口縁	20.8	－	－	5次	P-31	Ⅱa	－	1245	－	
100-2	タイ褐釉	シーサッチャ	大型壺	口縁	22.4	－	－	7次	R-32	Ⅱa	－	－	203	
100-3	タイ褐釉	シーサッチャ	大型壺	口縁	22.5	－	－	5次	Q-33	Ⅰ	－	－	753	5次P-30Ⅰ№752
100-4	タイ褐釉	シーサッチャ	大型壺	口縁	23.0	－	－	7次	R-32	Ⅰ	－	－	112	

第9表　出土遺物観察表（10）

図	種別	分類	器種(土師・赤・須・緑)	部位（銭=初鋳年）	器：口径 他：外径 銭：外径 単位＝cm（銭・玉=mm）	器：高さ 厚さ 銭厚 単位＝cm（銭・玉=mm）	器：底径 重量（単位=g）	次	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	層	遺構	dot	No.	備考
100-5	タイ褐釉	シーサッチャ	大型壺	口縁	18.6	—	—	5次	Q-30	Ⅰ	—	—	454	
100-6	タイ褐釉	シーサッチャ	大型壺	底部	—	—	27.6	10次	Q-32	Ⅱa'	—	—	175	10次Q-32Ⅰ№150
100-7	タイ褐釉	シーサッチャ	大型壺	底部	—	—	25.6	4次	—	Ⅰ	—	—	79	4次Q-30表採№89　6次Q-30表採№48
100-8	タイ褐釉	シーサッチャ	大型壺	底部	—	—	32.2	5次	Q-30	Ⅱb	—	—	602	[illegible]
100-9	タイ褐釉	メナムノイ	大型壺	口縁	14.6	—	—	10次	Q-32	—	SB07	—	75	
100-10	タイ褐釉	メナムノイ	大型壺	口縁	17.6	—	—	7次	R-32	Ⅱa'	—	—	157	
100-11	タイ褐釉	メナムノイ	大型壺	口縁	18.1	—	—	5次	Q-?	—	SB07	1181	—	5次Ⅰ№384・Ⅱ-a-b-c10758a,817,7次Ⅰ№191
100-12	タイ褐釉	メナムノイ	大型壺	底部	—	—	27.2	5次	Q-32	—	SB07	1247	796	10次Ⅱb1№62/5次SB07 1 dot1248
100-13	タイ褐釉	メナムノイ	小型壺	口縁	11.4	—	—	5次	P-32	Ⅱa	—	1160	477	
100-14	タイ褐釉	メナムノイ	瓶？	底部	—	—	4.6	5次	R-32	Ⅰ	—	—	47	
101-15	鉄絵	タイ	合子・蓋	完形	8.0	—	—	7次	R-31	—	SB07	—	110	5次P-32攪乱土坑Ⅰ№430・SB07 1 №419
101-16	鉄絵	タイ	合子・蓋	口縁	8.45	—	—	5次	Q-33	Ⅱa	—	—	257	
101-17	鉄絵	タイ	合子・身	口縁	8.1	4.9	6.2	7次	R-32	Ⅱa'	—	—	—	5次Ⅰ№417、Ⅰ№484/7次Q-31Ⅰ№80
101-18	鉄絵	タイ	合子・身	口縁胴部	7.1	—	—	5次	Q-31	Ⅱa	—	—	724	5次R-31Ⅰ№582
101-19	鉄絵	タイ	合子・身	口縁底部	7.8	5.1	6.0	5次	Q-32	—	SB07	—	375	5次P-32Ⅱa№484　5次Q-30Ⅰ№332
101-20	鉄絵	タイ	不明	胴部	—	—	—	5次	P-31	Ⅱa	—	—	723	脚部
101-21	鉄絵	タイ	不明	底部	—	—	6.7	10次	Q-32	—	SB07	—	5	
101-22	鉄絵	タイ	不明	口縁	3.0	—	—	5次	Q-30	Ⅱa	—	—	506	
101-23	半練土器	タイ	蓋	鈕つまみ	—	2.9	—	5次	P-31	Ⅱa	—	1230	703	
101-24	半練土器	タイ	蓋	口縁,つまみ	9.9	2.0	—	7次	Q-32	—	SB07	—	138	5次Q-32Ⅰ№469　10次Q-32SB07 1 №10
101-25	半練土器	タイ	蓋	口縁	14.8	—	—	7次	Q-32	Ⅱc	—	—	237	10次Ⅱc dot1545№180・7次Ⅱa№223
101-26	半練土器	タイ	蓋	口縁	14.7	—	—	7次	Q-33	—	SB07	—	212	5次R-32Ⅰ№441・№447・№4・№438
101-27	半練土器	タイ	壺	口縁	22.0	—	—	5次	P-33	Ⅱa	—	—	586	
101-28	半練土器	タイ	不明	口縁	21.8	—	—	5次	Q-33	Ⅱc	—	928	53	
101-29	半練土器	タイ	壺	胴部	—	—	—	7次	Q-33	Ⅱa	—	—	161	
101-30	半練土器	タイ	壺	胴部	—	—	—	7次	R-32	Ⅰ	—	—	3	
101-31	白磁	ベトナム	碗	底部	—	—	3.6	5次	Q-31	Ⅰ	—	—	625	5次R-33Ⅰ№112
101-32	白磁	ベトナム	碗	口縁	12.3	—	—	5次	P-31	Ⅱc	—	—	124	5次P-31ⅡaNo723
101-33	白磁	ベトナム	瓶	胴部	—	—	—	7次	Q-33	Ⅰ	—	—	197	
101-34	青花	ベトナム	瓶	口縁	8.35	—	—	5次	P-32	Ⅰ	—	—	432	
101-35	青花	ベトナム	瓶	胴部	—	—	—	7次	Q-32	Ⅱa	—	—	133	7次R-32Ⅰ№3
101-36	青花	ベトナム	瓶	胴部	—	—	—	5次	Q-32	Ⅱa	—	—	357	5次Q-33Ⅰ№60
101-37	色絵	ベトナム	皿	底部	—	—	8.6	5次	Q-31	Ⅰ	—	—	582	5次Q-32Ⅰ№369
101-38	焼締陶器	ベトナム	壺	胴部	—	—	—	8次	Q-33	Ⅱa	—	—	302	
102-1	銭貨	開元通寶	唐	621年	24.48	1.34	2.32	5次	Q-31	Ⅰ	—	—	522	
102-2	銭貨	咸平元寶	北宋	998年	24.81	1.19	3.17	10次	R-33	Ⅰ	—	—	243	
102-3	銭貨	咸平元寶	北宋	998年	22.87	1.04	2.08	7次	R-32	Ⅰ	—	—	181	
102-4	銭貨	景徳元寶	北宋	1004年	24.6	1.11	2.52	10次	Q-31	Ⅱa	—	—	46	
102-5	銭貨	天禧□寶	北宋	1017年	25.87	1.15	2.05	7次	R-31	Ⅰ	—	—	106	欠損,天禧通寶
102-6	銭貨	熙□□□	北宋	1071年	—	1.28	1.57	7次	Q-31	Ⅰ	—	—	82	欠損,熙寧重寶(折二)
102-7	銭貨	元豊通寶折二	北宋	1078年	29.14	2.01	7.51	7次	R-31	—	SB07ⅱ	1274	158	
102-8	銭貨	元祐通寶	北宋	1086年	24.23	1.52	4.04	7次	Q-33	Ⅱa	—	—	303	
102-9	銭貨	崇寧通寶当十	北宋	1103年	35.2	2.73	10.9	7次	Q-33	Ⅱa	—	—	303	
102-10	銭貨	□和□寶	北宋	1111年	—	1.92	3.45	5次	Q-32	Ⅰ	—	—	352	欠損,政和通寶(折二)
102-11	銭貨	咸淳元寶	南宋	1265年	23.93	1.21	3.06	7次	Q-33	Ⅱa	—	1286	180	
102-12	銭貨	洪武通寶	明	1268年	20.44	1.96	3.29	5次	—	—	Ⅰ	—	678	二枚重ねの内の一枚
102-13	銭貨	洪武通寶	明	1268年	23.21	1.31	2.87	10次	Q-32	—	SB07	—	75	
102-14	銭貨	洪武通寶	明	1268年	23.84	1.63	3.38	5次	R-32	Ⅰ	—	—	438	
102-15	銭貨	洪武通寶	明	1268年	20.25	1.36	2.36	7次	R-32	Ⅱa'	—	—	133	
102-16	銭貨	永楽通寶	明	1408年	25.26	1.6	3.86	7次	R-32	Ⅱa'	—	1295	215	
102-17	銭貨	□楽通寶	明	1408年	24.13	1.37	2.3	5次	Q-31	Ⅱa	—	—	617	
102-18	銭貨	永楽通寶	明	1408年	25.5	1.35	4.3	7次	Q-32	Ⅱa	—	1303	233	
102-19	銭貨	宣徳通寶	明	1433年	24.76	1.42	3.03	5次	Q-33	—	SB07	1182	614	
102-20	銭貨	□□□寶	明	1268年	—	1.35	2.32	5次	P-33	Ⅰ	—	—	588	欠損,洪武通寶か？
102-21	銭貨	□楽□□	明	1408年	23.56	2.34	4.36	5次	Q-33	Ⅰb	—	—	233	欠損,永楽通寶か？
102-22	銭貨	元□□□	—	—	22.96	1.14	2.61	10次	R-32	Ⅱa	—	—	58	
103-23	銭貨	□元通□□通元□	—	—	25.35	1.89	3.34	5次	R-32	Ⅰ	—	—	458	開元通寶か？
103-24	銭貨	□元通□□通元□	—	—	24.31	1.24	3.18	7次	R-32	Ⅱa'	—	1257	127	熙寧元寶か？
103-25	銭貨	不明	—	—	23.16	1.49	2.69	7次	R-32	—	SB07	1314	286	判読不能
103-26	銭貨	□□□寶	—	—	26.23	1.28	3.05	5次	Q-33	Ⅱa	—	1071	313	割れ,元豊通寶か？
103-27	銭貨	不明	—	—	22.13	1.19	1.59	7次	R-32	Ⅱa'	—	1257	127	
103-28	銭貨	不明	—	—	23.14	1.16	2.5	7次	R-32	Ⅱa'	—	1257	127	
103-29	銭貨	不明	—	—	23.63	1.29	3.32	7次	R-32	—	SB07	1314	286	
103-30	銭貨	無文銭	—	—	21.61	0.8	1.77	5次	Q-33	Ⅱa	—	1053	295	
103-31	銭貨	無文銭	—	—	21.78	1.25	1.64	5次	P-33	Ⅱc	—	1018	241	
103-32	銭貨	不明	—	—	22.64	1.09	2.23	5次	Q-33	—	SB07	1177	606	銭銘有りか？,不鮮明
103-33	銭貨	不明	—	—	21.77	0.95	1.9	5次	Q-32	Ⅱa	—	1137	402	銭銘有りか？,不鮮明
103-34	銭貨	無文銭	—	—	22.63	1.42	2.07	5次	R-33	Ⅱa	—	1255	8	
103-35	銭貨	無文銭	—	—	21.41	0.93	0.93	10次	Q-32	—	SB07	—	5	
103-36	銭貨	無文銭	—	—	20.5	0.84	1.1	5次	Q-32	Ⅱa	—	1120	385	割れ
103-37	銭貨	無文銭	—	—	21.09	1.17	1.62	5次	Q-33	Ⅱa	—	1053	295	
103-38	銭貨	無文銭	—	—	22.23	1.23	2.09	5次	Q-33	Ⅱa	—	1053	295	
103-39	銭貨	無文銭	—	—	21.67	1.18	1.92	7次	—	Ⅰ	—	—	15	
103-40	銭貨	無文銭	—	—	21.6	0.98	1.78	7次	—	Ⅰ	—	—	15	
103-41	銭貨	無文銭	—	—	21.96	1.35	1.8	5次	Q-33	Ⅱa	—	1053	295	
103-42	銭貨	無文銭	—	—	20	0.75	1.23	4次	城壁外	表採	—	—	180	
103-43	銭貨	無文銭	—	—	20.17	0.79	0.89	5次	Q-33	Ⅱa	—	1053	295	
103-44	銭貨	無文銭	—	—	19.65	0.64	0.88	5次	Q-31	Ⅰ	—	—	549	
103-45	銭貨	無文銭	—	—	19.36	1.08	1	7次	R-32	Ⅱa'	—	1259	126	
103-46	銭貨	無文銭	—	—	15.65	0.56	0.56	10次	Q-32	—	SB07	—	97	
103-47	銭貨	無文銭	—	—	16.82	0.61	0.3	5次	Q-33	Ⅱa	—	—	266	欠損
103-48	銭貨	無文銭	—	—	0.7	1.7	1.2	5次	Q-33	Ⅰ	—	—	601	
103-49	銭貨	不明	—	—	—	2.35	5.07	5次	Q-33	Ⅱa	—	—	344	二枚重　計測不可

第９表　出土遺物観察表（11）

図	種別	分類	器種（玉類・石）（銭・国名）	部位（銭=初鋳年）	器：口径 他：外径 銭：外径 単位＝cm（銭・玉=mm）（金属=mm）	器：高さ 厚さ 銭厚 単位＝cm（銭・玉=mm）（金属=mm）	器：底径 重量（単位=g）	次	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	層	遺構	dot	No.	備考
104-1	金属製品	鉄	鍔鉄	－	12.2	8.2	－	5次	R-33	Ⅰ	－	－	4	
104-2	金属製品	鉄	鎹	－	17.6	8.1	8.1	5次	Q-32	Ⅰ	－	－	362	
104-3	金属製品	鉄	板状	－	7.4	2.6	131.7	7次	Q-32	－	SB07	－	138	
104-4	金属製品	鉄	環輪	－	3.9	1.5	3.2	7次	R-32	Ⅰ	－	－	191	
104-5	金属製品	鉄	引金具状	－	2.3	2.4	3.7	7次	Q-32	Ⅱc	－	1306	228	
105-6	金属製品	鉄	刀子	－	6.6	3.4	8.1	5次	P-32	Ⅱa	－	－	817	
105-7	金属製品	鉄	刀子	－	10.8	2.7	18.7	5次	Q-33	Ⅱa	－	1051	293	
105-8	金属製品	鉄	刀子	－	9.5	2.3	13.0	7次	Q-32	Ⅱc	－	1312	239	
105-9	金属製品	鉄	刀子	－	6.7	3.7	20.1	5次	P-32	Ⅱa	－	－	820	
105-10	金属製品	鉄	刀子	－	12.8	3.9	29.7	5次	Q-32	Ⅰ	－	－	412	
105-11	金属製品	鉄	刀子？	－	5.1	3.0	8.3	7次	S-32	Ⅰ	－	－	140	
105-12	金属製品	鉄	釘	－	7.0	5.6	20.7	5次	P-33	Ⅱa	－	973	179	
105-13	金属製品	鉄	釘	－	5.2	4.6	7.6	7次	R-32	Ⅱa	－	－	121	
105-14	金属製品	鉄	釘	－	5.7	8.1	20.0	7次	R-32	Ⅱa	－	－	121	
105-15	金属製品	鉄	釘	－	6.0	3.4	5.1	5次	Q-31	Ⅱb	－	－	673	
105-16	金属製品	鉄	釘	－	6.3	5.2	13.3	7次	R-31	－	SB07	－	110	
105-17	金属製品	鉄	釘	－	6.7	4.6	10.4	7次	Q-32	Ⅱc	－	－	237	
105-18	金属製品	鉄	釘	－	4.8	5.0	6.3	7次	R-31	Ⅰ	－	－	71	
105-19	金属製品	鉄	釘	－	7.5	6.2	17.3	7次	R-32	Ⅰ	－	－	3	
105-20	金属製品	鉄	釘	－	11.2	7.2	34.5	5次	Q-33	Ⅰ	－	－	55	
105-21	金属製品	鉄	釘	－	9.5	7.8	37.5	5次	R-33	Ⅰ	－	－	8	
105-22	金属製品	鉄	釘	－	2.9	2.8	1.1	5次	Q-33	Ⅱa	－	－	328	
105-23	金属製品	銅	釘	－	4.40	3.0	1.9	5次	Q-31	Ⅰ	－	－	566	
105-24	金属製品	鉄	釣針	－	4.2	2.1	0.9	7次	R-31	Ⅱa	SB07	1278	156	
105-25	金属製品	鉄	釣針	－	3.1	3.5	3.2	5次	P-31	Ⅱa	－	1225	698	
105-26	金属製品	鉄	釣針	－	7.2	2.8	2.9	5次	Q-31	Ⅱa	－	1221	694	
105-27	金属製品	鉄	鏃	－	4.3	4.4	8.4	7次	Q-32	－	SB07	1341	229	
105-28	金属製品	鉄	鏃	－	4.5	4.9	8.08	5次	P-32	Ⅱa	－	940	88	
105-29	金属製品	鉄	鏃	－	7.0	5.7	15.4	7次	R-32	Ⅱa'	－	1264	149	
105-30	金属製品	鉄	鏃	－	6.5	3.2	8.3	5次	P-32	Ⅱa	－	－	818	
105-31	金属製品	鉄	鏃	－	6.8	3.4	6.6	5次	R-31	Ⅰ	－	－	763	
105-32	金属製品	鉄	鏃	－	7.5	4.1	24.5	5次	Q-33	Ⅱc	－	1062	304	
106-33	金属製品	青銅	印鑑	－	2.3	1.6	3.1	5次	Q-33	Ⅱa	－	1055	297	
106-34	金属製品	青銅	鋲	－	3.1	1.7	1.2	7次	Q-32	Ⅱc	－	1307	226	
106-35	金属製品	青銅	八双金具	－	5.0	1.1	6.6	5次	Q-32	Ⅱa	－	1139	404	
106-36	金属製品	青銅	八双金具	－	3.0	1.3	2.4	5次	P-31	Ⅱa	－	1228	701	
106-37	金属製品	青銅	板状金具	－	4.4	0.7	1.4	5次	Q-33	Ⅱa	－	1026	261	
106-38	金属製品	青銅	環輪	－	6.4	0.9	3.60	5次	Q-33	Ⅰ	－	1017	240	
106-39	金属製品	青銅	環座	－	3.8	2.4	1.0	5次	R-32	Ⅰ	－	－	458	
106-40	金属製品	青銅	座	－	1.7	0.7	0.9	7次	R-32	Ⅰ	－	1269	151	
106-41	金属製品	青銅	切羽	－	4.95	1.30	9.7	7次	R-30	Ⅰ	－	－	107	
106-42	金属製品	青銅	装飾品	－	4.7	2.4	6.4	7次	R-32	Ⅱa	－	－	121	
106-43	金属製品	青銅	鏡	－	2.3	1.4	4.0	5次	Q-31	Ⅰ	－	－	549	
106-44	金属製品	青銅	簪	－	9.9	2.9	9.7	7次	Q-31	Ⅱa	－	－	89	
106-45	金属製品	青銅	簪	－	6.4	2.60	3.1	5次	Q-31	Ⅱa	－	－	622	
106-46	金属製品	青銅	板状	－	3.4	0.8	2.6	5次	Q-32	Ⅰ	－	－	352	
106-47	金属製品	青銅	板状	－	1.9	1.70	2.80	5次	Q-31	Ⅱa	－	－	622	
106-48	金属製品	青銅	板状	－	6.0	0.9	4.7	5次	Q-32	Ⅱc	－	1060	302	
106-49	金属製品	青銅	板状	－	3.6	4.6	15.9	5次	Q-31	Ⅰ	－	－	544	
106-50	金属製品	青銅	縁金具	－	15.8	1.1	7.6	5次	R-32	Ⅰ	－	－	424	
106-51	金属製品	青銅	針状	－	9.1	1.4	2.5	5次	Q-32	Ⅱa	－	1130	395	
106-52	金属製品	青銅	針金状	－	5.2	1.5	2.5	7次	R-32	－	SB07ⅱ	1263	150	
106-53	金属製品	青銅	－	－	5.7	0.7	3.6	5次	Q-31	Ⅰ	－	－	352	
106-54	金属製品	青銅	－	－	1.8	0.8	0.2	5次	Q-31	Ⅱa	－	－	626	
106-55	金属製品	青銅	－	－	2.6	2.10	4.9	7次	R-30	Ⅰ	－	－	93	
106-56	金属製品	青銅	鈴状	－	2.6	0.70	4.9	5次	Q-33	－	SB07	1183	615	
106-57	金属製品	青銅	鈴状	－	3.1	1.1	5.9	5次	Q-31	Ⅰ	－	－	623	
106-58	金属製品	青銅	鈴状	－	2.6	0.70	3.1	5次	Q-32	Ⅰ	－	－	362	
106-59	金属製品	青銅	－	－	4.2	0.50	3.8	7次	Q-32	Ⅱc	－	1313	240	
106-60	金属製品	青銅	－	－	3.6	1.1	5.5	7次	R-32	Ⅱa'	－	－	123	
107-1	玉	勾玉？	濃い緑みの青		10.8	7	0.82	10次	R-32ﾄﾚ	Ⅱa'	－	1350	208	
107-2	玉	勾玉	濃い黄みの橙		9.69	2.25	0.12	7次		Ⅰ	－	－	241	
107-3	玉	勾玉	濃い緑		－	－	0.11	7次	R-31	Ⅱa	－	1279	155	
107-4	玉	勾玉	黄みの白		7.13	2.38	0.11	5次	P-33	Ⅱc	－	－	252	
107-5	玉	丸玉a	無彩色の白		17.37	15.66	6.30	5次	R-32	Ⅱa	－	1148	486	
107-6	玉	管玉	薄い黄みの橙		5.47	4.46	0.14	10次	R-32ﾄﾚ	Ⅱa'	－	－	251	
107-7	玉	管玉	明るい緑みの青		7.39	5.99	0.33	7次	R-32	－	SB07	－	179	
107-8	玉	管玉	にぶい黄みの橙		22.22	14.07	2.81	5次	R-33	Ⅰ	－	－	8	
107-9	玉	丸玉b2	明るい緑みの青		6.45	－	2.23	5次	－	表採	－	－	83	半分欠損
107-10	玉	丸玉b2	薄い緑みの青		4.53	5.84	0.21	5次	Q-33	Ⅱa	－	935	68	
107-11	玉	丸玉b2	薄い青		5.18	5.56	0.23	7次	Q-32	Ⅱa	－	－	219	
107-12	玉	丸玉b2	強い緑みの青		5.12	5.54	0.19	5次	R-32	Ⅰ	－	－	458	
107-13	玉	丸玉b2	強い緑みの青		－	－	0.19	5次	Q-31	Ⅰ	－	－	544	半分欠損
107-14	玉	丸玉b2	さえた緑みの青		3.56	5.34	0.15	5次	R-32	Ⅰ	－	－	458	
107-15	玉	丸玉b2	さえた緑みの青		－	－	0.17	5次	Q-31	Ⅰ	－	－	552	半分欠損
107-16	玉	丸玉b2	暗い紫みの青		6.2	5.9	0.50	7次	R-32	Ⅱa	－	－	196	
107-17	玉	丸玉b2	にぶい青紫		5.48	6.67	0.40	5次	P-32	Ⅱa	－	1159	496	
107-18	玉	丸玉b2	浅い青紫		6.91	8.35	0.63	5次	Q-33	Ⅰ	－	－	483	
107-19	玉	丸玉b2	さえた青紫		4.62	5.78	0.23	7次	R-32	Ⅱa	－	－	196	
107-20	玉	丸玉b2	強い青緑		4.34	6.87	0.16	5次	P-31	Ⅱa	－	－	727	3分の1欠
107-21	玉	丸玉b2	浅い黄緑		7.94	4.22	0.90	7次	R-33	Ⅱa	－	1287	188	
107-22	玉	丸玉b2	濃い黄みの橙		6.93	8.18	0.50	5次	R-32	Ⅱa	－	1154	492	
107-23	玉	丸玉b2	明るい灰みの橙		5.7	8.3	0.29	5次	Q-30	Ⅰ	－	－	332	

第9表　出土遺物観察表（12）

図	種別	分類	器種(玉類・石製品)	部位(銭=初鋳年)	器:口径 他:外径 銭:外径 単位=cm (銭・玉=mm)	器:高さ 厚さ 銭厚 単位=cm (銭・玉=mm)	器:底径 重量 (単位=g)	次	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	層	遺構	dot	No.	備考
107-24	玉	丸玉b2	明るい灰みの橙		4.99	5.86	0.23	7次	R-32	Ⅱa	—	—	187	
107-25	玉	丸玉b2	さえた黄		3.92	6.04	0.23	5次	—	表採	—	—	ナシ	
107-26	玉	丸玉b2	さえた赤紫		4.21	6.4	0.24	10次	R-32	Ⅱa	—	—	88	
107-27	玉	丸玉b2	明るい灰		6.24	8.16	0.36	7次	R-32	Ⅰ	—	—	10	
107-28	玉	丸玉b2	青みの灰		7.29	8.45	0.86	5次	R-32	Ⅰ	—	—	424	
107-29	玉	丸玉b2	青みの白		6.97	7.69	0.60	5次	—	表採	—	—	337	
107-30	玉	丸玉b2	黄みの白		14.63	18.07	7.12	5次	—	Ⅰ	—	—	851	
107-31	玉	丸玉b2	赤みの黒		9.26	10.96	1.66	5次	P-33	Ⅱa	—	953	137	
108-32	玉	丸玉c	明るい緑みの青		1.97	3.93	0.06	7次	R-32	Ⅱa'	—	—	123	
108-33	玉	丸玉c	浅い緑みの青		2.36	3.54	0.04	7次	R-32	Ⅰ	—	—	7	
108-34	玉	丸玉c	さえた紫みの青		2.8	4.36	0.09	7次	R-32	Ⅱa	—	—	187	
108-35	玉	丸玉c	さえた緑みの青		2.47	3.24	0.04	7次	R-32	Ⅱa'	—	—	269	
108-36	玉	丸玉c	強い紫みの青		2.6	3.57	0.05	10次	Q-32	—	SB07	—	61	
108-37	玉	丸玉c	強い緑みの青		4.41	5.66	0.20	10次	—	表採	—	—	252	
108-38	玉	丸玉c	浅い青		1.38	3.53	0.01	7次	Q-32	—	SB07	—	217	
108-39	玉	丸玉c	薄い青		3.13	4.2	0.66	5次	P-31	Ⅱa	—	—	667	
108-40	玉	丸玉c	薄い青		1.04	2.49	0.01	7次	R-32	Ⅱa'	—	—	269	
108-41	玉	丸玉c	薄い緑みの青		2.76	3.47	0.04	5次	Q-33	Ⅱb	—	984	190	
108-42	玉	丸玉c	薄い緑みの青		1.41	2.9	0.01	7次	R-32	Ⅱa	—	—	187	
108-43	玉	丸玉c	薄い緑みの青		1.97	3.45	0.03	5次	—	Ⅰ	—	—	830	
108-44	玉	丸玉c	薄い緑みの青		2.32	3.31	0.03	7次	R-32	Ⅱa'	—	—	164	
108-45	玉	丸玉c	明るい緑みの青		2.61	3.66	0.05	7次	R-32	Ⅱa'	—	—	118	
108-46	玉	丸玉c	強い青緑		3.12	2.82	0.02	7次	R-32	Ⅱa'	—	—	269	
108-47	玉	丸玉c	浅い青緑		3.13	3.47	0.05	10次	R-32	Ⅱa	—	—	88	
108-48	玉	丸玉c	浅い青緑		1.61	3.63	0.01	10次	Q-32	—	SB07	—	61	
108-49	玉	丸玉c	明るい灰みの青緑		3.1	4.19	0.07	7次	R-32	Ⅰ	—	—	10	
108-50	玉	丸玉c	明るい緑		1.62	2.28	0.01	10次	Q-33	Ⅱa	—	—	198	
108-51	玉	丸玉c	薄い紫		2.85	4.28	0.06	7次	R-32	Ⅱa	—	—	187	
108-52	玉	丸玉c	濃い赤紫		2.41	4.01	0.07	7次	R-32	Ⅱa	—	—	174	
108-53	玉	丸玉c	明るい灰みの黄緑		1.76	2.79	0.01	10次	—	表採	—	—	255	
108-54	玉	丸玉c	薄い黄みの橙		4.82	5.77	0.25	7次	R-32	Ⅱa'	—	—	284	
108-55	玉	丸玉c	明るい灰みの橙		2.05	4.33	0.06	10次	R-32	Ⅱa	—	—	89	
108-56	玉	丸玉c	明るい灰		2	3.54	0.03	7次	R-32	Ⅱa	—	—	187	
108-57	玉	丸玉c	濃い黄みの橙		2.62	3.43	0.01	7次	R-32	Ⅱa'	—	—	165	
108-58	玉	丸玉c	無彩色の明るい灰		3.59	4.51	0.12	7次	R-32	—	SB07	—	136	
108-59	玉	丸玉c	青みの白		3.04	3.13	0.04	7次	R-32	Ⅱa	—	—	187	
108-60	玉	丸玉c	黄みの白		2.88	4.11	0.09	5次	Q-33	Ⅱa	—	—	328	
108-61	玉	丸玉c	白		3.25	4.16	0.06	7次	R-31	—	SB07	—	110	
108-62	玉	丸玉c	緑みの白		2.19	2.55	0.04	5次	—	Ⅰ	—	—	595	
108-63	玉	丸玉b2接着	濃い黄みの橙		1.63	2.87	0.01	7次	R-32	Ⅱa'	—	—	278	
108-64	玉	丸玉c接着	薄い黄みの橙		7.05	3.07	0.05	7次	Q-32	Ⅱc	—	—	225	
108-65	玉	丸玉c接着	薄い黄みの橙		4.48	2.98	0.05	10次	Q-32	Ⅱa'	—	—	178	
108-66	玉	丸玉c接着	にぶい赤		4.13	3.26	0.10	5次	Q-32	Ⅰ	—	—	577	
108-67	玉	管玉	緑みの灰色		21.72	7.99	2.43	5次	Q-33	Ⅱa	—	1031	273	
109-1	石器	鏃	—	—	2.25	5.5	34.26	5次	Q-31	Ⅰ	—	—	17	琉球石灰岩
109-2	石器	提砥	懸垂棒礼型	角棒形・b	5.85	1.3	28.35	5次	P-33	Ⅰ	—	—	39	砂岩
109-3	石器	提砥	懸垂棒礼型	角棒形・d	5.8	1.15	17.84	5次	Q-33	Ⅱa	—	—	61	頁岩
109-4	石器	提砥	懸垂棒礼型	角棒形・破片	4.3	1.3	14.83	7次	P-30	Ⅰ	—	—	93	頁岩
109-5	石器	提砥	懸垂棒礼型	角棒形・c	5.7	1.2	27.72	5次	P-33	Ⅱ	—	957	151	頁岩
109-6	石器	石製品	不明	模造品	3.65	0.5	7.9	7次	Q-33	Ⅰ	—	—	199	頁岩
109-7	石器	石製品	不明	模造品	2.3	0.25	2.47	7次	Q-30	Ⅰ	—	—	261	頁岩
109-8	石器	砥石	打割礫型	略方・略長方形・破片	6.4	1.35	30.39	5次	R-33	Ⅰ	—	—	13	頁岩
109-9	石器	砥石	規格定形板柱型	角柱半欠形・d小型	5.05	1.8	50.47	5次	Q-33	Ⅰ	—	—	255	玢岩
109-10	石器	砥石	自然礫型	略方・略長方形・a	6.5	2.5	235.62	4次	—	表採	—	—	—	玢岩
110-11	石器	砥石	自然礫型	不定形	18.65	8.9	2700.0	4次	P-33	Ⅰ	—	—	148	砂岩
110-12	石器	砥石	打割礫型	略方・略長方形・b	11.0	2.25	262.85	5次	Q-33	—	SB07	—	802	頁岩
110-13	石器	砥石	自然礫型	不定形	13.4	3.3	770.0	4次	—	表採	—	—	—	砂岩
110-14	石器	砥石	打割礫型	不定形	13.9	4.4	760.0	4次	R-32	表採	—	—	144	玢岩
110-15	石器	砥石	規格定形板柱型	角柱形・c	5.9	3.0	96.84	5次	R-32	—	SB07	—	598	琉球石灰岩
110-16	石器	砥石	規格定形板柱型	角柱半欠形・d小型	5.0	1.1	32.16	7次	Q-31	Ⅱa	—	—	88	玢岩
110-17	石器	砥石	打割礫型	不定形	9.7	2.0	123.06	5次	P-33	Ⅱa	—	—	228	粘板岩
110-18	石器	敲石	—	—	14.9	5.65	1225.0	5次	Q-30	Ⅰ	—	—	456	砂岩
110-19	石器	敲石	—	—	15.0	5.5	1120.0	5次	—	Ⅰ	—	—	515	砂岩
110-20	石器	敲石	—	—	4.8	2.5	131.30	4次	P-30	表採	—	—	61	チャート
110-21	石器	石斧	—	—	12.1	3.0	380.92	5次	R-32	Ⅰ	—	1143	—	緑色片岩
110-22	石器	砥石	自然礫型	略円・略楕円	8.7	3.0	700.0	7次	R-32	Ⅱa	—	—	123	砂岩
111-23	石器	錘	—	—	8.3	5.6	209.85	7次	Q-32	—	SB07	—	212	砂岩
111-24	石器	砥石	規格定形板柱型	角柱半欠形・d小型	9.8	4.35	254.32	8次	Q-33	Ⅱa	—	—	302	玢岩
111-25	石器	砥石	打割礫型	略方・略長方形・a	10	2.9	432.57	7次	Q-31	Ⅰ	—	—	49	砂岩
111-26	石器	砥石	懸垂棒礼型	その他	2.6	0.6	3.70	5次	Q-32	Ⅱa	—	—	357	粘板岩
111-27	石器	砥石	規格定形板柱型	その他	4.9	1.5	21.83	10次	R-30,31	Ⅰ	—	—	231	玢岩
111-28	煙管	石製品	雁首	玢岩	28.29	28.13	28.09	5次	Q-32	—	SB07	1126	391	一部欠損
111-29	煙管	石製品	雁首	玢岩	22.22	24.37	9.95	7次	R-32	Ⅱb	—	—	178	一部欠損
111-30	煙管	石製品	雁首	玢岩	—	—	2.09	5次	Q-32	—	SB07	—	359	灰皿口縁破片のみ
111-31	煙管	石製品	雁首	頁岩	25.44	36.61	15.38	5次	Q-30	Ⅱa	—	—	512	約1/2欠損
111-32	煙管	瓦質製	雁首	瓦質土器?	2.7	3.4	24.04	5次	Q-31	Ⅰ	—	—	461	1/3欠け
111-33	煙管	石製品	雁首	玢岩	22.06	25.03	4.17	5次	Q-32	—	SB07	—	374	1/3欠損

第10表　Ⅷ区出土銭貨観察表

No	本図(図-No)	銭銘	初鋳年	国名	想定される銭銘	書体	計測値(単位=mm, g) 外径(タテ)	内径(ヨコ)	孔径 縦	孔径 横	銭厚	量目	出土地点 次	地区	グリッド	遺構	層序	dot	備考
1	102-1	開元通寶	621	唐	○	隷書	24.48	20.76	6.49	6.71	1.34	2.32	5	Ⅷ	Q-31		Ⅰ		
2	103-23	□元通□ □通元□	621	唐	開元通寶	篆書	25.35	20.65	6.41	6.77	1.89	3.34	5	Ⅷ	R-32		Ⅰ		
3	102-2	咸平元寶	998	北宋	○	真書	24.81	17.99	5.73	5.62	1.19	3.17	10	Ⅷ	R-33		Ⅰ		
4	102-3	咸平元寶	998	北宋	○	真書	24.7	17.76	5.46	5.4	1.17	2.92	4	Ⅷ	城壁内		表採		
5	102-4	景徳元寶	1004	北宋	○	真書	24.6	19.75	6.39	6.45	1.11	2.52	10	Ⅷ	Q-31		Ⅱa		穴有り
6	102-5	天禧□寶	1017	北宋	天禧通寶	真書	25.87	19.28	-	6.31	1.15	2.05	7	Ⅷ	R-31		Ⅰ		欠損
7	103-24	熙寧元寶	1068	北宋	○	真書	24.31	19.89	7.3	7.15	1.24	3.18	7	Ⅷ	R-32		Ⅱa'	1257	
8	22-9	熙寧元寶	1068	北宋	○	真書	24.31	20.09	6.45	6.18	1.31	2.97	10	Ⅷ	Q-33	SB09	ⅱ	8	
9	102-6	熙□□□	1071	北宋	熙寧重寶（折二）	真書	-	-	-	-	1.28	1.57	7	Ⅷ	Q-31		Ⅰ		欠損
10	102-7	元豊通寶 折二	1078	北宋	○	行書	29.14	21.54	5.86	5.89	2.01	7.51	7	Ⅷ	R-31	SB07	Ⅱa	1274	
11	103-26	□□□寶	1078	北宋	元豊通寶	篆書	26.23	21.23	7.23	7.38	1.28	3.05	5	Ⅷ	Q-33		Ⅱa	1071	割れ
12	80-21	元豊通寶	1078	北宋	○	行書	24.13	25.07	6.4	6.38	1.17	3.39	10	Ⅷ	R-32	西トレンチ	Ⅱa		
13	102-8	元祐通寶	1086	北宋	○	篆書	24.23	19.29	6.78	6.58	1.52	4.04	7	Ⅷ	Q-33		Ⅱa		
14	40-1	元□□□	1086	北宋	元祐通寶	行書	-	-	-	6.7	1.36	1.85	10	Ⅷ	R-32	S1061	-		欠損
15	22-13	□聖元寶	1023 1094	北宋	天聖元寶or 紹聖元寶	真書	25.76	21.33		6..87	1.37	2.62	10	Ⅷ	Q-33	SB09	ⅰ		礼元重寶
16	102-9	崇寧通寶 当十	1103	北宋	○	真書	35.2	31	8.58	8.38	2.73	10.9	7	Ⅷ	Q-33		Ⅱa		
17	102-10	□和□寶	1111	北宋	政和通寶（折二）	篆書	-	-	-	-	1.92	3.45	5	Ⅷ	Q-32		Ⅰ		欠損
18	22-10	紹興通寶 折二	1131	南宋	○	真書	30.08	30.17	7.68	7.95	1.78	5.13	10	Ⅷ	Q-33	SB09	ⅱ		
19	22-11	紹熙元寶	1190	南宋	○	真書	30.67	24.38	7.69	7.91	1.76	5.21	10	Ⅷ	Q-33	SB09	ⅱ	1	割れ
20	102-11	咸淳元寶	1265	南宋	○	真書	23.93	19.49	7.29	7.08	1.21	3.06	7	Ⅷ	Q-33		Ⅱa	1286	
21	22-12	□大通□	1310	元	至大通寶？	真書	22.84	19.04	5.62	5.94	2.79	1.93	10	Ⅷ	Q-33	SB09	ⅱ		
22	102-13	洪武通寶	1368	明	○	真書	23.21	18.79	5.14	5.05	1.31	2.87	10	Ⅷ	Q-32	S B07	ⅰ		
23	102-14	洪武通寶	1368	明	○	真書	23.84	18.56	5.01	5.13	1.63	3.38	5	Ⅷ	R-32		Ⅰ		
24	102-15	洪武通寶	1368	明	○	真書	20.25	16.23	4.47	4.38	1.36	2.36	7	Ⅷ	R-32		Ⅱa'		
25	102-20	□□□寶	1368	明	洪武通寶	真書	-	-	5.9	-	1.35	2.32	5	Ⅷ	P-33		Ⅰ		欠損
26	33-13	洪□□寶	1368	明	洪武通寶	真書	-	-	-	-	1.45	1.74	10	Ⅷ	Q-32		Ⅱb		欠損
27		洪武通寶	1368	明	洪武通寶		24.87	20.59	6.42	5.53	1.62	2.26	7	Ⅷ	R-32		Ⅱa'		割れ
28	33-14	洪武通寶	1368	明	○	真書	21.38	15.77	4.47	4.34	1.51	2.95	10	Ⅷ	Q-32	西トレンチ	Ⅱb		
29	102-12	洪武通寶 背一銭	1368	明	○	真書	20.44	15.35	4.7	5.12	1.96	3.29	5	Ⅷ	—		ⅰ		
30	102-16	永楽通寶	1408	明	○	真書	25.26	19.89	5.39	5.55	1.6	3.86	7	Ⅷ	R-32		Ⅱa'	1295	
31	102-17	□楽通寶	1408	明	永楽通寶	真書	24.13	19.79	-	6.96	1.37	2.3	5	Ⅷ	Q-31		Ⅱa		欠損
32	102-18	永楽通寶	1408	明	○	真書	25.5	20.05	5.48	5.51	1.35	4.3	7	Ⅷ	Q-32		Ⅱa	1303	
33	102-21	□宋□□	1408	明	永楽通寶	真書	23.56	23.61	4.31	4.25	2.34	4.36	5	Ⅷ	Q-33		Ⅰb		二枚重の内一枚
34	102-19	宣徳通寶	1433	明	○	真書	24.76	20.16	4.92	5.09	1.42	3.03	5	Ⅷ	Q-33	SB07	ⅰ	1182	
35	102-22	元□□寶	-	-	不明	行書	22.96	-	6.17	6.31	1.14	2.61	10	Ⅷ	R-32		Ⅱa		
36		元□□□	-	-	-	-	-	-	-	-	1.22	0.76	5	Ⅷ	P-32		ｶｸﾗﾝ土坑		欠損
37		宇□□□	-	-	-	-	-	-	-	-	1.12	1.25	5	Ⅷ	Q-33		Ⅱb		欠損
38		大□□□	-	-	-	-	-	-	-	-	2.32	1.27	5	Ⅷ	Q-31		SB2 i		欠損
39		□□通寶	-	-	-	-	-	-	5.66	-	1.14	1.69	5	Ⅷ	R-32		Ⅰ		欠損 判読不能
40		□元□□ □□元□	-	-	-	-	-	-	-	-	1.44	0.37	10	Ⅷ	Q-33	SB09	ⅰ		欠損
41		□元□寶 □□元寶	-	-	-	-	-	-	-	-	1.41	2.15	5	Ⅷ	R-33		Ⅱb		欠損
42		□元□寶 □□元寶	-	-	-	-	-	-	-	-	1.04	1.23	5	Ⅷ	P-33		Ⅱa		欠損
43		□□□寶	-	-	-	-	-	-	-	-	1.41	0.54	5	Ⅷ	Q-33		Ⅰ		欠損
44		□□□寶	-	-	-	-	-	25.19	-	5.6	1.38	2.04	5	Ⅷ	Q-33		Ⅰb		欠損
45		□□□寶	-	-	-	-	-	-	-	-	1.48	1.08	7	Ⅷ			Ⅰ		欠損
46		□□□寶	-	-	-	-	-	-	-	-	1.29	0.3	10	Ⅷ	Q-33		Ⅱa		欠損
47		□□□寶	-	-	-	-	-	-	-	-	1.19	1.44	10	Ⅷ	R-32	Bトレ	Ⅱa'		欠損
48	103-25	不明	-	-	-	-	23.16	18.81	5.92	5.76	1.49	2.69	7	Ⅷ	R-32	SB07	ⅰ	1314	判読不能
49	103-27	不明	-	-	-	-	22.13	22.14	6.93	6.6	1.19	1.59	7	Ⅷ	R-32		Ⅱa'	1257	
50	103-28	不明	-	-	-	-	23.14	23.52	6.46	6.48	1.16	2.5	7	Ⅷ	R-32		Ⅱa'	1257	
51	103-29	不明	-	-	-	-	23.63	23.57	6.35	6.1	1.29	3.32	7	Ⅷ	R-32	SB07	ⅰ	1314	
52	103-32	不明	-	-	-	-	22.64	22.65	5.58	5.54	1.09	2.23	5	Ⅷ	Q-33	SB07	ⅰ	1177	
53	103-33	不明	-	-	-	-	21.77	21.67	7.06	6.8	0.95	1.9	5	Ⅷ	Q-32		Ⅱa	1137	
54	103-49	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	2.35	5.07	5	Ⅷ	Q-33		Ⅱa		二枚重計測不可
55		不明	-	-	-	-	-	-	-	-	1.81	5.61	5	Ⅷ	P-32		ｶｸﾗﾝ土坑		銅、固まり付着
56		不明	-	-	-	-	24.23	22.98	5.49	6.02	1.42	1.97	5	Ⅷ	R-32		Ⅰ		割れ
57		不明	-	-	-	-	24.09	23.57	6.18	5.77	1.62	2.76	5	Ⅷ	R-32		Ⅰ		
58		不明	-	-	-	-	-	-	-	-	1.36	0.39	5	Ⅷ	R-32		Ⅰ		欠損
59		不明	-	-	-	-	21.76	21.69	6.24	6.18	1.13	1.83	5	Ⅷ	Q-32		Ⅰ		
60		不明	-	-	-	-	23.82	23.26	6.44	6.51	1.17	2.48	5	Ⅷ	Q-33		Ⅱa	1037	
61		不明	-	-	-	-	-	-	-	-	0.85	0.47	5	Ⅷ	Q-31		SB2 i		欠損
62		不明	-	-	-	-	24	24.41	4.95	5.32	1.49	2.85	5	Ⅷ	P-31	SB1	ⅰ		
63		不明	-	-	-	-	-	-	-	-	1.04	0.33	7	Ⅷ	Q-31		Ⅱa		欠損
64		不明	-	-	-	-	22.68	22.72	7.04	6.71	1.37	1.57	7	Ⅷ	R-32		Ⅱa	1292	
65		不明	-	-	-	-	-	-	-	-	1.25	0.53	7	Ⅷ	R-32		Ⅰ		欠損
66		不明	-	-	-	-	-	-	-	-	1.23	0.14	7	Ⅷ	R-32	SB07	ⅰ		欠損
67	49-46	無文銭					19.56	19.56	8.31	8.15	1.1	1.59	4	Ⅷ	AB内		Ⅰ		
68	103-30	無文銭					21.61	21.31	5.97	5.91	0.8	1.77	5	Ⅷ	Q-33		Ⅱa	1053	
69	103-31	無文銭					21.78	21.43	7.88	7.58	1.25	1.64	5	Ⅷ	P-33		Ⅱc	1018	
70	103-34	無文銭					23.16	23.12	6.82	7.11	1.42	2.07	5	Ⅷ	R-33		Ⅱa	1255	
71	103-35	無文銭					21.41	20.94	6.9	6.4	0.93	0.93	10	Ⅷ	Q-32	SB07	ⅰ		
72	103-36	無文銭					20.5	20.34	6.33	6.83	0.84	1.1	5	Ⅷ	Q-32		Ⅱa	1120	割れ
73	103-37	無文銭					21.09	21.12	6.93	7.03	1.17	1.62	5	Ⅷ	Q-33		Ⅱa	1053	
74	103-38	無文銭					22.23	21.6	7.97	7.57	1.23	2.09	5	Ⅷ	Q-33		Ⅱa	1053	
75	103-39	無文銭					21.67	21.01	8.24	9.11	1.18	1.92	7	Ⅷ	—		Ⅰ		
76	103-40	無文銭					21.6	21.5	9.65	9.38	0.98	1.78	7	Ⅷ	—		Ⅰ		
77	103-41	無文銭					21.96	22.21	7.63	7.35	1.35	1.8	5	Ⅷ	Q-33		Ⅱa	1053	
78	103-42	無文銭					20	19.56	6.26	6.1	0.75	1.23	4	Ⅷ	城壁外				
79	103-43	無文銭					20.17	19.93	7.89	7.27	0.79	0.89	5	Ⅷ	Q-33		Ⅱa	1053	
80	103-44	無文銭					19.65	19.89	6.8	6.63	0.64	0.88	5	Ⅷ	Q-31		Ⅰ		
81	103-45	無文銭					19.36	19.41	8.53	8.23	1.08	1	7	Ⅷ	R-32		Ⅱa'	1259	
82	103-46	無文銭					15.65	15.72	7.76	7.43	0.56	0.56	10	Ⅷ	Q-32	SB07	ⅰ		
83	103-47	無文銭					16.82	-	9.49	-	0.61	0.3	5	Ⅷ	Q-33		Ⅱa		欠損
84		無文銭					22.14	21.62	6.14	6.24	0.95	1.72	5	Ⅷ	Q-32	SB07	ⅰ		
85		無文銭					-	-	-	-	0.85	0.91	5	Ⅷ	Q-33	SB07	ⅰ	1180	欠損
86		無文銭					20.33	20.45	7.58	7.9	0.58	0.95	7	Ⅷ	R-33		Ⅱa	1304	
87		無文銭					22.87	22.57	6.6	6.35	1.04	2.08	7	Ⅷ	R-32		Ⅰ		
88		無文銭					21.79	-	7.58	-	0.98	1.13	7	Ⅷ	R-32		Ⅰ		欠損
89		無文銭					20.35	20.24	6.84	6.78	0.7	1.17	7	Ⅷ	S-32		Ⅰ		
90		無文銭					-	-	-	-	1.11	1.36	10	Ⅷ	Q-32		Ⅱa'		欠損
91		無文銭					-	-	-	-	0.96	0.73	10	Ⅷ	Q-32	SB07	ⅰ		欠損
92		無文銭					-	-	-	-	1.03	0.59	10	Ⅷ	Q-33	SB09	ⅰ		欠損
93		無文銭					18.4	18.08	7.16	7.61	0.7	0.61	10	Ⅷ	Q-33	SB09	ⅰ		割れ
94		無文銭					22.14	22.16	8.49	8.22	1.16	1.66	10	Ⅷ	Q-32	SB07	ⅰ		
95		無文銭					-	-	-	-	0.76	0.34	10	Ⅷ	Q-32	SB07	ⅰ		欠損
96		無文銭	上段はうち1枚を計測				14.27	7/55	-	-	0.55	不詳	5	Ⅷ	P-33		Ⅰ		※1枚の計測値
			下段は全体の計測値						-	-		1.28							全体4枚重なる

※ゴシック体は本報告書図示資料，明朝体は集計のみ

第11表　Ⅷ区出土玉類観察表（1）

図番号	次	区	グリット	層位	遺構名	dot	台帳No	回収日	分類	材質	色調	計測値 長さ	孔径	幅	重量	備考
107-1	10	Ⅷ区	R-32Bトレ	Ⅱa		1350	208	09.08/14	勾玉（Ⅰ類）	ガラス	濃い緑みの青	10.80	-	7.00	0.82	
107-4	5	Ⅷ区	P-33	Ⅱc			252	07.07/25	勾玉（Ⅰ類）	ガラス	黄みの白	7.13	-	2.38	0.11	
18-56	5	Ⅷ区	Q-32		SR1 ⅱc'		431	07.10/23	勾玉（Ⅰ類）	石	黄みの白	33.25	-	11.54	8.32	
107-3	7	Ⅷ区	R-31	Ⅱa		1279	155	08.08/20	勾玉（Ⅰ類）	ガラス	濃い緑	-	-	-	0.11	上部3分1欠
107-2	7	Ⅷ区	-	Ⅰ			241	08.09/03	勾玉（Ⅰ類）	ガラス	濃い黄みの橙	9.69	2.26	2.25	0.12	
107-7	7	Ⅷ区	R-32		SB07 i		179	08.08/20	管玉（Ⅱ類）	ガラス	明るい緑みの青	7.39	2.63	5.99	0.33	
107-6	10	Ⅷ区	R-32Bトレ	Ⅱa'			251	09.09/11	管玉（Ⅱ類）	ガラス	薄い黄みの橙	5.47	1.45	4.46	0.14	
107-8	5	Ⅷ区	R-33	Ⅰ			8	07.05/28	管玉（Ⅱ類）	ガラス	にぶい黄みの橙	22.22	※	14.07	2.81	※長径3.99/短径2.84
108-67	5	Ⅷ区	Q-33	Ⅱa		1031	273	07.07/31	管玉（Ⅱ類）	ガラス	緑みの灰色	21.72	1.60	7.99	2.43	
107-5	5	Ⅷ区	R-32	Ⅱa		1148	486	07.11/05	Ⅲa	ガラス	無彩色の白	17.37	3.02	15.66	6.30	
107-10	5	Ⅷ区	Q-33	Ⅱa		935	68	07.06/20	Ⅲb2	ガラス	薄い緑みの青	4.53	2.20	5.84	0.21	
107-11	7	Ⅷ区	Q-32	Ⅱa			219	08.09/02	Ⅲb2	ガラス	薄い青	5.18	1.93	5.56	0.23	
107-12	5	Ⅷ区	R-32	Ⅰ			458	07.11/05	Ⅲb2	ガラス	強い緑みの青	5.12	1.45	5.54	0.19	
107-13	5	Ⅷ区	Q-31	Ⅰ			544	08.01/08	Ⅲb2	ガラス	強い緑みの青	-	-	-	0.19	半分欠損
107-14	5	Ⅷ区	R-32	Ⅰ			458	07.11/05	Ⅲb2	ガラス	さえた紫みの青	3.56	1.93	5.34	0.15	
107-15	5	Ⅷ区	Q-31	Ⅰ			552	080.1/18	Ⅲb2	ガラス	さえた緑みの青	-	-	-	0.17	半分欠損
107-16	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			196	08.08/26	Ⅲb2	ガラス	暗い紫みの青	6.20	2.39	5.90	0.50	
107-17	5	Ⅷ区	P-32	Ⅱa		1159	496	07.11/16	Ⅲb2	ガラス	にぶい青紫	5.48	1.47	6.67	0.40	
107-18	5	Ⅷ区	Q-33	Ⅰ			483	07.11/14	Ⅲb2	ガラス	浅い青紫	6.91	2.20	8.35	0.63	
107-19	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			196	08.08/26	Ⅲb2	ガラス	さえた青紫	4.62	2.30	5.78	0.23	
107-20	5	Ⅷ区	P-31	Ⅱa			727	08.03/04	Ⅲb2	ガラス	強い青緑	4.34	2.60	6.87	0.16	3分の1欠
107-21	7	Ⅷ区	R-33	Ⅱa		1287	188	08.08/22	Ⅲb2	ガラス	浅い黄緑	7.94	3.53	4.22	0.90	
107-22	5	Ⅷ区	R-32	Ⅱa		1154	492	07.11/06	Ⅲb2	ガラス	濃い黄みの橙	6.93	3.02	8.18	0.50	
107-23	5	Ⅷ区	Q-30	Ⅰ			332	07.08/31	Ⅲb2	ガラス	明るい灰みの橙	5.70	2.97	8.30	0.29	
107-24	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			187	08.08/22	Ⅲb2	ガラス	明るい灰みの橙	4.99	1.57	5.86	0.23	
107-25	5	Ⅷ区	-	表採			未記載	08.03/27	Ⅲb2	ガラス	さえた黄	3.92	2.15	6.04	0.23	
107-26	10	Ⅷ区	R-32西トレ	Ⅱa			88	09.06/30	Ⅲb2	ガラス	さえた赤紫	4.21	2.57	6.40	0.24	
107-27	7	Ⅷ区	R-32	Ⅰ			10	08.07/07	Ⅲb2	ガラス	明るい灰	6.24	2.84	8.16	0.36	
107-28	5	Ⅷ区	R-32	Ⅰ			424	07.10/23	Ⅲb2	ガラス	青みの灰	7.29	2.07	8.45	0.86	
107-29	5	Ⅷ区	-	表採			337	目付なし	Ⅲb2	ガラス	青みの白	6.97	1.99	7.69	0.60	
107-30	5	Ⅷ区	-	Ⅰ			851	07.11/08	Ⅲb2	不明	黄みの白	14.63	3.83	18.07	7.12	
107-31	5	Ⅷ区	P-33	Ⅱa		953	137	07.07/10	Ⅲb2	頁岩	赤みの黒	9.26	3.14	10.96	1.66	
107-9	5	Ⅷ区	-	表採			83	07.06/27	Ⅲb2	ガラス	明るい緑みの青	6.45	-	-	2.23	半分欠損
108-61	7	Ⅷ区	R-31		SB07 i		110	08.08/06	Ⅲb2	ガラス	無彩色の白	3.25	1.46	4.16	0.06	
108-63	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			278	08.10/14	Ⅲb2	ガラス	濃い黄みの橙	1.63	1.30	2.87	0.01	2個重なる
22-14	10	Ⅷ区	Q-33		SB09 i		9	09.04/17	Ⅲb2	ガラス	黄みの白	6.33	3.17	9.55	0.76	
25-15	5		P-32		SK823 ii		769	08.4.3	Ⅲb2	ガラス	青みの暗い灰	1.10	※	1.40	2.98	上0.60/下0.35
80-16	10	Ⅷ区	Q-32西トレ		SB07 i		97	09.07/03	Ⅲb2	ガラス	明るい灰みの橙	4.76	1.85	5.76	0.13	
80-17	10	Ⅷ区	R-32西トレ	Ⅱa	SB07 i		93	09.07/01	Ⅲb2	ガラス	濃い青紫	4.09	0.15	5.56	0.22	
80-18	10	Ⅷ区	R-32西トレ	Ⅱa	SB07 i		96	09.07/02	Ⅲb2	ガラス	濃い赤紫	4.15	-	6.02	0.14	半分欠損
81-15	10	Ⅷ区	Q-32	Ⅱc2			164	09.07/29	Ⅲb2	ガラス	明るい青	4.11	2.76	5.63	0.16	
	5	Ⅷ区	Q-33	Ⅱb		923	42	07.06/05	Ⅲb2	ガラス	識別不可	5.93	2.87	8.95	0.83	
	5	Ⅷ区	Q-33	Ⅰ			45	07.06/06	Ⅲb2	ガラス	無彩色の白	4.77	2.12	5.14	0.14	
	5	Ⅷ区	P-33	Ⅱa			164	07.07/20	Ⅲb2	ガラス	黄みの白	4.57	1.62	5.86	0.23	
	5	Ⅷ区	P-33	Ⅱa		964	170	07.07/20	Ⅲb2	ガラス	無彩色の白	4.66	2.19	5.64	0.16	
	5	Ⅷ区	P-33	Ⅱa		965	171	07.07/20	Ⅲb2	ガラス	無彩色の白	4.85	2.11	6.56	0.33	
	5	Ⅷ区	P-33	Ⅱc			252	07.07/25	Ⅲb2	ガラス	識別不可	-	-	-	0.09	破片
	5	Ⅷ区	R-32	Ⅰ			440	07.10/29	Ⅲb2	ガラス	強い緑みの青	4.65	1.84	6.03	0.25	
	5	Ⅷ区	R-32	Ⅰ			458	07.11/05	Ⅲb2	ガラス	強い緑みの青	4.97	1.28	5.69	0.26	
	5	Ⅷ区	R-32	Ⅰ			458	07.11/05	Ⅲb2	ガラス	強い緑みの青	4.48	1.37	5.53	0.20	
	5	Ⅷ区	R-32	Ⅰ			458	07.11/05	Ⅲb2	ガラス	強い緑みの青	5.07	1.58	5.81	0.24	
	5	Ⅷ区	R-32	Ⅰ			458	07.11/05	Ⅲb2	ガラス	強い緑みの青	5.66	1.43	5.97	0.27	
	5	Ⅷ区	R-32	Ⅰ			458	07.11/05	Ⅲb2	ガラス	識別不可	-	-	-	0.02	破片
	5	Ⅷ区	R-32	Ⅱa		1153	491	07.11/5	Ⅲb2	ガラス	無彩色の白	11.59	3.03	11.92	2.09	
	5	Ⅷ区	P-32	Ⅰ			510	07.11/19	Ⅲb2	ガラス	緑みの白	6.21	-	6.98	0.17	半分欠損
	5	Ⅷ区	Q-30	Ⅱa		1170	519	07.12/13	Ⅲb2	ガラス	無彩色の白	7.24	1.78	8.68	1.04	
	5	Ⅷ区	Q-31	Ⅰ			558	08.01/21	Ⅲb2	ガラス	無彩色の白	5.52	2.42	7.61	0.41	
	5	Ⅷ区	Q-33	Ⅱa		1179	608	08.02/08	Ⅲb2	ガラス	濃い黄みの橙	6.64	3.02	8.89	0.63	破片
	5	Ⅷ区	-	Ⅰ			613	08.02/18	Ⅲb2	ガラス	明るい灰	-	-	-	0.18	破片
	5	Ⅷ区	Q-31	Ⅱa			617	08.02/22	Ⅲb2	ガラス	無彩色の白	7.65	4.00	11.08	0.79	
	5	Ⅷ区	Q-31	Ⅱa		1209	661	08.03/04	Ⅲb2	ガラス	無彩色の白	4.61	1.73	5.95	0.27	
	5	Ⅷ区	R-31	Ⅰ			686	08.03/12	Ⅲb2	ガラス	青みの明るい灰	-	-	-	0.29	欠
	5	Ⅷ区	Q-30	表採			未記載	08.03/27	Ⅲb2	ガラス	赤みの明るい灰	6.13	1.77	8.64	0.55	
	7	Ⅷ区	-	Ⅰ			90	08.08/04	Ⅲb2	ガラス	明るい緑みの青	6.70	-	8.96	0.18	半分欠損
	7	Ⅷ区	-	Ⅰ			98	08.08/05	Ⅲb2	ガラス	明るい緑みの青	6.87	-	8.50	0.28	
	7	Ⅷ区	Q-32		SB07 i		109	08.08/06	Ⅲb2	ガラス	明るい緑みの青	-	-	-	0.19	
	7	Ⅷ区	R-31	Ⅰ			120	08.08/07	Ⅲb2	ガラス	浅い緑みの青	7.55	-	8.95	0.39	半分欠損
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			123	08.08/08	Ⅲb2	ガラス	強い緑みの青	6.23	3.09	8.00	0.50	
	7	Ⅷ区	R-32		SB07 i		136	08.08/18	Ⅲb2	ガラス	黄みの白	5.02	3.19	9.03	0.50	
	7	Ⅷ区	R-32		SB07 i		136	08.08/18	Ⅲb2	ガラス	強い緑みの青	6.09	2.78	8.03	0.50	
	7	Ⅷ区	S-32	Ⅰ			141	08.08/18	Ⅲb2	ガラス	赤みの黒	6.77	3.14	8.32	0.67	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'		1261	152	08.08/18	Ⅲb2	ガラス	強い緑みの青	5.24	1.16	5.46	0.27	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'		1262	153	08.08/18	Ⅲb2	ガラス	強い緑みの青	4.70	1.19	6.08	0.25	
	7	Ⅷ区	R-32		SB07 i	1282	183	08.08/21	Ⅲb2	ガラス	濃い黄みの橙	6.26	3.27	7.70	0.41	
	7	Ⅷ区	R-32		SB07 i	1281	184	08.08/21	Ⅲb2	ガラス	濃い黄みの橙	6.27	3.38	8.27	0.47	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			187	08.08/22	Ⅲb2	ガラス	黄みの白	5.87	1.77	7.67	0.57	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			187	08.08/22	Ⅲb2	ガラス	明るい緑みの青	6.35	-	7.69	0.35	半分欠損
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			196	08.08/26	Ⅲb2	ガラス	強い緑みの青	4.40	1.52	5.87	0.23	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			196	08.08/26	Ⅲb2	ガラス	濃い黄みの橙	6.83	2.84	7.46	0.43	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			196	08.08/26	Ⅲb2	ガラス	濃い黄みの橙	-	-	-	0.27	3コに割れ
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'		1296	214	08.08/28	Ⅲb2	ガラス	黄みの白	5.26	3.58	8.62	0.49	
	7	Ⅷ区	Q-32	Ⅱa			219	08.09/02	Ⅲb2	ガラス	無彩色の白	4.57	1.93	6.19	0.26	
	7	Ⅷ区	-	Ⅰ			241	08.09/03	Ⅲb2	ガラス	赤みの明るい灰	8.66	1.86	8.97	0.57	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			269	08.10/06	Ⅲb2	ガラス	強い緑みの青	5.31	2.67	6.92	0.33	
	10	Ⅷ区	Q-33	Ⅱa			10	09.04/17	Ⅲb2	ガラス	黄みの明るい灰	7.17	2.38	9.33	0.99	
	10	Ⅷ区	Q-33		SB09 i		16	09.04/21	Ⅲb2	ガラス	赤みの灰	-	-	-	0.07	割れ3分の1欠
	10	Ⅷ区	Q-33		SB09 i		16	09.04/21	Ⅲb2	ガラス	黄みの白	6.35	2.56	8.86	0.71	
	10	Ⅷ区	Q-33		SB09 ii		21	2009/4/24	Ⅲb2	ガラス	薄い青	4.00	2.27	6.55	0.21	
	10	Ⅷ区	Q-33		SB09 ii		22	09.04/27	Ⅲb2	ガラス	薄い青	5.83	1.32	6.12	0.33	
	10	Ⅷ区	Q-33		SB09 ii		22	09.04/27	Ⅲb2	ガラス	緑みの白	7.66	2.79	10.18	1.03	
	10	Ⅷ区	Q-33		SB09 ii		22	09.04/27	Ⅲb2	ガラス	黄みの白	5.95	3.07	8.59	0.55	
	10	Ⅷ区	R-31		SB07 i		50	09.05/07	Ⅲb2	ガラス	強い緑みの青	6.57	2.64	7.01	0.36	
	10	Ⅷ区	Q-33	Ⅱa			86	09.06/25	Ⅲb2	ガラス	無彩色の白	5.50	1.97	6.53	0.32	
	10	Ⅷ区	Q-32西トレ		S1082		99	09.07/06	Ⅲb2	ガラス	濃い黄みの橙	6.41	1.06	7.02	0.30	
	10	Ⅷ区	Q-32Aトレ	Ⅰ			104	09.07/10	Ⅲb2	ガラス	明るい緑みの青	5.23	2.42	6.69	0.35	
	10	Ⅷ区	Q-31	Ⅱb			109	09.07/13	Ⅲb2	ガラス	明るい緑みの青	5.11	2.53	5.59	0.04	割れ計測不可
	10	Ⅷ区	Q-32		SB08 i		116	09.07/21	Ⅲb2	ガラス	強い青緑	2.67	1.60	4.14	0.08	
	10	Ⅷ区	Q-31	Ⅱa			137	09.07/24	Ⅲb2	ガラス	強い緑みの青	3.81	2.27	5.37	0.13	
	10	Ⅷ区	Q-32西トレ	Ⅱb			27	09.04/28	Ⅲb2	ガラス	無彩色の白	4.90	2.55	6.37	0.24	
	10	Ⅷ区	Q-33	Ⅱa			198	09.08/11	Ⅲb2	ガラス	明るい緑みの青	7.38	1.90	10.40	0.93	半分より割れ
	10	Ⅷ区	R-32Bトレ	Ⅱa'			205	09.08/14	Ⅲb2	ガラス	明るい緑みの青	-	2.83	8.78	0.33	割れ計測不可
	10	Ⅷ区	R-32Bトレ		SB08 ii		206	09.08/14	Ⅲb2	ガラス	薄い緑みの青	-	-	-	0.79	ガラスが溶け変形
	10	Ⅷ区	R-32Bトレ	Ⅱa'			251	09.09/11	Ⅲb2	ガラス	黄みの白	6.00	3.20	9.14	0.61	
	4	Ⅷ区	ABﾍﾝ				161	06.09/25	Ⅲb2	ガラス	明るい緑みの青	3.57	2.50	5.64	0.13	
	10	-	-	表採			263	不明	Ⅲb2	ガラス	無彩色の白	5.43	1.90	6.53	0.33	
	10	-	-	表採			263	不明	Ⅲb2	ガラス	無彩色の白	5.10	1.78	5.12	0.17	
	5	Ⅷ区	Q-31	Ⅱa			266	07.7.31	Ⅲb2	ガラス	濃い青	5.73	-	6.98	0.22	半分欠け
	5	Ⅷ区	P-33	Ⅲb			450	07.8.1	Ⅲb2	ガラス	明るい緑みの青	-	-	-	0.16	2つに割れ

第11表　Ⅷ区出土玉類観察表（2）

図番号	次	区	グリット	層位	遺構名	dot	台帳No	回収日	分類	材質	色調	計測値 長さ	孔径	幅	重量	備考
108-41	5	Ⅷ区	Q-33	Ⅱb		984	190	07.07/20	Ⅲc	ガラス	薄い緑みの青	2.76	1.38	3.47	0.47	
80-20	10	Ⅷ区	Q-32西トレ		S1082		99	09.07/06	Ⅲc	ガラス	さえた黄	2.48	1.06	3.39	0.06	
80-19	10	Ⅷ区	Q-32西トレ		S1082		99	09.07/06	Ⅲc	ガラス	明るい灰	3.36	1.50	4.89	0.13	
27-10	10	Ⅷ区	Q-32		SB08 i		133	09.07/23	Ⅲc	ガラス	明るい灰みの橙	3.58	0.10	4.48	0.11	
25-16	5		P-32		SK823 ii		765	08.3.24	Ⅲc	ガラス	緑みの灰	2.12	0.81	3.82	0.03	
22-16	10	Ⅷ区	Q-33		SB09 ii		21	09.04/24	Ⅲc	ガラス	明るい灰	1.63	0.20	3.43	0.02	
22-15	10	Ⅷ区	Q-33		SB09 i		7	09.04/16	Ⅲc	ガラス	濃い緑みの青	1.50	0.15	2.18	0.01	
108-66	5	Ⅷ区	Q-32	Ⅰ			577	08.01/25	Ⅲc	ガラス	にぶい赤	4.13	1.10	3.26	0.10	
108-65	10	Ⅷ区	Q-32	Ⅱa'			178	09.08/04	Ⅲc	ガラス	薄い黄みの橙	4.48	1.15	2.98	0.05	
108-64	7	Ⅷ区	Q-32	Ⅱc			225	08.09/02	Ⅲc	ガラス	薄い黄みの橙	7.05	0.92	3.07	0.05	
108-62	5	Ⅷ区	-	Ⅰ			595	08.01/23	Ⅲc	ガラス	緑みの白	2.19	1.02	2.55	0.04	
108-60	5	Ⅷ区	Q-33	Ⅱa			328	07.08/03	Ⅲc	ガラス	黄みの白	2.88	1.30	4.11	0.09	
108-59	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			187	08.08/22	Ⅲc	ガラス	青みの白	3.04	1.22	3.13	2.64	
108-58	7	Ⅷ区	R-32		SB07 i		136	08.08/18	Ⅲc	ガラス	無彩色の明るい灰	3.59	1.40	4.51	0.12	
108-57	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			165	08.08/21	Ⅲc	ガラス	濃い黄みの橙	2.62	-	3.43	0/01	半分欠損
108-56	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			187	08.08/22	Ⅲc	ガラス	明るい灰	2.00	1.69	3.54	0.03	
108-55	10	Ⅷ区	R-32西トレ	Ⅱa			89	09.06/30	Ⅲc	ガラス	明るい灰みの橙	2.05	1.85	4.33	0.06	
108-54	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			284	08.10/14	Ⅲc	ガラス	薄い黄みの橙	4.82	1.67	5.77	0.25	
108-53	10	Ⅷ区	-	表採			255	09.09/29	Ⅲc	ガラス	明るい灰みの黄緑	1.76	1.05	2.79	0.01	
108-52	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			174	08.08/22	Ⅲc	ガラス	濃い赤紫	2.41	1.54	4.01	0.07	
108-51	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			187	08.08/22	Ⅲc	ガラス	薄い紫	2.85	1.78	4.28	0.06	
108-50	10	Ⅷ区	Q-33	Ⅱa			198	09.08/11	Ⅲc	ガラス	明るい緑	1.62	0.10	2.28	0.01	
108-49	7	Ⅷ区	R-32	Ⅰ			10	08.07/07	Ⅲc	ガラス	明るい灰みの青紫	3.10	1.73	4.19	0.07	
108-48	10	Ⅷ区	Q-32		SB07 i		61	09.05/14	Ⅲc	ガラス	浅い青緑	1.61	0.20	3.63	0.01	
108-47	10	Ⅷ区	R-32西トレ	Ⅱa			88	09.06/30	Ⅲc	ガラス	浅い青緑	3.13	0.15	3.47	0.05	
108-46	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			269	08.10/06	Ⅲc	ガラス	強い青緑	3.12	0.95	2.82	0.02	
108-45	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			118	08.08/07	Ⅲc	ガラス	明るい緑みの青	2.61	1.17	3.66	0.05	
108-44	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			164	08.08/21	Ⅲc	ガラス	薄い緑みの青	2.32	1.29	3.31	0.03	
108-43	5	Ⅷ区	-	Ⅰ			830	07.11/05	Ⅲc	ガラス	薄い緑みの青	1.97	1.28	3.45	0.03	
108-42	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			187	08.08/22	Ⅲc	ガラス	薄い緑みの青	1.41	1.35	2.90	0.01	
108-40	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			269	08.10/06	Ⅲc	ガラス	薄い青	1.04	1.16	2.49	0.01	
108-39	5	Ⅷ区	P-31	Ⅱa			667	08.03/05	Ⅲc	ガラス	薄い青	3.13	1.89	4.20	0.66	
108-38	7	Ⅷ区	Q-32		SB07 i		217	08.08/28	Ⅲc	ガラス	浅い青	1.38	1.77	3.53	0.01	
108-37	10	Ⅷ区	-	表採			252	09.09/17	Ⅲc	ガラス	強い緑みの青	4.41	1.74	5.66	0.20	
108-36	10	Ⅷ区	Q-32		SB07 i		61	09.05/14	Ⅲc	ガラス	強い紫みの青	2.60	1.31	3.57	0.05	
108-35	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			269	08.10/06	Ⅲc	ガラス	さえた緑みの青	2.47	1.16	3.24	0.04	
108-34	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			187	08.08/22	Ⅲc	ガラス	さえた紫みの青	2.80	1.34	4.36	0.09	
108-33	7	Ⅷ区	R-32	Ⅰ			7	08.07/04	Ⅲc	ガラス	浅い緑みの青	2.36	1.06	3.54	0.04	
108-32	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			123	08.08/08	Ⅲc	ガラス	明るい緑みの青	1.97	1.45	3.93	0.06	
	5	Ⅷ区	P-33	Ⅱc			252	07.07/25	Ⅲc	ガラス	黄みの白	3.02	1.57	3.89	0.03	
	5	Ⅷ区	Q-33	Ⅱa		1052	294	0708/02	Ⅲc	ガラス	強い青緑	2.34	1.27	3.36	0.04	
	5	Ⅷ区	Q-33	Ⅱa		1072	314	07.08/03	Ⅲc	ガラス	黄みの白	2.29	1.04	2.81	0.03	
	5	Ⅷ区	Q-33	Ⅱa			325	07.08/03	Ⅲc	ガラス	さえた紫みの青	2.64	1.03	2.97	0.03	
	5	Ⅷ区	-	表採			337	日付なし	Ⅲc	ガラス	黄みの白	3.38	1.83	4.78	0.11	
	5	Ⅷ区	R-32	Ⅱa		1149	487	07.11/5	Ⅲc	ガラス	青みの白	2.28	1.82	4.24	0.06	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅰ			10	08.07/07	Ⅲc	ガラス	無彩色の白	-	-	-	0.02	測定不可
	7	Ⅷ区	Q-31	Ⅱa			64	08.07/29	Ⅲc	ガラス	無彩色の白	2.88	1.69	4.20	0.08	
	7	Ⅷ区	Q-30	Ⅰ			103	08.08/05	Ⅲc	ガラス	黄みの白	2.50	-	3.04	0.01	割れ
	7	Ⅷ区	R-30	Ⅰ			108	08.08/04	Ⅲc	ガラス	明るい灰みの橙	2.56	2.05	4.93	0.10	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			118	08.08/07	Ⅲc	ガラス	薄い青	1.32	1.26	2.64	0.01	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			121	08.08/07	Ⅲc	ガラス	薄い青	4.58	1.39	4.79	0.17	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			123	08.08/08	Ⅲc	ガラス	浅い緑みの青	3.59	1.70	3.72	0.07	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			123	08.08/08	Ⅲc	ガラス	薄い青	2.64	1.29	3.03	0.03	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			133	08.08/11	Ⅲc	ガラス	無彩色の白	3.24	1.42	4.03	0.08	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			174	08.08/22	Ⅲc	ガラス	薄い黄みの橙	2.26	1.68	4.09	0.06	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			174	08.08/22	Ⅲc	ガラス	黄みの白	3.26	1.18	3.95	0.09	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			174	08.08/22	Ⅲc	ガラス	黄みの白	2.87	-	3.67	0.02	半分欠損
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa		1285	181	08.08/21	Ⅲc	ガラス	黄みの白	2.37	1.37	3.05	0.05	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa		1284	182	08.08/21	Ⅲc	ガラス	暗い黄緑	2.31	1.39	4.17	0.05	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			187	08.08/22	Ⅲc	ガラス	黄みの白	2.46	1.58	4.00	0.16	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			187	08.08/22	Ⅲc	ガラス	薄い緑みの青	2.92	1.10	3.05	2.02	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			187	08.08/22	Ⅲc	ガラス	さえた青紫	2.14	1.37	3.93	0.03	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			187	08.08/22	Ⅲc	ガラス	濃い赤紫	2.89	1.46	4.00	0.08	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			187	08.08/22	Ⅲc	ガラス	強い青緑	2.93	1.63	3.62	0.04	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			187	08.08/22	Ⅲc	ガラス	黄みの白	2.01	1.33	2.92	0.01	
	7	Ⅷ区	R-33	Ⅱa		1290	189	08.08/22	Ⅲc	ガラス	明るい緑みの青	2.28	1.46	3.79	0.05	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa			196	08.08/26	Ⅲc	ガラス	明るい灰	2.47	1.57	4.03	0.07	
	7	Ⅷ区	Q-32	Ⅱa			219	08.09/02	Ⅲc	ガラス	明るい緑	-	-	-	0.02	計測不可
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			269	08.10/06	Ⅲc	ガラス	黄みの白	2.59	1.18	2.54	0.01	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			269	08.10/06	Ⅲc	ガラス	明るい灰みの橙	2.09	1.49	3.43	0.02	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			269	08.10/06	Ⅲc	ガラス	黄みの白	2.89	1.19	3.19	0.02	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			269	08.10/06	Ⅲc	ガラス	黄みの明るい灰	2.95	0.96	2.84	0.02	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			269	08.10/06	Ⅲc	ガラス	強い緑みの青	-	-	-	0.01	半分欠損
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			279	08.10/14	Ⅲc	ガラス	黄みの白	11.60	2.83	8.82	0.99	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			280	08.10/14	Ⅲc	ガラス	さえた青紫	2.10	1.55	3.58	0.04	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			281	08.10/14	Ⅲc	ガラス	黄みの明るい灰	2.52	0.84	3.24	0.03	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			282	08.10/14	Ⅲc	ガラス	薄い黄みの橙	2.31	1.86	3.57	0.02	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			283	08.10/14	Ⅲc	ガラス	強い青緑	3.12	1.29	3.90	0.06	
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			285	08.10/14	Ⅲc	ガラス	明るい灰みの青緑	-	-	-	0.04	半分欠損
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			285	08.10/14	Ⅲc	ガラス	濃い赤紫	-	-	-	0.01	三分の2欠
	7	Ⅷ区	R-32	Ⅱa'			285	08.10/14	Ⅲc	ガラス	明るい灰	-	-	-	0.03	欠け計測不可
	10	Ⅷ区	Q-33		SB09 i		16	09.04/21	Ⅲc	ガラス	薄い黄みの橙	3.13	1.10	3.34	0.03	
	10	Ⅷ区	Q-33		SB09 i		16	09.04/21	Ⅲc	ガラス	薄い黄みの橙	2.53	0.20	4.10	0.02	
	10	Ⅷ区	Q-33		SB09 ii		21	2009/4/24	Ⅲc	ガラス	強い青緑	2.10	0.10	3.32	0.03	
	10	Ⅷ区	Q-33		SB09 ii		21	2009/4/24	Ⅲc	ガラス	薄い黄みの橙	3.23	0.12	4.38	0.10	
	10	Ⅷ区	Q-33		SB09 ii		21	2009/4/24	Ⅲc	ガラス	強い青緑	-	-	-	0.01	破片
	10	Ⅷ区	Q-33		SB09 ii		22	09.04/27	Ⅲc	ガラス	濃い緑みの青	4.01	1.68	4.49	0.12	
	10	Ⅷ区	Q-33		SB09 ii		22	09.04/27	Ⅲc	ガラス	黄みの明るい灰	1.58	0.20	3.58	0.01	
	10	Ⅷ区	Q-33		SB09 ii		22	09.04/27	Ⅲc	ガラス	無彩色の白	3.15	0.15	4.56	0.10	
	10	Ⅷ区	Q-33		SB09 ii		22	09.04/27	Ⅲc	ガラス	薄い黄みの橙	-	-	-	0.01	半分欠損
	10	Ⅷ区	Q-32		SB07 i		59	09.05/13	Ⅲc	ガラス	薄い黄みの橙	2.47	0.15	3.61	0.04	
	10	Ⅷ区	R-32西トレ	Ⅱa	SB07 i		93	09.07/01	Ⅲc	ガラス	薄い黄みの橙	1.70	1.80	2.30	0.01	三分の1欠
	10	Ⅷ区	R-32西トレ	Ⅱa	SB07 i		93	09.07/01	Ⅲc	ガラス	薄い黄みの橙	1.39	0.20	2.78	0.01	
	10	Ⅷ区	R-32西トレ	Ⅱa	SB07 i		96	09.07/02	Ⅲc	ガラス	薄い黄みの橙	1.71	0.15	3.05	0.01	
	10	Ⅷ区	-	表採（排土中）			185	09.08/05	Ⅲc	ガラス	薄い黄みの橙	1.71	1.39	3.94	0.03	
	10	Ⅷ区	R-32Bトレ	Ⅱa'			205	09.08/14	Ⅲc	ガラス	薄い黄みの橙	1.77	1.13	2.74	0.02	
	10	Ⅷ区	Q-32		SB09 ii		226	09.08/25	Ⅲc	ガラス	薄い黄みの橙	2.07	1.90	4.03	0.03	
	5	Ⅷ区	P-33	Ⅱa			150	07.07/11	Ⅲc	ガラス	薄い黄みの橙	2.58	0.25	3.24	0.01	半分より割れ
	10	-	-	表採			263	不明	Ⅲc	ガラス	無彩色の白	1.90	0.20	3.44	0.02	少し欠け
	5	-	-		SB2 i		593	08.2.4	Ⅲc	ガラス	薄い緑みの青	3.21	1.59	2.64	0.03	
	10	Ⅷ区	Q-33		SB09 i		19	09.04/22	Ⅲc	ガラス	識別不可	-	-	-	0.01	測定不可

※ゴシック体は本報告書掲載資料、明朝体は集計のみ

第Ⅴ章　総　括

第１章　今帰仁城跡出土明代青花瓷の研究（１）

柴田圭子

1. はじめに

本稿で取り扱う資料は、今帰仁城跡主郭および志慶真門郭出土の青花瓷である。これらを含む陶瓷については、報告書（今帰仁村教育委員会 1983・1991）に掲載されているほか、金武正紀氏らによる報告・研究（金武正紀・松田朝雄・宮里末廣 1983，金武正紀 2009）があり、また、亀井明徳氏が率いる専修大学アジア考古学チーム（SAAT）により、元様式青花瓷の抽出と詳細な報告、分析（亀井明徳・柴田圭子・髙島裕之・新島奈津子 2007）、明代前半期青花瓷の一部報告と分析（柴田圭子・髙島裕之・新島奈津子・亀井明徳・半田素子 2009）が行われ、筆者もその一員として今帰仁城跡出土青花瓷研究の機会を得た。

今帰仁城跡主郭第Ⅲ期とされるⅡ層に被覆された遺構面及びⅡ層からは、多数の陶瓷が出土し、その中に元様式青花瓷と明代青花瓷の多くが含まれている。上記SAATの仕事を通して、元様式青花瓷については全個体を把握し報告できたが、明代青花瓷に関しては未だ不十分である。１遺跡の陶瓷を評価するためには、全体の把握が必要であり、前提である。そのため筆者が本稿の目的とするのは、今帰仁城跡出土明代青花瓷の全貌の把握と評価とする。方法として、時系列を意識しつつ青花瓷を把握する作業をまず進めていきたいと考えているが、今帰仁城跡出土青花瓷には、日本国内では類例がほとんどない資料を含んでおり、それらを位置づけていくためには編年を見直す作業が必要となる。そこで本稿では、はじめに青花瓷編年の現状把握と課題を提示し、編年にむけての予察を行う。そして、今帰仁城跡出土の資料を個別に研究する過程で、帰納的に編年研究を補強していくという方法を取りたい。

上記の膨大な課題については、筆者の乏しい知識と限られた研究時間を総動員しても短期間でまとめることは不可能であり、数回に分けて報告することとした。今回は以前にまとめた明代前半の青花瓷の成果のうち、出点数の多い碗について改めて検討する。快く許可してくださった今帰仁村教育委員会関係者には心より感謝申し上げたい。

2. 青花瓷編年の現状と課題

日本出土の貿易陶瓷の編年は、一括出土資料や層序関係の把握とともに、出土遺物から時期を推定し、それらを多数組み合わせ、遺跡の上限年代や陶瓷の使用期間も考慮し、生産年代へ近づけるべく遡上させる方法で成立している。特に戦国期は、時代の性質上、焼失や廃城など下限年代の判明する遺構や遺跡が多く、実年代と直結した編年が行われてきた。また当該期は、青花瓷を中心として型式に多様性があり、生産地において比較的短いサイクルで新型式が生み出されたとみられることと、日本各地の城館や都市が消費地として成長・成熟し、最新の製品（型式）が次々と搬入されていることが編年の助けとなっている。具体的には、白瓷は森田勉氏（森田勉 1982）、青瓷は上田秀夫氏（上田秀夫 1982）、青花瓷は小野正敏氏（小野正敏 1982）によって示され、それが現在でも分類と編年、年代観の基本となっている。また、小野氏は、青瓷・白瓷・青花瓷に瀬戸美濃も含めた時期区分を示した（小野正敏 1985）。16 世紀末以降の編年については、鈴木秀典氏、森毅氏により、追加・修正が行われている（鈴木秀典 1990・森毅 1992・1995）。さらに森村健一氏は華南系青花瓷として紹介されていた一群の多くが、福建省漳洲窯系であることを明らかにし（森村健一 1995a）、東南アジア産の陶瓷についても産地を含めて研究が行われている（森本朝子 1995・森村健一 1995b ほか）。

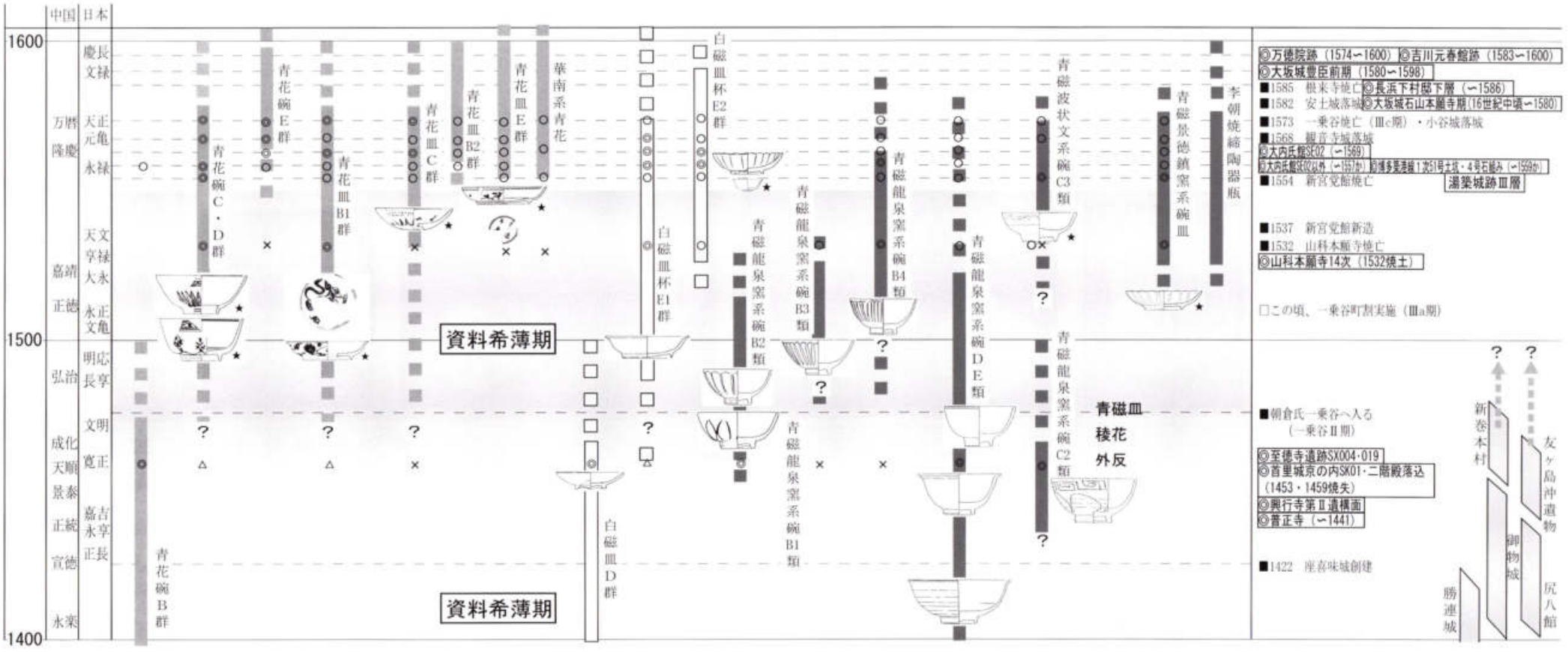
ここまでの研究段階では、編年の基準となる資料は16世紀後半に集中しており、その製品がどこまで遡りうるのかの検討が行われないままに、後半と判断される結果を招きがちであった。筆者が行った湯築城跡など中四国の遺跡出土陶磁の分析（柴田圭子2001）では、16世紀中葉の陶磁には、景徳鎮窯系青磁の顕在化、白磁、青花磁を含めての景徳鎮窯系磁器の隆盛、青磁波状文碗など産地不明の一群と華南系青花の出現、李朝陶磁を一定量含み東南アジア陶磁も少量出土するなどの特徴があり、16世紀後半とは識別できることを確認した。さらに、16世紀前半下限の山科本願寺14次調査出土資料が報告されたことを受け（京都市文化市民局2006）、筆者は全出土陶磁を実見、分析し、景徳鎮窯系青磁が前半から既に確認でき、青花磁では碗D群、皿B1群が中心であり、華南系青花が認められないことなど傾向を提示した（柴田圭子2007）。しかし、1遺跡だけの分析では資料偏在の可能性があり未だ不十分である。15世紀に遡る資料では、興行寺遺跡第2遺構面（冨山正明1993）、至徳寺遺跡（鶴巻康志2003）、首里城跡京の内跡SK01（沖縄県教育委員会1998）と二階殿跡落ち込み（沖縄県埋蔵文化財センター2005）等、15世紀中葉下限の遺跡が相次いで報告され、様相が明らかにされている。特に室町時代の日本より明との貿易がはるかに頻繁であり、結果として多種多様の陶磁が出土する古琉球での資料を分類し、時期を設定して変遷を追った研究（瀬戸哲也・仁王浩司・玉城靖・宮城弘樹・安座間充・松原哲志2007）は注目される。

以上の成果から、小野氏作成の図をベースとして、その後に公表された資料を追加し、筆者なりの修正を加えて変遷図を作成した（第1図）。図中では、各分類の出土の有無を明確にするため、必要部分に関して「◎」「○」「×」「△」の記号を併記している。この図を用いて、現段階での編年の課題について述べる。

最大の問題点として、14世紀後半から15世紀前葉と、15世紀後半から16世紀前半の資料希薄期の存在が挙げられる。1982年当時にも、青花碗B群は東南アジアの出土資料を使用しており、現時点でも確実にこの間に下限のある良好な資料は無く、様相は不明と言わざるをえない。また、15世紀後半から16世紀前半の様相が不明瞭であるということは、16世紀前半に盛期があると考えられる青花碗C・D群や皿C群は、実のところ出現時期が不明なのである。さらに、15世紀中葉の様相が明らかになったことによって、分類上の課題も浮上している。当該期の青花碗は直口と外反があり、皿は外反や腰折れのものが存在する。しかし、直口碗や腰折れ皿の分類が現時点では与えられず、口沿外反の皿はB1群に含めるのかといった点は検討されていない。新出資料に対応させるには、現在の分類では限界があり、再編する必要が生じている。これらは青花磁の問題であるが、青磁や白磁についても同様である。このような問題は、小野氏の分類と編年を、その利便性ゆえに厳密に再検討することなく今日まで使用して来た我々に突きつけられた課題であると考える。

この課題に対処すべき方法として、貿易陶磁研究の新たな方向性に注目しなければならない。最近になって、一括資料を海外も含めて集成した報告が相次いで特集された（亀井明徳編2001・日本貿易陶磁研究会2006）。また、森達也氏は、中国の生産地や消費地、あるいは東南アジアを含む沈没船出土陶磁を視野に入れ、白磁、青花磁、青磁の変遷を概観した。そのうち青花磁については、フィリピンのレナ沈船と、中国福建省の牛屎礁引揚げ資料を取り上げ碗・盤・小皿の変遷について述べている（森達也2009）。日本における出土青花磁の資料希薄期を埋め、編年上の課題を克服するためには、中国における生産地の状況や消費地の紀年銘資料、世界各地で調査の進む沈没船資料などとの比較を通してより広い視野で検討し、日本出土資料もあらためて位置づけていく視点が今後有効であることは間違いない。

上記の視点に立って、次項では青花磁編年にむけての作業を行う。今回は明代早期から中期前半まで（洪武－弘治期，後述）を射程とし、特に青花磁碗に注視して具体例をみていきたい。提示する資料は、参考文献から得た知見が多く筆者が実見したものは限られている。誤認している点や追



※小野正敏1982より必要部分抜粋、追加・修正を加えた。その際、各報告書等を参照した。
※分類名は、国立歴史民俗博物館1993を基にした日本貿易陶磁研究会2002を採用、一部追加・改変した。
※実測図は、上記文献より転載、★印は（財）愛媛県埋蔵文化財調査センター1998より転載、縮率は統一していない。
※消長を表現した実線は比較的普遍的に出土する時期、破線は出土する遺跡が存在する時期、あるいは出土の可能性のある時期を示すが不明な部分がある。出現期の推定が難しいものは「？」を記した。
※「◎」は遺跡内における主要型式、「○」は出土している、「×」は出土していない、「△」は出土しているが型式検討の必要のあるものを示す。

第1図　日本出土の貿易陶瓷主要型式の消長

加すべき資料については、ご教示、ご批判を賜りつつ、今後追加、修正を行うこととしたい。

3. 青花瓷編年への予察（明代早期から中期）

(1) 資料の提示

まず、中国の調査例と明墓出土の紀年銘資料、沈没船資料を個別に取り上げ、出土した青花瓷碗を提示する。

南京明故宮（南京博物院 1976，南京博物院・香港中文大学文物館 1996） 1964 年、明故宮玉帯河と長樂路から明代早期の資料が出土している。玉帯河は 3 箇所の出土地点があり、「早期地段」出土資料は以下の通りである。器形は、口沿外反のものがほとんどで、直口は少ない。「洪武民窯」とされているもの（写真 1，南京博物院・香港中文大学文物館 1996，p.44，以下写真 2－10 は同文献）は、腰の張りに強弱がある。文様は体側面に唐草、渦、草花などを雑に描く。高台外面は無文である。内面は口沿に圏線や斜線、菱形などの文様帯を配し、体部は無文である。内面見込みには二重圏線内に、水草、竹、人物等を粗く描く。高台の削りが一定せず、高台内が露胎のものが認められる。焼成が悪く、陶胎、釉薬が黄白色のものがあり、青料は淡い発色や黒い発色が認められる。「永楽・宣徳民窯」は、口沿が外反し、腰が丸く張る器形である。その中で、以下の三種が紹介されている。第一は外側面上下を圏線で画して唐草文や結帯綉球文等を描き、内面は口沿に圏線 1 条、見込み「福」字、梅（月）文、人物文などを簡素に描くもの（写真 2・3，p.54，写真 4，p.53）、第二は、やや粗雑に同様の主文を描くが、見込みの釉を蛇の目に削るもの（写真 5，p.53）、第三は、外側面上下圏線内に蘭石文や人物文等を描き、内面口沿に回文帯、見込み花文、動物文を描くものである（写真 6・7，p.55）。ただし、第一のタイプの宝相華唐草文のうち、写真 2 に掲載した個体は後述のレナ沈船資料とかなり類似しており、首里城跡京の内資料とも特徴が異なり、検討が必要である。第三のタイプは、写真での印象だがやや腰の張りが強く、文様の構成要素が多いため複雑で、前二者より丁寧である。前二者は高台外面が無文か上端に 1 条圏線を巡らせるが、第三のタイプは 2 条のものもある。高台の削りは「洪



写真 1



写真 2



写真 3



写真 4

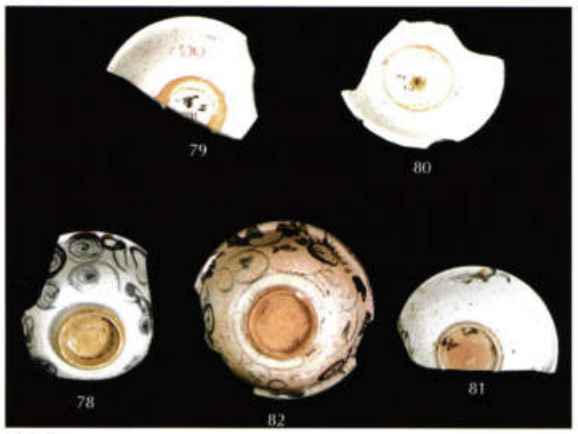


写真 5



写真 6



写真 7

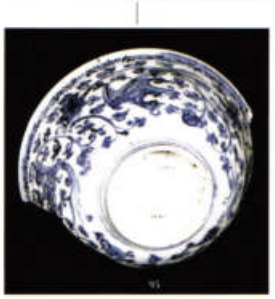
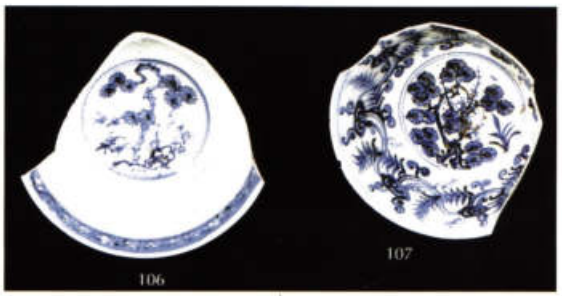
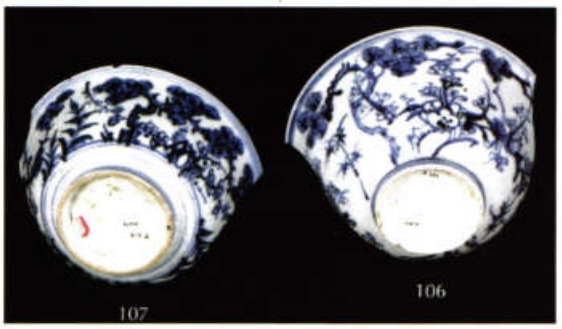


写真８



写真９



写真10

武民窯」とされたものより細く安定しており、畳付の釉を削っているが、第二のタイプは高台に厚みがあり、外底部が露胎である。第一と三は焼成良好で、青料の発色もおおむね良い。「空白期」と報告されているものは、口沿が広く開く（写真 8, p.56, 写真 9, p.58, 写真 10, p.59）。高台は細く、外に開くものが認められる（写真 10）。文様は、外面口沿に圏線や文様帯があり、側面全体に唐草文、松竹梅文を描くものと、上半に竜文、腰部以下に変形蓮弁文を巡らせるものがある。内面には、口沿に圏線、内面一面に連続する牡丹唐草文の例、口沿に菱形繋文帯を巡らせ、体部無文と宝相華唐草文等のものがある。内面見込みには二重圏線内に十字宝杵文、草花、松竹梅が描かれる。高台外面には 2 条の圏線が巡るものが多い。人物文、唐子、楼閣等が描かれた破片も紹介されている。

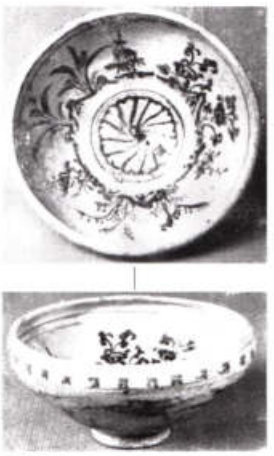

写真11

これらは、「早期地段」資料を型式分類し、官窯と民窯、「洪武」「永楽・宣徳」「空白期」に分けて報告したもので、各時期に該当させる根拠については慎重に検討すべきであるが、明代早期を含むまとまった資料として重要である。


写真12

次に紀年銘明墓の資料を挙げる。資料収集にあたっては、中澤富士雄氏が中国における紀年銘資料を集成した成果（中澤富士雄 2001）を参照し、一部を追加した。

江西省景徳鎮市景泰墓（景徳鎮陶瓷館・欧陽世彬・黄雲鵬 1981） 景泰 7 （1455）年銘袁龍貞墓において、青花瓷碗 2 点が出土している。「巻雲蘭草文碗」（写真 11, 景徳鎮陶瓷館・欧陽世彬・黄雲鵬 1981, 図版六－ 1, 以下写真 12・13 は同文献）と「巻雲欄石文碗」（写真 12, 図版六－ 2）である。いずれも口沿は外反し、腰が丸く張り、内傾する高台が付く。外側面は圏線で上下を画して文様を配し、高台外面は無文、前者内面には口沿に 2 条の圏線、後者には回文が描かれている。口沿外反、腰折れの青花皿が共伴している。なお、景泰 4 （1453）年銘嚴昇墓においても、青花双耳瓶、皿、浄水碗、香炉が出土し、浄水碗は内側面に草花文が描かれ、見込みに花文が配される（写真 13, 図版五－ 5 ・ 6）。皿は腰折れと外反があり、腰折れは見込みに唐草文、外反は外面体部唐草文、内面口沿回文、


写真13

見込み十字宝杵文である。

広東省罗亨信家族墓（広東省博物館・東莞市博物館 1991, 中国出土陶瓷編委会 2008b） M1 として報告された天順 3（1457）年銘罗亨信夫妻合葬墓に陶瓷が副葬されており、北室では四耳壺の蓋として使用された青花碗が出土している。口沿が外反し、腰が丸く張り、内傾する高台が付く。外側面上下は圏線で画され、渦、草花、雲文がみえ、記述に拠れば、内面は口沿に 2 条の圏線、見込みには二重圏線内に草花文が描かれている。袁龍貞墓景泰 7 年資料と類似している。南室からは、青花瓷罐 5 点が出土している（写真 14, 中国出土陶瓷編委会 2008b, p.61, 広東省博物館所蔵）。


写真14

四川省平武県王玺家族墓（四川省文管会・綿陽市文化局・平武県文保局 1989, 中国出土陶瓷編委会 2008b） 22 基の墓のうち、天順 8（1463）年銘の M1、M3 － M5、成化 18（1481）年銘 M2、弘治 13（1500）年銘 M20、正徳 7（1512）年銘 M6 に青花瓷が副葬されているほか陶瓷が多く出土している。碗は M5 と M6 から出土し、写真が掲載されている。M5 の碗は青花釉里紅で、口沿が外反し、腰は丸く強く張り、高台は内傾する（写真 15, 中国出土陶瓷編委会 2008b, p.162, 平武報恩寺博物館所蔵, 以下写真 16・17 は同文献, 同所蔵）。外側面に唐草文が描かれ、花が釉里紅である。圏線を挟んで、花弁が並べられた文様帯が巡る。高台外面にも圏線を配する。内面口沿に圏線が 1 条巡る。同墓からは青花香炉も出土し、渦状の波涛と樹木や草花が密に描かれている（写真 16, p.155）。M6 出土の青花碗は口沿直口のいわゆるレンツー碗で、口沿外面は波涛文帯、外側面に蕉葉文が描かれる（写真 17, p.161）。高台外面は 2 条の圏線、内面口沿にも 2 条の圏線が巡る。見込みには二重圏線内に花文が描かれている。また、同じく正徳 7（1512）年銘 M19 からは、口沿外反の藍釉碗が出土している。


写真15


写真16


写真17

江西省永修県魏源墓（中国出土陶瓷編委会 2008c） 成化 3（1467）銘の魏源妻戸氏墓から青花碗が出土している（写真 18, 中国出土陶瓷編委会 2008c, p.192, 江西省博物館所蔵）。口沿が外反し、腰は丸く張り、高台は内傾する。外面は口沿に回文、側面に粗雑な雑宝唐草文を描き、下を圏線で区画している。高台外面は無文である。内面口沿には斜線を交差させて疎らに並べた文様帯、記述に拠れば見込みは蘭草文である。釉は氷裂が覆い、黄色味を帯びている。魏源氏墓（正統 9（1444）年銘）からは青瓷の腰折れ稜花皿が出土している。


写真18


写真19

江蘇省揚州市蕭宗時墓（夏穎 1986, 中国出土陶瓷編委会 2008a） 成化 16（1480）年銘蕭宗時墓から 2 点の青花碗が出土している。写真は 1 点のみの掲載であるが、基本的に同タイプと報告されている（写真 19, 中国出土陶瓷編委会 2008a, p.200, 揚州市博物館所蔵）。口径が 19.8cm と大型で、口沿は大きく開いて外反し、腰は丸く、外開き気味の高台が付く。外側面には宝相華唐草文が描かれ、花・茎とも縁を細線で描き内部をだみ塗りしている。腰部以下には変形蓮弁文、高台外面には 2 条の圏線が巡る。内面口沿には菱形繋文帯、内側面は 5 箇所に折枝山茶花文が配される。見込みは二重圏線内に十字宝杵文が描かれている。

四川省成都市青羊宮窯址 T3 明墓（成都市博物館・曹剛 1988） 青花碗 2 点が出土し、そのうち

1点の外底部に「弘治三年」(1490年) の年款が入る。口沿は外反し、高台は外開きにみえる。外面は、口沿に「相対三角文」、側面に菊花唐草文、内面口沿に「巻雲文」、見込みに折枝牡丹文である。

次に沈没船資料を紹介する。

フィリピン　レナ沈船 (FranckGoddio,StaceyPierson,MoniqueCrick2000・MoniqueCrick 2002)

15世紀後半から末に位置づけられている一括資料である。青花碗は、357個体で大・中・小があり、大型は外反口沿、中・小型は外反と直口がある。大型は口径18cm以上、中型は12cm以上で15cm内外が多く、小型は10cm内外である。大型は18個体、中型で外反口沿が193個体で最も多く、中型で直口が109個体、小型は37個体である。文様は様々であるが、内外側面を文様で埋める個体が多く、腰部以下に変形蓮弁文を巡らせるものも目立つ。中型の外反、直口には共通の主文が描かれている(写真20, Monique Crick 2002, p.175, 以下写真21－23は同文献, 写真21, p.174)。写真で観察する限り、外反碗には、腰部が丸く体部の立ち上がりが強いもの (写真22, p.182) と、口沿が大きく開くもの(写真21)が認められ、この点は森達也氏が既に指摘している(森達也2009, p154)。また、中型と小型には見込み「福」字碗が含まれ (写真23, p.179)、共伴ではあるが遡るのか、あるいはこの類に時期が下るものがあるのか検討が必要である。福建省牛屎礁引き揚げ資料(写真26)と共通のタイプも紹介されており(FranckGoddio,StaceyPierson,MoniqueCrick2000,No.35)、両者は時期的に連続する資料と考えられる。共伴する青花皿は内湾と外反の口径30cm以上の大型が多く、少数みられる小型外反のものは見込み麒麟文で体部無文、口沿口紅であり、内面草花文、外面無文の小型碁笥底皿も出土している。中国産青磁は37個体と少なく、盤と腰折れの皿、細線蓮弁文碗が伴う。




写真20




写真21




写真22




写真23



写真24



写真25

ベトナム　占婆島沈船 (中国江西壮族自治区博物館・中国江西文物考古研究所・越南国家歴史博物館編2009)　多くのベトナム産青花瓷とともに外面藍釉内面青花碗1点、青花碗1点が報告され、ほかに青花皿、藍釉水注等の中国陶瓷が発見されている。外面藍釉内面青花碗は口径17.5㎝、口沿外反し、腰部は丸く、高台は内傾する。内面口沿に1条圏線、見込みには二重圏線内に十字宝杵文が描かれている (写真24, 中国江西壮族自治

区博物館・中国江西文物考古研究所・越南国家歴史博物館編 2009, p.85, 写真 25 も同文献)。青花碗は口径 17cm、口沿は外反し、腰は丸く強く張り、高台は内傾する。外側面に波涛文、圏線を挟んで腰部以下無文、高台外面には圏線が巡る。内面口沿に回文、体部に草石文、見込みに菊花状の花文が描かれる (写真 25, p.86)。皿は見込み麒麟文で、内外側には面唐草文が配されている。青花碗内面の文様が南京明故宮写真 7 や景泰 4 年銘嚴昇墓と類似しており、レナ沈船より遡る資料とみられる。

中国福建省牛屎礁引揚げ資料 (海のシルクロードの出発点“福建”展開催実行委員会編 2008) 641 点の景徳鎮窯瓷器で、青花碗が多い。碗は外反 (写真 26, 海のシルクロードの出発点“福建”展開催実行委員会編 2008, p.125, 以下写真 27－30 は同文献, 写真 28, p.127, 写真 30, p.126) と直口 (写真 27, p.127, 写真 29, p.128) があり、器高も高いもの (写真 26・27) と低いもの (写真 28・29) がある。高台は低いもの、外開きのものがあり、高台外に 2 条の圏線を描くものが多い。文様は主文が外側面に描かれ、一面に描くものと空白を有するものがある。内側面は口沿以外無文であり、レナ沈船とは明らかに異なる。青料の発色は、特にだみ塗りしている部分がレナ沈船より淡い。蕉葉文など日本で多く出土する文様が報告されており、15 世紀末から 16 世紀初頭、明代中期とされている。


写真26


写真27


写真28


写真29


写真30

日本出土の資料は、研究史で触れたとおり、首里城跡京の内 SK01 (沖縄県教育委員会 1998)、首里城跡二階殿落ち込み (沖縄県埋蔵文化財センター 2005)、具志川城跡 (沖縄県久米島町教育委員会 2005)、興行寺遺跡第 2 遺構面 (冨山正明 1993)、上越市至徳寺遺跡 SX004・SX019 (鶴巻康志 2003) などが基準資料である。各資料に関しては詳細な報告があり、概要は省略する。

(2) 青花碗の変遷

前項で示した資料により、明代早期から中期の青花碗は、口沿外反と直口があり、時期により変化していることは見通しがつく。紀年銘資料を基準とし、各遺跡出土資料を位置づけたのが第 2 図である。

最も遡る一群は南京明故宮において洪武期とされている資料である。器形は、口沿外反と直口があり、腰は張らず、高台径は小さく削りが粗い。外底部に施釉されないものが多い。文様は粗雑で、外側面にも口沿以外描かれない場合がある。次に位置づけられる永楽・宣徳期とされた一群では、外反碗は腰の張りが強く、見込みの広い形態が主となる。高台は洪武期より高く削りも安定し、接地部外面を釉薬とともに削り、外底部にも施釉されるものが多い。文様は、外側面上下を圏線で画し、結帯綉球文、宝相華唐草文、蘭石文、蓮池文などを配する。腰部以下は圏線以外施文されない。内面は口沿に圏線か文様帯を入れ、側面は無文である。見込みには梅月文、蓮束文、「福」字など簡易な文様を描く。直口碗は少数で、宝相華唐草文などがみられる。首里城跡京の内 SK01 や二階殿落ち込みなどはこれらと同様のものが主体である。ただし、二階殿落ち込みに含まれる腰部以下蓮弁文 (第 6 図左) はほかにみられず、また、南京明故宮の蘭石文碗 (写真 6) も、天順 8 年銘平武王璽家族墓 M5 出土香炉 (写真 16) と類似し、新出の要素ととらえられる。

次の段階は、南京明故宮で「空白期」とされる資料である。内側面への施文、腰部に空白をもたない外側面全体への施文、腰部以下の変形蓮弁文などの特徴が挙げられる。また、例えば南京明故



第２図　青花瓷碗の変遷

※各図・写真の出典は文章中に記載



宣徳官窯青花竜文罐（部分）
（耿宝昌編 2002, No. 106, p. 208）



南京明故宮「空白期青花」竜文碗
（南京博物館・香港中文大学文物館 1996, p. 58）



レナ沈船 No. 193 竜文碗
（Monique. C. 2002, p. 171）

第3図　竜文の変化

宮「空白期」にみられる竜文は、宣徳期官窯資料と類似し、レナ沈船資料ではよりデフォルメされており、中間的様相を示す（第3図）。変形蓮弁文は明故宮「空白期」とレナ沈船でかなり類似している資料もあり、時期の開きは大きくないと考える。さらに南京明故宮「空白期」では、高台が外開きで、腰部の張りが「永楽・宣徳期」ほど強くない個体が紹介されており、これらが当期に出現したとみられる。口沿内湾の製品については不明である。

レナ沈船資料では、内外面一面に施文するものが主体である。口沿は外反と直口があり、外反が多い。両者に共通の施文がなされる。次の段階とみられる牛屎礁引揚げ資料では内側面が無文となり、文様もシンプルで、空白のあるものが主流となる。

各段階の時期についても少し述べておく。官窯の研究が先行した明代青花瓷の研究は、時期区分に皇帝名を冠することが多い。しかし、ここで考察する青花瓷碗は、民窯のなかでも雑器であり、それに対応した型式の変化は現時点では設定できない。ただし、中国における研究との整合性から、対応関係を明確にしておく必要があり、以下の時期区分を使用する。洪武（1368－1398）から天順期（1457－1464）までを明代早期とし、そのうち洪武から宣徳期（1425－1435）を早期前半、正統（1435－1449）から天順期までを早期後半、さらに成化（1464－1487）から正徳期（1505－1521）までを明代中期とし、弘治（1488－1505）までを中期前半ととらえておく。早期前半は明故宮「洪武期」、「永楽・宣徳期」、首里城跡京の内 SK01 や二階殿落ち込みに代表される。ただし、これらの資料の下限は早期後半に下る可能性もある。早期後半は紀年銘資料では早期前半と同様の資料が出土し変化がとらえにくいが、景泰4（1453）年銘嚴昇墓出土浄水碗で内側面に施文が認められるので、南京明故宮「空白期」や占婆島沈船が当期に該当するとみられる。中期前半はレナ沈船に代表される。早期後半から当期のまとまった資料は日本国内では確認できない。牛屎礁引揚げ資料は中期後半に入る頃、16 世紀前後と考えられ、これ以降のものが日本国内の戦国期城館などで多く出土する。

以上が、青花碗変遷の概略である。器形や法量の詳細な変化は、実測図がないため明らかにできない部分もある。各文様の変化に関しては、以下、今帰仁城跡出土資料個別説明において、適宜触れていくこととする。

4. 今帰仁城跡出土青花瓷碗個別説明

今帰仁城跡出土青花瓷碗のうち、明代前半から中期前半と推定した碗を一覧（表1・2）とし、器形・文様を記載した。この中には中期後半とみられる個体も結果として一部含まれている。これらのうちいくつかを追加して実測した（第8・9図、写真図版1・2）。筆者が直接実測したもの、今帰仁村教育委員会のご協力により器形実測、文様割付まで行い、筆者が修正と観察を行い文様実測を仕上げたものがある。また、既に報告されている個体に関しては、再実測が出来ていないので、報告された図を転載した（No.1, 13, 93, 81, 58, 40, 報告書Ⅱ第64図3）。遺物番号は、SAAT が作成した青花碗台帳記載の番号と一致する。ほぼ時系列に沿って紹介する。

No.1　青花宝相華唐草文碗　口径 15cm。直口で、腰が張らず、見込みがくぼむ。高台は直立し、内外面を斜めに削る。外面下端は斜めに面取りし、釉も削っている。文様は外側面上下を圏線で画して宝相華唐草文を配し、内面は口沿に菱形繋文、見込みは二重圏線内に唐草文である。外面唐草文は、この図には配置されていない破片（第５図下段左）に先端の尖った花弁をもつ花が描かれ、台帳 No.2－６の同文の個体を観察すると、花芯は宝珠形で、周辺に花弁を配置し、花芯・花弁ともに縁取り線付近に若干の白抜き部分を残している。茎は一筆で描き、葉は基部が巻き先端は尖る形態で、線で縁取り中をだみ塗りする。この文様は、日本国内の研究では「牡丹唐草文」と呼称されるが、元様式から明初へと続く宝相華唐草文を簡易に描いたと判断され、そのなかでは比較的丁寧な表現である。中国では「纏枝蓮文」と呼称されている。菱形繋文は、３条の直線を交差させて菱形とし、内部四方に鉤形、中央に十字を配置する。青料は若干灰色がかる紺色で、釉薬は青味を帯び、氷裂、ピンホールが看取できる。高台接地部のみ露胎である。類例は、首里城跡京の内跡 SK01、沖縄県具志川城跡、福井県興行寺遺跡第２遺構面において確認でき、明代早期前半の資料である。

No.7　青花雲気文碗　口径 10cm と小型である。直口で腰部は緩やかに丸く、直立する高台が付く。高台接地部は平坦に削り、外面は面取りして釉を削る。高台内外底面は露胎である。外面主文は、上下を２条の圏線で画し渦や波状の雲気文を粗く一面に描く。高台上端に１条の圏線を配する。内面見込みには２条の圏線内に隷書で「福」字を描く。青料は濃紺で発色は良好である。胎土は白色で、釉薬は青味を帯び、ピンホールがある。類例として、小型の直口碗は首里城跡二階殿跡でも出土しており、「福」字碗は次の No.13 に示した通り出土している。主文様では、渦状に描く雲気文が No.21 と共通性を有する。明代早期前半に位置づけられる。

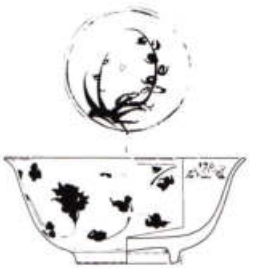
No.13　青花結帯綉球文碗　口径 12.1cm。口沿は外反し、腰部は張り、低い高台が付く。器壁、高台は厚い。高台接地部のみ釉薬を削り露胎とする。文様は、外側面に結帯綉球文、内面口沿に圏線、見込みに２条の圏線と草書「寿」字文を描く。結帯綉球文は太い線と細い線を組み合わせて渦状の球の周囲に小さい渦を配置し、波状の帯で結ぶ。青料は濃紺で、発色は良いが、圏線は淡く緑色味が強い。釉薬は青味を帯びる。類例として、主文が結帯綉球文で「福」字を描く碗が、南京明故宮「永楽・宣徳民窯」として報告されている（写真４）ほか、沖縄県具志川城跡、上越市至徳寺遺跡（第４図，鶴巻康志 2003，p.97 第 64 図 810）、「寿」字のものが山梨県新巻本村跡（小野正敏 1981）から出土している。明代早期前半に位置づけられる。



第４図　至徳寺遺跡出土碗

No.21　青花雲気文碗　口径 12.8cm。口沿は外反し、口が大きく開く器形と推定する。腰部は丸みをもち、高台は欠損する。主文は外側面上下を圏線で画し、雲気文（あるいは結帯綉球文）を粗く描く。内面は口沿に圏線１条、見込みに２条の圏線が認められる。青料は灰色がかる紺色で暗く、滲みが少しある。釉薬は若干青味をもち、ピンホールがある。胎土は白色である。このような渦状の雲気文（あるいは結帯綉球文）を描いた類例は、南京明故宮跡において「洪武民窯」「永楽・宣徳民窯」として報告されている。明代早期前半に位置づけられる。

No.59　青花宝相華唐草文碗　口径 14.6cm。口沿は外反する。主文は外側面の宝相華唐草文で、茎は一筆で弧状に描き、上下に反転しながら連続させ、花は丸と円で花芯を表し、その外側に一筆ずつ花弁を描く。葉は弧や波状の線を足して表現する。No.１より簡易化した描き方となっている。内面は口沿に圏線が１条巡る。青料は灰色がかる暗い紺色で、釉薬は青味を帯び、氷裂とピンホールがみられる。胎土は白色である。宝相華唐草文に関しては、首里城跡や紀年銘明墓出土の罐・瓶・香炉・碗に例があり、それらを参照しつつ変化について触れておく（第５図）。首里城跡京の内跡



首里城跡京の内跡 SK01 出土
沖縄県教育委員会 1998, p. 172)



正統 2（1437）年（中国出土陶瓷編委会 2008c, p. 182, 江西省博物館所蔵）



正統 12（1447）年
（同左 , p. 184, 徳興市博物館所蔵）



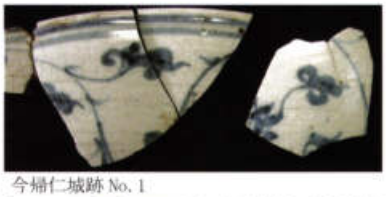
天順 3（1457）年
（中国出土陶瓷編委会 2008b, p. 61, 広東省博物館所蔵）



正統 12（1447）年
（同上 , p. 185, 徳興市博物館所蔵）



成化 16（1480）年
（写真 18 部分）



今帰仁城跡 No. 1



今帰仁城跡 No. 59



レナ沈船 No. 216（Monique. C. 2002, P. 179, フィリピン国立博物館所蔵）



今帰仁城跡 No. 2

・花は輪郭＋だみ塗り、白抜き残す
・葉は輪郭＋だみ塗り、基部の巻き
・花を中心に茎が巻く構成
・花と比較して葉が大きい
・茎は細く、葉の付く茎は枝分かれしない

・花、葉とも一筆（だみ塗りなし）
・花の中心が円
・相対的に花が大きい
・茎が太く、巻きが細かい
・葉の付く枝が分かれる
・葉の形に省略がみられる

・花が相対的により大きい
・花の中心が満
・花と茎、茎と茎が接しない部分がある
・茎の巻きが雑で細かい
・葉の形がより省略される

第 5 図　宝相華唐草文の変化

SK01 の例は、花の描き方に省略がみられるが、花が小さく茎を含めた構成が明確で、葉は散在し、空間を広く使用する。花の描き方には違いがあるが、今帰仁城跡 No.1・2 との共通性が指摘できる。紀年銘資料では、正統 2 年例は花が丁寧な表現で、他は花が簡略に描かれている。天順 3 年例までは、花と茎の繋がりや構成は明確で、葉は簡易な表現もみられるもののまだ原型を留めている。今帰仁城跡 No.59 はこれらと類似している。成化 16 年銘蕭宗時墓例は、花・茎の繋がりは良く構成は明瞭で、丁寧な描き方である。しかし正統 2 年例と比較すると花には白抜きが無く、茎を 2 本線で描き、葉は小さく形も画一的である。レナ沈船資料では、正統期と比較しても花の表現は一層雑になり、相対的に花が大きく、花と茎の繋がりも悪く、葉は省略が著しい。このような変化は、罐と碗といった器種あるいは製品による違いもあるのであろうが、ある程度時期差を示すものと理解できる。

No.42　青花花唐草文碗　口径 12.9cm。口沿が外反する碗である。外面には不鮮明な花唐草文が配される。内面口沿には、省略した菱形繋文が描かれ、斜線部分が 1 本から 3 本と統一性がなく、内部に描かれる点は滲み配置も乱れている。器壁には亀裂がみられる。青料は紺色で、文様周辺に極小さな斑となって散っている。釉薬は青味を帯び、口沿の釉は切れており、ピンホールがみられる。胎土は白色である。器形、文様とも首里城跡二階殿落ち込みに類似する資料があり、早期と考えられるが、主文や菱形繋文が粗く、下る可能性もある。

No.10　青花「福」字文碗　腰部以下が残存し、見込みが広く平坦で、高台は高く直立する。腰部以下の器壁は厚いが、高台の削りが深く、底部は若干薄い。高台外面下半の釉薬は削る。外底部にはカンナ削り痕が看取できる。見込みに 2 条の圏線が広く巡り中心に隷書「福」字が描かれ、内外側面は圏線以外無文である。青料はやや淡い紺色で、釉薬は青味を帯びる。胎土は白色である。隷書「福」字碗は、南京明故宮出土資料などに類例があり、永楽・宣徳期から出土するとされている。日本国内では上越市至徳寺遺跡から外面結帯綉球文の碗が出土している（第 4 図）。器形、文様の特徴から明代早期前半に位置づけられる。

No.53　**青花雲気文碗**　腰部以下の破片である。腰部は強く張り、見込みは平坦で広い。高台は直立し、外面下端を面取りし釉も削る。接地部には砂の付着がみられる。外側面には２条の圏線の上に草花文の基部と推定される文様が疎らに配され、見込みには２条の圏線内に雲気文を描く。青料は淡い紺色で、灰色味を帯びる。釉薬は透明で、若干青味をもち、全体に氷裂が入り、ピンホールもみられる。胎土は白色である。類例は、首里城跡京の内跡 SK01 に認められ、明代早期前半の資料である。

No.54　**青花雲気文碗**　No.53 とほぼ同様の碗である。見込みには、雲気文以外に花弁状の文様も配されている。明代早期前半に位置づけられる。

No.52　**青花人物文碗**　器形は No.53・54 とほぼ同様である。高台内の削りがやや浅いため、底部が厚い。外側面と見込みに人物文が描かれている。人物は簡単な線描きで、その他は縁取って雑にダミ塗りする。高台外面に２条の圏線が巡る。青料は灰色がかる紺色で、濃い部分は黒く発色する。釉薬は青味をもち、ピンホールや途切れている部分がある。No.53・54 より文様はやや複雑化しているが、器形は共通しており明代早期と考えておく。

No.60　**青花宝相華唐草文碗**　口径 17.6cm で、やや大型である。口沿から底部にかけての破片から器形を復元している。口沿は外反し、体部の立ち上がりは強く、腰部は丸く、底部にかけて器壁が厚い。文様は外面口沿に、波線を交差した文様帯があり、側面に宝相華唐草文、腰部以下に蓮弁文が巡る。宝相華の花は縁を描いてダミ塗りし、茎や葉は一筆で描く。蓮弁文は２条の圏線で上下を画し、丸みをもった三角形を２重にし、中に縦線を描く蓮弁を重ねている。内面は口沿に菱形繋文、側面に菊花？唐草文を配する。花の花弁は丸く、外面と違いがあるが、葉はやや小ぶりである以外形状に違いがない。見込みには２条の圏線内に文様が一部確認できるが種別は不明である。同文の例は、レナ沈船で認められる（写真 31）。本資料と類似の蓮弁文は、正統２（1437）年銘宁惠王墓出土罐に描かれている（第５図上段）。宁惠王墓では、蓮弁は花弁の形を保ち、三角形化した No.60 とは形状が異なり、花弁内に描かれる縦線は蓮弁外郭線に沿って先端が中心に向くが、No.60 では斜めに雑に描いている。レナ沈船では、No.60 より簡略化されている。文様の描き方は、器種や個体により差も大きいため断言はできないが、本資料は正統期以降で、レナ沈船と同期か先行すると考えられ、明代早期後半から中期前半に位置づけておく。


写真31

No.91　**青花変形蓮弁文碗**　腰部以下の破片である。底部は削りにより薄く、高台は細く外開きである。主文は不明で、外面は腰部以下に変形蓮弁文、見込みには多くの花弁による花文が描かれている。変形蓮弁文は、周囲を二重線で縁取り、内部に如意頭形を模したような雲文を垂下させる。見込みの花文は、中心に丸を描き、そこから時計回りに少しひねりを加えた花弁を線画で描く。花弁の先端は二つに分かれる。青料は明るい紺色で、釉薬は透明である。見込みの文様の類例が、南京明故宮跡の「永楽・宣徳民窯」とされる資料や占婆島沈船に含まれているが、高台が外に開く点や変形蓮弁文は新しい要素と考えられる。明代早期前半に出現している可能性もあるが、早期後半に位置づけておく。

No.93　**青花花唐草文碗**　口径 15.1cm。口沿外反し、腰が強く張り、見込みが広く、高台は直立する。腰部以下の器壁は厚いが、高台内は削りが深く底部は薄い。高台接地部周辺のみ露胎とする。文様は、外面口沿に巻草文、側面に花唐草文、高台外面に２条の圏線、内面口沿に如意頭形文（あるいは波涛文）を縁取り線と縦線によって幅広の文様帯とする。見込みには二重圏線内に円と四方に唐草を組み合わせた文様を配置する。巻草は、線のつながりが乱雑ではあるが、双方向の巻きを１単位とする原型は保っている。花唐草文の花は、上部と左右に花弁があり、縁取りをしてだみ塗りしている。葉は線で縁取り部分的にだみ塗りしている。青料はやや淡い紺色で、釉薬は青味

を帯びる。外面主文の類例がレナ沈船にみられる（写真 32, Monique Crick 2002, p.176）が、葉の配置が本資料より密で、描き方が粗雑である。レナ沈船より遡る可能性もあり、明代早期後半から中期前半と考えておく。



写真32

No.81　青花牡丹唐草文碗　口径 15.0cm。口沿は緩く外反し、腰部は強く張り、見込みが広く、高台は外開きである。接地部を露胎とする。主文様は外側面の牡丹唐草文で、高台外面に 2 条の圏線、内面口沿には菱形繋文、見込みには二重圏線内に唐草文が配されている。牡丹花は花弁を縁取りだみ塗りする比較的丁寧な描き方である。葉は先が 3 方向に分かれている。菱形繋文は、3 本線を交差させて菱形を作り、白抜き部の四方に点、中央に十字を置く。青料は濃紺で、発色は良好である。釉薬は若干青味を帯びる。本資料は、次期判断が難しいが、高台が開く器形の特徴、内側面に文様が描かれず、唐草はレナ沈船ほど葉が小さくなく密集しないという文様の特徴から、明代早期後半と考えておく。

No.58　青花唐草文碗　口径 15.1cm。口沿は緩く外反し、腰部は強く張り、見込みが広く、高台は外開きである。形態としては No.81 とほぼ同様で、本資料の方が外底部の削りが深い。文様は、内外側面に密集した唐草文を描き、見込みには蓮束文、高台外面には 2 条の圏線を配する。唐草文は縁取りの中に格子（内面では斜線）を描いた花から茎を半回転させて繋ぎ、茎からは巻草状の葉が多く出て画面を埋め尽くしている。青料は紺色で発色は良好であり、釉薬は若干の青味を帯びる。類例はレナ沈船にあるが、内外口沿に文様帯を配置する点が異なる。レナ沈船の類例から明代中期前半に置けるが、レナ沈船では 1 点のみの報告であり、No.81 と器形が共通することから遡る可能性もある。

No.80　青花波涛白馬文碗　口径 20.8cm で、大型である。口沿が外反する。文様は内外面ともに一面の青海波と波涛文で、白馬を配置している。青海波は、最も外側の弧線を濃く描き、それに沿ってやや幅広く白抜きを残して内部に細い弧線を多重に入れる。波涛は白抜きである。白馬は柔らかい曲線で縁線を描き、頭部や目が大きく、脚部は短い。青料は紺色で、やや淡い部分がある。釉薬は青味を帯びて、氷裂やピンホールが若干みられる。胎土は白色である。No.40 と同様に、波涛文はレナ沈船の皿類より遡る可能性があり、明代早期後半から中期前半に位置づけておく。

No.40　青花波涛文碗　口径 15.0cm。破片により器形を復元している。口沿は緩く外反し、腰部は強く張り、見込みが広く、高台は直立する。No.93 ほど高台内の削りは深くない。主文様は外側面の波涛文で、腰部以下には変形蓮弁文が巡り、高台外面に圏線 1 条を描く。内面口沿に菱形繋文、見込みには波涛文に白馬を配する。波涛文は青海波の縁取り線が太く濃く、中を細い線で埋める。No.80 のように周囲の太線と中の細線の間の白抜きは意識されていない。波涛部分は白抜きである。見込みの波涛は描き方が簡略で、白馬は前脚が判然としない。類例としてレナ沈船の皿を挙げる（写真 33, Monique Crick 2002, p.124）。レナ沈船の波涛文は青海波が同心円弧状であり、白波も先端が丸くパターン化しているものが多いのに対し、本資料は白波の描き方が写実的で、青海波も白波に押し寄せるように右上がりの円弧となり、違いがある。変形蓮弁文は、蓮弁の縁の二重線の内側の線が、そのまま垂下文となる。垂下文の基部は左右に巻き、中央に半弧、その下に円を置く。この形式は、第 6 図に示したように首里城跡二階殿落ち込み出土例とレナ沈船資料の中間的な形態と考えられる。菱形繋文は、3 本線を交差させて菱形を形成し、菱形内部の鉤形と中心点は配置も形も雑である。青



写真33



首里城跡二階殿跡出土、報告書第34図28
（沖縄県埋蔵文化財センター所蔵、筆者撮影）



今帰仁城跡 No. 40

・蓮弁単位を保つ
・弁先突起あり
・垂下文双方向巻き＋半弧＋円



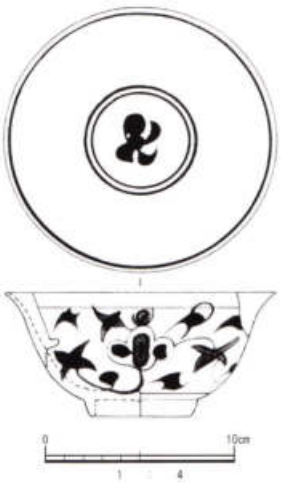
レナ沈船 No. 228 (Monique. C. 2002, P. 182 より転載)

・蓮弁弁先なし（圏線）
・垂下文渦巻き状、左右非対称

第6図　変形蓮弁文の変化

料は濃い紺色で発色が良い。釉薬は若干青味を帯び、氷裂が看取できる。レナ沈船よりは遡るとみられ、明代早期後半から明代中期前半と考えておく。

No.19　**青花花唐草文碗**　口径 14.3cm。口沿大きく開いて外反し、腰部は丸く、見込みはくぼむ。高台は低く、外面は斜めに、接地部は平坦に削る。高台外面下半の釉薬は削り、外底部は露胎で、カンナ削り痕が看取できる。主文は外側面上下を圏線で画し、花唐草文を描く。花と思われる部分は円と丸を組み合わせ、種類は不明である。茎や葉は散漫に描かれている。見込みは2条の圏線内に花弁を描いているとみられる。青料の発色は淡く、灰色味を帯び、見込みのみ黒緑を呈する。外面の釉薬は青味が強く、見込みと外面下半に氷裂があり、ピンホールもみられる。類例は、景徳鎮湖田窯址で報告されており、「Ad 型明青花墩式碗」として分類され、第8期とされる明代中期の層から出土が確認されている（第7図，江西省文物考古研究所・景徳鎮民窯博物館 2007, p.342，463）。本資料の明確な位置づけは難しい。器形は明代早期前半と中期前半に認められ、高台の削りの特徴や外底部が露胎である点、また文様が簡素であることは明代早期前半の特徴と一致する。ただし、現時点で明代中期の層からの出土が確認されているため前期から中期の範囲でとらえておく。



第7図　景徳鎮湖田窯出土碗

No.18　**青花雑宝花唐草文碗**　口径 14.7cm。口沿は緩く外反し、腰部は丸みをもち、見込みはややくぼむが平坦に近い。高台は外面を斜めに削り、外面下端は面取りし釉を削っている。接地部は平坦に削り、若干砂が付着する。外底部にはカンナ削り痕が看取できる。文様は外面口沿に斜線を反転、連続させた文様帯を巡らせ、主文様は花唐草文である。同文とみられる台帳 No.14、15 に雑宝が描かれており、本資料も同様と判断した。見込みには2条の圏線内に文字状の文様と唐草が描かれている。青料の発色は淡く、灰色味を帯びる紺色で、釉薬は青味を帯び、ムラがあり、ピンホールが多い。類例はレナ沈船から出土している（写真 21）が、見込みの文様は異なっている。明代中期前半の資料である。

No.87　**青花蓮池文碗**　体部下半から底部の破片である。腰は丸く底部は緩やかにくぼむ。高台は外面が直立し、内面は斜めに削る。高台内の削りが深く、底部の器壁が薄い。外面に水草文、内面は唐草文、見込みは2条の圏線内に蓮束文である。高台外面には2条の圏線を配する。内外側面の文様は、縁取りして部分的にダミ塗りし、見込みの蓮束文は丁寧にダミ塗りしている。青料は濃く、灰色がかる紺色で、釉薬は青味を帯び、全体に氷裂が認められる。胎土は白色である。内面見込みの文様などは異なるが、主文の類例はレナ沈船に認められ、明代中期前半に位置づけられる。

No.83　**青花蓮池魚文碗**　口径 14cm。口沿外反する碗で、体部は強く立ち上がり腰部は丸みをもつ。外面は口沿に斜線文帯、側面に蓮池文を描く。斜線文は、上下を2条の圏線で画し、3本ずつ

の斜線を交互反転させて三角形を造り、中に半弧を三つ重ねた文様を配置している。蓮池文は、慈姑と水草の束である。内面は口沿に菱形繋文、側面に波涛文と魚文を置く。水草や魚は縁を線描きして中をだみ塗りする。青料は明るい紺色で、発色は良好である。釉薬は青味を帯びて、ピンホールがみられる。胎土は白色である。レナ沈船には蓮池文の碗が報告されており（写真 34, Monique Crick 2002, p.180）、口沿外面の文様帯も同様の資料が確認でき、本資料は明代中期前半に位置づけられる。


写真32

No.37　**青花六角繋文碗**　口径 12.6cm。破片から器形を復元している。口沿は外反し、器壁の立ち上がりは強く、腰は丸く張り、底部は平坦である。高台は欠損している。外側面に六角繋文が描かれ、腰部以下に変形蓮弁文を巡らせる。六角繋文は 3 本線を六角形に組み合わせ、その内部中央に 7 つの点を配している。変形蓮弁文は縁の二重線は意識されるが不徹底で弁先は突起せず、内部には渦状の雲文を垂下させる。内面は縁取り線内を点で埋める如意頭形文を配し、如意頭形の中は点で埋めている。見込みは 2 条の圏線内に十字宝杵文を線のみで描く。十字宝杵文は写真 24 にみる占婆島沈船の例とは明らかに異なり、レナ沈船資料と類似する。青料は少し灰色かかる紺色で、濃い部分がある。釉薬は青味を帯び、下半に氷裂が多くみられ、ピンホールや亀裂がある。胎土は白色である。類例はレナ沈船にあり（写真 22）、明代中期前半に位置づけられる。

No.41　**青花人物文？碗**　口径 15.6cm。口沿が少し外反する。描かれているのは樹木と柵のような人工物で、同様の風景に唐子を配した類例（写真 35, 穆青・湯偉建 2000, p.115）がある。内面口沿に不鮮明な菱形繋文帯が巡り、内側面は無文である。青料は緑色味を帯びる紺色で、淡い発色である。濃い部分は黒く発色している。釉薬は青味を帯びて、氷裂、ピンホールが看取できる。時期は判然としないが、早期後半から中期前半と考えておく。


写真35

No.67　**青花巻貝文碗**　口径 14.8cm。口沿は緩く外反し、腰部は張り、見込みが広い。高台は直立し、高台下半外面は面取りし、釉薬も削る。高台内にはカンナ削り痕が残り、高台内面に砂が付着している。全体に器壁が薄い。主文様は不明で、外面腰部以下に蓮弁文、見込みに波涛・巻貝文を配置する。青料は淡く、釉薬は青味を帯び、ピンホールがみられる。見込みの青海波は、輪郭線以外、直線に近く、波の単位も明瞭でない。蓮弁文は半弧を連ねて中央に縦線を入れるが、縦線がずれ、弧を連ねただけの表現もある。類似した波涛・巻貝文と蓮弁文はレナ沈船資料に認められるが、文様が簡略になっており、中期後半に下ると推定する。

No.68　**青花人物文碗**　口径 15cm。口沿が角張るほど強く外反し、腰部は丸く、見込みは広い。高台は著しく外開きである。全体の形状がいびつで、器壁の腰部以下はやや厚く、高台接地部は平坦に削り釉薬も削る。外底面にカンナ削り痕が看取できる。主文様は人物文で、外側面に騎馬人物文が描かれ、見込みも人物である。文様は一筆描きのように、単純な線で構成され、部分的にだみ塗りする。青料は紺色で、発色は良好である。釉薬は青味を帯びる。本資料は、今帰仁城跡からかなりまとまって出土している。類例は、福建省牛屎礁引き揚げ資料にあり（写真 30）、また高台が異なる同文資料がフィリピンのプロン・バカウ遺跡（田中和彦 1993）から出土している。中期後半の資料である。

第 64 図 3　青花雑宝唐草文碗　口径 14.5cm。本資料は、明代前半の台帳未掲載の資料だが、台帳 No.62 が同タイプである。口沿は緩く外反し、腰は丸く、見込みはくぼむ。高台は内傾する。文様は外側面雑宝唐草文で、外面腰部以下に蓮弁文を巡らせる。見込みは花唐草文である。本資料の類例は、南京明故宮跡では「明中期青花」として報告され、レナ沈船、福建省牛屎礁引き揚げ資料にも含まれ、明代中期に位置づけられる。

5. 小結

明代早期から中期前半の青花瓷碗について、編年研究の整理と予察、今帰仁城跡出土資料の紹介と位置づけを行った。編年の予察では、中国紀年銘墓を参考に、消費地遺跡と沈没船を加えることによって、口沿外反碗と直口碗の変遷を明らかにできた。ただし、早期後半については不明確な点があり、今後資料を追加しながら補強する必要がある。

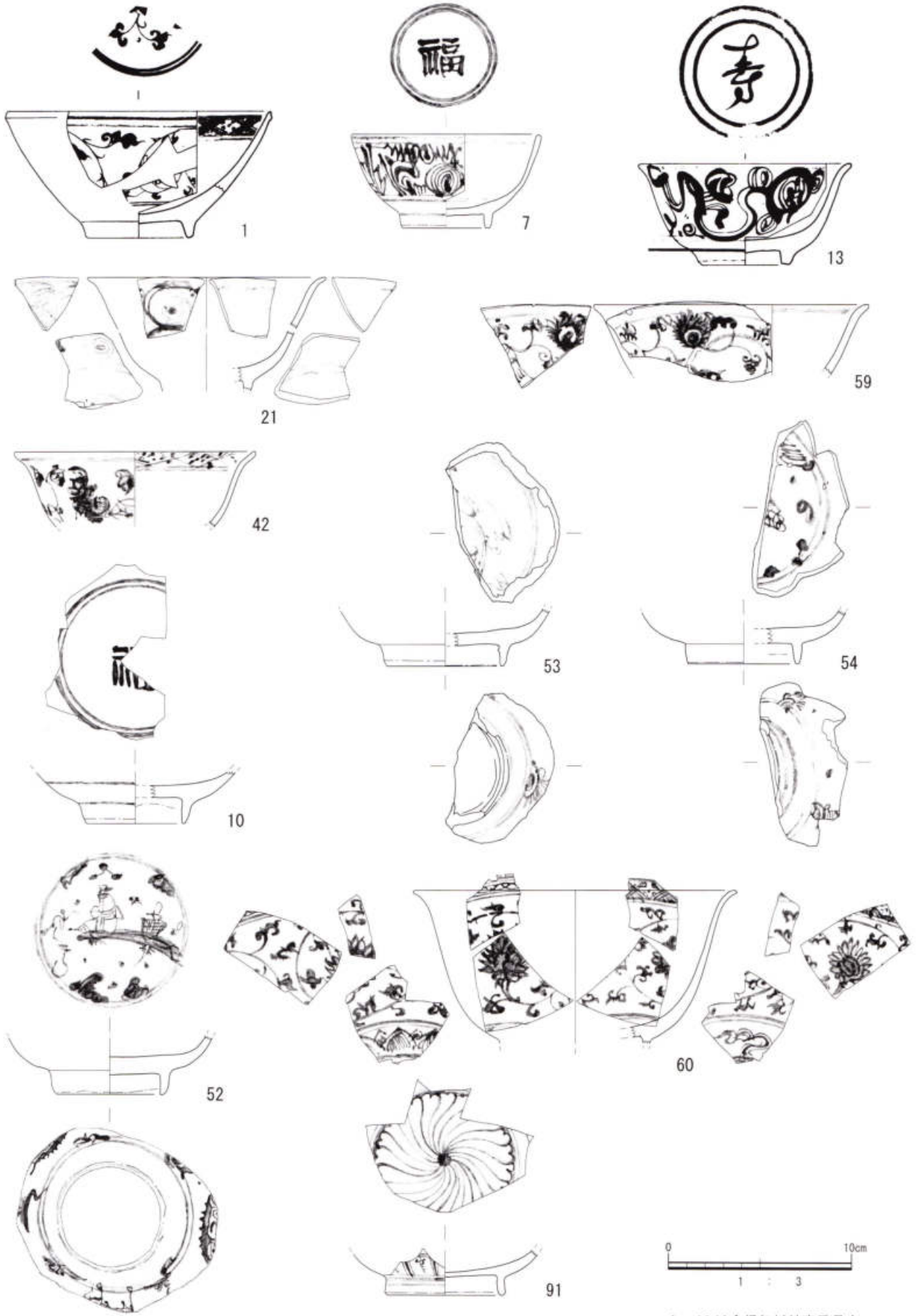
今帰仁城跡出土資料は、個別説明したものも含めて、破片以外の92個体（複数個体を同一番号にしているものがあるため個体数はプラスα）は、早期前半27個体、早期4個体、早期後半から中期前半21個体、中期前半14個体、中期後半17個体、中期6個体、不明3個体であった。早期の資料が多く、明代早期から中期の資料が途切れることなく出土している。特に早期後半から中期前半は、日本国内では出土資料がほとんど無く、今帰仁城跡出土資料の重要性が指摘できる。古琉球の消費地である今帰仁城跡では出土し、日本本土ではそれと伴う細線蓮弁文青瓷碗は出土するが、青花瓷碗は出土しない意味を考える必要がある。中期後半については、本稿では口沿外反碗のみ取り上げたため、個体数は数倍となることが予測される。碗以外の器種や、明代中期以降の資料については、次回以降に取り組むこととしたい。

本稿作成にあたり、宮城弘樹氏、玉城靖氏、有銘倫子氏はじめ今帰仁村教育委員会の方々、瀬戸哲也氏はじめ沖縄県埋蔵文化財調査センターの方々にお世話になりました。末尾となりましたが御礼申し上げます。

参考文献

上田秀夫 1982「14～16世紀の青磁碗の分類について」『貿易陶磁研究』No.2，日本貿易陶磁研究会，pp.55-70
海のシルクロードの出発点“福建”展開催実行委員会編 2008『東アジアの海とシルクロードの拠点　福建－沈没船、貿易都市、陶磁器、茶文化－』pp.124-131
沖縄県教育委員会 1998『首里城跡－京の内跡発掘調査報告書（Ⅰ）－』
沖縄県埋蔵文化財センター 2005『首里城跡－二階殿地区発掘調査報告書－』
小野正敏 1981「山梨県東八代郡一宮町新巻本村出土の陶磁器」『貿易陶磁研究』No.1，日本貿易陶磁研究会，pp.47-55
小野正敏 1982「15～16世紀の染付碗・皿の分類と年代」『貿易陶磁研究』No.2，日本貿易陶磁研究会，pp.71-88
小野正敏 1985「出土陶磁よりみた十五、十六世紀における画期の素描」『MUSEUM』No.416，pp.20-28
夏穎 1986「揚州出土的明代成化青花碗」『文物』1986第10期，文物出版社，p.38
亀井明徳編 2001『季刊　考古学　第75号　基準資料としての貿易陶磁器』雄山閣
亀井明徳・柴田圭子・髙島裕之・新島奈津子 2007「今帰仁城跡出土元青花瓷の研究」『今帰仁城跡周辺遺跡Ⅲ』今帰仁村教育委員会，pp.227-252
広東省博物館・東莞市博物館 1991「広東東莞明罗亨信家族墓清理簡報」『文物』1991第11期，文物出版社，pp.43-50
京都市文化市民局 2006「山科本願寺跡（4）」『京都市内遺跡発掘調査報告　平成17年度』，pp.101-127
金武正紀・松田朝雄・宮里末廣 1983「今帰仁城跡出土の元様式青花と共伴の陶磁器」『貿易陶磁研究』No.3，日本貿易陶磁研究会，pp.32-44
金武正紀 2009「今帰仁城跡出土の元・明青花磁器の分類と年代的位置づけ」『今帰仁城跡発掘調査報告Ⅳ』今帰仁村教育委員会，pp.121-140
景徳鎮陶瓷館・欧陽世彬・黄雲鵬 1981「介紹両座明景泰墓出土的青花、釉里紅瓷器」『文物』1981第2期，文物出版社，pp.46-50
江西省文物考古研究所・景徳鎮民窯博物館 2007『景徳鎮湖田窯址 1988－1999年考古発掘報告』文物出版社
耿宝昌編 2002『故宮博物院蔵　明初青花瓷　下冊』紫禁城出版社
四川省文管会・綿陽市文化局・平武県文保局 1989「四川平武明王玺家族墓」『文物』1989第7期，文物出版社，pp.1-42
国立歴史民俗博物館 1993『日本出土の貿易陶磁』
(財) 愛媛県埋蔵文化財調査センター 1998『湯築城跡』第1分冊

柴田圭子 2001「16 世紀中葉の輸入陶磁器の再評価－中国・四国地方の遺跡を中心に－」『中世土器研究論集』中世土器研究会，pp.111-122
柴田圭子 2007「湯築城跡における段階変遷と年代観再考」『河野氏と湯築城をとりまく諸問題』伊予の遺跡と中世史研究会，pp.19-30
柴田圭子・髙島裕之・新島奈津子・亀井明徳・半田素子 2009「今帰仁城跡出土明代前半期青花瓷の研究」『今帰仁城跡発掘調査報告書Ⅳ』今帰仁村教育委員会，pp.141-169
鈴木秀典 1990「輸入貿易陶磁の編年の検討－天正年間から江戸前期－」『貿易陶磁研究』No.10，日本貿易陶磁研究会，pp.67-73
成都市博物館・曹剛 1988「成都市出土弘治青花瓷碗」『文物』1988 第 1 期，文物出版社，p.96
瀬戸哲也・仁王浩司・玉城靖・宮城弘樹・安座間充・松原哲 2007「沖縄における貿易陶磁研究」『沖縄埋文研究 5』沖縄県立埋蔵文化財センター，pp.55-76
田中和彦 1993「ルソン島中部、墓地遺跡出土の交易陶磁と土器－ 15 世紀後半から 16 世紀前半の南部タガログ地方の様相」『貿易陶磁研究』No.13，日本貿易陶磁研究会，pp.65-85
中国江西壮族自治区博物館・中国江西文物考古研究所・越南国家歴史博物館編 2009『越南出水陶瓷』科学出版社，pp.54-91
中国出土陶瓷編委会 2008a『中国出土瓷器全集 7　江蘇上海』科学出版社
中国出土陶瓷編委会 2008b『中国出土瓷器全集 10　広東　広西　海南　四川　重慶　香港　澳門　台湾』科学出版社
中国出土陶瓷編委会 2008c『中国出土瓷器全集 14　江西』科学出版社
鶴巻康志 2003「至徳寺遺跡（至徳寺館跡・至徳寺跡）」『上越市史叢書 8　考古－中・近世資料－』上越市史専門委員会考古部門，pp.55-118
冨山正明 1993「福井県興行寺遺跡出土の陶磁器」『貿易陶磁研究』No.13，日本貿易陶磁研究会，pp.127-133
中澤富士雄 2001「明清時代紀年資料」『貿易陶磁研究』No.21，日本貿易陶磁研究会，pp.16-27
今帰仁村教育委員会 1983『今帰仁城跡発掘調査報告書Ⅰ』
今帰仁村教育委員会 1991『今帰仁城跡発掘調査報告書Ⅱ』
南京博物院 1976「南京明故宮出土洪武時期瓷器」『文物』1976 第 8 期，文物出版社，pp.71-77
南京博物院・香港中文大学文物館 1996『朱明遺萃』
日本貿易陶磁研究会 2002『中世後期における貿易陶磁器の様相』
日本貿易陶磁研究会 2006『貿易陶磁研究』No.26
FranckGoddio,StaceyPierson,MoniqueCrick2000,Sunken Treasure:Fifteenth Century Chinese Ceramics from The Rena Cargo, Periplus Publishing London LTD
Monique Crick2002, Typology Porcelains and ceramics, Franck Goddio, Monique Crick,Peter Lam,StaceyPierson,Rosemary Scott, LOST AT SEA The strange route of the Lena Shoal Junk, Periplus Publishing London LTD, pp.97-233
穆青・湯偉建 2000『明代民窯青花』河北人民出版社
森達也 2009「15 世紀後半～ 17 世紀の中国貿易陶瓷－沈船と窯址発見資料を中心に－」『関西近世考古学研究 17　近世初頭の海外貿易と陶磁器』関西近世考古学研究会，pp.153-166
森田勉 1982「14 ～ 16 世紀の白磁の分類と編年」『貿易陶磁研究』No.2，日本貿易陶磁研究会，pp.47-54
森毅 1992「16 世紀後半から 17 世紀初頭の陶磁器」『難波宮址の研究』第 9，（財）大阪市文化財協会，pp.358-372
森毅 1995「16・17 世紀における陶磁器の様相とその流通－大坂の資料を中心に－」『ヒストリア』第 149 号，大阪歴史学会，pp.87-106
森村健一 1995a「福建省漳洲窯系青花・五彩・瑠璃地の編年－いわゆる「福建・広東産青花」「スワトウ」「呉須手・赤絵」の窯跡陶片と日本の遺跡出土品の比較－」『研究紀要』3、（財）大阪府埋蔵文化財協会，pp.363-372
森村健一 1995b「日本における遺跡出土のタイ陶磁器」『東洋陶磁』VOL.23・24，東洋陶磁学会，pp.65-82
森本朝子 1995「日本出土のベトナムの陶磁とその産地」『東洋陶磁』VOL.23・24，東洋陶磁学会，pp.45-64



第８図　今帰仁城跡出土青花瓷碗（1）

１・13は今帰仁村教育委員会1991より転載



93・81・58・40・報告書Ⅱ．第 64 図 3 は今帰仁村教育委員会 1991 より転載　第 9 図　今帰仁城跡出土青花瓷碗（2）

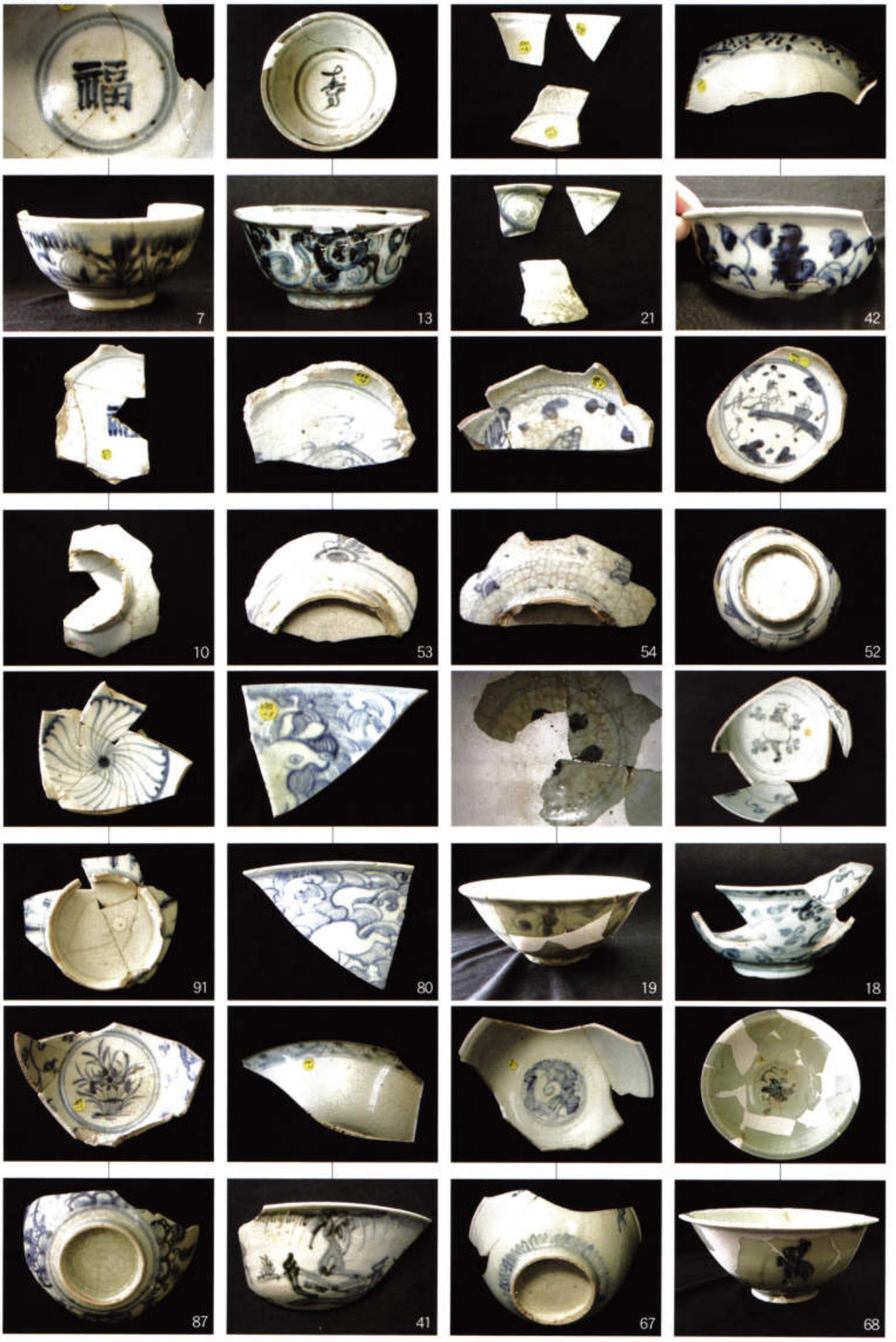
表1　今帰仁城跡出土明代早期－中期青花瓷碗一覧（1）

台帳番号	器　形	接合後破片数/部位	文　様				施釉範囲	報告番号　備考
			内面体部	内面底部	外面体部	外面高台		
1	直口	4/口沿-体-底	菱形繋文帯+無文	2条圏線+唐草文	2条圏線+宝相華唐草文+2条圏線+無文	無文	高台接地部以外施釉	Ⅱ63図－7
2	直口	9/口沿-体-底	菱形繋文帯+無文	2条圏線+草文	2条圏線+宝相華唐草文+2条圏線+無文	無文	高台接地部以外施釉	No.1と同タイプ
3	直口	2/口沿-体	菱形繋文帯+無文	2条圏線+不明	2条圏線+唐草文+2条圏線+無文	—	残存部全面施釉	No.1と同タイプ
4	直口	6/口沿-体-底	菱形繋文帯+無文	2条圏線+不明	2条圏線+宝相華唐草文+2条圏線+無文	無文	高台接地部以外施釉	No.1と同タイプ
5	直口	4/口沿-体	菱形繋文帯+無文	—	圏線+唐草文+2条圏線+無文	—	残存部全面施釉	No.1と同タイプ
6	直口	9/口沿-体-底	菱形繋文帯+無文, 2条圏線+無文	2条圏線+草文, 2条圏線+唐草文	2条圏線+唐草文, 2条圏線+無文	無文	高台接地部以外施釉	No.1と同タイプ, 複数個体
7	直口, 小型	2/口沿-体-底	1条圏線+無文	2条圏線+「福」	2条圏線+渦・草文+2条圏線+無文	1条圏線	高台接地部+外底部以外施釉	
8	直口, 小型	1/口沿-体	1条圏線+無文	—	2条圏線+渦・草文	—	残存部全面施釉	No.7と同タイプ
9	外反	3/口沿-体-底	1条圏線+無文	2条圏線+「福」	2条圏線+波涛？文+2条圏線+無文	1条圏線？	高台接地部+外底部以外施釉	
10	腰丸	1/体-底	—	2条圏線+「福」	1条圏線+無文	1条圏線	高台接地部以外施釉	
11	直口	3/口沿-体-底	2条圏線+無文	2条圏線+「福」	2条圏線+唐草文+2条圏線+無文	無文	高台接地部以外施釉	Ⅱ63図－8, No.1と同タイプか
12	腰丸	1/体-底	—	2条圏線+文字？	渦+3条圏線+1条圏線	1条圏線	高台接地部以外施釉	
13	外反・小型	1/口沿-体-底	1条圏線+無文	2条圏線+「寿」	1条圏線+結帯綉球文+2条圏線+無文	1条圏線	高台接地部以外施釉	Ⅱ63図－6
14	外反	3/口沿-体-底	2条圏線+唐草文・文字	2条圏線+唐草文	交互斜線文帯+唐草文+2条圏線+無文	1条圏線	高台接地部以外施釉	No.18と同タイプ
15	外反	3/口沿-体	2条圏線+唐草文・文字	—	交互斜線文帯+雑宝唐草文	—	残存部全面施釉	No.18と同タイプ
16	外反	4/口沿-体	2条圏線+唐草文	—	交互斜線文帯+唐草文	—	残存部全面施釉	No.18と同タイプ
17	外反	2/口沿-体	2条圏線+唐草文	—	交互斜線文帯+唐草文	—	残存部全面施釉	No.18と同タイプ
18	外反	1/口沿-体-底	2条圏線+唐草文・文字	2条圏線+唐草文・文字	交互斜線文帯+唐草文+2条圏線+無文	1条圏線	高台接地部以外施釉	
19	外反	3/口沿-体-底	1条圏線+無文	2条圏線+草文？	1条圏線+唐草文+2条圏線	無文	高台接地部+外底部以外施釉	
20	外反	2/口沿-体	1条圏線+無文	—	唐草文	—	残存部全面施釉	
21	外反	3/口沿-体	1条圏線+無文	2条圏線+？	1条圏線+渦文？+2条圏線+1条圏線	1条圏線	残存部全面施釉	
22	外反	7/口沿-体	2条圏線+唐草・草文	—	2条圏線+宝相華唐草文？	—	残存部全面施釉	
23	外反	7/口沿-体-底	菱形繋文帯+無文	2条圏線+？	1条圏線+唐草文+2条圏線	無文	高台接地部以外施釉	
24	外反	4/口沿	菱形繋文帯+無文	—	1条圏線+雲文	—	残存部全面施釉	
25	外反	2/口沿-体	菱形繋文帯+無文	—	1条圏線+宝相華唐草文	—	残存部全面施釉	
26	外反	2/口沿	菱形繋文帯+無文	—	1条圏線+宝相華唐草文	—	残存部全面施釉	No.25と同タイプ
27	外反	2/口沿-体	菱形繋文帯+無文	—	1条圏線+唐草文	—	残存部全面施釉	No.25と同タイプ
28	—	1/底	—	2条圏線+唐草文	—	1条圏線？	高台接地部以外施釉	
29	—	1/体-底	？+無文	2条圏線+？	唐草文+2条圏線	1条圏線	高台接地部以外施釉	
30	外反・腰丸	1/口沿-体	1条圏線+無文	2条圏線+？	1条圏線+菊花？唐草文	—	残存部全面施釉	
31	外反・腰丸	1/口沿-体	1条圏線+無文	—	1条圏線+草花・雲文	—	残存部全面施釉	
32	外反	2/口沿-体	1条圏線+無文	—	1条圏線+花唐草文	—	残存部全面施釉	
33	外反	2/口沿-体	2条圏線+無文	—	2条圏線+唐草文	—	残存部全面施釉	
34	外反	2/口沿-体	2条圏線+草花文	—	2条圏線+松文	—	残存部全面施釉	
35	外反	3/口沿-体	1条圏線+無文	—	1条圏線+唐草文	—	残存部全面施釉	
36	外反	4/口沿-体	1条圏線+無文	—	1条圏線+?	—	残存部全面施釉	
37	外反・腰丸	5/体-底	？+如意頭形文+1条圏線	2条圏線+十字宝杵文	六角繋文+変形蓮弁文	—	残存部全面施釉	
38	外反	5/口沿-体	1条圏線+無文	—	六角繋文帯+？	—	残存部全面施釉	
39	外反	3/口沿-体	菱形繋文帯+無文	—	2条圏線+波涛文	—	残存部全面施釉	
40	外反・腰丸	8/口沿-体-底	菱形繋文帯+無文	2条圏線+波涛・馬文	2条圏線+波涛文+変形蓮弁文	2条圏線	高台接地部以外施釉	Ⅱ63図－1
41	外反・腰丸	2/口沿-体	菱形繋文帯+無文	2条圏線+？	1条圏線+柳文	—	残存部全面施釉	
42	外反・腰丸	3/口沿-体	菱形繋文帯+無文	—	1条圏線+唐草文	—	残存部全面施釉	
43	外反	3/口沿-体	三角形繋文帯+唐草文	—	1条圏線+唐草文	—	残存部全面施釉	
44	外反	3/口沿-体	菱形繋文帯+無文	—	1条圏線+宝相華唐草文	—	残存部全面施釉	
45	外反	2/口沿	菱形繋文帯+？	—	2条圏線+？	—	残存部全面施釉	
46	外反	2/口沿-体	菱形繋文帯+無文	—	文字？文帯+唐草文	—	残存部全面施釉	
47	外反	6/口沿-体	回文帯+?	—	2条圏線+宝相華唐草文	—	残存部全面施釉	

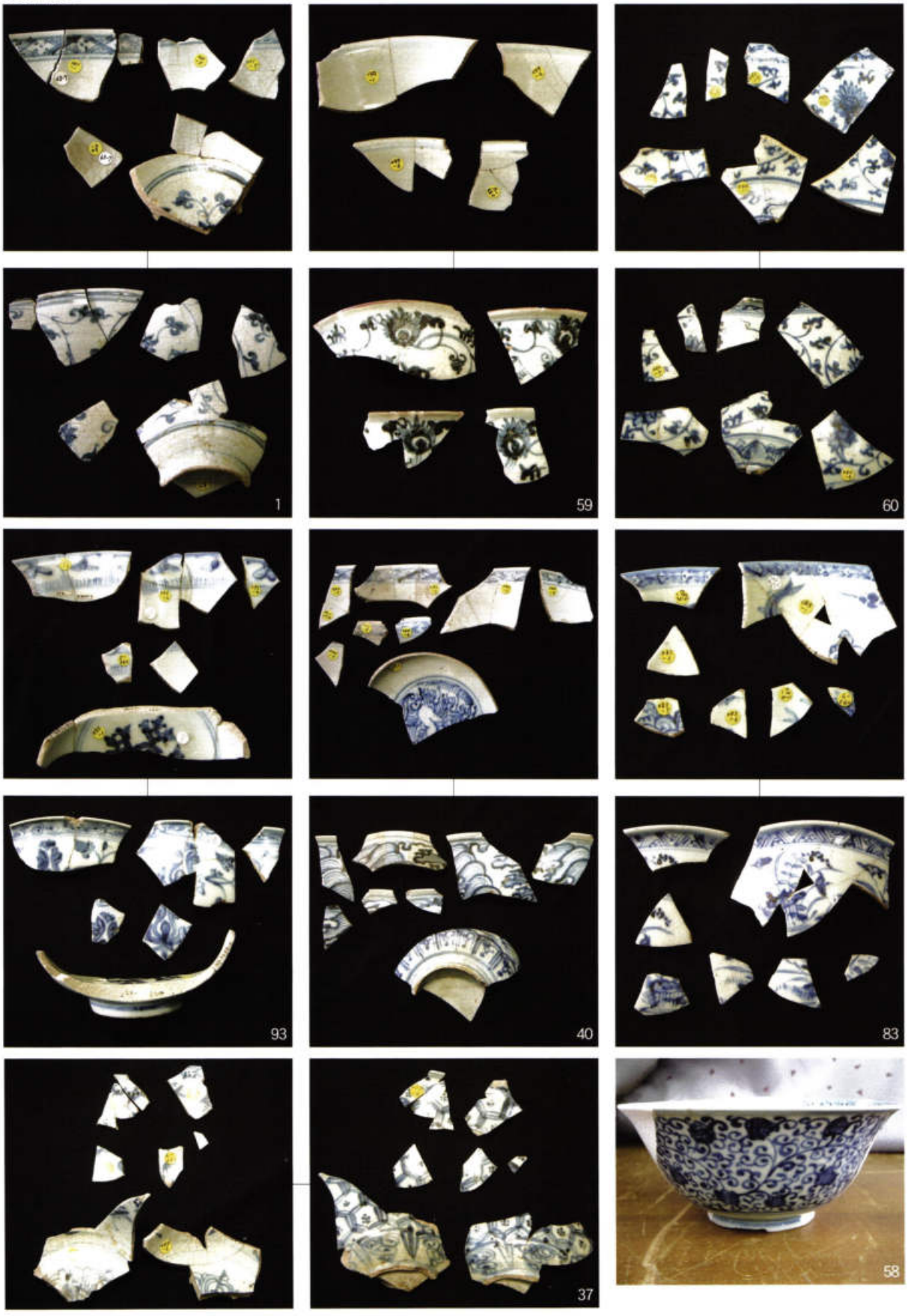
表２　今帰仁城跡出土明代早期－中期青花瓷碗一覧（2）

台帳番号	器　形	接合後破片数/部位	文　様				施釉範囲	報告番号　備考
			内面体部	内面底部	外面体部	外面高台		
48	外反	6/口沿-体	回文帯+無文	—	2条圏線+無文+2条圏線	—	残存部全面施釉	
49	外反	4/口沿	回文帯+？	—	2条圏線+宝相華唐草文	—	残存部全面施釉	
50	外反	3/口沿	文字文帯+？	—	2条圏線+？	—	残存部全面施釉	複数個体
51	外反	7/口沿-体	蓮弁文帯+草文	2条圏線+？	2条圏線+宝相華唐草文	—	残存部全面施釉	
52	腰丸	1/体-底	—	2条圏線+人物文	人物文+2条圏線+無文	2条圏線	高台接地部以外施釉	
53	腰丸	1/体-底	?+無文	2条圏線+雲気文	雲気文+2条圏線+無文	1条圏線	高台接地部以外施釉	
54	腰丸	1/体-底	?+無文	2条圏線+雲気文	雲気文+2条圏線+無文	1条圏線	高台接地部以外施釉	No.53と同タイプ
55	腰丸	1/体-底	?+無文	2条圏線+梅花文	？+2条圏線+無文	—	残存部全面施釉	
56	腰丸	2/体-底	—	2条圏線+？	？+変形蓮弁文	1条圏線	高台接地部以外施釉	
57	外反・腰丸・外開高台	3/口沿-体-底	2条圏線+密集唐草+1条圏線	2条圏線+蓮束文？	2条圏線+密集唐草+2条圏線+1条圏線	2条圏線	高台接地部以外施釉	No.58と同タイプ
58	外反・腰丸・外開高台	4/口沿-体-底	2条圏線+密集唐草+1条圏線	2条圏線+蓮束文？	2条圏線+密集唐草+2条圏線+1条圏線	2条圏線	高台接地部以外施釉	Ⅱ63図-3
59	外反	5/口沿-体	2条圏線＋無文	—	1条圏線+宝相華唐草文	—	残存部全面施釉	
60	外反・腰丸	7/口沿-体-底	菱形繋文帯+花唐草文	2条圏線+?	巻草文帯+宝相華唐草文+蓮弁文	1条圏線	残存部全面施釉	
61	外反	2/口沿-体	2条圏線＋無文	2条圏線+?	2条圏線+雑宝唐草文+蓮弁文	—	残存部全面施釉	
62	外反	3/口沿-体	2条圏線＋無文	—	2条圏線+雑宝唐草文+蓮弁文	—	残存部全面施釉	No.61と同タイプ
63	外反	2/口沿-体	2条圏線+無文	—	2条圏線+唐草文	—	残存部全面施釉	
64	外反	3/口沿-体	2条圏線+草花文	—	2条圏線+蓮池文	—	残存部全面施釉	
65	外反	1/口沿-体	1条圏線+無文	—	唐草文	—	残存部全面施釉	口紅
66	外反	2/口沿-体	2条圏線+斑+無文	—	1条圏線+?	—	残存部全面施釉	
67	外反	1/口沿-体-底	1条圏線+無文	2条圏線+青海波・巻貝	1条圏線+文字？+蓮弁文	1条圏線	高台接地部以外施釉	
68	強外反 外開高台	1/口沿-体-底	2条圏線+無文	2条圏線+人物文	2条圏線+人物文+2条圏線+無文	1条圏線	高台接地部以外施釉	
69	強外反	9/口沿-体	2条圏線+無文	—	2条圏線+人物文+2条圏線+無文	—	残存部全面施釉	複数個体、No.68と同タイプ
70	強外反	5/口沿-体	2条圏線+無文	—	2条圏線+人物文	—	残存部全面施釉	No.68と同タイプ
71	強外反	1/口沿-体	2条圏線+無文	—	2条圏線+人物文	—	残存部全面施釉	No.68と同タイプ
72	強外反	1/口沿-体	2条圏線+無文	—	2条圏線+人物文	—	残存部全面施釉	No.68と同タイプ
73	強外反	3/口沿-体	2条圏線+無文	—	2条圏線+人物文	—	残存部全面施釉	No.68と同タイプ
74	強外反	2/口沿-体	2条圏線+無文	—	2条圏線+人物文	—	残存部全面施釉	No.68と同タイプ
75	強外反	3/口沿-体	2条圏線+無文	—	2条圏線+人物文か	—	残存部全面施釉	No.68と同タイプ
76	強外反	6/口沿-体	2条圏線+無文	—	2条圏線+人物文か	—	残存部全面施釉	No68と同タイプ
77	腰丸・外開高台	1/体-底	無文	2条圏線+人物文	人物文+2条圏線+無文	1条圏線	高台接地部以外施釉	
78	腰丸・外開高台	1/体-底	無文	2条圏線+人物文	人物文か+2条圏線+無文	1条圏線	高台接地部以外施釉	
79	強外反	26/口沿-体	2条圏線+無文	—	2条圏線+人物文	—	残存部全面施釉	複数個体、No.68と同タイプ
80	外反・大型	1/口沿-体	2条圏線+青海波・白馬	—	2条圏線+青海波・白馬	—	残存部全面施釉	
81	外反・外開高台	4/口沿-体-底	菱形繋文帯+無文	2条圏線+唐草文	2条圏線+牡丹唐草文+2条圏線	2条圏線	高台接地部以外施釉	Ⅱ63図－4
82	外反	4/口沿-体	菱形繋文帯+無文	—	巻草文帯+雑宝唐草文	—	残存部全面施釉	
83	外反	2/口沿-体	菱形繋文帯+魚文	—	三角文帯+水草文	—	残存部全面施釉	
84	外反	2/口沿-体	菱形繋文帯+無文	—	1条圏線+人物文・?	—	残存部全面施釉	複数個体？
85	欠番							皿
86	—	3/体部	唐草文	—	唐草文	—	残存部全面施釉	
87	外開高台	1/体-底	唐草文	2条圏線+蓮束文	蓮池文+2条圏線	2条圏線	高台接地部以外施釉	
88	—	1/底	—	2条圏線+牡丹？文	—	2条圏線	高台接地部以外施釉	
89	—	1/底	？	2条圏線+唐草文	唐草文	2条圏線	高台接地部以外施釉	
90	外開高台	2/体-底	—	2条圏線+菊花文？	変形蓮弁文	2条圏線	高台接地部以外施釉	Ⅱ63図－2
91	外開高台	1/体-底	—	2条圏線+菊花文？	変形蓮弁文	2条圏線	高台接地部以外施釉	No.90と同タイプ
92	外開高台	3/体-底	—	2条圏線+菊花文？	変形蓮弁文	2条圏線	高台接地部以外施釉	No.90と同タイプ
93	外反・外開高台	5/口沿-体-底	如意頭形文帯+無文	2条圏線+十字宝杵文？	巻草文帯+宝相華唐草文+1条圏線	2条圏線	高台接地部以外施釉	Ⅱ63図－5

写真図版 1



写真図版 2



第２節　外郭Ⅷ区の発掘調査成果について

１．今帰仁城跡外郭東区の発掘調査成果について

平成 17 年度から着手した外郭の調査は、今回の報告でひとまず一応の区切りがつく。

発掘された外郭は、城内 10 の郭のなかでもっとも北側にある郭で昭和 54 年に追加指定された地域にあたる。外郭の面積は約 20,000 ㎡で今帰仁城跡の郭の中でも最も広い地域となる。調査に先立ち地形や石垣などの地表面で観察できる遺構及び地籍から東・西・中・城外西・城外東区の５つのエリアに分け、さらに外郭東区をⅠ～Ⅸ区の９つに区分けしている。調査された東区は①Ⅲ・Ⅳ区、②Ⅶ区、③Ⅷ区、④Ⅴ区、⑤Ⅸ区である。但し、Ⅴ区、Ⅸ区は未報告であるため、①～③について概観した上で、総括していきたい。なお、他にもⅡ区やⅥ区も一部試掘調査を実施しているが、前者は恒常的な生活に乏しい岩がちな地域、後者は全容を知るには他の地域との調査進捗とあわせて更に調査が必要なため、今回の総括では割愛する。

最初に当該地域の築城年を考える上で今帰仁城跡主郭における築城変遷について、改めて記しておきたい。

２．主郭で確認された今帰仁城跡築城の変遷

主郭の調査によって明らかにされたのは、今帰仁城跡主郭における築城の変遷であった。これらは報告書や論文でたびたび紹介され（今帰仁村教育委員会 1991、金武1988、ほか）、沖縄のグスクが追った時間的変遷を理解する上で学術的にも高い評価が与えられている。

第Ⅰ期（13 世紀末～ 14 世紀はじめ頃：今帰仁グスク入植期）
　層序／Ⅸ～Ⅶ層
　主な遺構／土留め石積み、掘立柱建物、城柵
　主な遺物／グスク土器第３様式、カムィヤキＢ群、本土産瓦質土器、龍泉窯系青磁Ⅰ～Ⅲ類、同安窯系青磁櫛描文Ⅲ、白磁Ａ・Ｆ・C1・C2 群

第Ⅱ期（14 世紀前半～ 14 世紀中頃：今帰仁グスク勢力拡大期）
　層序／Ⅵ～Ⅴ層
　主な遺構／城壁登場、翼廊付基壇建物
　主な遺物／グスク土器第３様式、カムィヤキＢ群、青磁Ⅲ～Ⅳ類、白磁 C1・C2 群

第Ⅲ期（14 世紀後半～ 15 世紀前半：明実録に登場する山北時代頃）
　層序／Ⅱ層
　主な遺構／雑な版築による平場造成、基壇の無い礎石建物
　主な遺物／龍泉窯系青磁Ⅳ～Ⅴ類、白磁 C3・Ｄ群

第Ⅳ期（1422 年頃～ 1665 年：監守時代）
　層序／Ⅰ層
　主な遺構／監守の礎石建物
　主な遺物／龍泉窯系青磁Ⅴ～Ⅵ類、白磁Ｄ・Ｅ群、青花

第Ⅴ期（1665 年以降：監守引き揚げ後）
　層序／地表面
　主な遺構／火之神祠、山北今帰仁城監守来歴碑記
　主な遺物／近世～近代の陶磁器

3．確認調査によって明らかになった外郭城壁の特徴

外郭東区城壁では石垣の構築年代を知ることを目的に、根石確認トレンチを複数箇所設定している。トレンチ調査の結果、根石確認トレンチ④で城壁下へ潜り込む造成層と同一層の発掘を行った。根石の下に入り込む層（Ⅴ区Ⅱｅ層）からはグスク土器や龍泉窯系青磁Ⅱ類、白磁C2群で構成される遺物群が得られた。このことから、出土遺物は主郭第Ⅶ層（第Ⅰ期）の出土組成と酷似しており、遺物から判断すると、14世紀中頃以降の構築であることがうかがえる。但し現在では下限年代を知ることができただけで実際には15世紀段階の築城である可能性もあり、西側城壁等全体の調査成果を待って検討したい。

城壁を仔細に観察すると、城壁の崩落や孕みといった毀損以外にも、不自然な積み方が観察されることから、城壁構築後に崩落するなどの理由によって後代に修築していることがうかがえた。特に、Ⅷ区北側で観察された東側城壁の大規模な城壁ラインの変更やSR2などの城郭内を区画する区画壁の構築などが確認されている。これらの修築は今報告では東側城壁Ⅱ期城壁として仮称し紹介している。東側城壁（報告Ⅰ期城壁）も築城後何度か大きな城郭プランの変更などによって形状を様々に変更させていることが分かってきた。

4．外郭内の使用時期と機能

Ⅲ・Ⅳ区の使用年代は第26集（今帰仁村教育委員会2009）で既に報告したとおり、遺物包含層を大きくⅡ層とⅢ～Ⅴ層の2段階に分けることができ、Ⅱ層が14世紀後半～15世紀中頃、Ⅲ～Ⅴ層＝13世紀後半～14世紀前半として推量している。このことからⅡ層が主郭Ⅲ期段階、Ⅲ～Ⅴ層が主郭Ⅰ・Ⅱ期段階に対応すると推量される。また当該地域から15世紀後半～16世紀代に対応すると考えられる遺物はほとんど出土していないことから、主郭Ⅳ期段階には当該地域がなんらかの理由によって恒常的な生活空間としては利用されない状況があったと推定される。

これを証明するように遺構も、13世紀後半～14世紀中頃の遺物がまとまって出土する遺構（SK266）と15世紀前半の遺物が主体的に出土する遺構（SK170、SK295）が存在する。つまり、Ⅲ・Ⅳ区において確認されたように外郭は当初岩が露出する自然景観だったところに造成等を行うなど、13世紀後半頃から自然地形のやや平坦なところを中心に恒常的な生活使用が開始される（主郭Ⅰ～Ⅱ期）。その後14世紀後半～15世紀前半（主郭Ⅲ期）をピークに掘立柱建物などが建築され使用されたようである。検出された遺構はピット総数299基、土坑9基（SB01・02含む）、植栽痕16基、溝状遺構4基が検出されている。

次にⅦ区はSR3とSR4の間にある平坦地で、Ⅶ区で検出された遺物包含層からはⅢ・Ⅳ区で確認されたⅢ～Ⅴ層のような13世紀後半～14世紀前半の遺物を主体的に出土する包含層は確認されなかった。Ⅶ区では15世紀頃の遺物を主体としながらも、青花等の16世紀代の遺物を比較的含む状況から主郭Ⅳ期段階の遺構を中心としている。このことは、Ⅲ・Ⅳ区とは対照的であり、空間としては後述するⅧ区と一体となって使用されたことが想定される。Ⅶ区の遺構はピット総数399基、土坑9基、石列1基が確認されている。Ⅲ・Ⅳ区と同様にⅦ区においてもこれらの遺構群を構築する以前の造成層（第4造成層）の存在が確認されており、斜面地または岩盤が多く露頭する箇所に土を入れ造成を行い、その上面に遺構群を構築している。

最後に今報告のⅧ区は今帰仁城跡内では北端に位置している。先に行ったⅢ・Ⅳ区→Ⅶ区→Ⅷ区の順で順次グランドレベルが低くなり、宅地造成されたように一定の平坦地が連なっている。このような造成状況は志慶真門郭でも観察された状況と同様である。当該地区の遺構は後年の耕作や古宇利殿内の構築等によって削平を受け、特に基壇遺構（SB08）の南側面や礎石についてはほとんど確認することができなかった。しかし、北側面の石列の残存状況は比較的良好で、東西約17.5ｍと

今帰仁城跡で確認された基壇では主郭全体を基壇と見立てた形状を除けば最大であることが確認された。これまで外郭（Ⅲ・Ⅳ、Ⅶ区）で確認された遺構は掘立柱建物に限られる。これは城内に建築される建物様式が礎石建物と掘立柱建物で構成される中、主郭・御内原・大庭の主要三郭は礎石建物が確認されているが、それ以外の郭では初めて確認されたものである。但し、Ⅷ区の遺構はあくまでも礎石を伴っていないことから、正確には基壇構築の遺構が確認されたという表現に留める。いずれにしても石で構築された労力を要する規模の大きな遺構であることから、主郭・大庭・御内原と同等の機能を持つ遺構があったことが想定された。なお、SB08 に関連して複数の遺構が確認されており、性格の究明は遺構の現況保存を前提としている中で限られた確認調査となったが、内側（内栗）から土留め石積み遺構が２基（SR10・SR11）、SB08 北側に構築された土留め石積み遺構 SR5 が確認されている。先後関係だけでみれば、SR10・11 → SB08 → SR5 の構築順に構築されたことになる。

外郭では SB08 関連の遺構以外にもその上位と下位で幾つかの遺構が確認されている。下位の遺構については、検出された遺構の上面で留めているため、実際には試掘によって確認された柱穴などであるが、一部を除き柱穴も調査は行っていないので年代等は不明である。しかし P-33 グリッドで検出された柱穴は、少量ながら得られた出土遺物などからⅢ・Ⅳ区で確認されたような主郭Ⅰ～Ⅲ期段階の建物跡の痕跡と推定される。一方、上位の遺構として大きく２段階の遺物の存在が指摘できる。一つは SB08 廃絶後に構築されたと考えられる SB09 や SF1 の遺構で、石列などから小規模な建物跡と推定される。この遺構が最終末の建物跡であると思われるがその性格は不明である。Ⅷ区の廃絶年は被覆する堆積層の出土遺物から 17 世紀第３四半期までの生活遺物が連綿と出土しており、暫定的ながらも文献と整合させるなら 1665 年と想定される。またその後建築された古宇利殿内周辺にも柱穴が複数個検出されており、規模の推定こそ判然としなかったものの、SB09 と一連となる遺構群と推定される。全体を概括すると以下のような変遷が想定される。

①今帰仁城跡主郭Ⅰ～Ⅱ期段階（13 世紀後半～ 14 世紀中頃）

外郭ⅢⅣ区で確認されたように、掘立柱建物を建築し、自然地形に制約されながらも平坦地を造成する。これらの遺構はⅢⅣ区以外にも外郭全体に及んでおり、明確な防御施設には囲繞されていないことを鑑みれば、主郭に砦があり、その外に展開した集落遺跡が存在していた時代と想定される。

②今帰仁城跡主郭Ⅲ期段階（14 世紀後半～ 15 世紀前半）

Ⅲ・Ⅳ区、Ⅶ区、Ⅷ区 P-33・R-30 グリッドやトレンチ調査下層において柱穴遺構が確認される。

城壁の構築年前後 14 世紀中頃から 15 世紀前半段階の遺構が複数確認されている。特に明確にその年代が類推でき建物の規格まで窺えるのはⅢ・Ⅳ区の SB02 である。この遺構が城壁の建築後外郭Ⅲ・Ⅳ区に建築されたのか、建物跡が既にあって城壁内に取り囲まれたのか、あるいは築城後まもなく廃絶されたのかは現段階では判然としない。しかし、城壁築城後まもなくすると SB02 等の建物も建築されず空閑地として利用される空間が外郭内にも存在することがわかっており、後述する城壁の構築以後機能転換や配置換えといった郭内の空間機能の変更が遂行されたことがうかがえる。

③今帰仁城跡主郭Ⅲ～Ⅳ期段階（時期不詳）

今帰仁城跡外郭城壁の建築（東側城壁Ⅰ期）　城壁の築城年代は 14 世紀中頃を遡ることはないということしか現段階では言えない。14 世紀中頃以降、15 世紀中頃以降の可能性もあり構築年の確定にはなお検討が必要である。いずれにしても今帰仁城跡の築城史においては重要な検討事項であるためここでは主郭Ⅲ～Ⅳ期段階に構築された石垣として暫定的に報告する。

④今帰仁城跡主郭Ⅳ期段階以降（15 世紀前半～ 17 世紀第３四半期）

主郭Ⅳ期段階に関しては年代幅が広いだけでなく、そもそも主郭ではほとんど出土例の無い沖縄産陶器や肥前磁器などが出土しており、主郭廃絶後も使用されたことがうかがえる。

この時期のⅢ・Ⅳ区の使用は途絶している。一方、Ⅶ・Ⅷ区は使用が継続されていたと推量される。即ちⅧ区とⅦ区が矩形に近い２段の平坦地からなる空間として機能していたことが推測される。その北側は外郭の城壁が、南側は SR3、東側は SR2 で囲繞され、Ⅷ区西南検出の石敷遺構内（A）の部分で通用していたと考えられる。

この段階の遺構の年代推定は遺物の構成が複雑なので、全体として主郭Ⅳ期段階であるとし、遺構の切り合い等から先後関係が把握できるもののみを示す。その時期推定は、出土状況など改めて周辺地域の様子などを鑑みて別で論じていくことにしたい。

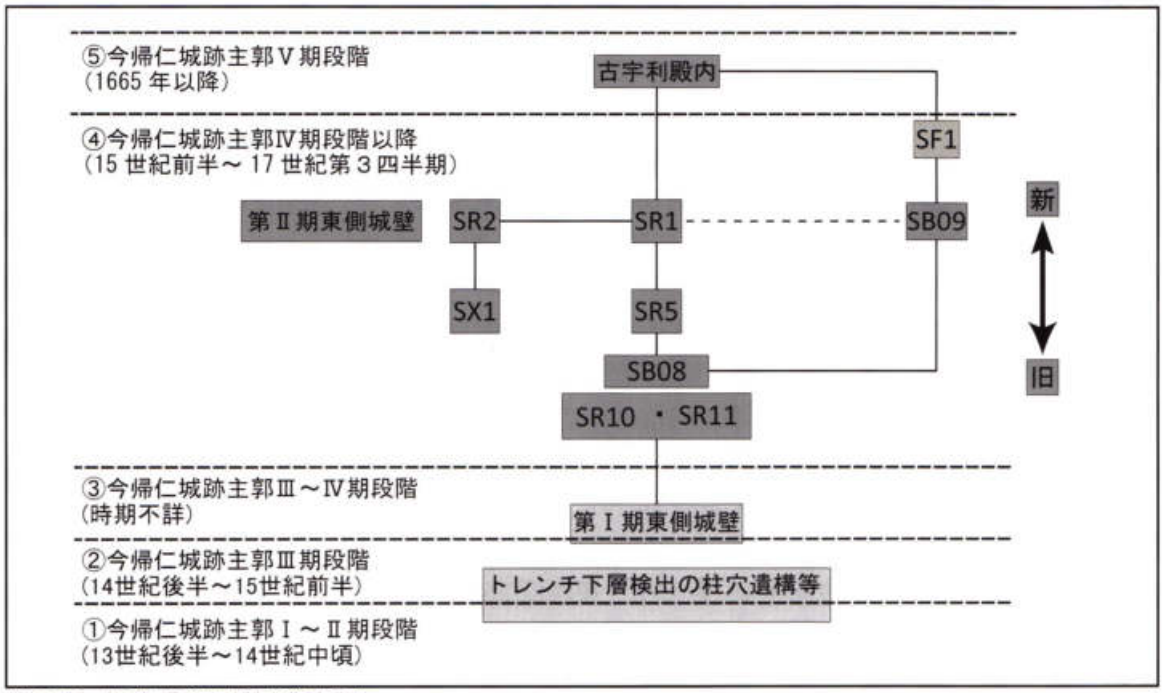
当該段階の最も代表的な建築物としてⅧ区で検出された SB08 があげられる。Ⅷ区から回収された遺物の多くは、この遺構及び SB09 等が機能していた時期に使用されたものと推定される。時期推定できる遺物から青磁Ⅴ類が得られるものの、これが主体的に出土しないことから、Ⅷ区における 15 世紀前半～ 15 世紀中頃の遺物の減少を指摘することができる。下層の発掘は行っていないので断定的なことは言えないが、この段階は文献史学では第一監守時代に相当する。『中山世譜』によると以下のような事象が記される。永楽 20（1422）年に尚巴志の第二子の尚忠を山北監守として遣わしたのが山北監守の始まりその後、尚忠は尚巴志を継いで王位についたため、山北監守は子弟に継がれたとされている。

考古学的に当該時代の遺構が不明確であることは、尚忠以後の監守が山北監守として派遣された時代に当該地域の開発には着手されていなかったのではないかなど、今後の課題として残る。今調査のⅧ区で検出された建物跡と思われる遺構群から主体的に出土する遺物は、青磁では龍泉窯系Ⅵ類などであることから、その盛期は明らかに第二監守時代と推量される。概括すると、SB08 の構築時期は暫定的ながら 15 世紀中頃以降で、盛期は 16 世紀段階にあると推定される。

さて、Ⅷ区の遺構の重複等から構築順序については、以下のように指摘することができる。SR2 とⅧ区の西南検出の石列遺構（SX1）は、SR2 の下層で石列遺構を確認できることから、SX1 → SR2 となる。東側城壁の一部を撤去して構築した遺構としては、雑な石積の城壁を構築する東側城壁のⅡ期城壁があげられる。東側城壁はⅠ期→Ⅱ期となる。東側城壁に接続する SR2 は東側城壁のⅠ期城壁の上に乗っており、東側Ⅰ期城壁→ SR2 の先後関係となる。なお、SR2 と東側城壁Ⅱ期城壁の先後関係は不明だがほぼ同時期と推量される。SR5 の土留め石積み遺構は、Ⅱｂ層を造成し平場を広げている。造成層は SB08 を被覆することから、SB08 → SR5 の先後関係となる。SB09・SF1 は SB08 の一部を壊して構築されている。SB08 → SB09・SF1 の先後関係となる。また、SB08 の遺構内からは２本の石列 SR10・SR11 が検出されており、SR10・11 → SB08 の先後関係となる。以上の先後関係を模式図にすると第112図のようになる。

⑤今帰仁城跡主郭Ⅴ期段階（1665 年以降）

最後に上記遺構が廃絶した後に古宇利殿内が造られている。現在まで残される古宇利殿内は、石壁でコンクリート造の屋根が葺かれた祠でその建立時期は不詳だが、1665 年以降であると推測される。なお、祠内に安置されていた香炉などの年代は近代と推定され、屋根の葺き替えや庭の舗装等近代から現代にかけて複数回の修築が行われていたと考えられる。



第112図　外郭Ⅷ区検出遺構先後関係図

5．遺物について

Ⅷ区調査の出土陶磁器は、土器、青磁、白磁、青花、褐釉陶器、タイ産、ベトナム産、日本本土産などの輸入陶磁器をはじめ、玉、金属製品、石製品などがあり、これまでの調査と同様にほとんどの陶磁器の多くは中国産で占められる。これら出土遺物の年代は 13 世紀後半～ 17 世紀前半の年代幅で収まり、古手のものでは青磁龍泉窯系Ⅰ・Ⅱ類、白磁Ａ・Ｆ・C2 群が得られているが、大半はⅠ・Ⅱ層で出土した 15 世紀後半～ 17 世紀前半の出土遺物で占められる（主郭Ⅳ期）。既報告 26 集のⅢ・Ⅳ区では主郭Ⅰ～Ⅲ期（13 世紀後半～ 15 世紀中頃）、Ⅶ区では 15 世紀頃の遺物を包含しているが、１段階新しい 16 世紀代（主郭Ⅳ期）の遺物が相対的に多く含まれる状況であるとから、Ⅶ区（後者）と同年代に使用されていた可能性があることが出土遺物からうかがうことができる。以下、外郭Ⅷ区で出土した特徴的な遺物を概略的に紹介していきたい。

まず、Ⅷ区ではⅢ～Ⅳ層において比較的古い出土遺物が出土した。代表的なものではグスク土器があげられⅧ区のⅣ層（最下層）より確認されている。トレンチ調査等の小規模範囲に限られるため出土数は少ないが、P-33 グリッドで確認されたⅢ層面検出の柱穴遺構等、外郭が城壁によって囲まれない時期から、城造りのために入ったであろう人たちの生活の痕跡が確認されている。

青磁では龍泉窯系Ⅴ～Ⅶ類が出土されている。青磁Ⅴ類はこれまでと同様に多い傾向であるが、Ⅲ・Ⅳ区で少なかったⅥ類が目立つようになる。加えてⅦ区で数点だけ出土していた龍泉窯系Ⅶ類、特に福建系粗製碗（漳洲窯）の資料が増大する。その多くは雷文が退化したと考えられる波状文碗、細蓮弁文の弁間が開いて器高の低い碗、福建系では畳付が広い高台で、口縁部が逆ハの字に直線的に開く直口碗の資料なども多い。

白磁はＥ群で代表される景徳鎮窯の資料が多い。同窯の青花とともに持ち込まれたものと思われる。青花の中には元（元様式）の資料も僅かながら散見されるが、主郭では比較的多くみられた主郭Ⅶ類などが当該地区では少なく、一方主郭ではほとんど見られなかった漳洲窯系と目される碗・杯類が目立って出土するなど相違点を指摘することができる。

特に注視されるべきは肥前陶磁で染付雲龍見込荒磯文碗や山水文碗等が確認されている。肥前陶磁編年では 1650 ～ 1690 年頃の年代観（肥前陶磁の時期区分Ⅲ期）が付与されており、野上建紀氏による同定によっておおよそ 17 世紀第３四半期までには収まる資料群との所見をいただいている。

沖縄産陶器では湧田窯・喜名窯跡に近似する資料が検出された。胎土には交胎状にスジが入り、サンゴ目が残る焼成方法、碗や壺、瓶などの器種組成などの特徴がみられた。湧田窯跡・喜名窯跡の製品にも同様の特徴が認められており、同窯で生産された初期の沖縄産陶器と推測される（新垣2011）。湧田窯の生産は萬暦44（1616）年の朝鮮人陶工招聘によって開始されたとされている（沖縄県教育委員会1993）。しかし、今帰仁グスクでは1609年の薩摩軍による焼き討ちによって、監守が現在の今泊集落内への邸宅へ移ったとされており、これら初期沖縄産陶器の出土は、焼き討ち後においても今帰仁城跡内の一部地域がなんらかの目的で使用されたということを示している。具体的には監守が首里に引き揚げる1665年頃まで今帰仁城跡外郭Ⅷ区が使用されていた可能性がある、という新たな知見が当該遺物群の生産年代によって推定されることは特筆するべき事項である。

以上、特徴的な遺物を概観してみたが、Ⅷ区の使用年代はⅢ～Ⅳ層で主郭Ⅰ～Ⅲ期（13世紀後半～15世紀中頃）の出土遺物が確認できるものの、相対的な出土量から主体的な年代は龍泉窯系Ⅵ類～Ⅶ類、明青花で代表されるような15世紀後半～16世紀代（主郭Ⅳ期）、終末期は初期沖縄産陶器や肥前陶器の出現の17世紀中頃、監守引き揚げの1665年に限りなく近いことが指摘することができよう。

陶磁器以外では、金属製品の印章などは本地区から出土した遺物としては特徴的な遺物の一つである。

6．おわりに

以上見てきたように外郭東区発掘調査の成果をまとめてきたが、最後に今帰仁城跡における外郭地区の土地利用変遷をみていきたい。

城壁によって囲まれない時期において、外郭は城造りのために最初に入ったであろう人たちの生活の痕跡がトレンチ調査で見つかっている。全体を掘削していないため、集落であったのか確定させるにはまだ情報不足の感は否めないが、Ⅲ・Ⅳ区Ⅲ～Ⅴ層（主郭Ⅰ～Ⅱ期）の段階に、数ヵ所で造成を行い平坦地を造り出しその上に遺構群を構築している。その後、少なくとも14世紀中頃～15世紀前半までに城壁が築かれ始め、Ⅲ・Ⅳ区では土坑を複数配置する遺構群、Ⅶ区では今帰仁ムラ跡で見られるような母屋と高倉のセット関係が確認できる（主郭Ⅲ期）。この土地利用は主郭や志慶真門郭とは全く異なった景観となっており、どちらかというと今帰仁ムラ跡と様相が似るがそれとも少し違う。加えてⅢ・Ⅳ区では15世紀後半以降の遺物が完全に無くなり、意図的な空閑地化が創出されたと考えられる。15世紀後半頃は監守が城主として首里から派遣されているが、このことと関係があるのであろうか。それを追従する事例として、Ⅷ区において、16世紀中心の遺物群、監守に関係する建物と想定される大規模な遺構が検出されている。その空間はⅧ区及びⅦ区のSR2や城壁によって囲まれた矩形の空間で外郭地区において監守による居住地の再配置、または城郭内機能の再配置に伴うⅢ・Ⅳ区利用の制限があったことを想定することができる。

時期的な土地利用変遷では、もともと集落であった地域がやがて城郭へ取り込まれながら整備されていく様子が若干ながら想定できた。外郭東区の性格を考えていくうえで、城壁の構築時期の検証はまだ宿題を残す。

さて、SB08及びこれに関連する遺構の機能的な性格については、早くから古宇利殿内の存在から古宇利親雲上に関わるもの、もしくは初期の番所的な遺構がその地下にあるのではないかという指摘がなされている（仲原2007）。これは現在残されている祠「古宇利殿内（火神）」がもともとこの土地にあった番所という施設の引っ越しや撤去に伴い建立された祠だという民俗的慣行を一つ根拠にしたものである。古宇利殿内という名称は残念ながら文献上は登場しないが、近世後半（1750年）以降に今帰仁間切の地頭代として古宇利名を冠した位階を与えられた「古宇利親雲上」が存在した

ことがわかっている（仲原1993）。間切は行政区で、地頭代は間切の長であり現在の村長にあたる。今帰仁間切の地頭代が変わると古宇利親雲上（フイヤー）の屋号がつくことなどは、曖村（あつかいむら）（領地）が古宇利村だったことを示す。また、1666年の今帰仁間切の分割に伴って運天に置かれたとされる今帰仁間切番所は、1665年以前の所在地が不明である。こうしたことから、1666年以前の番所もしくは地頭代の邸宅が当該区にあった可能性が考えられる。仮に番所や地頭代の邸宅があったとすると、SB08はその有力な候補としてあげることができる。16世紀頃には既に北部地域全体を管理する監守が城郭主郭等に住居し、北山時代以降整備された今帰仁城跡の城郭の再整備や再配置によって外郭北側の一角には間切単位を職掌する行政的機関もしくは行政の長官クラスの人物が居住するような御殿が建築されていたのであろう。Ⅷ区から行政的な機能を類推する硯や、階層上位の人物を特定するような遺物が豊富であるとは言えないが、今後更に精緻な分析や今回行えなかった自然遺物の報告などを通して発掘された遺構や遺物から今帰仁城跡の新たな歴史が掘り起こされることを期待したい。

《参考文献》

新垣力　2011年「無釉陶器の成立と展開」『琉球陶器の来た道』沖縄県立博物館・美術館

上田秀夫　1982年「14～16世紀の青磁碗の分類について」『貿易陶磁研究』№2　貿易陶磁学会

上田秀夫　1991年「16世紀末から17世紀前半における中国染付碗・皿の分類」『関西近世考古学研究』Ⅰ　関西近世考古学研究会

上原静　2010年「琉球砥石考」『南島考古』№29号　沖縄考古学会

大橋康二　1989年『肥前陶磁（考古学ライブラリー55)』ニューサイエンス社

大堀皓平　2010年「第16節　煙管」『首里城跡－御内原北地区発掘調査報告書（Ⅰ）－』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書54集　沖縄県立埋蔵文化財センター

沖縄県教育委員会　1993年『湧田古窯跡（Ⅰ）－県庁舎行政棟建設に係る発掘調査－』沖縄県文化財調査報告書第111集

沖縄県教育委員会　1998年『首里城跡－京の内跡発掘調査報告書（Ⅰ）－』沖縄県文化財調査報告書第132集

沖縄県教育委員会　2008年『沖縄の金工関係史料調査報告書』沖縄県史料調査シリーズ第４集沖縄県文化財調査報告書第146集

沖縄県立埋蔵文化財センター　2007年『渡地村跡－臨港道路那覇１号線に伴う緊急発掘調査報告－』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第46集

沖縄県立埋蔵文化財センター　2009年『首里城跡－京の内発掘調査報告書（Ⅱ）－』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第49集

小野正敏　1982年　「15・16世紀の染付碗、皿の分類とその年代」『貿易陶磁研究』№2　貿易陶磁学会

金武正紀 1987年「沖縄のグスク」『考古学ジャーナル』№284 ニューサイエンス社

金武正紀 1988年「ピロースクタイプ白磁碗について」『貿易陶磁研究』№8

金武正紀 2007年「今帰仁タイプ白磁碗」『南島考古』№26　沖縄考古学会 pp.187-196

九州近世陶磁学会　2000年『九州陶磁の編年　九州近世陶磁学会10周年記念』

九州近世陶磁学会　2002年『国内出土の肥前陶磁　西日本の流通をさぐる（第１分冊)』

瀬戸哲也・ほか　2007年「沖縄における貿易陶磁研究－14～16世紀を中心に－」『中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～』補遺編

東京国立博物館　1990年『東京国立博物館図版目録　中国陶磁編Ⅱ』

永井久美男　2002年『新版　中世出土銭の分類図版』高志書院

仲原哲弘1993年『なきじん研究』vol.3　今帰仁村教育委員会

仲原哲弘2007年『なきじん研究』vol.15　今帰仁村教育委員会

今帰仁村教育委員会　1983年『今帰仁城跡発掘調査報告書Ⅰ－志慶真門郭の調査－』今帰仁村文化財調査報告書第９集

今帰仁村教育委員会　1986年『今帰仁城跡周辺遺跡範囲確認調査報告書』今帰仁村文化財調査報告書第12集

今帰仁村教育委員会　1991年『今帰仁城跡発掘調査報告書Ⅱ－主郭（俗称本丸）の調査－』今帰仁村文化財調査報告書第14集
今帰仁村教育委員会　2005年『今帰仁城跡周辺遺跡Ⅱ－今帰仁城跡周辺整備事業に伴う緊急発掘調査報告－』今帰仁村文化財調査報告書第20集
今帰仁村教育委員会　2006年『史跡　今帰仁城跡－外郭発掘調査概報－』今帰仁村文化財調査報告書第23集
今帰仁村教育委員会　2007年『今帰仁城跡周辺遺跡Ⅲ－村内遺跡発掘調査報告－』今帰仁村文化財調査報告書第24集
今帰仁村教育委員会　2008年『今帰仁城跡発掘調査報告Ⅲ－今帰仁ムラ跡西区屋敷地５の調査－』今帰仁村文化財調査報告書第25集
今帰仁村教育委員会　2009年『今帰仁城跡発掘調査報告Ⅳ－今帰仁城跡外郭報告１－』今帰仁村文化財調査報告書第26集
那覇市史編集委員会（編）　1970年『那覇市史』資料編第１巻２所収「琉球渡海日々記」
ネイチャー・プロ編集室　1996年『色々な色』光琳堂出版
原田禹雄（訳注）　1998年『蔡鐸本 中山世譜 （琉球弧叢書 （４））』榕樹書林
福岡市教育委員会　1993年『博多39－第75次調査報告－』福岡市埋蔵文化財調査報告書大331集
真壁忠彦　1977年「備前」『世界陶磁全集　3　日本中世』小学館
宮城弘樹　2006年「グスクと集落の関係について（覚書）－今帰仁城跡を中心として－」『南島考古』№25　沖縄考古学会
宮城弘樹　2010年「グスク出土石錘考」『ガラマン』宜野座村立博物館研究紀要16号　宜野座村立博物館
渡辺美季　2009年「出土印章から見える今帰仁グスク」『今帰仁グスク』３号　今帰仁グスクを学ぶ会
和田久徳・ほか　2001年『明実録の琉球史料（一）』沖縄県文化振興会公文書管理部史料編集室

（五十音順）

図版1　今帰仁城跡



1. 今帰仁城跡空撮



2. 調査区全景（2007年）



3. 調査区全景（2009年）

図版2　調査区全景



1. 調査区全景（2006年）



2. 調査区全景（2007年）

図版3　調査区全景



1. 調査区全景（2008年）



2. 調査区全景（2009年）

図版4　古宇利殿内・SK01



1. 着手前



2. 祠内



3. サンゴ敷き



4. 北壁



5. 東壁



6. 西壁



7. 移設復元完了状況



8. SK01検出状況



1. 着手前（スカイマスターより）



2. 着手前（南より北）



3. P−31トレンチ完掘状況



4. P−31トレンチ東壁（北側）



5. P−31トレンチ東壁（南側）



6. 階段状遺構と城壁切り合い状況



7. P−31トレンチ作業状況



8. P−31内壁根石確認

図版6 SB09



1. Ⅱ層上面検出状況（南から北）



2. 焼土面検出状況



3. 検出状況（北から南）



4. 作業状況



5. 完掘状況（南から北）



1. 検出状況



2. 礫検出状況



3. 断面



4. 完掘状況

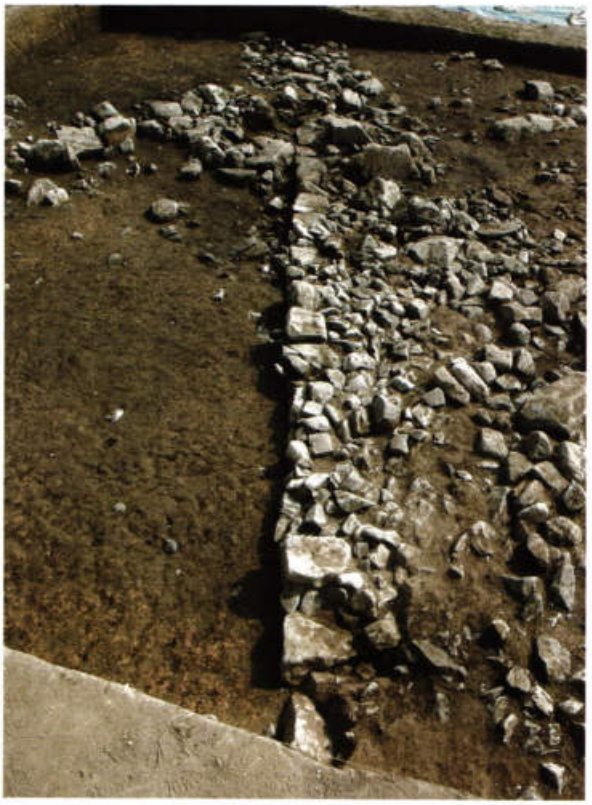


5. 作業状況

図版8 SB08



1. SB08検出状況①



2. SB08検出状況②



3. SB08検出状況③（西から東）



4. SB08検出状況④（北から南）



1. Cトレンチ断面



2. Bトレンチ



3. Q－31 Ⅰ層除去状況



4. SB08とSR5の間（Ⅱb層除去後）



5. SB08遺構検出状況

図版10 SR11



1. SR11検出状況（手前より、SR5、SB08、SR11石列）



2. SR11検出状況①（東より西）



3. SR11検出状況②（西より東）



1. SR10検出状況（近影）



2. SR10検出状況（遠景）

図版12 SR5



1. SR5北側トレンチ



2. SR5北側トレンチ断面



3. SR5検出状況



4. SR5検出状況（北から南）

図版13　P－33グリッド検出の柱穴群遺構・R－30グリッド検出の柱穴群遺構



1. P－33グリッド城壁沿い礫検出状況（Ⅱ層）



2. P－33グリッド柱穴遺構検出状況



3. P－33グリッド城壁沿い礫撤去後



4. P－33グリッド城壁沿い堆積状況



5. R－30グリッド遺構検出状況

図版14　Q－30グリッド検出の柱穴群遺構・R－32グリッド検出の柱穴群遺構



1. Q－30 Ⅱ層検出状況（南から北）



2. Q－30礫敷き遺構検出作業状況



3. Q－30北壁断面



4. Q－30遺構検出状況



5. 古宇利殿内撤去後柱穴遺構検出状況（北から南）



6. S1048半裁



7. S1048完掘



8. R－32調査完了状況



1. 作業状況



2. 遺構検出状況（近景①）



3. 遺構検出状況（近景②）



4. 遺構検出状況（遠景①）



5. 遺構検出状況（遠景②）

図版16 SR2



1. SR2着手前（北から南）



2. SR2着手後（北から南）



3. SR2北側



4. SR2南側①



5. SR2南側②



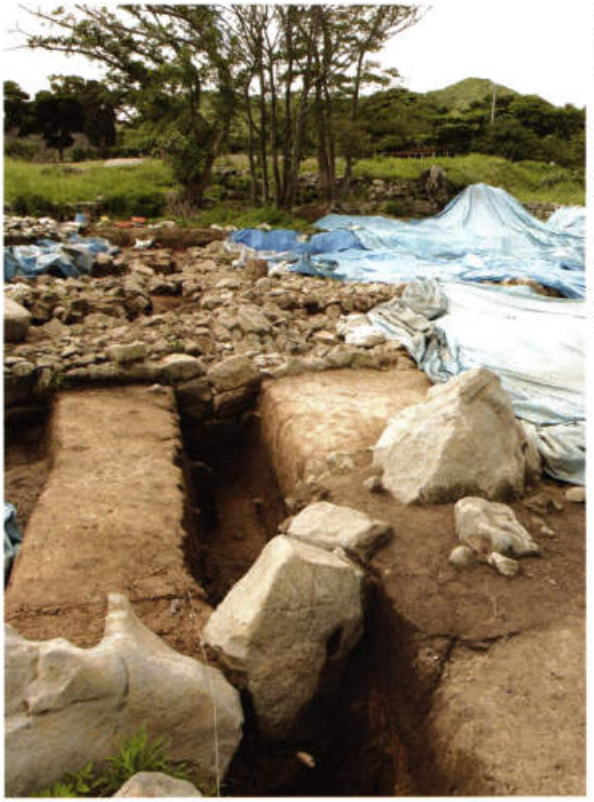
6. SR2全景（東から西）



7. SR2全景（西から東）



1. 西トレンチ近景（南から北）



2. 西トレンチ近景（北から南）



3. 西トレンチ（SB08内①）



4. 西トレンチ（SB08内②）



5. 西トレンチ（SB08内面石）



6. 西トレンチ（SB08とSR5の間）

図版18　東側城壁（1）



1. 東側城壁内壁遠景



2. 東側城壁内壁遠景



3. 東側城壁外壁遠景



4. 東側城壁外壁遠景



5. ZB内壁



6. BC内壁



7. CD' 内壁



8. D'D内壁

図版19　東側城壁（2）



1. DE内壁



2. EF′内壁



3. F′F内壁



4. FG内壁



5. GH内壁



6. HI内壁



7. ZB外壁



8. BC外壁

図版20　東側城壁（3）



1. DE内壁



2. EF′内壁



3. F′F内壁



4. FG内壁



5. GH内壁



6. HI内壁



7. ZB外壁



8. BC外壁










10−1


10−2


10−3


10−4




10−5

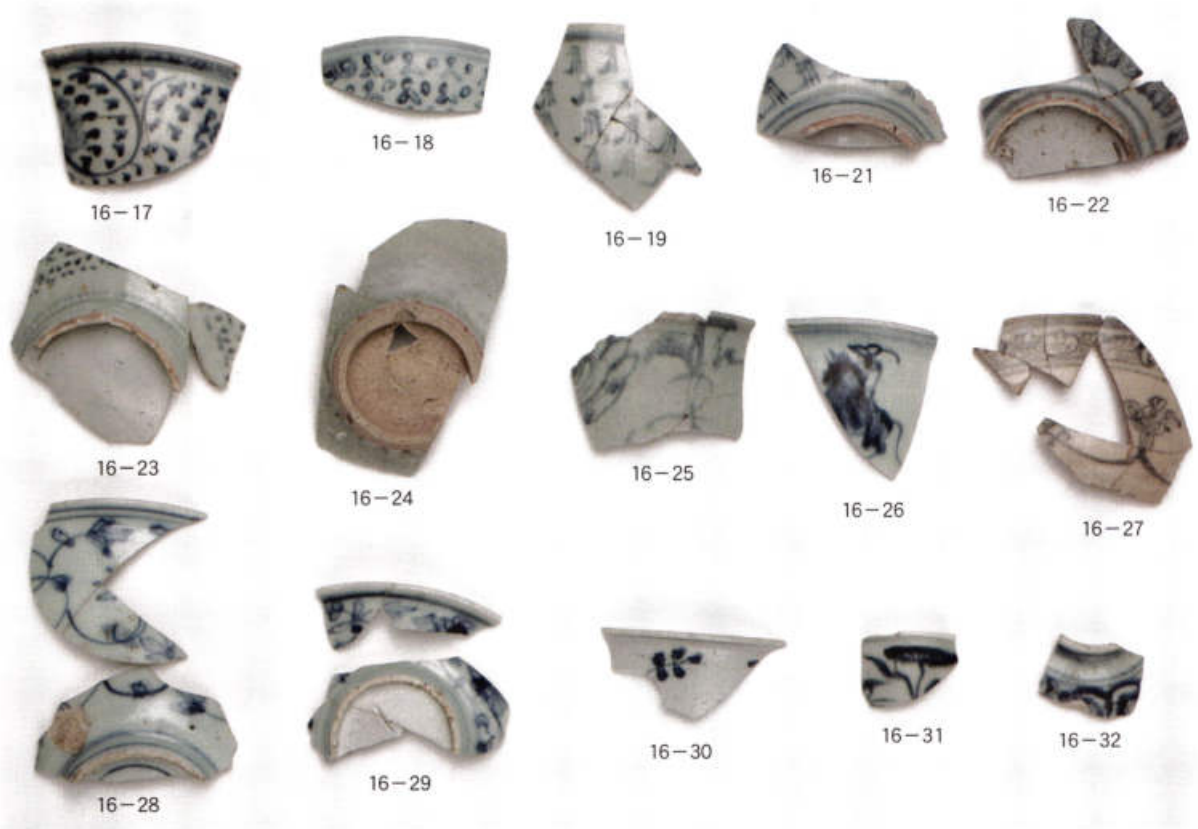


図版22　SR1出土遺物(1)



※16-10・14は図版70に掲載。





※16-20は図版70に掲載。



図版24　SR1出土遺物(3)





※17-33・35は図版70に掲載。





図版25　SR1出土遺物(4)



※18-53は図版70に掲載。





図版26　SB09出土遺物








25－1
25－2
25－3
25－4
25－5
25－6
25－7
25－8
25－9
25－10
25－11
25－12
25－13
25－14
25－15
25－16



図版28　SB08出土遺物・B・Cトレンチ出土遺物・SR10出土遺物





図版29　SR5出土遺物・R－32グリッド検出の柱穴群出土遺物





図版30　SR2出土遺物(1)






48－20
48－21
48－22
48－23
48－24
48－25
48－26
48－27
48－29
48－30
48－31
48－28



図版32　SR2出土遺物(3)




73－1
73－2
73－3
73－8
73－5
73－4
73－6
73－11
73－12
73－13
73－7
73－9
73－10

図版34　縦断トレンチ（西トレンチ）出土遺物（1）





図版35　縦断トレンチ（西トレンチ）出土遺物（2）

※81-8・9は図版70に掲載。



図版36　Ⅷ区出土遺物（1）　土器・カムィヤキ







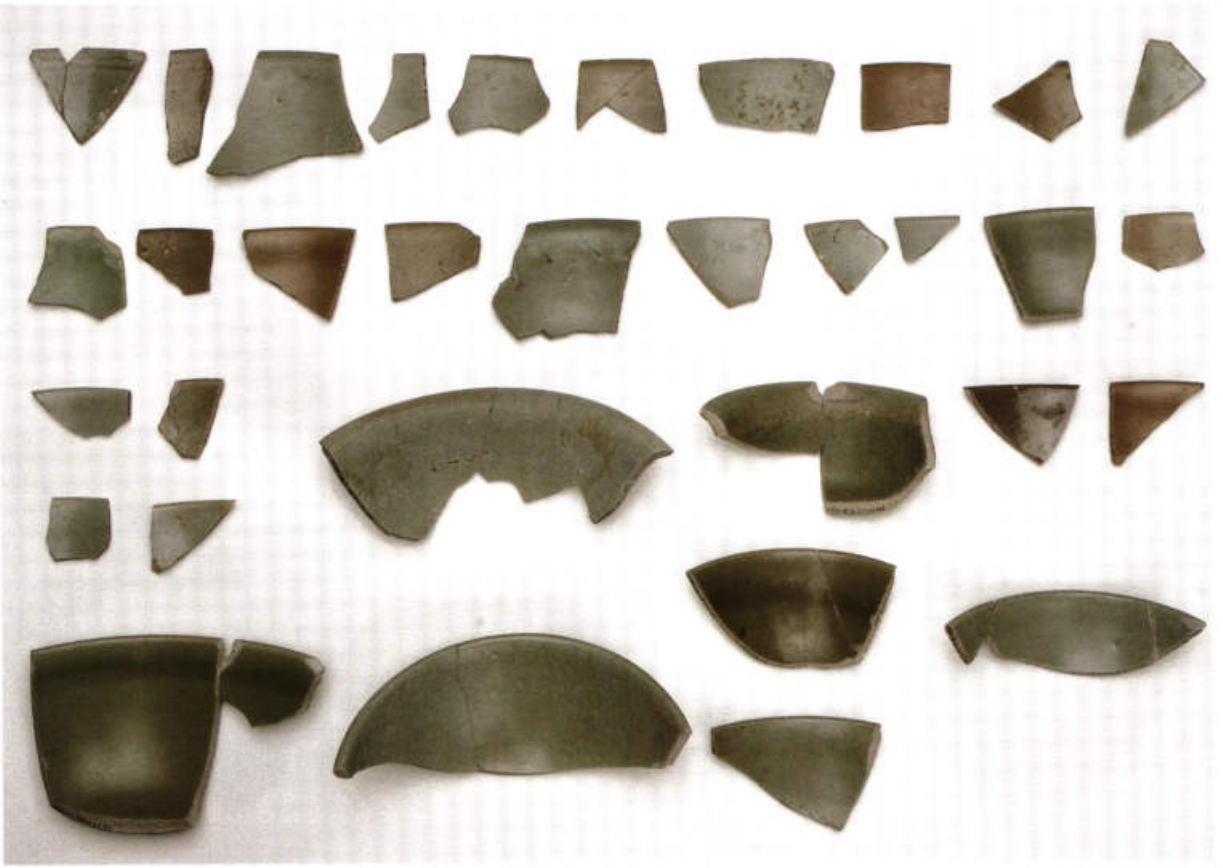
※83-14は図版70に掲載。



図版38　Ⅷ区出土遺物（3）　青磁



※84-26・27・28は図版71に掲載。



図版39　Ⅷ区出土遺物（4）青磁



※85-39・42・44・45・50・55は図版71に、85-58は図版72に掲載。



図版40　Ⅷ区出土遺物（5）青磁







※87-86・97・98・99・106・108・110は図版72に掲載。



図版42　Ⅷ区出土遺物（7）青磁



※88-128・132は図版72に掲載。




89－142


89－140


89－141


89－143


89－146


89－144


89－145















図版44　Ⅷ区出土遺物（9）白磁






91－35
91－36
91－37
91－38
91－39
91－40
91－41
91－42
91－43
91－44
91－45
91－46
91－47
91－48
91－49
91－50
91－51
91－52
91－53
91－54
91－55
91－56
91－57
91－58
91－59
91－60



図版46　Ⅷ区出土遺物（11）白磁





図版47　Ⅷ区出土遺物（12）青花



※92-19・21は図版73に掲載。



図版48　Ⅷ区出土遺物（13）青花



※93-33・40は図版73に掲載。




94－50
94－51
94－52
94－53
94－54
94－55
94－56
94－57
94－58
94－59
94－60
94－61
94－62
94－63
94－64
94－65
94－66
94－67
94－68
94－69
94－70
94－71
94－72
94－73



図版50　Ⅷ区出土遺物（15）青花

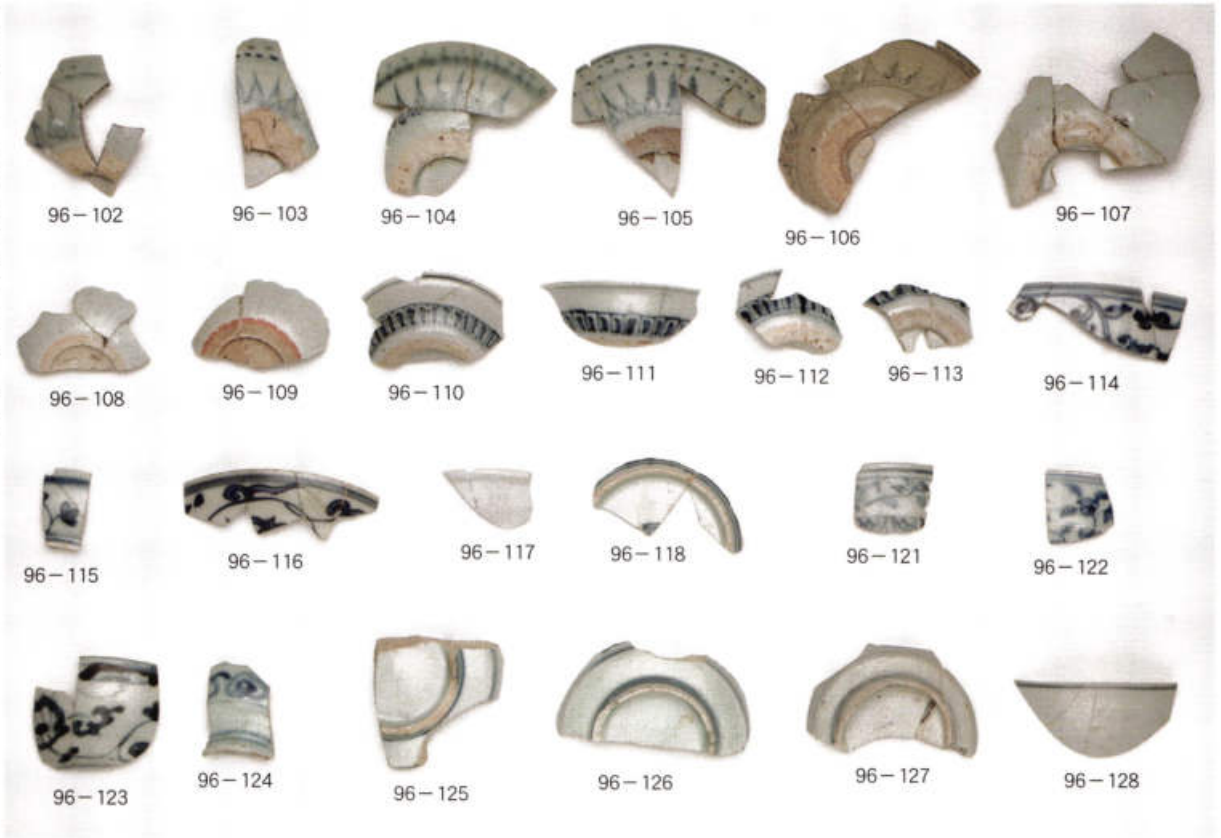





95－92
95－93
95－94
95－95
95－96
95－97
95－98
95－99
95－100
95－101



図版52　Ⅷ区出土遺物（17）　青花



※96-119・120は図版73に掲載。





※96-135・138・143・144・145は図版73に掲載。



図版54　Ⅷ区出土遺物（19）青花・青白磁・肥前陶磁



※97-162・163は図版73に掲載。







図版55　Ⅷ区出土遺物（20）　黒釉陶器・翡翠釉・三彩・瑠璃釉・赤絵・色絵・緑釉

図版56　Ⅷ区出土遺物（21）　褐釉陶器









図版57　Ⅷ区出土遺物（22）　褐釉陶器

図版58　Ⅷ区出土遺物（23）タイ陶磁





図版59　Ⅷ区出土遺物（24）タイ陶磁・ベトナム陶磁






102－1
102－2
102－3
102－4
102－5
102－6
102－7
102－8
102－9
102－10
102－11
102－12
102－13
102－14
102－15
102－16
102－17
102－18
102－19
102－20
102－21
102－22




103－23
103－24
103－25
103－26
103－27
103－28
103－29
103－30
103－31
103－32
103－33
103－34
103－35
103－36
103－37
103－38
103－39
103－40
103－41
103－42
103－43
103－44
103－45
103－46
103－47
103－48
103－49



図版62　Ⅷ区出土遺物（27）　金属製品






105－6
105－7
105－8
105－9
105－10
105－11
105－12
105－13
105－14
105－15
105－16
105－17
105－18
105－19
105－22
105－23
105－24
105－25
105－26
105－27
105－28
105－20
105－21
105－29
105－30
105－31
105－32



図版64　Ⅷ区出土遺物（29）金属製品



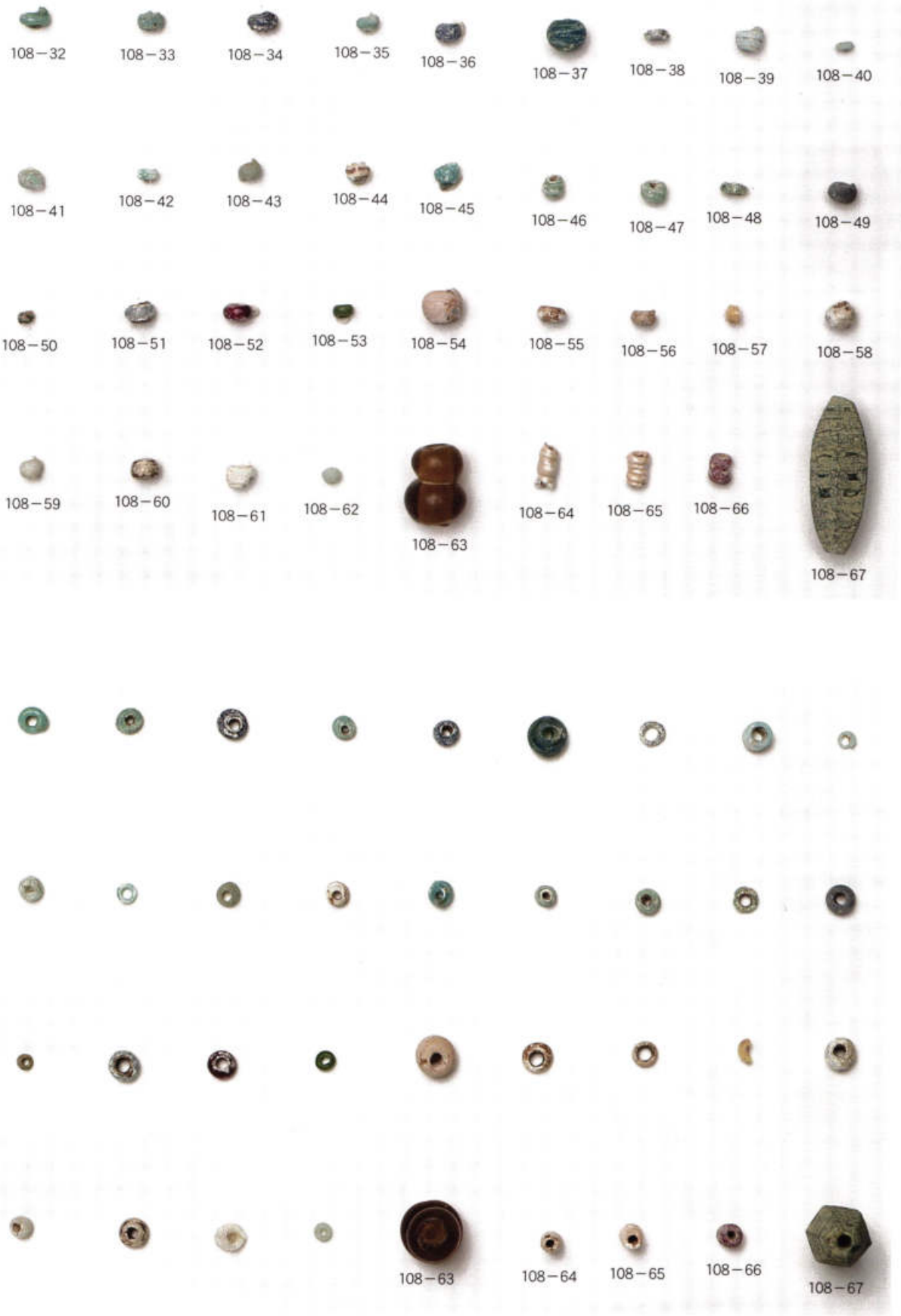


図版65　Ⅷ区出土遺物（30）　玉類





図版66　Ⅷ区出土遺物（31）　玉類




109－1
109－2
109－3
109－4
109－5
109－6
109－7
109－8
109－9
109－10

図版68　Ⅷ区出土遺物（33）石器






111－23


111－24


111－25


111－26


111－27


111－28


111－29


111－30


111－31


111－32


111－33























図版70　SR1・縦断トレンチ（西トレンチ）出土遺物



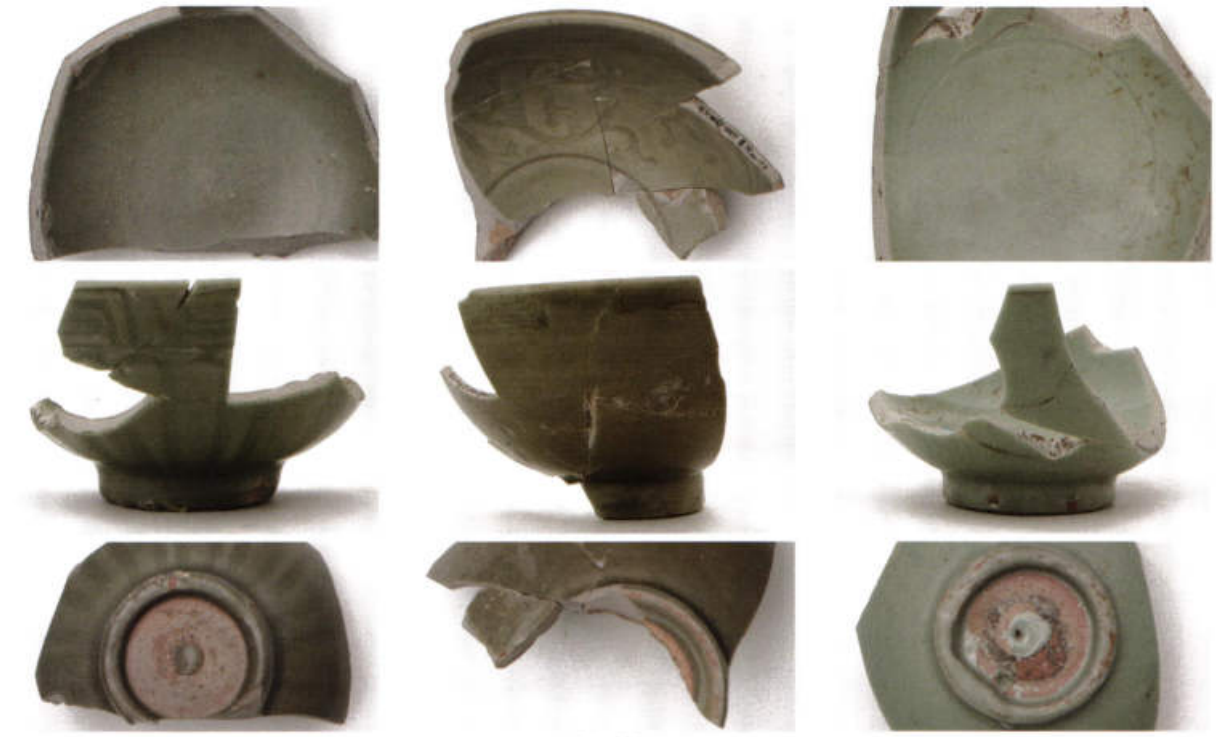
16－10　16－14　16－20



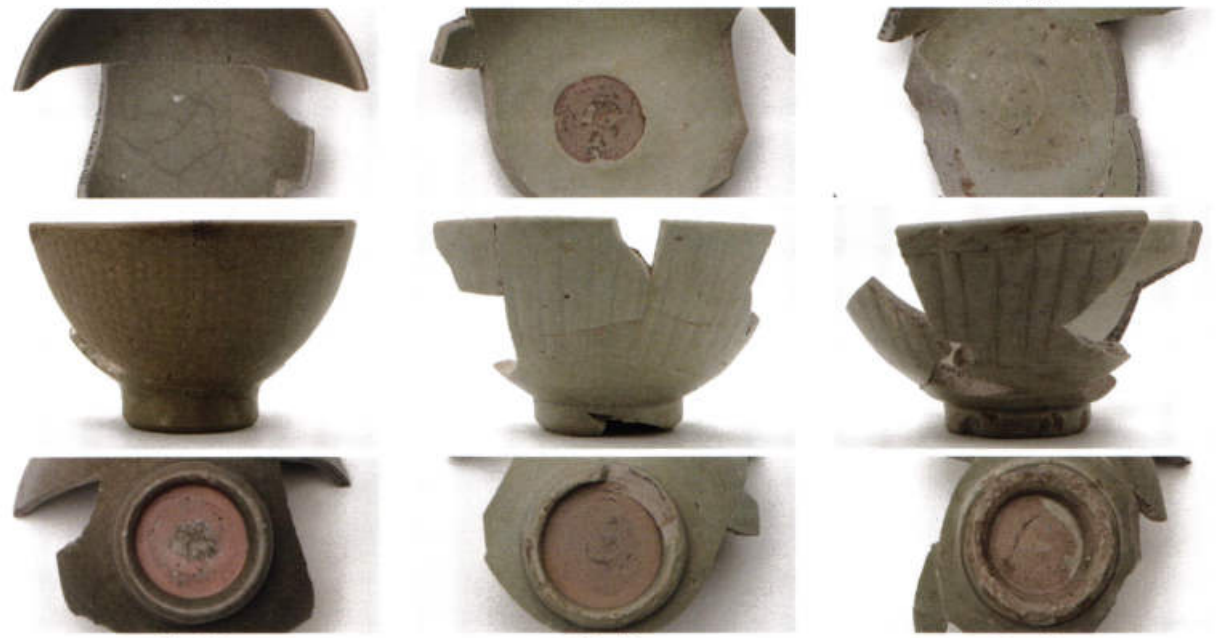
17－33　17－35　18－53



81－9　81－8　83－14



84－26　84－27　84－28



85－39　85－42　85－44

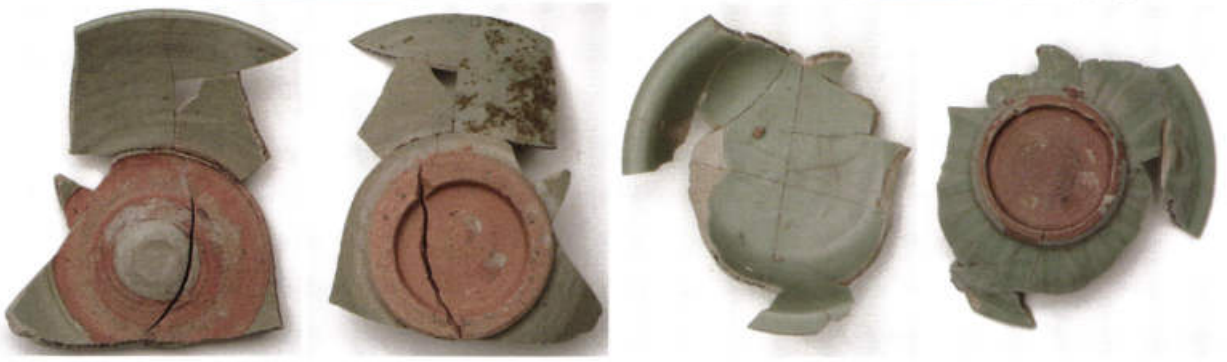


85－45　85－50　85－55

図版72　Ⅷ区出土遺物（36）　青磁


85－58


87－86






87－97　87－98　87－99　87－106




87－108　87－110　88－128　88－132



92－19　92－21　93－33　93－40

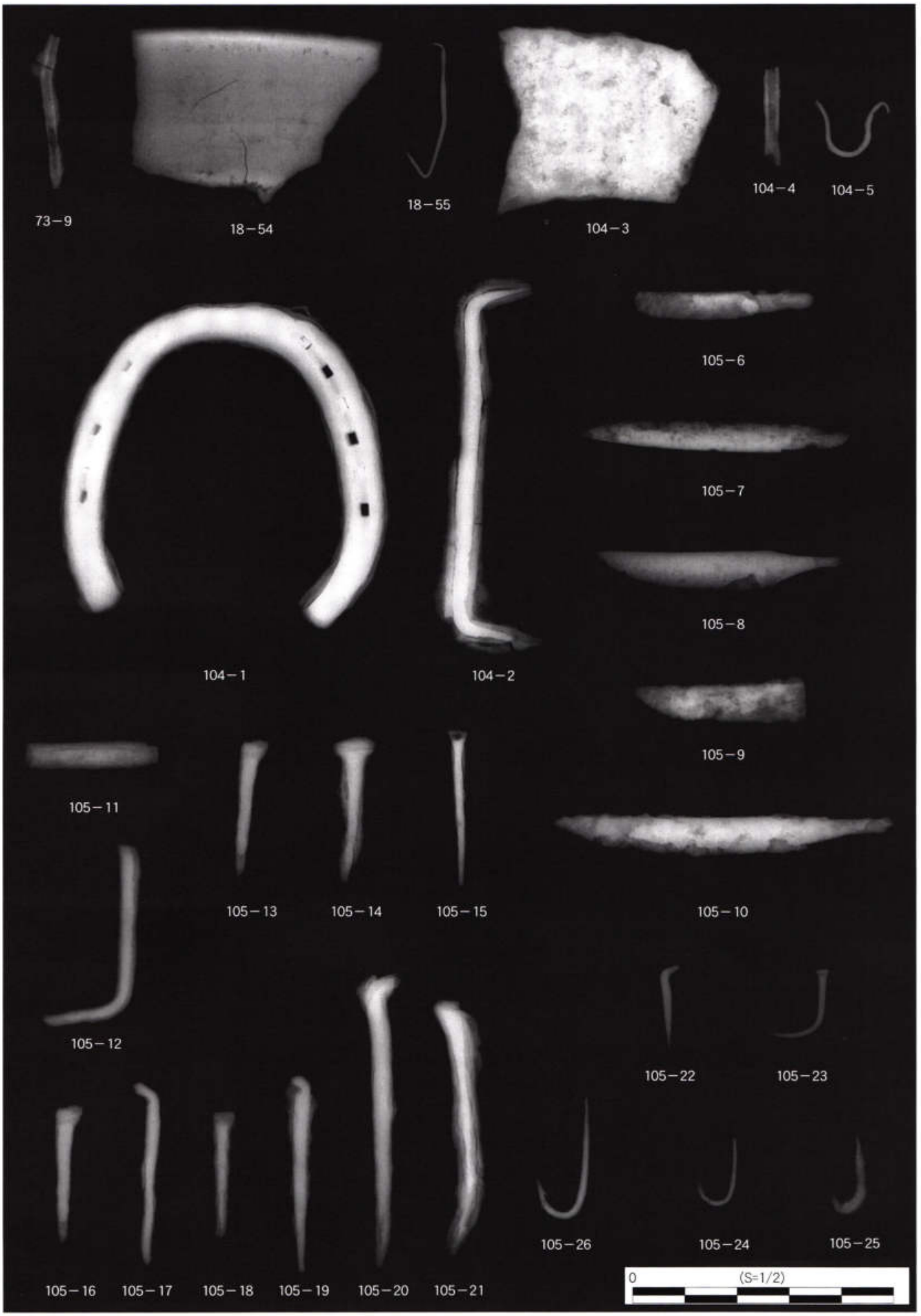


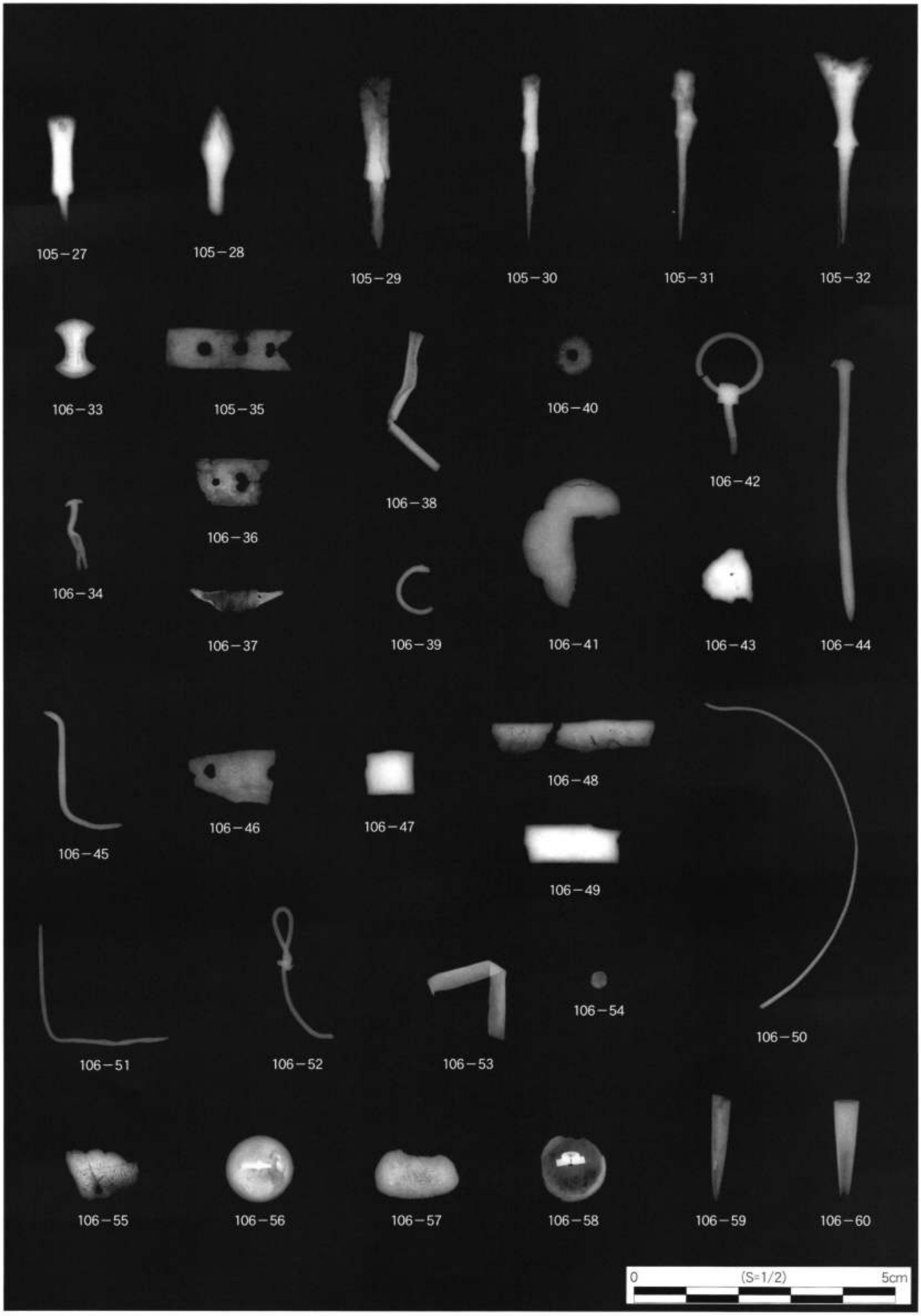
96－119　96－120　97－162　97－163



96－135　96－138　96－143　96－144　96－145

図版74　金属製品レントゲン写真(1)




105－27
105－28
105－29
105－30
105－31
105－32
106－33
105－35
106－40
106－42
106－38
106－36
106－34
106－37
106－39
106－41
106－43
106－44
106－45
106－46
106－47
106－48
106－49
106－51
106－52
106－53
106－54
106－50
106－55
106－56
106－57
106－58
106－59
106－60
0
(S=1/2)
5cm

報 告 書 抄 録

ふりがな	なきじんじょうせきはっくつちょうさほうこく　5
書名	今帰仁城跡発掘調査報告　V
副書名	今帰仁城跡外郭発掘調査報告２
巻次	
シリーズ名	今帰仁村文化財調査報告書
シリーズ番号	第29集
編著者名	玉城靖、宮城弘樹、有銘倫子、黒沢健明、与那嶺俊、柴田圭子
発行機関	今帰仁村教育委員会
所在地	〒905-0592　沖縄県今帰仁村字仲宗根232　　TEL 0980-56-3201
発行年日	西暦2011年３月31日（平成23年）

ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	° ′ ″	° ′ ″		㎡	
今帰仁城跡（なきじんじょうあと）	今帰仁村（なきじん）字今泊（いまどまり）	473065		26°69′22″	127°92′93″	平成19年度 2007.4.23 ～ 2008.3.30 平成20年度 2008.4.1 ～ 2009.3.31 平成21年度 2009.4.15 ～ 2010.10.1	1000㎡	今帰仁城跡史跡等総合整備活用推進事業に係る発掘調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
今帰仁城跡	城跡	グスク時代 (13世紀から17世紀)	城壁 石敷き遺構 石列遺構 柱穴 土坑 土留石積み ほか	グスク土器 カムィヤキ 沖縄産陶器 中国陶器磁器 　青磁 　白磁 　青花 　褐釉陶器 　瑠璃釉 　色絵 タイ陶磁 韓国陶磁 ベトナム陶磁 備前焼擂鉢 肥前陶磁 玉類 銭貨 金属製品 石製品	今帰仁城跡の北側に所在する郭内の機能と変遷を確認。これまで最も出土量の多かった主郭に準ずる陶磁器の出土量。基壇を伴う建物跡を検出。 今帰仁城跡の史跡整備を実施。

今帰仁村文化財調査報告書第29集

今帰仁城跡発掘調査報告Ⅴ

発行　2011年3月31日
今帰仁村教育委員会
沖縄県今帰仁村字仲宗根232
TEL　0980－56－3201

印刷　文進印刷株式会社
沖縄県糸満市西崎町5丁目10－14
TEL　098－994－5777